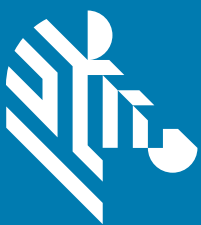


# TC57

タッチ コンピュータ



ユーザー ガイド  
Android™ 8.1.0 Oreo 用



ZEBRA

## 著作権

© 2018 ZIH Corp. および / またはその関連会社。無断複写、転載を禁じます。ZEBRA および図案化された Zebra ヘッドは、ZIH Corp. の商標であり、世界各地の多数の法域で登録されています。Google、Android、Google Play、およびその他の商標は、Google LLC の商標です。Oreo は、Mondelez International, Inc. グループの商標です。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。

著作権および商標：著作権および商標の詳細情報については、[www.zebra.com/copyright](http://www.zebra.com/copyright) を参照してください。

保証：保証に関する詳細情報については、[www.zebra.com/warranty](http://www.zebra.com/warranty) を参照してください。

エンドユーザー ソフトウェア使用許諾契約：EULA の詳細情報については、[www.zebra.com/eula](http://www.zebra.com/eula) を参照してください。

## 使用の条件

- 所有権の表明

本書には、Zebra Technologies Corporation およびその子会社（「Zebra Technologies」）に所有権が属している情報が含まれています。本書は、本書に記載されている機器の操作および保守を行うユーザーに限り、情報の閲覧とその利用を目的として提供するものです。当社に所有権が属している当該情報に関しては、Zebra Technologies の書面による明示的な許可がない限り、他の目的で利用、複製、または第三者への開示を行うことは認められません。

- 製品の改善

Zebra Technologies は、会社の方針として、製品の継続的な改善を行っています。すべての仕様や設計は、予告なしに変更される場合があります。

- 免責条項

Zebra Technologies では、公開されているエンジニアリング仕様およびマニュアルに誤りがないように、万全の対策を講じていますが、まれに誤りがある場合があります。Zebra Technologies では、このような誤りが発見された場合にそれを修正し、その誤りから生じる責任を放棄する権利を有しています。

- 責任の限定

業務の逸失利益、業務の中断、業務情報の損失などを含めて、またはこれらに限定することなく、当該製品の使用、使用の結果、またはその使用不能により派生した損害に関しては、いかなる場合でも、Zebra Technologies、または同梱製品（ハードウェアおよびソフトウェアを含む）の開発、製造、または納入に関与したあらゆる当事者は、損害賠償責任を一切負わないものとします。さらにこれらの損害の可能性を事前に指摘されていた場合でも、損害賠償責任を一切負わないものとします。法域によっては、付随的損害または派生的損害に関する責任の除外または限定を認めていない場合があります。その場合、お客様には上記の限定または除外は適用されません。

## 改訂版履歴

元のガイドに対する変更を次に示します。

変更	日付	説明
-01 改訂版 A	2018 年 12 月	初期リリース

# 目次

著作権 .....	2
使用の条件 .....	2
改訂版履歴 .....	2
<b>このガイドについて.....</b>	<b>12</b>
はじめに .....	12
マニュアル セット .....	12
構成 .....	12
ソフトウェア バージョン .....	13
章の説明 .....	13
表記規則 .....	13
関連文書 .....	14
サービスに関する情報 .....	14
マニュアルに関するフィードバック .....	15
<b>ご使用の前に .....</b>	<b>16</b>
はじめに .....	16
パッケージの開梱 .....	16
機能 .....	17
設定 .....	19
microSD カードの取り付け .....	22
バッテリーの取り付け .....	23
バッテリーの充電 .....	24
充電インジケータ .....	25
Google アカウント設定 .....	25
Zebra 見える化 サービス .....	25
バッテリーの交換 .....	26
microSD カードの交換 .....	27
SIM カードの交換 .....	28
デバイス設定へのアクセス .....	30

バッテリー管理 .....	31
バッテリー使用量の監視 .....	31
低バッテリー通知 .....	32
バッテリー最適化 .....	32
無線通信をオフにする .....	32
日付と時刻の設定 .....	32
ディスプレイの設定 .....	33
画面の輝度の設定 .....	33
画面回転の設定 .....	34
ホーム画面回転の設定 .....	34
画面のタイムアウトの設定 .....	35
フォント サイズの設定 .....	35
周辺光で調整されるディスプレイ .....	36
タッチ パネル モード .....	36
通知 LED の設定 .....	37
キャスト .....	37
一般的なサウンド設定 .....	37
ウェイクアップ ソース .....	39
<b>デバイスの使用方法.....</b>	<b>41</b>
はじめに .....	41
Google モバイル サービス .....	41
ホーム画面 .....	42
ステータス バー .....	43
ステータス アイコン .....	43
通知アイコン .....	45
通知の管理 .....	46
アプリ通知の設定 .....	46
全アプリの通知設定の表示 .....	47
ロック画面の通知の制御 .....	47
クイック アクセス パネル .....	47
クイック設定のアイコンの編集 .....	49
アプリ ショートカットおよびウィジェット .....	49
アプリ ショートカットをホーム画面に追加する .....	49
ホーム画面にウィジェットを追加する .....	50
ホーム画面での項目の移動 .....	50
アプリ ショートカットまたはウィジェットをホーム画面から削除する .....	50
フォルダ .....	50
フォルダの作成 .....	50
フォルダの名前付け .....	51
フォルダの削除 .....	51
ホーム画面の壁紙 .....	51

タッチスクリーンの使用方法 .....	51
キーボード .....	52
テキストの編集 .....	52
数字、記号、および特殊文字の入力 .....	52
キーボードの設定 .....	52
キーボードを有効にする .....	52
キーボードの切り替え .....	53
非通知機能 .....	53
音と振動の制限 .....	53
完全非通知 .....	53
アラームのみ .....	54
音と振動の自動的なブロック .....	54
一定時間での音のミュート .....	54
イベントおよび会議でのミュート .....	55
サウンドをオンに戻す .....	55
特定アプリの非通知の上書き .....	55
アプリ .....	55
アプリへのアクセス .....	59
最近使用したアプリの切り替え .....	60
画面のロック解除 .....	60
スマート ロック .....	62
デバイスのリセット .....	63
ソフト リセットの実行 .....	63
ハード リセットの実行 .....	64
サスペンド モード .....	64
USB を使用してホスト コンピュータにファイルを転送する .....	64
ファイルの転送 .....	64
写真の転送 .....	65
ホスト コンピュータから切断する .....	66
通話.....	67
はじめに .....	67
緊急通話 .....	67
音声モード .....	67
Bluetooth ヘッドセットの使用 .....	67
有線ヘッドセットの使用 .....	67
音量の調節 .....	68
ダイヤラを使用して電話をかける .....	68
ダイヤラのダイヤル オプション .....	70
連絡先を使用して電話をかける .....	70
ダイヤラの使用 .....	71
連絡先アプリの使用 .....	71

GSM で会議通話を確立する .....	73
Bluetooth ヘッドセットを使用して電話をかける .....	75
通話への応答 .....	76
通話設定 .....	77
<b>アプリケーション .....</b>	<b>79</b>
はじめに .....	79
ActiveEdge タッチ ゾーン .....	79
ActiveEdge の設定 .....	79
ドロワのアプリの選択 .....	80
バッテリー マネージャ .....	83
カメラ .....	86
写真の撮影 .....	86
パノラマ写真の撮影 .....	87
ビデオの録画 .....	88
写真設定 .....	88
前面カメラ .....	89
背面カメラ .....	89
ビデオの設定 .....	90
前面カメラ .....	91
背面カメラ .....	91
連絡先 .....	92
連絡先の追加 .....	92
連絡先の編集 .....	92
連絡先の削除 .....	92
Device Central .....	93
[Device Central] タブ .....	93
RS6000 リング スキャナの呼び出し .....	94
DataWedge のデモンストレーション .....	96
スキャナの選択 .....	97
診断ツール .....	98
設定 .....	101
バッテリー テストの情報 .....	101
GPS テストの情報 .....	102
システム テストの情報 .....	102
WLAN テストの情報 .....	102
WWAN テストの情報 .....	103
Bluetooth テストの情報 .....	103
ファイル .....	104
ギャラリー .....	105
アルバムの処理 .....	106

アルバムの共有 .....	107
アルバム情報の取得 .....	107
アルバムの削除 .....	107
写真の処理 .....	108
写真の表示およびブラウズ .....	108
写真のトリミング .....	109
連絡先アイコンとして写真を設定する .....	109
写真の共有 .....	110
写真の削除 .....	110
ビデオの処理 .....	110
ビデオの再生 .....	110
ビデオの共有 .....	110
ビデオの削除 .....	110
写真 .....	111
アルバムの処理 .....	112
アルバムの共有 .....	113
アルバムの削除 .....	113
写真の処理 .....	114
写真の表示およびブラウズ .....	114
写真のトリミング .....	114
連絡先アイコンとして写真を設定する .....	115
写真の共有 .....	115
写真の削除 .....	116
ビデオの処理 .....	116
ビデオの再生 .....	116
ビデオの共有 .....	116
ビデオの削除 .....	116
PTT Express Voice クライアント .....	117
PTT 音声通知 .....	117
PTT 通知アイコン .....	117
PTT 通信を有効にする .....	118
トークグループの選択 .....	118
PTT 通信 .....	118
グループ通話の作成 .....	119
プライベート応答での応答 .....	119
PTT 通信を無効にする .....	119
RxLogger .....	120
RxLogger ユーティリティ .....	121
SimulScan デモ .....	122
サンプル フォームの印刷 .....	122
郵送、運輸、物流サンプルの使用法 .....	123
製造サンプルの使用法 .....	125
設定 .....	126
詳細設定 .....	127

デモ カスタマイズの作成 .....	128
デフォルトのテンプレート .....	129
サウンド レコーダ .....	130
<b>データ収集.....</b>	<b>131</b>
はじめに .....	131
イメージング .....	131
デジタル カメラ .....	131
リニア イメージャ .....	132
動作モード .....	132
RS507 ハンズフリー イメージャ .....	133
RS6000 Bluetooth リング スキャナ .....	133
DS3678 デジタル スキャナ .....	134
LI3678 リニア イメージャ スキャナ .....	134
DS2278 デジタル スキャナ .....	135
スキャン操作に関する考慮事項 .....	135
内部イメージャでのスキャン .....	135
内蔵カメラによるスキャン .....	137
RS6000 Bluetooth リング スキャナでのスキャン .....	138
RS507/RS507X ハンズフリー イメージャでのスキャン .....	139
DS3678 Bluetooth スキャナでのスキャン .....	141
LI3678 リニア イメージャでのスキャン .....	142
DS2278 デジタル スキャナでのスキャン .....	142
RS507/RS6000 ハンズフリー イメージャのペアリング .....	143
SSI モードで近距離無線通信を使用してペアリングする .....	143
HID モードで近距離無線通信を使用してペアリングする .....	144
Simple Serial Interface を使用してペアリングする .....	145
Bluetooth ヒューマン インタフェース デバイスを使用してペアリングする .....	146
Bluetooth スキャナのペアリング .....	147
Simple Serial Interface を使用してペアリングする .....	147
Bluetooth ヒューマン インタフェース デバイスを使用してペアリングする .....	148
DataWedge .....	149
DataWedge を有効にする .....	149
DataWedge を無効にする .....	149
<b>無線.....</b>	<b>150</b>
はじめに .....	150
無線 WAN .....	150
モバイル データ接続の共有 .....	150
USB テザリングを有効にする .....	150



Bluetooth テザリングを有効にする .....	151
Wi-Fi ホットスポットの設定 .....	151
Wi-Fi ホットスポットを有効にする .....	152
Wi-Fi ホットスポットの設定 .....	152
携帯電話ネットワークの設定 .....	153
データ ローミングを無効にする .....	153
CDMA デバイス .....	154
Preferred Network Type (優先ネットワーク タイプ) .....	154
強化された 4G LTE モード .....	154
[Search for MicroCell] (マイクロセルの検索) の使用方法 .....	155
[System Select] (システム選択) の使用方法 .....	155
アクセス ポイント名の編集 .....	155
SIM カードのロック .....	155
データ使用量 .....	156
データ使用量の警告の設定 .....	157
データ制限の設定 .....	157
Wi-Fi ネットワークのスキャンと接続 .....	158
Wi-Fi ネットワークの削除 .....	159
Bluetooth .....	160
適応型周波数ホッピング .....	160
セキュリティ .....	160
Bluetooth プロファイル .....	161
Bluetooth の電源の状態 .....	162
Bluetooth 無線の電源 .....	162
Bluetooth を有効にする .....	162
Bluetooth を無効にする .....	162
Bluetooth デバイスを検出する .....	162
Bluetooth の名前の変更 .....	163
Bluetooth デバイスへの接続 .....	163
Bluetooth デバイスのペアリング解除 .....	163
近距離無線通信 .....	164
NFC カードの読み取り .....	164
NFC を使用した情報の共有 .....	165
<b>アクセサリ .....</b>	<b>166</b>
はじめに .....	166
アクセサリ .....	166
デバイスの充電 .....	170
高耐久性ブーツを装着したデバイスをクレードルに挿入する .....	171
バッテリーの充電 .....	172
充電温度 .....	172
デバイスの充電 .....	173
高耐久性ブーツを装着したデバイスをクレードルに挿入する .....	175

バッテリーの充電 .....	175
メイン バッテリーの充電 .....	175
予備バッテリーの充電 .....	175
充電温度 .....	176
5 スロット充電専用クレードル .....	176
デバイスの充電 .....	177
高耐久性ブーツを装着したデバイスをクレードルに挿入する .....	178
バッテリーの充電 .....	179
メイン バッテリーの充電 .....	179
充電温度 .....	179
5 スロット イーサネット クレードル .....	179
デバイスの充電 .....	180
高耐久性ブーツを装着した TC57 をクレードルに挿入する .....	181
バッテリーの充電 .....	182
メイン バッテリーの充電 .....	182
充電温度 .....	182
イーサネット接続の確立 .....	182
LED インジケータ .....	182
4 スロット バッテリー充電器 .....	183
予備バッテリーの充電 .....	183
バッテリーの充電 .....	184
予備バッテリーの充電 .....	184
充電温度 .....	184
高耐久性ブーツ .....	185
取り付け .....	185
スタイラスの取り付け .....	186
クレードルで充電する .....	187
2.5mm オーディオアダプタ .....	189
3.5mm オーディオアダプタ .....	190
高耐久性充電 /USB ケーブル .....	192
TC57 への接続 .....	192
高耐久性ブーツを装着した TC57 への接続 .....	193
USB 通信 .....	194
デバイスの充電 .....	194
高耐久性充電 /USB ケーブルの取り外し .....	195
バッテリーの充電 .....	196
メイン バッテリーの充電 .....	196
充電温度 .....	197
電源 .....	198
トリガ ハンドル .....	199
高耐久性ブーツの取り付け .....	199
オプションのストラップの取り付け .....	201
トリガ ハンドルへのデバイスのセット .....	202

トリガ ハンドルからのデバイスの取り外し .....	203
<b>メンテナンスとトラブルシューティング .....</b>	<b>205</b>
はじめに .....	205
デバイスのメンテナンス .....	205
ディスプレイのベスト プラクティス .....	205
画像の残留 .....	205
バッテリーの安全に関するガイドライン .....	206
クリーニング方法 .....	206
使用可能な洗剤の活性成分 .....	207
有害成分 .....	207
デバイスのクリーニング方法 .....	207
クリーニングの際の注意事項 .....	207
必要なクリーニング材料 .....	208
クリーニングの頻度 .....	208
デバイスのクリーニング .....	208
筐体 .....	208
ディスプレイ .....	208
カメラと出カウインドウ .....	208
コネクタのクリーニング .....	208
クレードルのコネクタのクリーニング .....	209
トラブルシューティング .....	210
デバイス .....	210
<b>技術仕様.....</b>	<b>213</b>
はじめに .....	213
TC57 .....	213

# このガイドについて

## はじめに

このガイドでは、デバイス モバイル コンピュータとアクセサリの使用方法について説明します。



注：このガイドで示している画面とウィンドウの図は、例として示しているものであり、実際の画面と異なる場合があります。

## マニュアルセット

デバイスのマニュアル セットは、ユーザーの個々のニーズに応じた情報を提供しており、次のマニュアルで構成されています。

- 『TC57 タッチ コンピュータ クイック スタート ガイド』 – デバイスの起動方法と実行方法について説明しています。
- 『TC57 タッチ コンピュータ ユーザー ガイド Android 8.1.0 Oreo 用』 – デバイスの使用方法について説明しています。
- 『TC57 Touch Computer Integrator Guide for Android 8.1.0 Oreo』 – デバイスとアクセサリの設定方法について説明しています。


## 構成

このガイドは、以下のモデルを対象としています。

構成	無線	ディスプレイ	メモリ	データ収集オプション	オペレーティングシステム
TC57HO-1	WLAN: 802.11 a/b/g/n/ac/d/h/i/r/k/v <sup>3</sup> /w WPAN: Bluetooth v5.0 Low Energy WWAN: HSPA+/LTE/CDMA	5.0 インチ高解像度 (1280 x 720) LCD	4GB RAM/32GB フラッシュ	2D イメージャ (SE-4710) および NFC 搭載	Google™ モバイル サービス (GMS) 8.1.0
TC57HO-2	WLAN: 802.11 a/b/g/n/ac/d/h/i/r/k/v <sup>3</sup> /w WPAN: Bluetooth v5.0 Low Energy WWAN: HSPA+/LTE	5.0 インチ高解像度 (1280 x 720) LCD	4GB RAM/32GB フラッシュ	2D イメージャ (SE-4710) および NFC 搭載	Android オープンソース プロジェクト (AOSP) 8.1.0 (中国のみ)。

## ソフトウェア バージョン

現在のソフトウェア バージョンを確認するには、次の手順に従います。

1. ステータス バーから下にスワイプして、クイック設定バーを開きます。
2.  > **[System]** (システム) の順にタッチします。
3. **[About phone]** (電話機情報) をタッチします。
4. スクロールして、次の情報を表示します。
  - モデル
  - Android バージョン
  - Android セキュリティ パッチ バージョン
  - カーネル バージョン
  - ビルド番号

デバイスのシリアル番号を確認するには、**[About phone]** (電話機情報) > **[Status]** (ステータス) の順にタッチします。

- シリアル番号

## 章の説明

このガイドは、次の章で構成されています。

- 「[ご使用の前に](#)」では、デバイスを初めて使用する際の手順について説明します。
- 「[デバイスの使用方法](#)」では、デバイスの操作手順について説明します。
- 「[通話](#)」では、音声通話の手順について説明します。
- 「[アプリケーション](#)」では、デバイスにインストールされているアプリケーションの使用方法について説明します。
- 「[データ収集](#)」では、イメージャを使用してバーコード データを収集する手順について説明します。
- 「[無線](#)」では、さまざまな無線オプションについて説明します。
- 「[アクセサリ](#)」では、デバイス用のアクセサリの使用方法について説明します。
- 「[メンテナンスとトラブルシューティング](#)」では、クリーニングの手順と、デバイスの操作中に発生する問題に対するトラブルシューティング ソリューションについて説明します。
- 「[技術仕様](#)」では、デバイスの技術仕様について説明します。

## 表記規則

本書では、次の表記規則を使用しています。

- 太字は、次の項目の強調に使用します。
  - ダイアログ ボックス名、ウィンドウ名、画面名
  - ドロップダウン リスト名、リスト ボックス名
  - チェック ボックス名、ラジオ ボタン名
  - 画面上のアイコン
  - キーパッド上のキー名
  - 画面上のボタン名

- 中黒 (●) は、次を示します。
  - 実行する操作
  - 代替方法のリスト
  - 実行する必要があるが、順番どおりに実行しなくてもかまわない手順
- 順番どおりに実行する必要がある手順 ( 順を追った手順 ) は、番号付きのリストで示されます。

## 関連文書

- 『TC57 タッチ コンピュータ クイック スタート ガイド』 (p/n MN-003234-xx)
- 『TC57 タッチ コンピュータ規制ガイド』 (p/n MN003251-xx)
- 『TC57 Touch Computer Integrator Guide for Android 8.1.0 Oreo』 (p/n MN-003232-xx)
- 『RS507 Hands-free Imager Product Reference Guide』 (p/n 72E-12082-xx)
- 『DS36X8 プロダクト リファレンス ガイド』 (p/n MN-002689-xx)
- 『RS6000 ユーザー ガイド』 (MN-002704-xx)

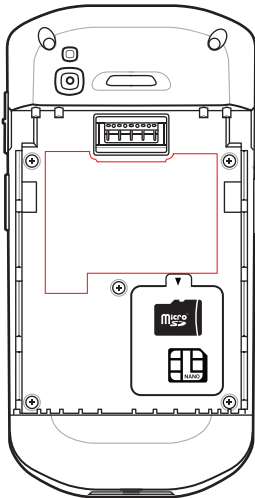
本書およびすべてのガイドの最新バージョンは、次のサイトから入手可能です。[www.zebra.com/support](http://www.zebra.com/support)

## サービスに関する情報

本機器に問題が発生した場合、地域担当のカスタマー サポートにお問い合わせください。お問い合わせ先は、次のサイトに記載されています。[www.zebra.com/support](http://www.zebra.com/support)

サポートへのお問い合わせの際は、以下の情報をご用意ください。

- 装置のシリアル番号 ( 製造ラベルに記載 )
- モデル番号または製品名 ( 製造ラベルに記載 )
- ソフトウェアのタイプとバージョン番号
- IMEI 番号



カスタマー サポートは、お客様のお問い合わせに対して、サポート合意書に指定された期限までに、電子メール、または電話で回答します。

カスタマー サポートが問題を解決できない場合、修理のため機器をご返送いただくことがあります。その際に詳しい手順をご案内します。弊社は、承認済みの梱包箱を使用せずに発生した搬送時の損傷について、その責任を負わないものとします。装置を不適切に移動すると、保証が無効になる場合があります。修理のために発送する際には、事前に SIM カードや microSD カードをデバイスから取り外してください。

ご使用の製品をビジネス パートナーから購入された場合、サポートについては購入先のビジネス パートナーにお問い合わせください。

## マニュアルに関するフィードバック

このガイドについてのご意見、ご質問またはご提案がある場合、[EVM-Techdocs@zebra.com](mailto:EVM-Techdocs@zebra.com) まで電子メールにてご連絡ください。

# ご使用前に

## はじめに

この章では、デバイスを初めて使用する際の手順について説明します。

## パッケージの開梱

1. デバイスを覆っている保護材を慎重にすべて取り外し、後で保管や搬送に使えるように、梱包箱を保管しておきます。
2. 次のものが含まれていることを確認します。
  - タッチ コンピュータ
  - 4,150mAh (通常)/3,840mAh (最小)、15.89 Wh PowerPrecision+ リチウム イオン バッテリ
  - 規制ガイド
3. 機器に破損がないか確認してください。不足または破損している機器がある場合、ただちにグローバルカスタマー サポート センターにお問い合わせください。
4. デバイス を初めて使用する前に、スキャン ウィンドウ、ディスプレイ、カメラ ウィンドウを覆っている搬送保護フィルムを剥がしてください。



## 機能

図 1 正面図

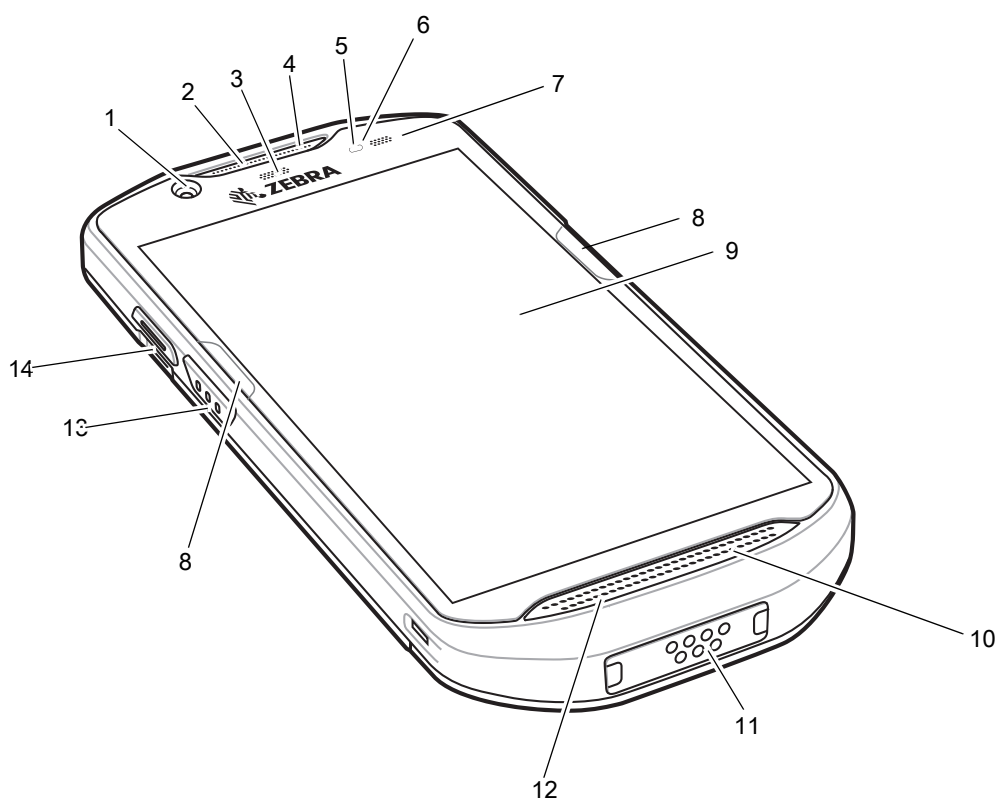


表 1 正面図の機能

番号	項目	機能
1	前面カメラ	写真やビデオを撮影します。
2	レシーバ	ハンドセット モードでのオーディオ再生に使用します。
3	データ収集 LED	データ収集ステータスを示します。
4	マイク	スピーカフォン モードでの通信に使用します。
5	近接センサ	ハンドセット モードでディスプレイをオフにする場合の近接状態を判別します。
6	光センサ	ディスプレイ バックライトの輝度をコントロールするために、周辺光を判別します。
7	充電 / 通知 LED	充電中のバッテリー充電状態とアプリケーションから生成された通知を示します。
8	ActiveEdge タッチ ゾーン	ディスプレイの周辺に配置されたプログラミング可能なダイナミック ソフト キー ( 頻繁に使用するアプリケーションや機能にアクセスできるワンタッチ アクセス対応 )。
9	タッチ スクリーン	デバイスの操作に必要なすべての情報が表示されます。

表 1 正面図の機能 ( 続き )

番号	項目	機能
10	スピーカ	ビデオと音楽の再生にオーディオを出力します。スピーカフォンモードで音声を出力します。
11	インタフェース コネクタ	ホストとクライアントの USB 通信、ケーブルやアクセサリを使用したオーディオおよびデバイスの充電に使用します。 注意：適切なデバイスシーリングを確保するために、インタフェースコネクタを取り外さないでください。
12	マイク	ハンドセットモードでの通信に使用します。
13	スキャン ボタン	データの収集を開始します ( プログラム可能 )。
14	PTT ボタン	プッシュトゥートーク通信を開始します ( プログラム可能 )。

図 2 背面図

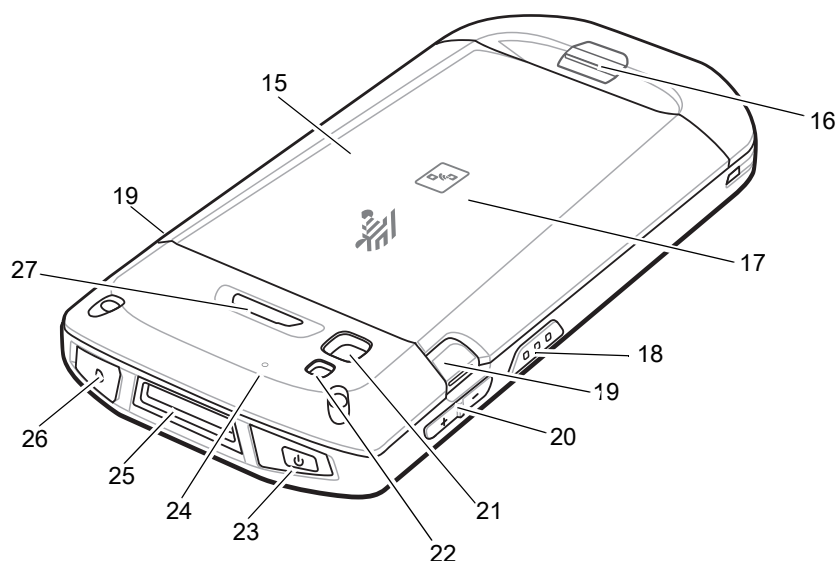


表 2 背面図の機能

番号	項目	機能
15	バッテリー	4,300mAh ( 通常 )/4,050mAh ( 最小 ) PowerPrecision+ リチウムイオン バッテリー
16	ベーシックハンドストラップマウント	ベーシックハンドストラップアクセサリ用の取り付けポイントになります。
17	NFC アンテナ	他の NFC 対応デバイスとの通信を提供します。
18	スキャン ボタン	データの収集を開始します ( プログラム可能 )。
19	バッテリー リリース ラッチ	押して、バッテリーを取り外します。
20	音量上 / 下ボタン	オーディオの音量を上げたり下げたりします ( プログラム可能 )。
21	背面カメラ	写真やビデオを撮影します。
22	カメラ フラッシュ	カメラの照明に使用します。

表 2 背面図の機能 ( 続き )

番号	項目	機能
23	電源ボタン	ディスプレイをオン / オフします。ボタンを長押ししてリセット、電源オフまたはバッテリー交換します。
24	マイク	雑音消去機能に使用します。
25	スキャナ ウィンドウ	イメージャを使用したデータ収集に使用します。
26	ヘッドセット ジャック	ヘッドセットへの音声の出力に使用します。
27	プログラム可能ボタン	プログラム設定できます。

## 設定

この手順は、初めてデバイスを使用するときに実行します。

1. micro Secure Digital (SD) カードを取り付けます ( オプション )。
2. nano SIM カードを取り付けます ( オプション )。
3. ハンドストラップを取り付けます ( オプション )。
4. バッテリーを取り付けます。
5. デバイスを充電します。
6. デバイスの電源をオンにします。

### SIM カードの取り付け



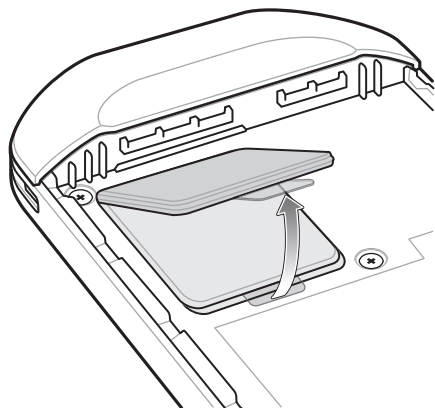
注： nano SIM カードのみを使用してください。



注意： SIM カードを損傷しないように、静電気放電 (ESD) に関する注意事項に従ってください。ESD に関する注意事項には、ESD マット上での作業や、作業する場合の適切な接地などが記載されています。

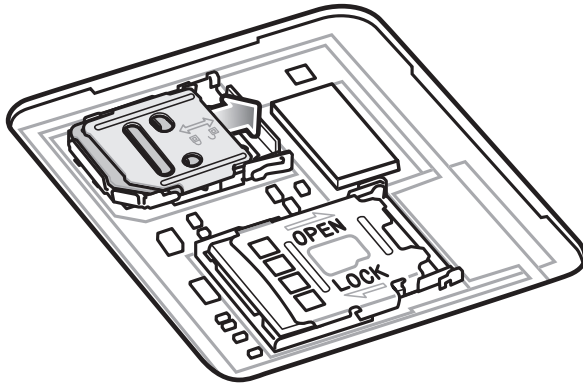
1. アクセス カバーを取り外します。

図 3 アクセスドアの取り外し



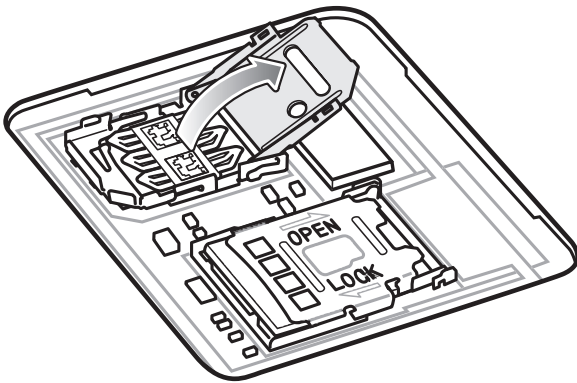
2. SIM カードホルダーをスライドさせてロックを解除します。

図4 SIMカードホルダーのロック解除



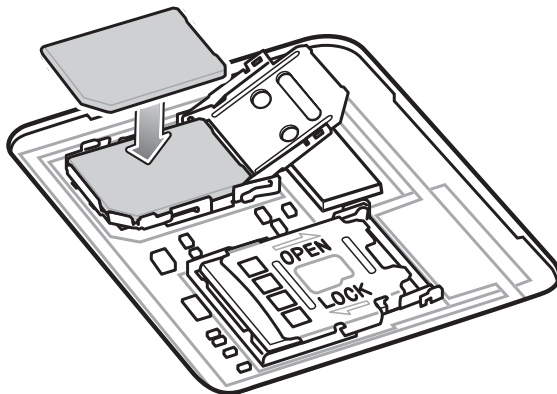
3. SIMカードホルダードアを持ち上げます。

図5 SIMカードホルダーを持ち上げる



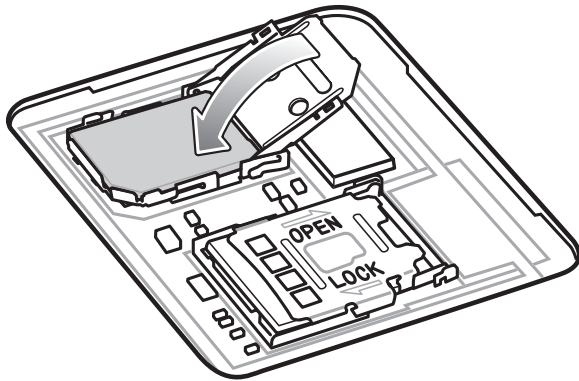
4. カードホルダーに nano SIM カードを下向きに置きます。

図6 SIMカードをホルダーに置く



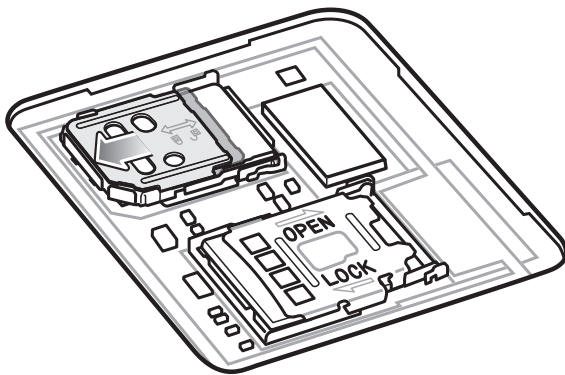
5. SIMカードホルダードアを閉じます。

図7 SIMカードホルダードアを閉じる



6. SIMカードホルダードアをスライドさせてロックします。

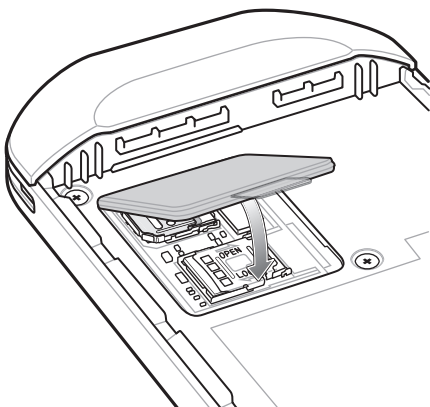
図8 SIMカードホルダードアをロックする



注意: 適切なデバイスの密閉状態を確保するために、アクセスドアは元の位置にしっかりと取り付ける必要があります。

7. アクセスドアを元に戻します。

図9 アクセスドアを元に戻す



## microSD カードの取り付け

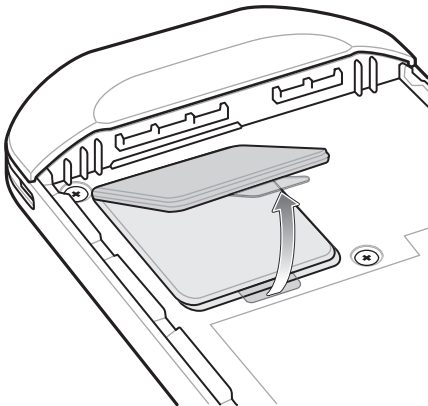
microSD カード スロットを不揮発性のセカンダリストレージとして使用できます。スロットはバッテリーパックの下にあります。詳細な情報については、カードに添付されているマニュアルを参照し、メーカー推奨の使用方法に従ってください。



**注意:** microSD カードを損傷しないように、静電気放電 (ESD) に関する注意事項に従ってください。ESD に関する注意事項には、ESD マット上での作業や、作業する場合の適切な接地などが記載されています。

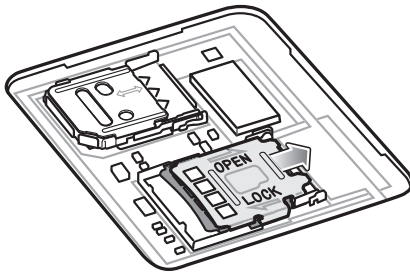
1. アクセスドアを持ち上げます。

図 10 アクセスドアの持ち上げ



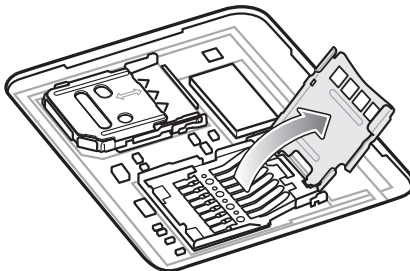
2. microSD カードホルダーをスライドさせてロックを解除します。

図 11 microSD カードホルダーのロック解除



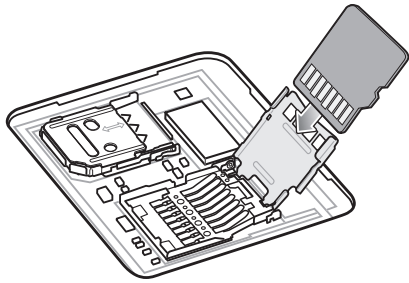
3. microSD カードホルダーを持ち上げます。

図 12 microSD カードホルダーを持ち上げる



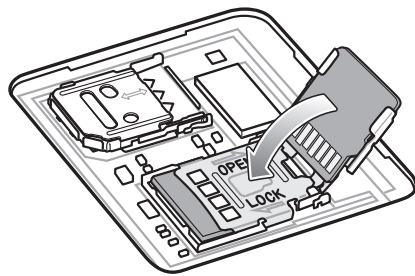
4. microSD カードをカードホルダードアに挿入して、ドアの両端にある固定タブ内部にスライドさせます。

図 13 microSD カードをホルダーに挿入する



5. microSD カードホルダーを閉じ、スライドさせてロックします。

図 14 アクセスドアを再度取り付ける

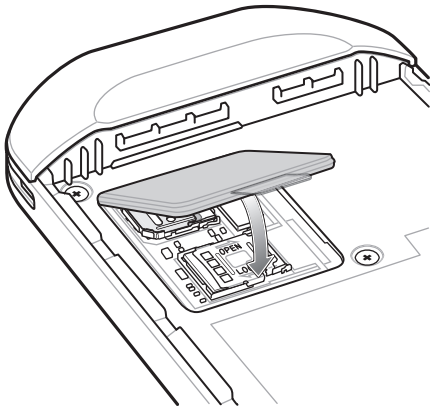


**注意:** 適切なデバイスの密閉状態を確保するために、アクセスドアは元の位置にしっかりと取り付ける必要があります。



6. アクセスドアを元に戻します。

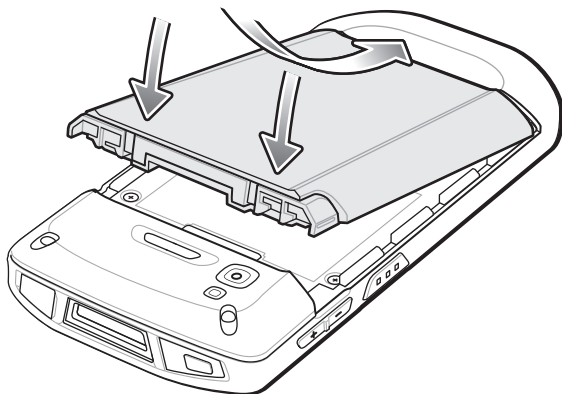
図 15 アクセスドアを元に戻す



## バッテリーの取り付け

1. デバイスの背面のバッテリー収納部に、バッテリーを取り付けます。この場合、バッテリーの下側を先に入れます。

図 16 バッテリーの下側をバッテリー収納部に挿入



2. バッテリー リリース ラッチが所定の位置に収まるまで、バッテリーをバッテリー収納部に押し込みます。

## バッテリーの充電

デバイスを初めて使用する場合、まずバッテリー充電/通知 LED が緑色に点灯するまで、メイン バッテリーを充電します。デバイスを充電するには、ケーブルまたはクレードルを使って適切な電源に接続してください。デバイスで使用可能なアクセサリの詳細については、「[アクセサリ](#)」を参照してください。

バッテリーが完全に空になっている場合、約 2.5 時間で 90%、約 3 時間で 100% 充電されます。



**注：**多くの場合、日常的な使用に対しては 90% までの充電で充分です。100% にフル充電すると、約 14 時間連続で使用できます。

最も速く充電するには、Zebra の充電アクセサリおよびバッテリーのみを使用してください。デバイスをスリープ モードにして、室温でバッテリーを充電します。

バッテリーの充電は、5 ~ 40°C (41 ~ 104°F) の温度で行います。デバイスやアクセサリのバッテリー充電は、常に安全かつ適切に行われます。高温時 (約 +37°C (+98°F) など) には、デバイスやアクセサリは、バッテリーを適切な温度に保つため、短時間バッテリーの充電を中止したり再開したりすることがあります。デバイスやアクセサリで異常な温度のため充電を中止した場合には、LED が点灯するとともにディスプレイに通知が表示されます。







メイン バッテリーを充電するには、次の手順に従います。

1. 充電アクセサリを適切な電源に接続します。
2. デバイスをクレードルにセットするか、ケーブルを接続します。デバイスの電源がオンになり、充電が開始されます。充電中は、充電/通知 LED が黄色に点滅し、充電が完了すると緑色に変わります。



## 充電インジケータ

表 3 充電 / 通知 LED 充電インジケータ

状態	LED	意味
消灯		デバイスは充電されていません。デバイスが正しくクレードルにセットされていないか、電源に接続されていません。充電器 / クレードルに電源が供給されていません。
黄色でゆっくり点滅 (4 秒に 1 回点滅)		デバイスは充電中です。
赤色でゆっくり点滅 (4 秒に 1 回点滅)		デバイスは充電中ですが、バッテリーの寿命が近づいています。
緑色で点灯		充電が完了しました。
赤色で点灯		充電を完了しましたが、バッテリーの寿命が近づいています。
黄色で速く点滅 (1 秒に 2 回点滅)		充電エラーです。次のような場合にこの状態になります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 温度が低すぎる、または高すぎる。</li> <li>• 充電完了までの時間が長すぎる (通常は 8 時間)。</li> </ul>
赤色で速く点滅 (1 秒に 2 回点滅)		充電エラーですが、バッテリーの寿命が近づいています。次のような場合に、この状態になります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 温度が低すぎる、または高すぎる。</li> <li>• 充電完了までの時間が長すぎる (通常は 8 時間)。</li> </ul>

## Google アカウント設定



注：Google™ アカウントを設定するには、デバイスがインターネットに接続されている必要があります。Google アカウントを必要とするのは、GMS ソフトウェアがインストールされているデバイスのみです。

デバイスを初めて起動すると、セットアップ ウィザードが表示されます。画面に表示される指示に従って Google アカウントの設定、Google Play™ ストアからアイテムを購入するための Google Pay™ の設定を行い、個人情報を入力して、バックアップ / リストア機能を有効にします。

## Zebra 見える化 サービス

デバイスは、システム管理者にデバイス分析を収集し提供しています。初めてデバイスが起動したとき (または工場出荷時リセット後)、Zebra サービス 契約画面が表示されます。

図 17 Zebra サービス



[Device Data] (デバイス データ) スイッチをタッチして、デバイスの分析データ送信を無効にします。

## バッテリーの交換



注意: バッテリーの交換中は、microSD カードの挿入や取り出しを行わないでください。

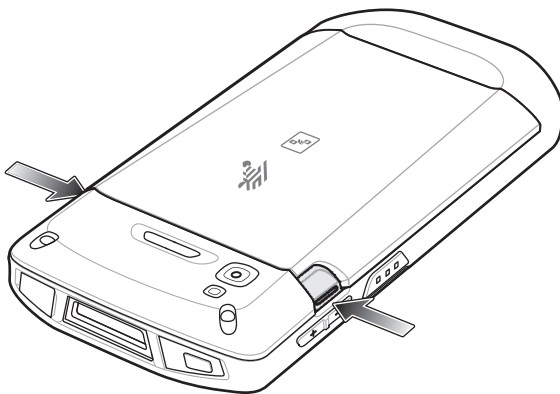
1. メニューが表示されるまで、電源ボタンを押し続けます。
2. [Battery Swap] (バッテリー交換) をタッチします。
3. 画面に表示される指示に従います。



警告: 赤色の LED が完全に消灯するまで、バッテリーを取り外さないでください。データが失われる可能性があります。

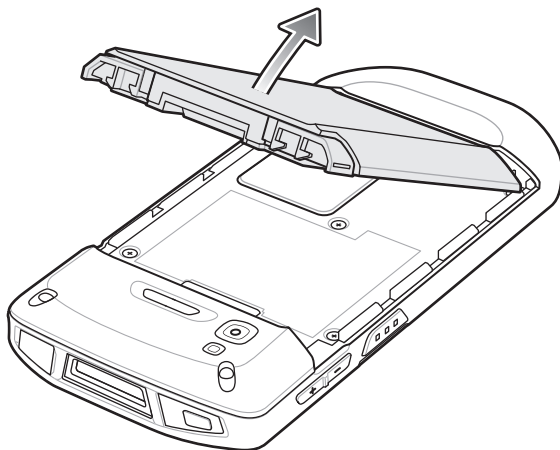
4. 赤色の LED が完全に消灯するのを待ちます。
5. ハンドストラップが取り付けられている場合、ハンドストラップを外します。
6. 2つのバッテリー ラッチを押し入れます。

図 18 バッテリー ラッチを押す



7. バッテリーをデバイスから取り出します。

図 19 バッテリーの取り出し



注意: 75 秒以内にバッテリーを交換します。75 秒経過するとデバイスが再起動し、データが失われる可能性があります。

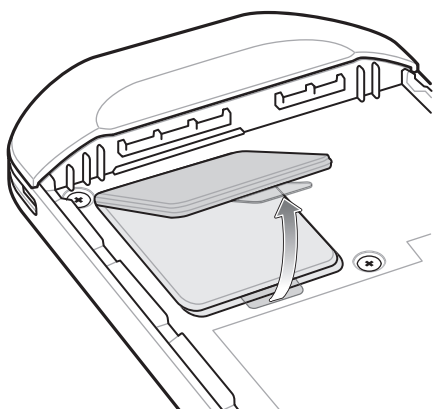
8. デバイスの背面のバッテリー コンパートメントに、交換用のバッテリーを取り付けます。この場合、バッテリーの下側を先に入れます。
9. バッテリー リリース ラッチが固定されるまで、バッテリーを押し下げます。
10. 必要に応じて、ハンドストラップを元に戻します。
11. 電源ボタンを押して、デバイスの電源をオンにします。

## microSD カードの交換

microSD カードを交換するには、次の手順に従います。

1. メニューが表示されるまで、電源ボタンを押し続けます。
2. **[Power off]** (電源オフ) をタッチします。
3. **[OK]** をタッチします。
4. ハンドストラップが取り付けられている場合、ハンドストラップ クリップをデバイスの上にスライドさせ、持ち上げます。
5. 2つのバッテリー ラッチを押し入れます。
6. バッテリーをデバイスから取り出します。
7. アクセス ドアを持ち上げます。

図 20 アクセス ドアの取り外し



8. microSD カードをホルダーから取り外します。

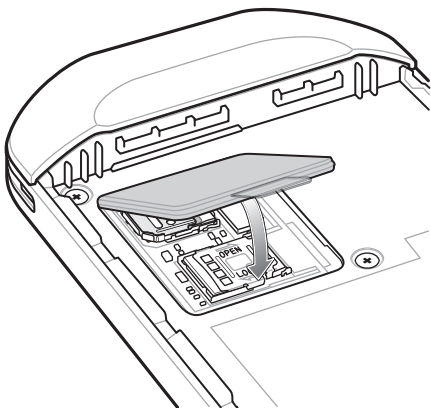
9. 交換用の microSD カードを取り付けます。



注意: 適切なデバイスの密閉状態を確保するために、アクセスドアは元の位置にしっかりと取り付ける必要があります。

10. アクセス ドアを元に戻します。

図 21 アクセス ドアを元に戻す



11. デバイスの背面のバッテリー収納部に、バッテリーを取り付けます。この場合、バッテリーの下側を先に入れます。

12. バッテリー リリース ラッチが固定されるまで、バッテリーを押し下げます。

13. 必要に応じて、ハンドストラップを元に戻します。

14. 電源ボタンを長押しして、デバイスの電源をオンにします。

## SIM カードの交換

SIM カードを交換するには、次の手順に従います。

1. メニューが表示されるまで、電源ボタンを押し続けます。

2. **[Power off]** (電源オフ) をタッチします。

3. **[OK]** をタッチします。

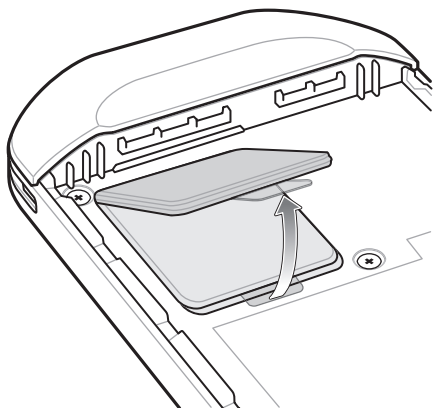
4. ハンドストラップが取り付けられている場合、ハンドストラップクリップをデバイスの上にスライドさせ、持ち上げます。

5. 2つのバッテリーラッチを押し入れます。

6. バッテリーをデバイスから取り出します。

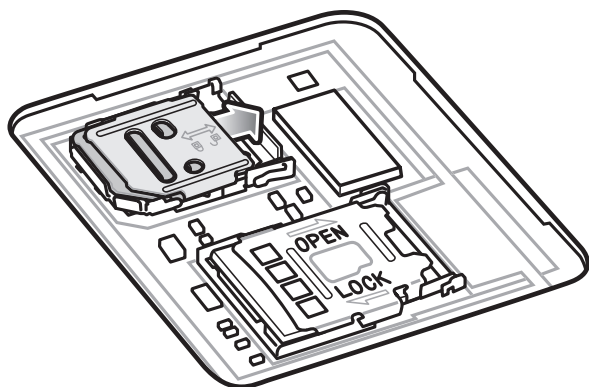
7. アクセスドアを持ち上げます。

図 22 アクセスドアの取り外し



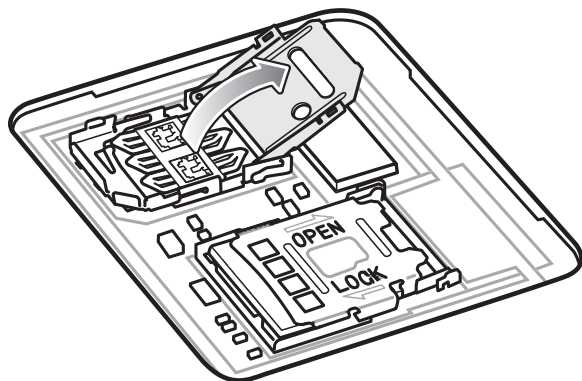
8. SIM カードホルダーのドアをスライドさせてロックを解除します。

図 23 SIM カードホルダーのドアのロック解除



9. SIM カードホルダードアを持ち上げます。

図 24 SIM カードホルダーのドアを持ち上げる

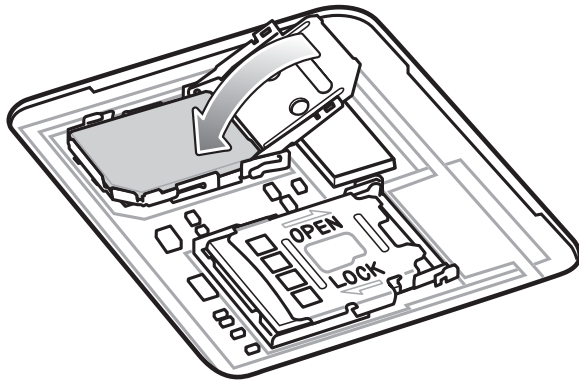


10. SIM カードを取り外します。

11. カードホルダーに新しい SIM カードを下向きに取り付けます。

12. SIM カードホルダーを閉じます。

図 25 SIM カードホルダーのドアを閉じる



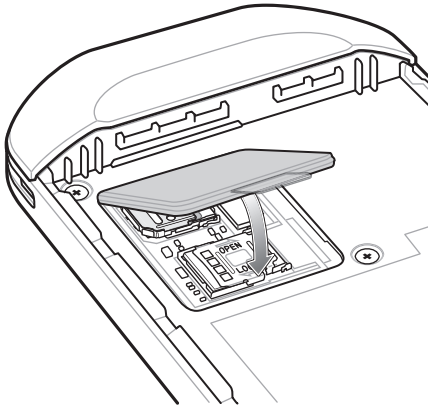
13. SIM カードホルダーのドアをスライドさせてロックします。



注意: 適切なデバイスの密閉状態を確保するために、アクセスドアは元の位置にしっかりと取り付ける必要があります。

14. アクセスドアを元に戻します。

図 26 アクセスドアを元に戻す



15. デバイスの背面のバッテリー収納部に、バッテリーを取り付けます。この場合、バッテリーの下側を先に入れます。



16. バッテリーリリースラッチが所定の位置に固定されるまで、バッテリーを押し下げます。

17. 必要に応じて、ハンドストラップを元に戻します。

18. 電源ボタンを長押しして、デバイスの電源をオンにします。

## デバイス設定へのアクセス

デバイス設定にアクセスするには、次の手順に従います。


1. ステータスバーから下にスワイプしてクイック設定バーを開き、 をタッチします。
2. ホーム画面で、画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。

## バッテリー管理



注：バッテリー充電レベルを確認する前に、すべての AC 電源 (クレードルまたはケーブル) からデバイスを取り外します。

メイン バッテリーの充電状態を確認するには、[Settings] (設定) を開いて、[System] (システム) > [About phone] (電話機情報) > [Battery Information] (バッテリー情報) の順にタッチします。

または、画面の下から上にスワイプし、 にタッチして [Battery Manager] (バッテリー マネージャ) アプリを開きます。[Advanced info] (詳細情報) にタッチします。「83 ページの「バッテリー マネージャ」」を参照してください。

[Battery present status] (バッテリーの現在の状態) には、バッテリーが装着されているかが示され、[Battery level] (バッテリー レベル) にはバッテリー充電量 (フル充電と比較した割合) が表示されます。バッテリーのパーセンテージは、クイック アクセス パネルのバッテリー アイコンの隣にも表示できます。ステータスバーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開きます。

## バッテリー使用量の監視

[Battery] (バッテリー) 画面には、バッテリーの充電の詳細、電源管理オプション、およびバッテリー電力の多くを消費しているアプリケーションのリストが表示されます。

電源管理オプションを使用してバッテリーの寿命を延ばすか、またはアプリにタッチして消費電力の詳細を表示します。アプリによって、表示される情報は異なります。一部のアプリには、設定画面を開くボタンが付いていて、電力消費を調整できるものもあります。[DISABLE] (無効にする) または [FORCE CLOSE] (強制停止) ボタンを使用して、電力消費が多すぎるアプリを停止します。


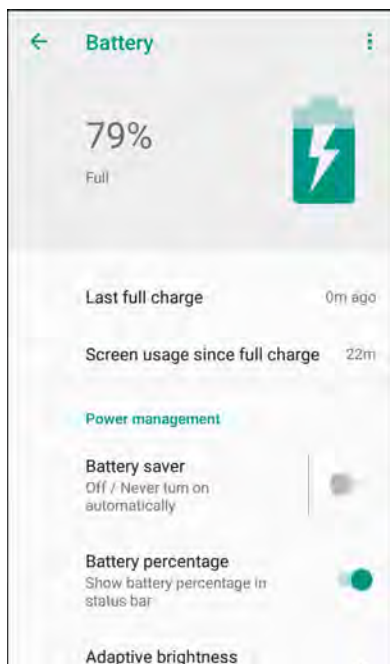
1. ステータスバーから下にスワイプしてクイック設定バーを開き、 をタッチします。
2. [Battery] (バッテリー) をタッチします。

図 27 [Battery] (バッテリー) 画面



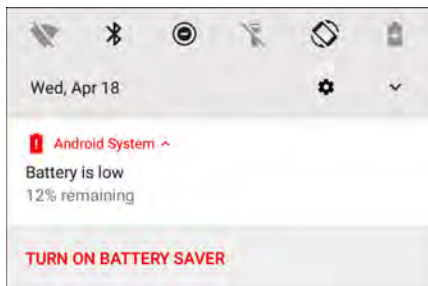
## 低バッテリー通知

バッテリー充電残量が 18% 未満になると、デバイスを電源に接続するように指示する通知がデバイスに表示されます。ユーザーは、次の充電アクセサリのいずれかを使用してバッテリーを充電する必要があります。

バッテリー充電残量が 10% 未満になると、デバイスを電源に接続するように指示する通知がデバイスに表示されます。いずれかの充電アクセサリを使用してバッテリーを充電してください。

バッテリー充電残量が 4% 未満になると、デバイスの電源がオフになります。いずれかの充電アクセサリを使用してバッテリーを充電してください。

図 28 低バッテリー通知



## バッテリー最適化

バッテリーを節約するためのヒントを以下に示します。

- DataWedge 起動プログラムのプロファイルを無効にします。このデバイスについては、『Integrator Guide for Android 8.1.0』を参照してください。
- しばらく使用しなかった場合には画面がオフになるように設定します。
- 画面の明るさを抑えます。
- 無線を使用していないときには、すべての無線機能をオフにします。
- 電子メール、カレンダー、連絡先、および他のアプリの自動同期機能をオフにします。
- 音楽やビデオなどのアプリを使用するとデバイスがサスペンド状態にならないため、これらのアプリケーションの使用は最小限に抑えてください。
- バッテリーセーバーモードを有効にします。ステータスバーから下にスワイプして、[Battery saver](バッテリーセーバー)をタッチします。

## 無線通信をオフにする

すべての無線をオフにするには、次の手順に従います。

1. ステータスバーから下にスワイプして、クイック設定パネルを開きます。
2. [Airplane mode] (機内モード) をタッチします。すべての無線がオフになっていることを示す飛行機のアイコン ✈ がステータスバーに表示されます。

## 日付と時刻の設定

日付と時刻は、デバイスが携帯電話ネットワークに接続されると、NITZ サーバーを使用して自動的に同期されます。携帯電話ネットワークに接続されていない場合、または無線 LAN でネットワーク タイム プロトコル (NTP) がサポートされていない場合、ユーザーはタイムゾーンの設定または日時の設定のみする必要があります。



日時を設定するには、次の手順に従います。

1. ステータスバーから下にスワイプしてクイック設定バーを開き、**⚙** をタッチします。
2. **[System] (システム) > [Date & time] (日付/時刻)** の順にタッチします。
3. **[Automatic date & time] (日付と時刻の自動同期)** をタッチして、日付と時刻の自動同期を無効にします。
4. **[Automatic time zone] (タイムゾーンの自動設定)** をタッチして、タイムゾーンの自動同期を無効にします。
5. **[Set date] (日付の設定)** をタッチします。
6. カレンダーで、今日の日付を設定します。
7. **[OK]** をタッチします。
8. **[Set time] (時間の設定)** をタッチします。
9. 緑色の丸いアイコンをタッチし、現在の時間までドラッグして放します。
10. 緑色の丸いアイコンをタッチし、現在の分までドラッグして放します。
11. **[AM] (午前)** または **[PM] (午後)** をタッチします。
12. **[OK]** をタッチします。
13. **[Select time zone] (タイムゾーンの選択)** をタッチします。
14. リストから現在のタイムゾーンを選択します。
15. **○** をタッチします。

## ディスプレイの設定

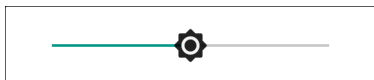
ディスプレイの設定を使用して、画面の輝度の変更、ナイトライトの有効化、背景画像の変更、画面の回転の有効化、スリープ時間の設定、およびフォントサイズの変更をします。

### 画面の輝度の設定

タッチスクリーンを使用して画面の輝度を手動で設定するには、次の手順に従います。

1. ステータスバーから2本の指で下にスワイプして、クイックアクセスパネルを開きます。
2. アイコンをスライドさせて画面の輝度レベルを調整します。

図 29 輝度スライダ



内蔵光センサでデバイスが画面の明るさを自動的に調整できるようにするには、次の手順に従います。

1. ステータスバーから下にスワイプしてクイック設定バーを開き、**⚙** をタッチします。
2. **[Display] (ディスプレイ)** をタッチします。

3. 無効になっている場合、**[Adaptive brightness]** (輝度の自動調整) をタッチして、輝度が自動的に調整されるようにします。  
デフォルトでは、**[Adaptive brightness]** (輝度の自動調整) は有効になっています。無効にするには、スイッチを切り替えます。
4.  をタッチします。

## 画面回転の設定

デフォルトでは、画面回転は有効になっています。

画面回転を無効にするには、次の手順に従います。

1. ステータスバーから下にスワイプしてクイック設定バーを開き、**⚙** をタッチします。
2. **[Display]** (ディスプレイ) > **[Advanced]** (詳細) の順にタッチします。
3. **[Auto-rotate screen]** (画面自動回転) をタッチします。



注：ホーム画面の回転を変更するには、「[34 ページの「ホーム画面回転の設定」](#)」を参照してください。

4.  をタッチします。

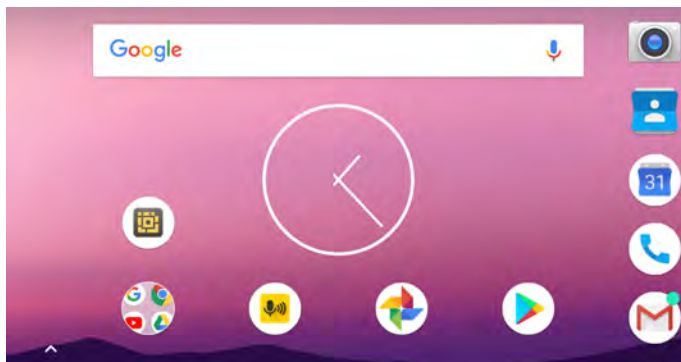
## ホーム画面回転の設定

デフォルトでは、ホーム画面の回転は無効になっています。

ホーム画面の回転を有効にするには、次の手順に従います。

1. オプションが表示されるまで、ホーム画面を長押しします。
2. **[HOME SETTINGS]** (ホームの設定) をタッチします。
3. **[Allow Home screen rotation]** (ホーム画面の回転を許可する) スイッチをタッチします。
4.  をタッチします。
5. デバイスを回転させます。

図 30 ホーム画面の回転



## 画面のタイムアウトの設定

画面のスリープ時間を設定するには、次の手順に従います。

1. ステータスバーから下にスワイプしてクイック設定バーを開き、**⚙️** をタッチします。
2. **[Display]** (ディスプレイ) > **[Advanced]** (詳細) > **[Sleep]** (スリープ) の順にタッチします
3. スリープ値を 1 つ選択します。
  - **[15 seconds]** (15 秒)
  - **[30 seconds]** (30 秒)
  - **[1 minute]** (1 分) (デフォルト)
  - **[2 minutes]** (2 分)
  - **[5 minutes]** (5 分)
  - **[10 minutes]** (10 分)
  - **[30 minutes]** (30 分)
4. **○** をタッチします。

## フォント サイズの設定

システム アプリのフォント サイズを設定するには、次の手順に従います。

1. ステータスバーから下にスワイプしてクイック設定パネルを開き、**⚙️** をタッチします。
2. **[Display]** (ディスプレイ) > **[Advanced]** (詳細) の順にタッチします。
3. **[Font size]** (フォント サイズ) をタッチします。

図 31 フォント設定




4. フォント サイズ値を 1 つ選択します。
  - [Small] (小)
  - [Default] (デフォルト)
  - [Large] (大)
  - [Largest] (最大)
5. ○ をタッチします。

## 周辺光で調整されるディスプレイ

[Ambient display] (周辺光で調整されるディスプレイ) 設定では、通知を受信したときに画面が開きます。

この機能を無効にするには、次の手順に従います。

1. ステータス バーから下にスワイプしてクイック設定バーを開き、 をタッチします。
2. **[Display] (ディスプレイ)** > **[Advanced] (詳細)** の順にタッチします。
3. **[Ambient display] (周辺光で調整されるディスプレイ)** にタッチします。
4. **[When to Show] (表示するタイミング)** セクションで、スイッチを使用してオプションを有効または無効にします。
5. ○ をタッチします。

## タッチ パネル モード

デバイスは、指、導電性チップのスタイラス、または手袋をはめた指によるタッチを検出できます。



注：医療用のラテックス、皮革、綿、または羊毛製の手袋を使用できます。  
最適なパフォーマンスを得るためには、Zebra 認定スタイラスをご使用ください。


1. ステータス バーから下にスワイプしてクイック設定バーを開き、 をタッチします。
2. **[Display] (ディスプレイ)** > **[Advanced] (詳細)** の順にタッチします。
3. **[Touch panel mode] (タッチ パネル モード)** をタッチします。


図 32 [Screen Protector Mode] (スクリーン保護シート モード) のダイアログ ボックス



4. 以下の中から選択します。
  - a. **[Glove and Finger (Screen Protector off)]** (手袋および指 (スクリーン保護シートなし)): スクリーン保護シートが貼られていない画面で、指や手袋をはめた指を使用できます。
  - b. **[Stylus and Finger (Screen Protector off)]** (スタイラスおよび指 (スクリーン保護シートなし)): スクリーン保護シートが貼られていない画面で、指やスタイラスを使用できます。
  - c. **[Finger Only (Screen Protector off)]** (指のみ (スクリーン保護シートなし)) – スクリーン保護シートが貼られていない画面では、指を使用します。
  - d. **[Glove and Finger (Screen Protector on)]** (手袋および指 (スクリーン保護シートあり)): スクリーン保護シートが貼られた画面で、指や手袋をはめた指を使用できます。
  - e. **[Stylus and Finger (Screen Protector on)]** (スタイラスおよび指 (スクリーン保護シートあり)): スクリーン保護シートが貼られた画面で、指やスタイラスを使用できます。
5. ○ をタッチします。



## 通知 LED の設定

充電/通知 LED は、電子メールや VoIP などのアプリケーションでプログラム可能な通知が生成された場合、またはデバイスが Bluetooth デバイスに接続されたことを示す場合に青色に点灯します。デフォルトでは、LED 通知は有効になっています。通知設定を変更するには、次を実行します。

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2. **[Apps & notifications]** (アプリと通知) > **[Notifications]** (通知) の順にタッチします。
3. **[Blink light]** (ライトを点滅) をタッチして、通知をオンまたはオフに切り替えます。
4. ○ をタッチします。

## キャスト

**[Cast]** (キャスト) を使用して、Miracast 対応無線ディスプレイにデバイスの画面をミラー表示します。

1. ステータス バーから下にスワイプしてクイック設定バーを開き、 をタッチします。
2. **[Connected Devices]** (機器接続) をタッチします。
3. **[Cast]** (キャスト) をタッチします。
4.  > **[Enable wireless display]** (無線ディスプレイを有効にする) をタッチします。デバイスは近くの Miracast デバイスを検索してリスト表示します。
5. デバイスをタッチしてキャストを開始します。
6. ○ をタッチします。

## 一般的なサウンド設定

**[Sound]** (サウンド) 設定を使用して、メディアおよびアラームの音量を設定します。

サウンド設定にアクセスするには、次の手順に従います。


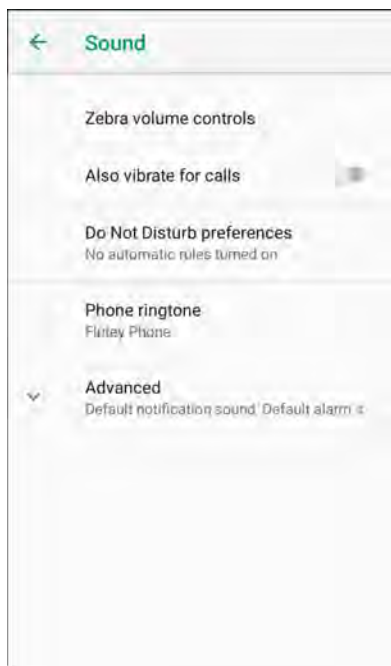



1. ステータス バーから下にスワイプしてクイック設定バーを開き、 をタッチします。
2. **[Sound]** (サウンド) をタッチします。
3. オプションにタッチしてサウンドを設定します。

図 33 [Sounds] (サウンド) 画面



- **Zebra の音量コントロール**
  - **[Ring volume] (着信音音量)** – 着信音の音量を制御します。
  - **[Media volume] (メディアの音量)** – 音楽、ゲーム、メディアの音量を制御します。
  - **[Alarm volume] (アラームの音量)** – アラーム時計の音量を制御します。
  - **[Notifications volume] (通知の音量)** – 通知の音量を制御します。
  - **[Scanner volume] (スキャナ音量)** – スキャナの音量を制御します。
  - **音量の事前設定**
    -  – 着信音、通知、およびスキャナをミュートにします。デバイスは音も振動も出さなくなります。
    -  – メディアおよびアラーム以外のすべての音をミュートにします。振動モードは動作します。
    -  – ユーザーが指定したレベルですべてのサウンドが有効になります。
- **[Also vibrate for calls] (着信時に振動)** – オンまたはオフを切り替えます。
- **[Do Not Disturb preferences] (非通知設定)** – 音と振動の一部またはすべてをミュートします。
  - **[Priority only allows] (優先通知のみ許可)** – 次の項目の優先順位を設定するために使用します。
    - **[Reminders] (リマインダ)** – オンとオフを切り替えます。
    - **[Events] (イベント)** – オンとオフを切り替えます。
    - **[Alarms] (アラーム)** – 常に有効になっています。
    - **[Messages] (メッセージ)** – 全員、星付きの連絡先、すべての連絡先からのメッセージを許可するかしないかを選択します。連絡先に星を付けるには、連絡先アプリを使用します。
    - **[Calls] (通話)** – 全員許可、星付きの連絡先の許可、すべての連絡先からの通話を許可するかしないかを選択します。連絡先に星を付けるには、連絡先アプリを使用します。
    - **[Repeat callers] (繰り返しの発信者)** – 同じ人から 15 分以内に再び着信があった場合、着信音を鳴らすかどうかを選択します。

- 通知表示のブロック
  - **[Block when screen is on]** (画面がオンのときにブロック) – このオプションを選択すると、デバイスを使用しているときに、通知が画面に表示されることを防止します (通知ののぞき見防止)。
  - **[Block when screen is off]** (画面がオフのときにブロック) – このオプションを選択すると、デバイスを使用していないときに新しい通知を受信したときに、画面上の通知がオンになったり LED ランプが点滅したりすることを防止します。
  - **[Automatic rules]** (自動ルール) – デバイスを自動的にミュートするタイミングを選択します。[Weekend] (週末) または [Weeknight] (平日の夜) などの既定のルールにタッチするか、独自のルールを作成します。独自のルールを作成するには、**[Add more]** (さらに追加)、**[Time rule]** (時間ルール) の順にタッチします。
- **[Phone ringtone]** (着信音) – タッチして、電話が鳴るときのサウンドを選択します。
- **[Advanced]** (詳細) – タッチすると、詳細なサウンド オプションが表示されます。
  - **[Default notification sound]** (デフォルト通知音) – タッチして、すべてのシステム通知に対して再生されるサウンドを選択します。
  - **[Default alarm sound]** (デフォルトのアラーム音) – タッチして、アラームのサウンドを選択します。
- その他の音と振動
  - **[Dial pad tones]** (ダイヤルパッド操作音) – ダイヤルパッドのキーを押したときに音が鳴ります (デフォルト – 無効)。
  - **[Screen locking sounds]** (画面ロック音) – 画面をロックまたはロック解除したときに音が鳴ります (デフォルト – 有効)。
  - **[Charging sounds]** (充電音) – 使用できません。
  - **[Touch sounds]** (タッチサウンド) – 画面上で選択したときに音が鳴ります (デフォルト – 有効)。
  - **[Vibrate on tap]** (タップ時の振動) – 画面上で選択したときに、デバイスが振動します (デフォルト – 無効)。
- **[Emergency Broadcasts]** (緊急警報) – タッチして、緊急警報の設定および通知を構成します。

## ウェイクアップソース

デフォルトでは、デバイスは、ユーザーが電源ボタンを押すとサスペンドモードからウェイクアップします。デバイスの左側にある PTT ボタンまたはスキャン ボタンを押した場合に復帰するようにデバイスを設定できます。


1. ステータスバーから 2 本の指で下にスワイプして、クイックアクセスパネルを開き、 をタッチします。
2. **[Wake-Up Sources]** (ウェイクアップソース) をタッチします。
3. 次のオプションを 1 つ以上タッチします。
  - **[SCAN]** (スキャン) チェックボックスにタッチして、左のスキャン ボタンを有効にします。チェックボックスに、チェックマークが表示されます。
  - **[RIGHT\_TRIGGER\_2]** (RIGHT\_TRIGGER\_2) チェックボックスをタッチして、右のスキャン ボタンを有効にします。チェックボックスに、チェックマークが表示されます。
  - **[LEFT\_TRIGGER\_2]** (LEFT\_TRIGGER\_2) チェックボックスをタッチして、PTT ボタンを有効にします。チェックボックスに、チェックマークが表示されます。
  - **[REAR\_BUTTON]** (REAR\_BUTTON) チェックボックスをタッチして、後側のプログラム可能ボタンを有効にします。チェックボックスに、チェックマークが表示されます。

図 34 ウェイクアップ ソース



4. ○をタッチします。



# デバイスの使用方法

## はじめに

ここでは、デバイスのボタン、ステータスアイコン、コントロールについて説明します。また、デバイスのリセット方法、データの入力など、デバイスの基本的な使用方法についても説明します。

## Google モバイル サービス



注：このセクションは、Google モバイル サービス (GMS) デバイスにのみ適用されます。

GMS を搭載したデバイスには、追加機能を提供するアプリとサービスが含まれています。

GMS には次のコンポーネントが含まれています。

- アプリ – GMS は、Chrome、Gmail、ドライブ、マップなどのさまざまな Google アプリおよび関連ウィジェットを追加します。
- サービス：
  - 音声入力 – 接続されたネットワークと切断されたネットワークの両方で多言語による自由形式の音声入力をテキストに変換します。キーボードのマイクのアイコンをタッチして起動します。
  - TalkBack サービス – ユーザー インターフェースのさまざまな部分で音声によるフィードバックを提供します。有効にするには、**[Settings] (設定) > [Accessibility] (ユーザー補助)** の順に選択します。
  - ネットワーク位置情報プロバイダ – モバイル ネットワーク タワー情報および Wi-Fi アクセスポイント情報を使用して、GPS を使用せずに位置情報を提供する位置情報プロバイダを追加します。有効にするには、**[Settings] (設定) > [Location access] (位置情報アクセス)** の順に選択します。
  - WiDevine DRM – デジタル著作権管理 (DRM) を有効にして、保護されたストリーミング ビデオコンテンツを再生できるようにします。Google Play™ ストアから DRM 情報 を使用可能にします。
  - Google Cloud Messaging – デバイスが、同じ接続上のサーバーおよび他のデバイスからデータを受信できるようにします。
  - バックアップと復元 – ユーザー設定とアプリを Google サーバーにバックアップし、工場出荷時の設定にリセットした後でそのサーバーから設定を復元できます。
- Google アカウント – Google アカウントを作成し、そのアカウントを使用して、メール、ファイル、音楽、写真、連絡先、カレンダー イベントを同期できます。

## ホーム画面

ホーム画面は、デバイスをオンにすると表示されます。設定に応じて、ホーム画面に表示される内容は異なります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

サスペンドまたは画面タイムアウトの後、ホーム画面にはロック スライダが表示されます。画面にタッチし、上にスライドさせてロックを解除します。画面のロックの詳細については、60 ページの「画面のロック解除」を参照してください。

図 35 ホーム画面

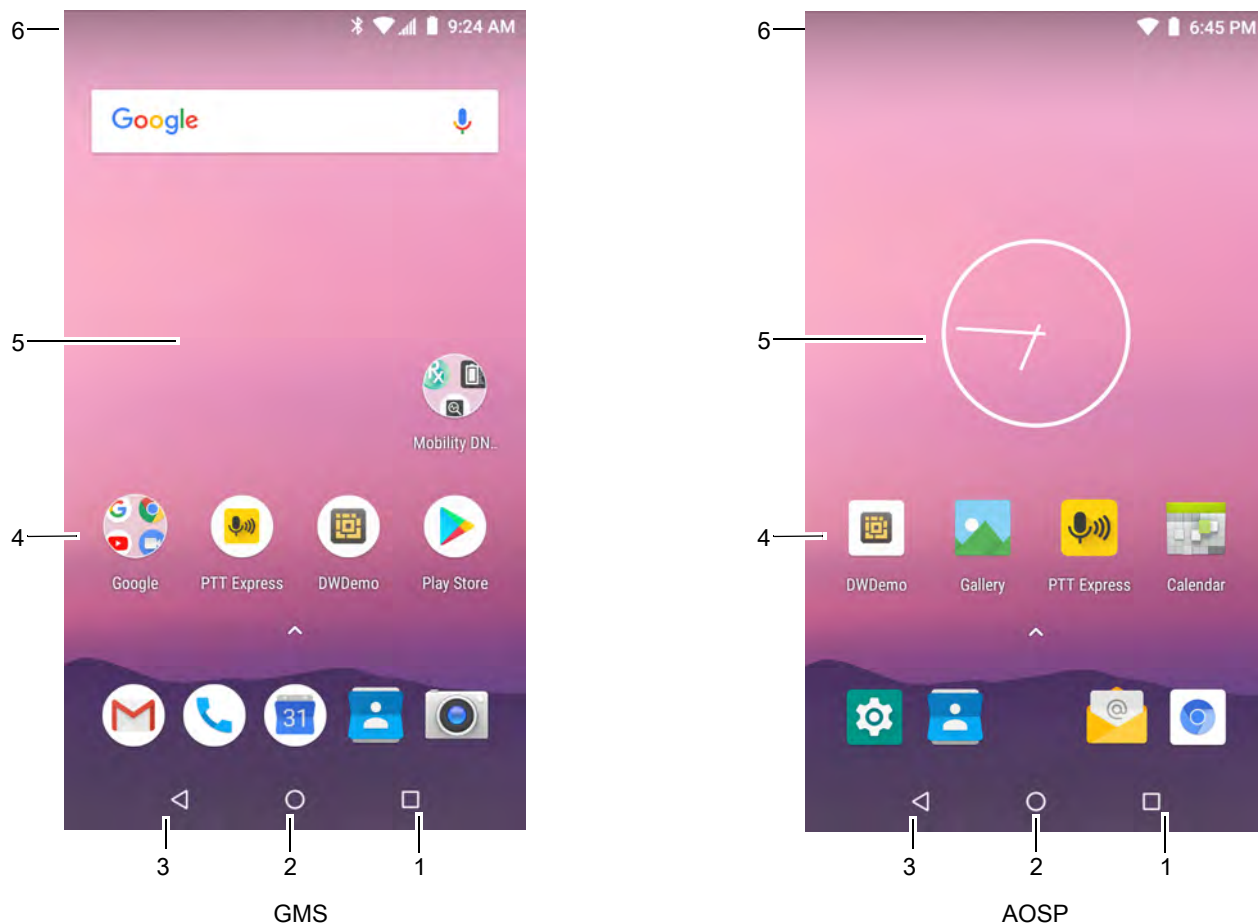


表 4 ホーム画面の項目

項目	説明
1 — 履歴ボタン	最近使用したアプリケーションを表示します。
2 — ホーム	ホーム画面を表示します。
3 — 戻る	前の画面を表示します。

表 4 ホーム画面の項目 ( 続き )

項目	説明
4 — ショートカット アイコン	デバイスにインストールされているアプリケーションが開きます。詳細については、49 ページの「アプリ ショートカットおよびウィジェット」を参照してください。
5 — ウィジェット	ホーム画面で実行するスタンドアロンのアプリケーションを起動します。詳細については、49 ページの「アプリ ショートカットおよびウィジェット」を参照してください。
6 — ステータス バー	時間、ステータス アイコン ( 右側 )、および通知アイコン ( 左側 ) が表示されます。詳細については、43 ページの「ステータス バー」および 46 ページの「通知の管理」を参照してください。

ホーム画面には、ウィジェットとショートカットの配置に関する 4 つの追加画面が表示されます。利用可能な場合、画面を左右にスワイプすると、追加画面が表示されます。追加画面はデフォルトでは見えません。

## ステータス バー

ステータス バーには、時間、通知アイコン ( 左側 )、およびステータス アイコン ( 右側 ) が表示されます。



注：表示するアイコンが多すぎる場合、一部のステータス アイコンがステータス バーに表示されない場合があります。

図 36 通知アイコンおよびステータス アイコン



ステータス バーに表示可能な数より多くの通知がある場合、他にも通知があることを示す 2 個のドットが表示されます。ステータス バーから下にスワイプして通知パネルを開き、すべての通知とステータスを表示します。





















## ステータス アイコン

表 5 ステータス アイコン

アイコン	説明
	アラームがアクティブです。
	メイン バッテリーがフル充電されています。
	メイン バッテリーは一部が消耗された状態です。
	メイン バッテリーの残量が少なくなっています。
	メイン バッテリーの残量が非常に少なくなっています。
	メイン バッテリーは充電中です。

<sup>1</sup> 表示される携帯電話ネットワーク アイコンは、携帯電話会社 / ネットワークにより異なります。























表 5 ステータスアイコン ( 続き )

アイコン	説明
	メディアおよびアラーム以外のすべての音がミュートされます。振動モードが動作します。
	非通知モードが動作しています。
	機内モードが有効になっています。すべての無線がオフになります。
	Bluetooth が有効になっています。
	デバイスが Bluetooth デバイスに接続しています。
	Wi-Fi ネットワークに接続されています。
	Wi-Fi ネットワークに接続されていないか、Wi-Fi 信号がありません。
	イーサネット ネットワークに接続されています。
	スピーカフォンがオンになっています。
	ポータブル Wi-Fi ホットスポットが有効です (WWAN のみ)。
	4G LTE/LTE-CA ネットワークに接続されています (WWAN のみ) <sup>1</sup> 。
	DC-HSPA、HSDPA、HSPA+、HSUPA、LTE/LTE-CA、または WCDMA ネットワークに接続されています (WWAN のみ) <sup>1</sup> 。
	1x-RTT (Sprint)、EGDGE、EVDO、EVDV、または WCDMA ネットワークに接続されていません (WWAN のみ) <sup>1</sup> 。
	DC-HSPA、HSDPA、HSPA+、または HSUPA ネットワークに接続されています (WWAN のみ) <sup>1</sup> 。
	EDGE ネットワークに接続されています (WWAN のみ) <sup>1</sup> 。
	GPRS ネットワークに接続されています (WWAN のみ) <sup>1</sup> 。
	
	1x-RTT (Verizon) ネットワークに接続されています (WWAN のみ) <sup>1</sup> 。
	ネットワークからのローミング中です (WWAN のみ)。
	SIM カードが取り付けられていません (WWAN のみ)。

<sup>1</sup> 表示される携帯電話ネットワーク アイコンは、携帯電話会社 / ネットワークにより異なります。

通知アイコン

表 6 通知アイコン

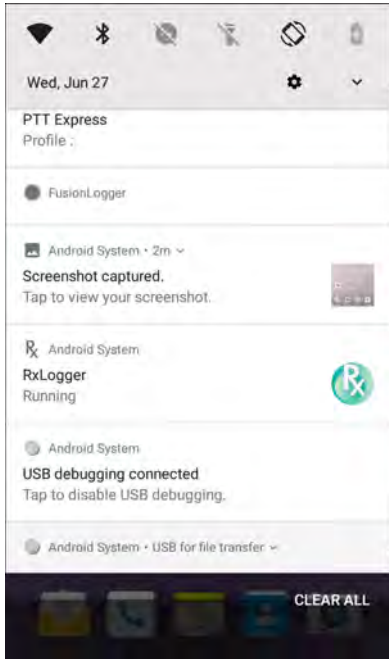
アイコン	説明
	メイン バッテリの残量が少なくなっています。
..	表示されていない通知があります。
	データの同期中です。
	次のイベントを示します。GMS 非搭載デバイスのみ。
	次のイベントを示します。GMS 搭載デバイスのみ。
	公開 Wi-Fi ネットワークが利用できます。
	曲を再生中です。
	サインインまたは同期で問題が発生しました。
	デバイスはデータのアップロード中です。
	動画が表示されている場合はデバイスがデータのダウンロード中であることを、静止画が表示されている場合はダウンロードが完了したことをそれぞれ示します。
	デバイスは USB ケーブルで接続されています。
	デバイスが VPN (仮想プライベート ネットワーク) 経由で接続しているか、または VPN が切断されました。
	内部ストレージのエラーをチェックして準備しています。
	デバイスで USB デバッグが有効になっています。
	通話中です (WWAN のみ)。
	1 通以上のボイス メッセージがメールボックスにあります (WWAN のみ)。
	通話が保留中です (WWAN のみ)。
	通話が失敗しました (WWAN のみ)。
	ヘッドセットがデバイスに接続されています。
	PTT Express Voice クライアントのステータス。詳細なリストについては、PTT Express の「 <a href="#">117 ページの「PTT 通知アイコン」</a> 」を参照してください。
	RxLogger アプリが実行中であることを示します。
	RS6000 がデバイスに接続されていることを示します。
	RS507 または RS6000 が HID モードでデバイスに接続されていることを示します。

## 通知の管理

通知アイコンは、新しいメッセージの到着、カレンダー イベント、アラーム、および進行中のイベントを報告します。通知が行われると、簡単な説明とともにアイコンがステータス バーに表示されます。表示される可能性のある通知アイコンとその説明のリストについては、「[45 ページの「通知アイコン」](#)」を参照してください。すべての通知のリストを表示するには、[Notification] (通知) パネルを開きます。

[Notification] (通知) パネルを開くには、画面の上部からステータス バーを下にドラッグします。

図 37 [Notifications] (通知) パネル



通知に応答するには、[Notification] (通知) パネルを開き、通知をタッチします。[Notification] (通知) パネルが閉じ、対応するアプリが開きます。

すべての通知をクリアするには、[Notification] (通知) パネルを開き、**[CLEAR ALL] (すべてクリア)** をタッチします。イベントベースのすべての通知が削除されます。進行中の通知はそのままリストに残ります。

[Notification] (通知) パネルを閉じるには、[Notification] (通知) パネルを上をスワイプします。

## アプリ通知の設定


特定のアプリの通知設定を設定するには、次の手順に従います。

1. ステータス バーから下にスワイプしてクイック設定バーを開き、**⚙** をタッチします。
2. **[Apps & notifications] (アプリと通知) > [Notifications] (通知) > [App notifications] (アプリ通知)** の順にタッチします。
3. アプリを選択します。

4. 使用可能なオプションを選択します。


- **[On] (オン)/[Off] (オフ)** – このアプリからのすべての通知をオン (デフォルト) またはオフにします。
- **[Allow notification dot] (通知ドットの許可)** – このアプリが通知ドットをアプリ アイコンに追加しないようにします。
- **[Allow interruptions] (割り込みの許可)** – このアプリからの通知で、音、バイブレーション、または画面でのポップ通知を許可しません。
- **[Override Do Not Disturb] (非通知を上書き) – [Do Not Disturb] (非通知) が [Priority Only] (優先通知のみ) に設定されている場合、通知に割り込みを許可します。**
- **[Categories] (カテゴリ)** – このアプリケーションからの特定のタイプの通知を許可しません。
- **[Additional settings in the app] (アプリでのその他の設定)** – アプリの設定を開きます。



注：アプリの通知設定を変更するには、通知を少し左または右にスライドして  にタッチします。


### 全アプリの通知設定の表示

すべてのアプリの通知設定を表示するには、次の手順に従います。

1. ステータス バーから下にスワイプしてクイック設定バーを開き、 をタッチします。
2. **[Apps & Notifications] (アプリと通知)** をタッチします。
3. **[Notifications] (通知)** まで下にスクロールして通知をオフにしたアプリの数を表示します。
4. 特定のアプリの通知設定を設定または表示する方法については、「[46 ページの「アプリ通知の設定」](#)」を参照してください。

### ロック画面の通知の制御

デバイスがロックされているときに、通知を表示するかどうかを管理します。

1. ステータス バーから下にスワイプしてクイック設定バーを開き、 をタッチします。
2. **[Apps & notifications] (アプリと通知) > [Notifications] (通知)** の順にタッチします。
3. **[On the lock screen] (ロック画面に表示)** にタッチして、次のいずれかを選択します。
  - **[Show all notification content] (すべての通知コンテンツを表示) (デフォルト)**
  - **[Don't show notifications at all] (通知を表示しない)**

### クイック アクセス パネル

クイック アクセス パネルを使用して、頻繁に使用する設定 (機内モードなど) にアクセスします。

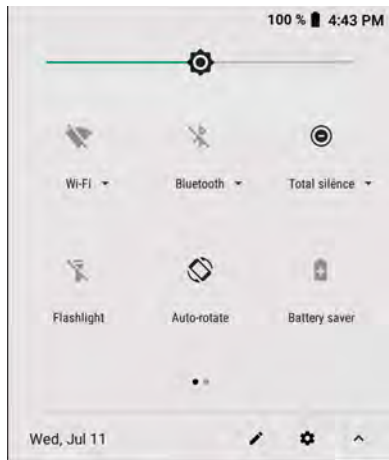
図 38 クイック設定バー



すべてのクイック アクセス パネルを表示するには、次の手順に従います。

- デバイスがロックされている場合、1 回下にスワイプします。
- デバイスがロック解除されている場合、2 本の指で 1 回、または 1 本の指で 2 回下にスワイプします。
- クイック設定バーが開いている場合、下矢印をタッチします。

図 39 クイック アクセス パネル



注：図に示されていないアイコンがあります。アイコンは異なる場合があります。

設定を変更するには、次のアイコンにタッチします。



- [Display brightness] (ディスプレイの明るさ) – スライダーを使用して、画面の明るさを増減します。
- [Wi-Fi] ネットワーク – Wi-Fi のオン/オフを切り替えます。Wi-Fi 設定を開くには、Wi-Fi ネットワーク名をタッチします。
- [Bluetooth] 設定 – Bluetooth のオン/オフを切り替えます。Bluetooth の設定を開くには、[Bluetooth] をタッチします。
- [Battery saver] (バッテリー セーバー) – バッテリー セーバー モードのオン/オフを切り替えます。バッテリー セーバー モードがオンになっている場合、バッテリー電力を節約するためにデバイスのパフォーマンスが低下します。
- [Invert colors] (色を反転) – 表示色を反転します。
- [Do not disturb] (非通知) – 通知を受信する方法とタイミングを制御します。
- [Mobile data] (モバイル データ) – 携帯電話の無線のオン/オフを切り替えます。モバイル データの設定を開くには、長押しします (WAN のみ)。
- [Airplane mode] (機内モード) – 機内モードのオン/オフを切り替えます。機内モードがオンの場合、デバイスは Wi-Fi または Bluetooth に接続しません。
- [Auto-rotate] (自動回転) – デバイスの向きを縦または横方向でロックするか、自動的に回転するように設定します。
- [Flashlight] (懐中電灯) – 懐中電灯をオンまたはオフにします。カメラのフラッシュをオンまたはオフにします。
- [Location] (位置情報) – 位置情報機能を有効または無効にします。
- [Data Saver] (データ セーバー) – 一部のアプリによるバックグラウンドでのデータ送受信を防止するには、このオプションをオンにします。
- [Night Light] (ナイト ライト) – 照度の低い場所でも画面を見やすくするために、画面を暖色系の色合いに切り替えます。日没から夜明けまで、または他の時間帯に、自動的にオンになるように [Night Light] (ナイト ライト) を設定します。
- [Nearby] (周辺情報) – デバイスの近くのサービスや他のデバイスを見つけて操作します。
- [Cast] (キャスト) – Chromecast、または Google Cast が内蔵されたテレビで、電話のコンテンツを共有できます。キャスト画面にタッチしてデバイスのリストを表示し、デバイスにタッチしてキャストを開始します。





## クイック設定のアイコンの編集

クイック アクセス パネルの最初の数個の設定タイルがクイック設定バーになります。



設定タイルを移動するには、次の手順に従います。

1. クイック アクセス パネルを開きます。
2.  をタッチします。
3. 設定タイルをタッチして別の場所にドラッグします。
4. タイルを放します。
5.  をタッチしてタイルを保存し、クイック アクセス パネルに戻ります。

設定タイルを追加するには、次の手順に従います。

1. クイック アクセス パネルを開きます。
2.  をタッチします。
3. クイック設定パネルを上スライドして、その他のタイルを表示します。
4. 設定タイルをタッチして、**[Drag to add tiles]** (ドラッグしてタイルを追加) 領域からメインの領域にタイルをドラッグします。
5. タイルを放します。
6.  をタッチしてタイルを保存し、クイック アクセス パネルに戻ります。

設定タイルを削除するには、次の手順に従います。

1. クイック アクセス パネルを開きます。
2.  をタッチします。
3. 設定タイルをタッチして、**[Drag here to remove]** (ここまでドラッグして削除) 領域にタイルをドラッグします。
4. タイルを放します。
5.  をタッチしてタイルを保存し、クイック アクセス パネルに戻ります。

## アプリ ショートカットおよびウィジェット

アプリ ショートカットはホーム画面に置かれており、アプリにすばやく簡単にアクセスできます。ウィジェットとはホーム画面に置かれた内蔵型のアプリであり、これを使用して、頻繁に使用する機能にアクセスできます。

### アプリ ショートカットをホーム画面に追加する

ホーム画面にアプリ ショートカットを追加するには、次の手順に従います。

1. ホーム画面に移動します。
2. 画面の一番下から上にスワイプします。
3. リストをスクロールして、アプリ アイコンを見つけます。

4. ホーム画面が表示されるまで、アイコンを長押しします。
5. アイコンを画面に配置したら、指を放します。

### ホーム画面にウィジェットを追加する

ホーム画面にウィジェットを追加するには、次の手順に従います。

1. ホーム画面に移動します。
2. メニューが表示されるまで長押しします。
3. **[WIDGETS]** (ウィジェット) をタッチします。
4. リストをスクロールして、ウィジェットを見つけます。
5. ホーム画面が表示されるまで、ウィジェットを長押しします。
6. ウィジェットを画面に配置したら、指を放します。

### ホーム画面での項目の移動

ホーム画面でアプリ ショートカットまたはウィジェットを移動するには、次の手順に従います。

1. 画面でフローティング状態になるまで項目を長押しします。
2. 項目を新しい場所にドラッグします。画面の端で少し待ってから、隣接するホーム画面まで項目をドラッグします。
3. 指を持ち上げ、項目をホーム画面に配置します。

### アプリ ショートカットまたはウィジェットをホーム画面から削除する

アプリ ショートカットまたはウィジェットをホーム画面から削除するには、次の手順に従います。

1. ホーム画面に移動します。
2. アプリのショートカット アイコンまたはウィジェット アイコンを、画面でフローティング状態になるまで長押しします。
3. 画面上部の **[X] [Remove]** (削除) までアイコンをドラッグし、そこで放します。

## フォルダ

フォルダを使用して、同様のアプリケーションを整理します。フォルダをタップして、フォルダ内の項目を開いて表示します。

### フォルダの作成

ホーム画面に 2 つ以上のアプリのアイコンが必要です。

フォルダを作成するには、次の手順に従います。

1. ホーム画面に移動します。
2. 1 個のアプリ アイコンを長押しします。
3. アイコンをドラッグし、別のアイコンの上に重ねます。
4. 指を放します。


## フォルダの名前付け

フォルダに名前を付けるには、次の手順に従います。

1. フォルダをタッチします。

図 40 フォルダ名を開く



2. タイトル領域をタッチし、キーボードを使用してフォルダ名を入力します。
3. キーボードの  をタッチします。
4. ホーム画面をタッチしてフォルダを閉じます。フォルダの下にフォルダ名が表示されます。

## フォルダの削除

フォルダを削除するには、次の手順に従います。

1. フォルダ アイコンが拡大表示されるまで長押しします。
2. フォルダを **[X] [Remove] (削除)** までドラッグして放します。

## ホーム画面の壁紙

ホーム画面の壁紙を変更するには、次の手順に従います。

1. メニューが表示されるまで、画面を長押しします。
2. **[WALLPAPERS] (壁紙)** をタッチします。
3. **[Photos] (写真)** または **[Gallery] (ギャラリー)** をタッチして、写真を選択するか、プレインストールされている壁紙の 1 つを選択します。
4. **[Set wallpaper] (壁紙の設定)** をタッチします。

## タッチスクリーンの使用方法

高感度のマルチタップ スクリーンを使用して、デバイスを操作します。

- タップ - タップして次を行います。
  - 画面上の項目を選択します。
  - 画面キーボードを使用して、文字や記号を入力します。
  - 画面ボタンを押します。

- タップして長押し – 次の項目をタップして長押し、以下の操作を行います。
  - ホーム画面の項目を長押しして、新しい場所またはゴミ箱に移動します。
  - [Apps] (アプリ) 内の項目を長押しして、ショートカットをホーム画面に作成します。
  - ホーム画面を長押しして、ホーム画面をカスタマイズするメニューを開きます。
  - メニューが開くまで、ホーム画面の何も表示されていないエリアを長押しします。
- ドラッグ – タップして長押ししてから、新しい位置まで指を移動させます。
- スワイプ – 画面上で上下または左右に指を移動して、次を行います。
  - 画面のロックを解除します。
  - 別のホーム画面を表示します。
  - [Launcher] (起動プログラム) ウィンドウに追加のアプリ アイコンを表示します。
  - アプリの画面に詳細を表示します。
- ダブルタップ – Web ページ、マップ、または他の画面で 2 回タップして、ズーム イン/ズーム アウトします。
- ピンチ – 一部のアプリでは、画面上に指を 2 本置いて指の間隔を狭めたり (ズーム アウト) 広げたり (ズーム イン) して、ズーム イン/ズーム アウトできます。

### キーボード

テキスト フィールドにテキストを入力するには、画面キーボードを使用します。

### テキストの編集

入力したテキストを編集してメニュー コマンドを使用し、アプリケーション内または複数のアプリケーション間でテキストの切り取り、コピー、および貼り付けをします。アプリケーションの中には、表示しているテキストの一部またはすべての編集をサポートしていないものや、テキストの選択に独自の方法を使用するものもあります。

### 数字、記号、および特殊文字の入力

数字および記号を入力するには、次の手順に従います。


- メニューが表示されるまで最上部の行にあるキーの 1 つを長押ししてから、数字または特殊文字を選択します。
- Shift キーを 1 回タッチすると、大文字を 1 回入力できます。Shift キーを 2 回タッチすると、大文字がロックされます。もう一度 Shift キーをタッチすると、Capslock のロックが解除されます。
- [?]123 にタッチすると、数字と記号のキーボードに切り替わります。
- 数字と記号のキーボードで [=\<] キーにタッチすると、別の記号が表示されます。

特殊文字を入力するには、他の記号のメニューが開くまで数字または記号のキーを長押しします。キーボードの上に、より大きいバージョンのキーが短時間表示されます。

### キーボードの設定

#### キーボードを有効にする



キーボードを有効にするには、次の手順に従います。

1. ステータス バーから下にスワイプしてクイック設定バーを開き、 をタッチします。

2. [System] (システム) > [Languages & input] (言語と入力) > [Virtual keyboard] (仮想キーボード) > [Manage keyboards] (キーボードを管理) の順にタッチします。
3. 有効にするキーボードにタッチします。

### キーボードの切り替え

キーボードを切り替えるには、テキスト ボックスをタッチして現在のキーボードを表示します。

- Android キーボードまたは Gboard キーボードで、 を長押しします。
- エンタープライズ キーボードでは、 にタッチします。

### 非通知機能

このモードは、デバイスをミュートして音や振動を出さないようにします。

たとえば、次のような場合に [Do Not Disturb] (非通知) を使用します。

- 夜間やイベント中に音を自動的に制限する
- アラーム以外の通知をミュートする
- 通知をお気に入りの連絡先からのメッセージに限定する

### 音と振動の制限

デバイスを完全にミュートにするか、重要なアラームまたは重要な着信は通知させます。

#### 完全非通知

デバイスを完全にミュートして音や振動が出ないようにするには、[Total Silence] (完全非通知) を選択します。


完全非通知モードの場合：

- アラームの受信時に音が出ません。
- メッセージまたは通知の受信時でも、デバイスは振動または音を出しません。
- 音楽、ビデオ、ゲーム、その他のメディアのサウンドはミュートになります。



注：完全非通知モードでは、すべてのアラームが通知されません。

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開きます。
2. [Do not disturb] (非通知) > [Total silence] (完全非通知) の順にタッチします。
3. [Until you turn it off] (オフにするまで) を選択するか、一定の期間を選択します。
4. [Done] (完了) をタッチします。


[Total Silence] (完全非通知) がオンの場合、クイック アクセス パネルとステータス バーに  が表示されます。

[Total Silence] (完全非通知) をオフにするには、クイック アクセス パネルを開き、[Total Silence] (完全非通知) をタッチします。

## アラームのみ

デバイスのミュート時でもアラームは再生されるように設定するには、**[Alarms Only] (アラームのみ)** を選択します。このオプションでは、音楽、ビデオ、ゲーム、その他のメディアからのサウンドはミュートになりません。

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開きます。
2. **[Do not disturb] (非通知) > [Alarms only] (アラームのみ)** の順にタッチします。
3. **[Until you turn it off] (オフにするまで)** を選択するか、一定の期間を選択します。
4. **[Done] (完了)** をタッチします。

[Alarms Only] (アラームのみ) がオンの場合、クイック アクセス パネルとステータス バーに  が表示されます。

[Alarms Only] (アラームのみ) をオフにするには、クイック アクセス パネルを開き、**[Alarms Only] (アラームのみ)** をタッチします。



注： [Alarms Only] (アラームのみ) をすばやくオンにするには、画面が表示されている状態で、音量が最小になるまで音量下ボタンを長押しします。音量が最小の状態、音量下ボタンをもう一度押し、[Alarms Only] (アラームのみ) がオンになります。


[Alarms Only] (アラームのみ) をオフにするには、音量上ボタンまたは音量下ボタンを押し、警告メッセージで **[END NOW] (今すぐ終了)** をタッチします。

## 音と振動の自動的なブロック

特定の時間またはイベント中に自動的にデバイスをミュートしたり、音をオンに戻したり、非通知モードを書き替えたりします。


### 一定時間での音のミュート

夜間や週末など、特定の時間帯にデバイスを自動的にミュートします。



1. ステータス バーから下にスワイプしてクイック設定バーを開き、 をタッチします。
2. **[Sound] (サウンド) > [Do Not Disturb preferences] (非通知設定)** の順にタッチします。
3. デフォルトの **[Weekend] (週末)** または **[Weeknight] (平日の夜)** をタッチします。または、新しいルールを作成するには、**[Add more] (さらに追加) > [Time rule] (時間ルール)** の順にタッチします。
4. ルール名を入力します。
5. **[OK]** をタッチします。
6. 新しいルールを編集するには、次の手順に従います。
  - **[Rule name] (ルール名)** – ルールの名前を変更します。
  - **[Days] (曜日)**、**[Start time] (開始時刻)**、**[End time] (終了時刻)** – ルールのスケジュールを設定します。
  - **[Do Not Disturb preferences] (非通知設定)** – ルールで **[Alarms only] (アラームのみ)**、**[Priority only] (優先通知のみ)**、**[Total silence] (完全非通知)** のいずれを使用するかを選択します。
  - **[Alarm can override end time] (アラームは終了時刻をオーバーライド可能)** – 次のアラームが開始されるまでアラームが鳴り続けます。
7. 上部の **[On/Off] (オン/オフ)** スイッチをタッチしてルールをオンにします。

## イベントおよび会議でのミュート

イベントまたは会議中にデバイスを自動的にミュートするには、イベント ルールを設定します。

1. ステータス バーから下にスワイプしてクイック設定バーを開き、 をタッチします。
2. **[Sound] (サウンド) > [Do Not Disturb preferences] (非通知設定)** の順にタッチします。
3. デフォルトのルールを編集するには、**[Event] (イベント)** をタッチします。また、新しいルールを作成するには、**[Add rule] (ルールの追加) > [Event rule] (イベント ルール)** の順にタッチします。
4. ルール設定を編集します。
  - **[Rule name] (ルール名)** – ルールの名前を変更します。
  - **[During events for] (次のイベント)** – ルールで使用する Google カレンダのイベントを選択します。
  - **[Where reply is] (返信の必要性)** – 次のように設定します。**[Yes, Maybe, or Not replied] (必要、不明、または不要)**、**[Yes or Maybe] (必要または不明)**、または **[Yes] (必要)**。
  - **[Do Not Disturb preferences] (非通知設定)** – ルールで **[Priority only] (優先通知のみ)**、**[Alarms only] (アラームのみ)**、**[Total silence] (完全非通知)** のいずれを使用するかを選択します。
5. 上部の **[On/Off] (オン/オフ)** スイッチをタッチしてルールをオンにします。

## サウンドをオンに戻す


デバイスが **[Do not Disturb] (非通知)** モード、**[Alarms only] (アラームのみ)**、または **[Priority only] (優先通知のみ)** の場合は  が、または **[Total silence] (完全非通知)** の場合は  が表示されます。

**[Do not Disturb] (非通知)** をオフにするには、次のどちらかの手順に従います。

- クイック アクセス パネルで、**[Alarms only] (アラームのみ)**、**[Priority only] (優先通知のみ)**、または **[Total silence] (完全非通知)** をタッチします。
- 音量下ボタンを押して、**[End Now] (今すぐ終了)** をタッチします。

## 特定アプリの非通知の上書き

特定のアプリの通知を有効にするには、次の手順に従います。

1. ステータス バーから下にスワイプしてクイック設定バーを開き、 をタッチします。
2. **[Apps & notifications] (アプリと通知) > [Notifications] (通知) > [App notifications] (アプリ通知)** の順にタッチします。
3. アプリをタッチします。
4. **[Override Do Not Disturb] (非通知を上書き)** をタッチします。

## アプリ

**[APPS] (アプリ)** 画面には、インストールされているすべてのアプリのアイコンが表示されます。次の表は、デバイスにインストールされているアプリのリストです。アプリのインストールおよびアンインストールの詳細については、デバイスの『Integrator Guide for Android Version 8.1』を参照してください。

表 7 アプリ

アイコン	説明
	[ActiveEdge Touch Zone] (ActiveEdge タッチ ゾーン) – ユーザーがほかのワークフロー アプリケーションまたはタスクの使用中に、主な機能またはアプリケーションへのすばやく便利なワンタッチ アクセスが可能です。
	[Battery Manager] (バッテリー マネージャ) – 充電レベル、ステータス、健全性、消耗レベルなどのバッテリー情報を表示します。
	[Battery Swap] (バッテリー交換) – バッテリーの交換時、デバイスをバッテリー交換モードにするために使用します。
	[Bluetooth Pairing Utility] (Bluetooth ペアリング ユーティリティ) – バーコードをスキャンしてデバイスと RS507 ハンズフリー イメージャをペアリングするために使用します。
	[Calculator] (電卓) – 基本演算機能および科学演算機能を備えています。
	[Calendar] (カレンダー) – イベントおよび予定を管理するために使用します (GMS/GMS- 制限のみ)。
	[Calendar] (カレンダー) – イベントおよび予定を管理するために使用します (AOSP のみ)。
	[Camera] (カメラ) – 写真を撮ったり、ビデオを録画したりします。詳細については、「86 ページの「カメラ」」を参照してください。
	[Chrome] – インターネットまたはイントラネットにアクセスするために使用します (GMS/GMS- 制限のみ)。
	[Chromium] – インターネットまたはイントラネットにアクセスするために使用します (AOSP のみ)。
	[Clock] (時計) – 予定にアラームを利用したり、目覚ましとして使用したりします。
	[Contacts] (連絡先) – 連絡先の情報を管理するために使用します。詳細については、「92 ページの「連絡先」」を参照してください。
	[DataWedge] – イメージャを使用したデータ収集を有効にします。
	[Device Central] – デバイスおよび接続された周辺機器に関して詳細情報を表示します。詳細については、「93 ページの「Device Central」」を参照してください。






表7 アプリ ( 続き )

アイコン	説明
	[Diagnostic Tool] ( 診断ツール ) – デバイスの診断に使用します。
	[Drive] ( ドライブ ) – 写真、ビデオ、ドキュメント、およびその他のファイルを個人用ストレージサイトにアップロードします (GMS/GMS- 制限のみ)。
	[Duo] ( デュオ ) – 1 対 1 のビデオ通話アプリ (WWAN のみ) (GMS/GMS- 制限のみ)。
	[DWDemo] – イメージャを使用したデータ収集機能のデモンストレーションを行うことができます。詳細については、「96 ページの「DataWedge のデモンストレーション」」を参照してください。
	[Email] ( 電子メール ) – 電子メールを送受信するために使用します (AOSP のみ)。
	[Files] ( ファイル ) – デバイス上のファイルを整理および管理します。詳細については、「104 ページの「ファイル」」を参照してください。
	[Gallery] ( ギャラリー ) – microSD カードに保存されている写真を表示するために使用します。詳細については、「105 ページの「ギャラリー」」を参照してください (AOSP のみ)。
	[Gmail] – Google 電子メール アカウントを使用して電子メールを送受信するために使用します (GMS/GMS- 制限のみ)。
	[Google] – Google ™ 検索アプリを起動します (GMS/GMS- 制限のみ)。
	[Keep] ( メモ ) – メモを作成、編集、共有するために使用します (GMS/GMS- 制限のみ)。
	[License Manager] ( ライセンス マネージャ ) – デバイスのソフトウェアライセンスを管理するために使用します。
	[Maps] ( マップ ) – 地図上で自分がいる場所を表示するために使用します ( 公共の乗り継ぎ、交通、または衛星オーバーレイを使用します )。目的の会社や場所を検索します。車、自転車、徒歩、公共の交通機関で移動するユーザーのために、音声ガイド付きのナビゲーションを提供し、渋滞回避情報や迂回ルートも表示します (GMS/GMS- 制限のみ)。
	[Messaging] ( メッセージング ) – SMS および MMS メッセージを送信します (WAN デバイスのみ)。
	[Music] ( 音楽 ) – microSD カードに保存されている音楽を再生します (AOSP のみ)。

表7 アプリ ( 続き )

アイコン	説明
	<b>[Phone] ( 電話 )</b> – 一部の Voice Over IP (VoIP) クライアント (VoIP テレフォニー対応専用) との使用時に、電話番号をダイヤルするために使用します。
	<b>[Photos] ( 写真 )</b> – 写真を Google アカウントと同期するために使用します。詳細については、「111 ページの「写真」」を参照してください (GMS/GMS- 制限のみ)。
	<b>[Play Movies &amp; TV] (Play ムービー &amp; TV)</b> – デバイスでムービーとビデオを表示します (GMS/GMS- 制限のみ)。
	<b>[Play Music] (Play ミュージック)</b> – 音楽を聴くために使用します (GMS/GMS- 制限のみ)。
	<b>[Play Store] (Play ストア)</b> – 音楽、ムービー、書籍、Android アプリ、ゲームを Google Play ストアからダウンロードします (GMS/GMS- 制限のみ)。
	<b>[PTT Express]</b> – VoIP 通信用の PTT Express クライアントの起動に使用します。
	<b>[RxLogger]</b> – デバイスおよびアプリに関する問題を診断するために使用します。詳細については、デバイスの『Integrator Guide for Android Version 8.1.』を参照してください。
	<b>[RxLogger Utility] (RxLogger ユーティリティ)</b> – RxLogger のデータの表示、バックアップ、およびアーカイブに使用します。
	<b>[Search] ( 検索 )</b> – Web の検索に使用します。インターネット接続が必要です (AOSP のみ)。
	<b>[Settings] ( 設定 )</b> – デバイスを設定するために使用します。
	<b>[SimulScan Demo] (SimulScan デモ)</b> – デバイスの文書収集機能をデモンストレーションする際に使用します。
	<b>[Sound Recorder] ( サウンドレコーダ )</b> – 音声を録音するために使用します。
	<b>[StageNow]</b> – 設定、ファームウェア、およびソフトウェアの導入を開始することで、初期使用に向けてこのデバイスが任意のデバイスをステージングできるようにします。

表 7 アプリ ( 続き )

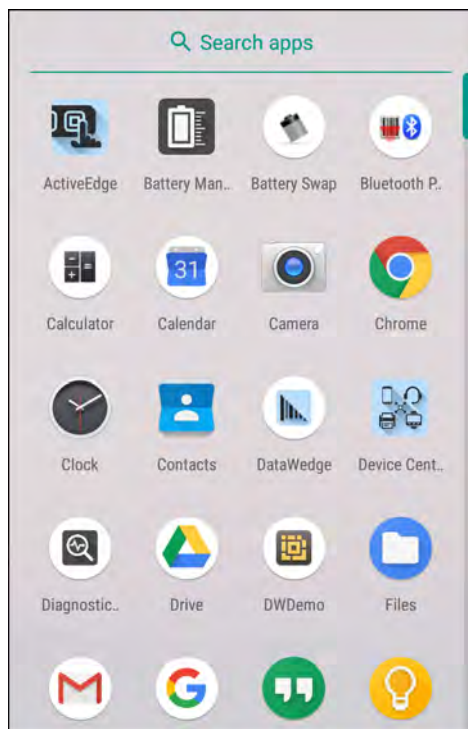
アイコン	説明
	<b>[Worry Free Wifi Analyzer]</b> – 診断用インテリジェント アプリ。周辺領域を診断し、受信範囲の穴の検出や付近のアクセス ポイントなど、ネットワークに関する統計情報を表示します。『Worry Free Wi-Fi Analyzer Administrator Guide for Android』を参照してください。
	<b>[YouTube]</b> – YouTube ™ Web サイトでビデオを見るために使用します (GMS/GMS- 制限のみ)。
	<b>[Zebra Bluetooth]</b> – Bluetooth ロギングの設定に使用します。

## アプリへのアクセス

デバイスにインストールされたすべてのアプリには、**[APPS]** (アプリ) ウィンドウを使用してアクセスできます。

1. ホーム画面で、画面の一番下から上にスワイプします。

図 41 アプリ ウィンドウの例



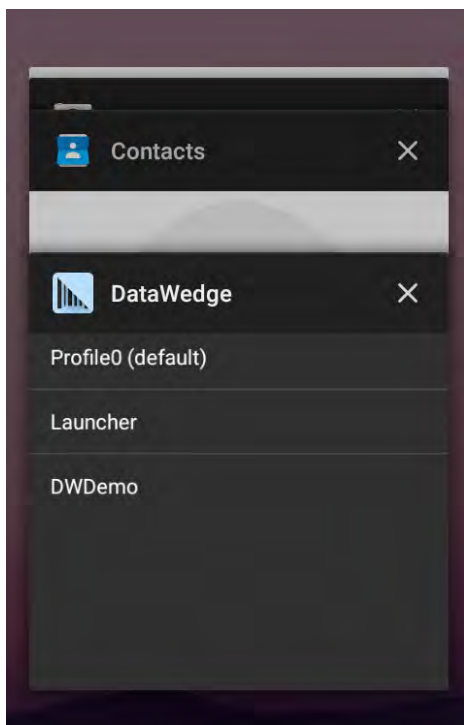
2. **[APPS]** (アプリ) ウィンドウを上または下にスライドすると、その他のアプリ アイコンが表示されます。アプリを開くには、アイコンをタッチします。

## 最近使用したアプリの切り替え

最近使用したアプリを切り替えるには、次の手順に従います。

1. □をタッチします。最近使用したアプリのアイコンが表示されたウィンドウが画面に表示されます。

図 42 最近使用したアプリ



2. 表示されているアプリを上下にスライドすると、最近使用したすべてのアプリを表示できます。
3. 左か右にスワイプすると、リストからアプリを削除して、そのアプリを強制的に終了します。
4. アイコンをタッチするとアプリが開きます。または、◀をタッチすると現在の画面に戻ります。

## 画面のロック解除

[Lock] (ロック) 画面を使用して、デバイス上のデータへのアクセスを保護します。電子メール アカウントによっては、画面をロックする必要があります。ロック機能の設定の詳細については、デバイスの『Integrator Guide for Android Version 8.1』を参照してください。

画面がロックされた場合、デバイスのロックを解除するには、パターン、PIN、またはパスワードが必要になります。電源ボタンを押すと、画面がロックされます。また、事前に定義したタイムアウト時間が経過した場合もデバイスがロックされます。

電源ボタンを押してから放すと、画面が戻ってきます。ロック画面が表示されます。画面を上から下にスワイプしてロックを解除します。[Pattern] (パターン) 画面のロック解除機能を有効にしている場合、ロック画面ではなくパターン画面が表示されます。[PIN] または [Password] (パスワード) 画面のロック解除機能を有効にしている場合、画面をロック解除した後に PIN またはパスワードを入力します。

図 43 ロック画面

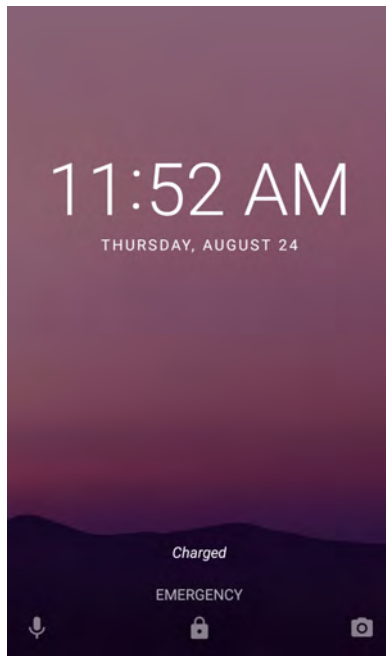


図 44 PIN 画面

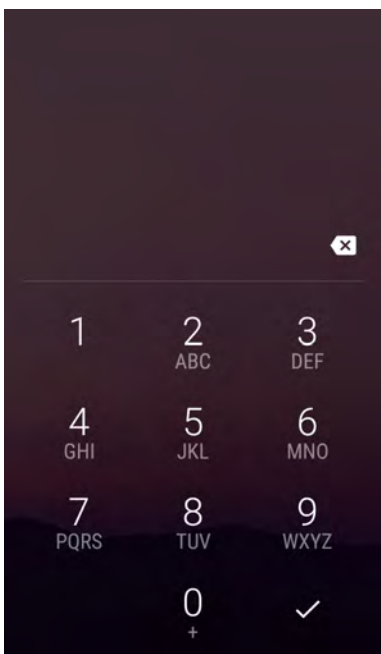


図 45 パターン画面

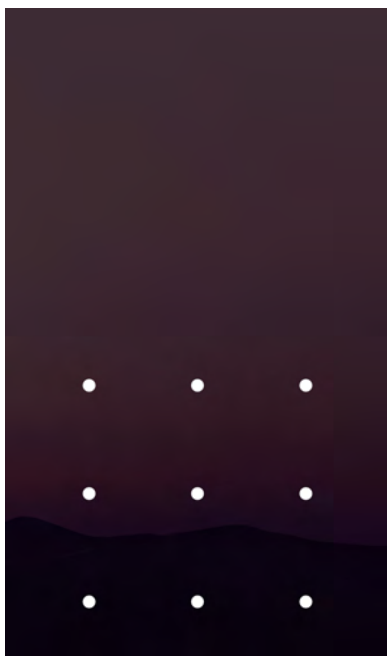
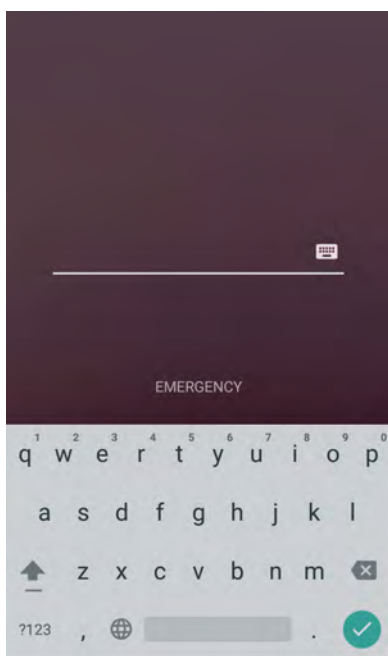


図 46 パスワード画面



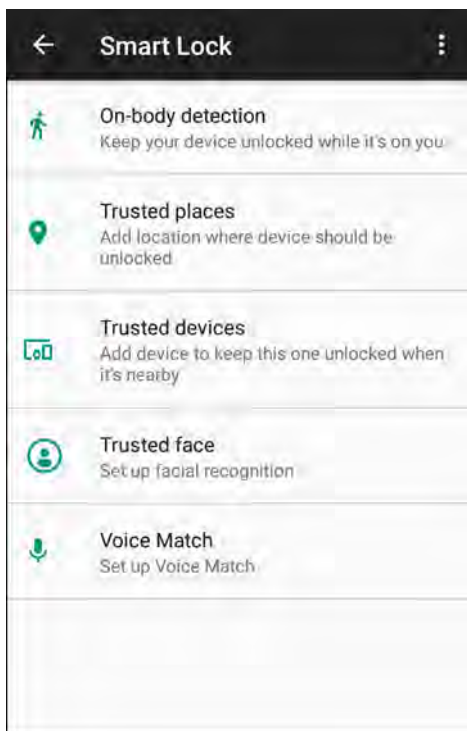
## スマート ロック

デバイスがポケットに入っているときや特定の場所の近くにあるときなど、状況によってはデバイスのロックを解除したままにしておきます。スマート ロックを使用すると、ユーザーは PIN、パターン、またはパスワードを使用してデバイスのロックを解除する必要がなくなります。

スマート ロックを有効にするには、次の手順に従います。

1. 画面ロック機能 (PIN、パターン、またはパスワード) が有効になっていることを確認します。
2. ステータス バーから下にスワイプしてクイック設定バーを開き、**⚙️** をタッチします。
3. **[Security & location]** (セキュリティと場所) > **[Smart Lock]** (スマート ロック) の順にタッチします。
4. 続行するには、PIN、パターン、またはパスワードを入力します。

図 47 スマート ロック画面



5. 次のいずれかのオプションを選択します。
  - **[On-body detection]** (ボディ上の検出)
  - **[Trusted places]** (信頼された場所)
  - **[Trusted devices]** (信頼されたデバイス)
  - **[Trusted face]** (信頼された顔)
  - **[Voice Match]** (音声一致)
6. 画面に表示される指示に従って、各オプションを設定します。

## デバイスのリセット

リセット機能には、ソフトリセットとハードリセットの2種類があります。

### ソフトリセットの実行

アプリケーションが応答を停止した場合、ソフトリセットを実行します。

1. メニューが表示されるまで、電源ボタンを長押しします。
2. **[Reset]** (リセット) をタッチします。
3. デバイスが再起動します。

## ハード リセットの実行



**注意:** デバイ스에 microSD 카드를挿入している状態でハード リセットを実行すると、microSD カードの損傷やデータ破損が発生する可能性があります。ハード リセットを行うと、保存されていないデータがすべて失われます。

デバイスが応答を停止した場合、ハード リセットを実行します。

1. 電源ボタン、左のスクリーン ボタン、および音量アップ ボタンを 4 秒間以上同時に押し続けます。
2. 画面がオフになったら、ボタンを放します。  
デバイスが再起動します。

## サスペンド モード

ユーザーが電源ボタンを押した、または ([Display settings] (ディスプレイの設定) ウィンドウで設定した) 一定の期間にわたって非アクティブな状態が続いた場合、デバイスはサスペンド モードになります。

デバイスをサスペンド モードからウェイクアップするには、電源ボタンを押します。ロック画面が表示されます。画面を上から下にスワイプしてロックを解除します。[Pattern] (パターン) 画面のロック解除機能を有効にしている場合、ロック画面ではなくパターン画面が表示されます。[PIN] または [Password] (パスワード) 画面のロック解除機能を有効にしている場合、画面をロック解除した後に PIN またはパスワードを入力します。「60 ページの「画面のロック解除」」を参照してください。



**注:** 間違った PIN、パスワード、またはパターンを 5 回入力すると、再試行するまで 30 秒待たなければなりません。PIN、パスワード、またはパターンを忘れてしまった場合、システム管理者に連絡してください。

## USB を使用してホスト コンピュータにファイルを転送する

デバイスとホスト コンピュータの間でファイルを転送するには、USB ケーブルまたは USB クレードルを使用してデバイスをホスト コンピュータに接続します。

デバイスをホスト コンピュータに接続する場合、ホスト コンピュータの USB デバイスの接続と切断の指示に従って、ファイルの損傷や破損を防ぎます。

## ファイルの転送



**注:** ファイル転送を使用して、デバイス (内部メモリまたは microSD カード) とホスト コンピュータ間でファイルをコピーします。

1. USB ケーブルをデバイスに接続するか、デバイスを USB クレードルに置きます。
2. [Notifications] (通知) パネルを表示して、[USB charging this device] (USB でこのデバイスを充電中) をタッチします。  
デフォルトでは、[Charge this device] (このデバイスを充電) が選択されています。



図 48 [Use USB to] (USB の用途) ダイアログ ボックス



3. **[Transfer files] (ファイルの転送)** をタッチします。



注： **[Transfer files] (ファイル転送)** の設定を変更してから USB ケーブルを切断すると、設定は **[Charge this device] (このデバイスを充電)** に戻ります。USB ケーブルを再接続した場合、**[Transfer files] (ファイル転送)** をもう一度選択します。

4. ホスト コンピュータ上で、ファイル エクスプローラ アプリケーションを開きます。
5. ポータブル デバイスとして表示されるデバイスを探します。
6. **SD カード**または**内部ストレージ フォルダ**を開きます。
7. 必要に応じて、デバイスとの間でファイルをコピーしたりファイルを削除したりします。

## 写真の転送

写真転送プロトコルを使用して写真を転送するには、次の手順に従います。



注： 写真転送プロトコル (PTP) を使用して、microSD カード または内部メモリのどちらかからホスト コンピュータに写真をコピーします。

1. USB ケーブルをデバイスに接続するか、デバイスを USB クレードルに置きます。セットアップ情報については、「[アクセサリ](#)」を参照してください。
2. **[Notifications] (通知)** パネルを表示して、**[USB charging this device] (USB でこのデバイスを充電中)** をタッチします。
3. **[Transfer photos (PTP)] (写真の転送 (PTP))** をタッチします。
4. ホスト コンピュータ上で、ファイル エクスプローラ アプリケーションを開きます。
5. **SD カード**または**内部ストレージ フォルダ**を開きます。
6. 目的に応じて、写真をコピーまたは削除します。

## ホスト コンピュータから切断する

デバイスをホスト コンピュータから切断するには、次の手順に従います。



**注意:** 情報がなくなってしまうよう、ホスト コンピュータの指示に慎重に従って、microSD カードをアンマウントし、USB デバイスの接続を正しく切断します。

1. ホスト コンピュータで、デバイスをアンマウントします。
2. USB をデバイスから取り外すか、デバイスをクレードルから取り外します。

# 通話

## はじめに

[Phone] (電話) アプリ、[Contacts] (連絡先) アプリ、またはその他のアプリ、あるいは連絡先情報を表示するウィジェットから電話をかけます。このセクションは WWAN デバイスにのみ適用されます。

## 緊急通話

サービスプロバイダは、あらゆる状況下で通話可能な緊急電話番号 (110 や 119 など) を 1 つまたは複数用意しています。この番号には、電話がロックされている場合や SIM カードが装着されていない場合、電話が有効でない場合でも電話をかけられます。サービスプロバイダは、追加の緊急番号を SIM カードにプログラムできます。ただし、SIM カードに保存されている番号を使用する場合、デバイスに SIM カードが装着されている必要があります。詳細については、サービスプロバイダにお問い合わせください。



注：緊急番号は、国によって異なります。電話機にあらかじめ設定されている緊急番号はあらゆる地域で使用できるわけではありません。また、ネットワーク、環境、または干渉の問題により、緊急通話が行えない場合もあります。

## 音声モード

デバイスは、通話中に使用できる 3 種類の通話音声モードを備えています。

- ハンドセットモード – デバイスをハンドセットとして使用するために、デバイスの前面上部にあるレシーバから音声が出力されます。デフォルトのモードです。
- スピーカモード – デバイスをスピーカフォンとして使用します。
- ヘッドセットモード – Bluetooth ヘッドセットまたは有線ヘッドセットを接続すると、自動的に音声出力がヘッドセットに切り替わります。

## Bluetooth ヘッドセットの使用

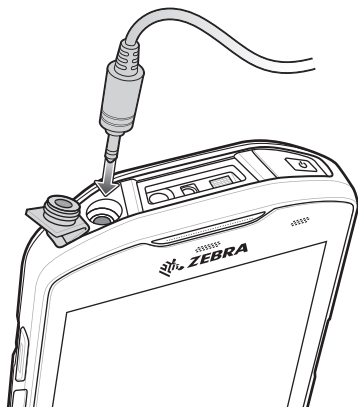
音声対応アプリを使用しているときに、Bluetooth ヘッドセットを使用して音声通信できます。Bluetooth ヘッドセットをデバイスに接続する方法については、「160 ページの「Bluetooth」」を参照してください。ヘッドセットを装着する前に、音量を適切に設定してください。Bluetooth ヘッドセットを接続すると、スピーカフォンはミュートになります。

## 有線ヘッドセットの使用

音声対応アプリを使用しているときに、有線ヘッドセットとオーディオアダプタを使用して音声通信できます。ヘッドセットを装着する前に、音量を適切に設定してください。有線ヘッドセットを接続すると、スピーカフォンはミュートになります。

有線ヘッドセットによる通話を終了するには、通話が終了するまでヘッドセット ボタンを長押しします。

図 49 3.5mm ヘッドセット アダプタ



## 音量の調節

音量ボタンを使用して、次の方法で電話の音量を調整します。

- 通話中でないときの呼び出し音と通知音の音量
- 通話中の会話の音量。

## ダイヤラを使用して電話をかける

ダイヤラ タブを使用して電話番号をダイヤルします。



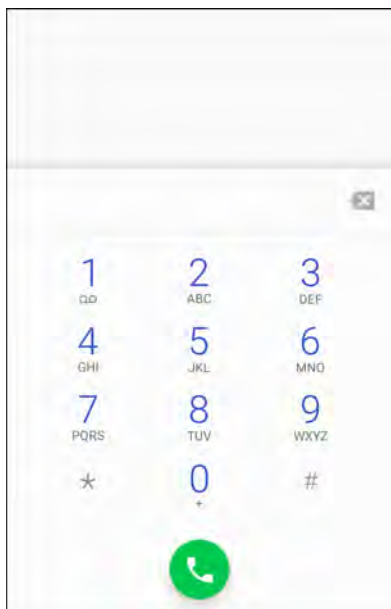
1. ホーム画面で  をタッチします。
2.  をタッチします。

図 50 ダイヤラ画面











3. キーをタッチし、電話番号を入力します。
4. ダイヤラの下にある  をタッチし、通話を開始します。

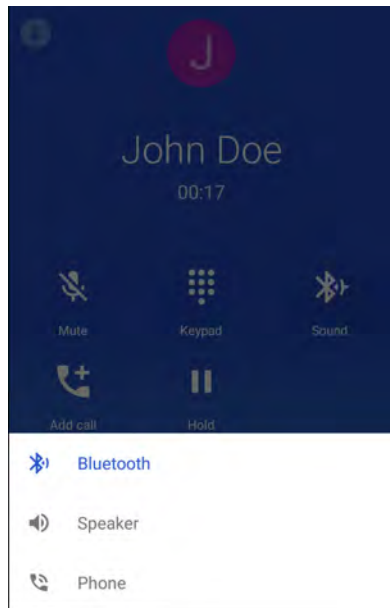
図 51 通話中



-  – スピーカフォンに音声を送ります。
  -  – 通話をミュートします。
  -  – ダイヤルパッドを表示します。
  -  – 通話を保留にします (一部のサービスでは利用できません)。
  -  – 電話会議を作成します。
  -  – 音声の音量を上げます。
5. 通話を終了するには、 をタッチします。

Bluetooth ヘッドセットを使用している場合、詳細な音声オプションが利用できます。音声アイコンをタッチして、音声メニューを開きます。

図 52 Bluetooth 音声オプション



- 📶 – 音声 Bluetooth ヘッドセットに送られています。
- 🔊 – 音声スピーカーフォンに送られています。
- 📞 – 音声イヤホンに送られています。

## ダイヤラのダイヤル オプション

ダイヤラには、ダイヤルした番号の連絡先への保存、SMS の送信、またはダイヤル文字列への一時停止および待機の挿入をするオプションがあります。

オプションにアクセスするには、少なくとも 1 桁を入力します。以下のオプションにアクセスするには、⋮ をタッチします。

- **[Add 2-sec pause] (2 秒間の一時停止を追加)** – 2 秒間一時停止してから次の数字をダイヤルします。連続して複数の一時停止を追加します。
- **[Add wait] (待機を追加)** – 残りの桁の送信確認を待機します。

## 連絡先を使用して電話をかける

連絡先を使用して電話をかける方法は 2 通りあります。

- ダイヤラの使用
- 連絡先アプリの使用

## ダイヤラの使用



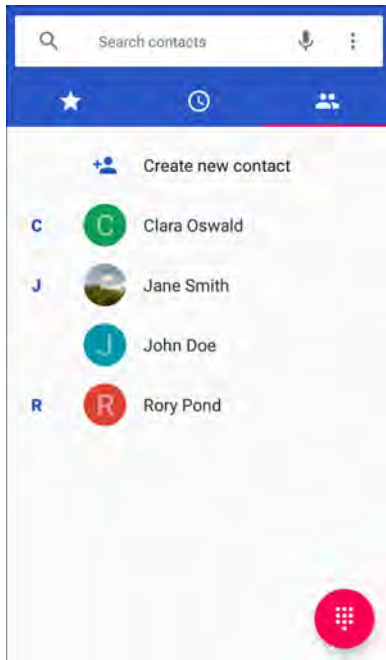


1. ホーム画面で  をタッチします。
2.  タブをタッチします。

図 53 ダイヤラの連絡先タブ



3. 連絡先をタッチします。
4. 通話を開始するには、 をタッチします。
5. 通話を終了するには、 をタッチします。

## 連絡先アプリの使用

連絡先アプリを使用して電話をかけるには、以下の手順に従います。


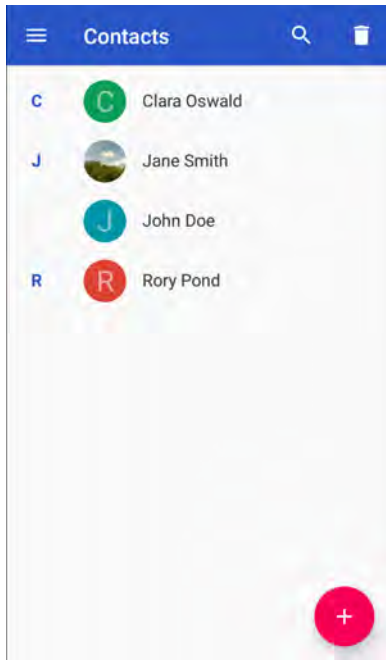
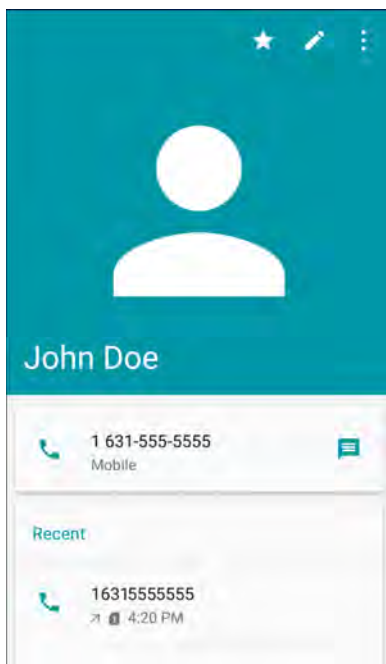
1.  をタッチします。

図 54 連絡先アプリ



2. 連絡先の名前をタッチします。

図 55 連絡先情報



3. タッチして通話を開始します。



## GSM で会議通話を確立する

複数の相手との会議通話セッションを確立するには、次の手順に従います。



注：一部のサービスでは、会議通話機能を使用できない場合があります。また、会議通話数が異なる場合があります。会議通話機能の可否については、サービスプロバイダにお問い合わせください。







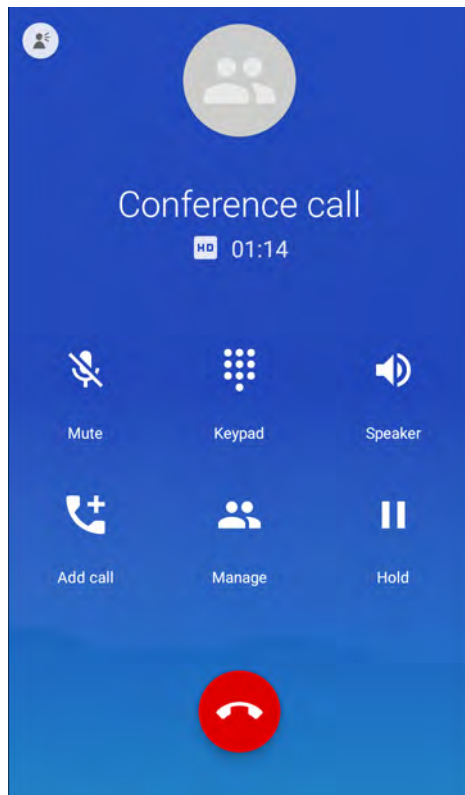
1. ホーム画面で  をタッチします。
2.  をタッチします。
3. キーをタッチし、電話番号を入力します。
4. ダイヤラの下にある  をタッチし、通話を開始します。
5. 電話がつながったら、 をタッチします。  
1 番目の通話相手が保留になります。
6.  をタッチします。
7. キーをタッチし、2 番目の電話番号を入力します。
8. ダイヤラの下にある  をタッチし、通話を開始します。
9. 電話がつながると、1 番目の通話が保留になり、2 番目の通話がアクティブになります。

図 56 2 つの通話



10. 人 アイコンをタッチして、3 者による会議通話を作成します。

図 57 通話の結合



11. 別の通話を追加するには、☎ をタッチします。

会議通話が保留になります。

12. ☰ をタッチします。

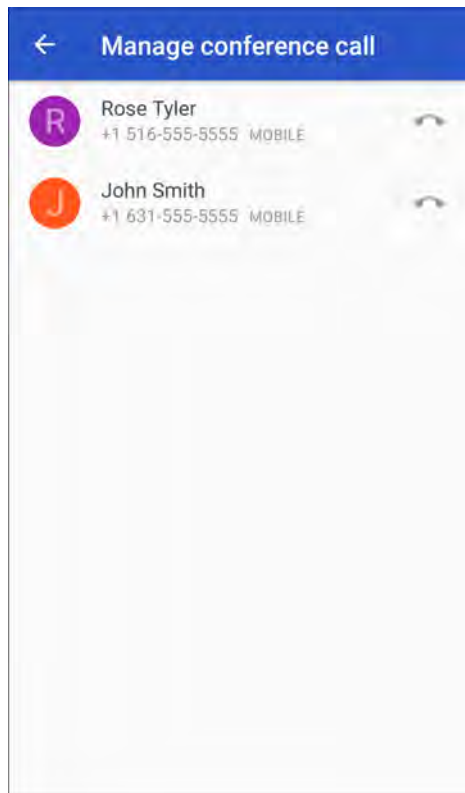
13. キーをタッチし、別の電話番号を入力します。


14. ダイヤラの下にある 📞 をタッチし、通話を開始します。



15. 3 番目の通話を会議に追加するには、人 アイコンをタッチします。

16. [Manage] (管理) をタッチし、すべての通話者を表示します。

図 58 通話の結合解除



17. 会議から 1 人の通話者を除外するには、その通話者の隣にある  をタッチします。

会議通話中に 1 人の相手とプライベートな会話を行うには、 をタッチします。すべての通話相手を再度参加させるには、 をタッチします。

## Bluetooth ヘッドセットを使用して電話をかける

Bluetooth ヘッドセットを使用して電話をかけるには、以下の手順に従います。

1. Bluetooth ヘッドセットとペアリングします。
2. Bluetooth ヘッドセットの [Call] (通話) ボタンを押します。
3. 通話を終了するには、Bluetooth ヘッドセットの [Call] (通話) ボタンを押します。

## 通話への応答

電話がかかってくると、[Incoming Call] (着信) 画面が開き、発信者 ID と [Contacts] (連絡先) アプリにある発信者に関する情報が表示されます。

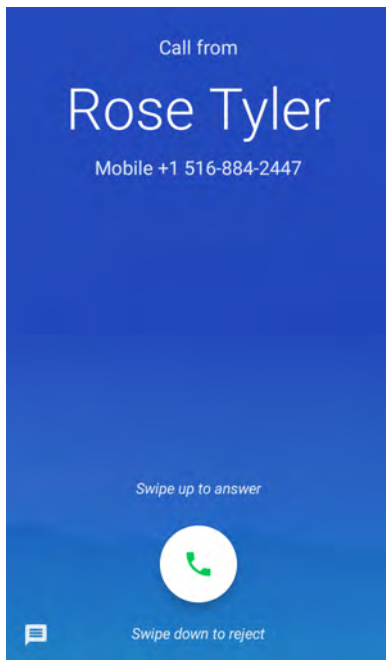
図 59 [Incoming Call] (着信) 画面






[ANSWER] (応答) をタッチして応答するか、[DECLINE] (拒否) をタッチして通話者に留守電を残してもらいます。

画面ロックを有効にしている場合、デバイスのロック解除をせずに通話に応答できます。

図 60 着信ロック画面



着信時は、次の手順に従います。

-  にタッチし、上にスライドして着信に応答します。
-  にタッチし、下にスライドして着信を留守電に送ります。
-  をタッチして、クイックテキスト応答のリストを開きます。いずれかをタッチし、発信者にただちに送信します。

通話が終了しても、デバイスはロックされたままです。

Bluetooth ヘッドセットを使用している場合、着信したら、Bluetooth ヘッドセットの通話ボタンをタッチして応答します。通話を終了するには、ヘッドセットの [Call] (通話) ボタンを押します。

すべての着信は、電話アプリの [Call log] (コール ログ) タブに記録されます。電話に出られなかった場合、通知を受信します。電話に应答する前に着信音を無音にするには、デバイスの横にある音量を下げるボタンを押します。

## 通話設定



注：すべての設定ですべてのオプションが使用できるわけではありません。

電話の通話設定を変更するには、ホーム画面で  >  > [Settings] (設定) の順にタッチします。

- 表示オプション
  - [Sort by] (並び替え) – [First name] (名) または [Last name] (姓) に設定します。
  - [Name format] (名前の形式) – [First name first] (名姓順) または [Last name first] (姓名順) に設定します。
- 着信音とバイブレーション
  - [Phone ringtone] (着信音) – 着信時に鳴る音を選択します。
  - [Also vibrate for calls] (着信時にバイブ) – オンにすると、着信時に振動します (デフォルトでは無効)。
  - [Keypad tones] (キーパッド操作音) – オンにすると、電話キーにタッチしたときに音が鳴ります (デフォルトでは有効)。
  - [Keypad tone length] (キーパッド操作音の長さ) – 操作音の長さを [Normal] (通常) (デフォルト) または [Long] (長い) に設定します。
- [Quick responses] (クイックレスポンス) – タッチして、通話に应答する代わりに使用するクイックレスポンスを編集します。
- [Speed dial settings] (短縮ダイヤルの設定) – 連絡先の短縮ダイヤルのショートカットを設定します。
- 通話
  - 通話アカウント
    - [SIP Accounts] (SIP アカウント) – デバイスに追加されたアカウントのインターネット通話を受信する、SIP アカウントを表示または変更する、またはインターネット通話アカウントを追加する場合に選択します。
    - [Use SIP calling] (SIP 通話の使用) – [For all calls] (すべての通話) または [Only for SIP calls] (SIP 通話のみ) (デフォルト) に設定します。
    - [Receive incoming calls] (着信を受信) – 有効にすると、着信を許可します (デフォルト – 無効)。
    - [Call forwarding] (自動転送) – 着信を別の電話番号に転送するように設定します。



注：自動転送は、すべてのネットワークで利用できるわけではありません。利用できるかどうかについては、サービスプロバイダに確認してください。

- 追加設定
  - [Caller ID] (発信者 ID) – 通話中の相手が判別できるようにするための発信者 ID を設定します。オプション: [Network default] (ネットワークのデフォルト) (デフォルト)、[Hide number] (番号の非表示)、[Show number] (番号の表示)。
  - [Call waiting] (割込通話) – 設定すると、通話中に着信を通知します。
- [Call Blocking] (通話のブロック) – 特定の電話番号からの通話とテキストをブロックするように設定します。電話番号をブロックするには、[ADD A NUMBER] (番号の追加) をタッチします。

- **[Voicemail] (ボイスメール)** – ボイスメール設定を行います。
  - **通知**
    - **[Importance] (重要)** – 通知の重要度を **[Urgent] (緊急)**、**[High] (高)** (デフォルト)、**[Medium] (中)**、または **[Low] (低)** に設定します。
    - **[Sound] (サウンド)** – ボイスメールの受信時に再生されるサウンドを選択します。
    - **[Vibrate] (振動)** – 振動を **[On] (オン)** (デフォルト) または **[Off] (オフ)** に設定します。
    - **[Advanced] (詳細設定)** – 切り替えスイッチを使用して、**[Blink link] (リンクを点滅)**、**[Show notification] (通知を表示)**、または **[Override Do Not Disturb] (非通知を上書き)** を有効または無効にします。使用可能なオプションは、重要度の設定によって異なります。
  - **詳細設定**
    - **[Service] (サービス)** – ボイスメール サービスにサービス プロバイダまたは別のプロバイダを設定します。
    - **[Setup] (設定)** – 選択して、ボイスメールへのアクセスに使用する電話番号を更新します。
- **ユーザー補助**
  - **[TTY mode] (TTY モード)** – タッチして、TTY 設定を行います。デバイスでオプションのテレタイプライタ (TTY) を使用して、通話の送受信を行います。TTY のプラグをデバイスのヘッドセット ジャックに接続して、デバイスがいずれかの TTY モードで動作するように設定します。



注：TSB-121 準拠ケーブル (TTY メーカー製) を使用して、TTY をデバイスに接続します。

正しく動作させるためには、デバイスの音量を中間レベルに設定します。誤字の数が多い場合、エラー率を最小限に抑えるよう音量を必要に応じて調整してください。

最適なパフォーマンスを得るためには、デバイスは TTY から 30cm (12 インチ) 以上離してください。デバイスと TTY の距離が近すぎると、エラー率が高くなる場合があります。

- **[TTY off] (TTY オフ)** – TTY はオフです (デフォルト)。
- **[TTY Full] (TTY フル)** – TTY 文字を送受信します。
- **[TTY HCO]** – TTY 文字を送信しますが、受信はイヤホンで聞くことによって行います。
- **[TTY VCO]** – TTY 文字を受信しますが、送信はマイクで話すことによって行います。
- **[Hearing aids] (補聴器)** – 選択して、補聴器に対応できるようにします。
- **[RTT settings] (RTT 設定)** – リアルタイム テキスト (RTT) 設定を設定します。
  - **[Real-time text (RTT) call] (リアルタイム テキスト (RTT) 通話)** – 通話中のメッセージを許可する場合に選択します。
  - **[Set RTT visibility] (RTT 表示の設定)** – **[Visible during calls] (通話中に表示)** (デフォルト) または **[Always visible] (常に表示)** に設定します。

# アプリケーション

## はじめに

このセクションでは、デバイスにインストールされているアプリケーションについて説明します。

## ActiveEdge タッチゾーン

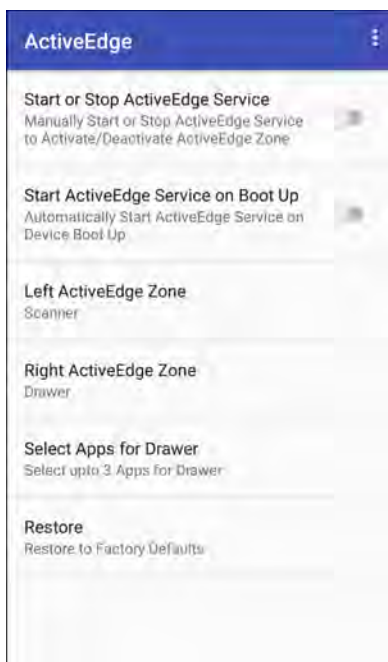
ActiveEdge タッチゾーンアプリは、別のアプリを使用している際によく使用する機能やアプリにワンタッチですばやく簡単にアクセスできるよう設定を変更できるアプリです。




注：ActiveEdge タッチゾーンは、ディスプレイが [Portrait] (縦向き) モードに設定されているときのみ使用できます。

## ActiveEdge の設定

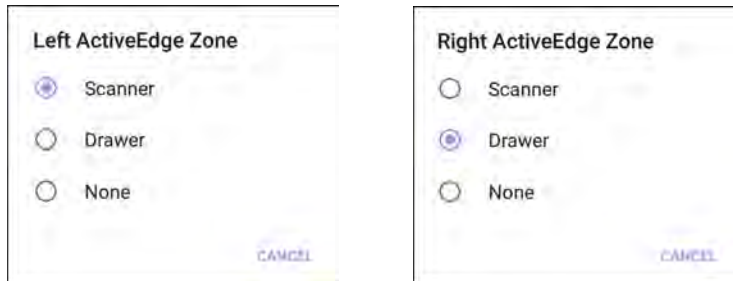
図 61 ActiveEdge アプリの設定



ActiveEdge を設定するには、ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。

- **[Start or Stop ActiveEdge Service] (ActiveEdge サービスの開始または停止)** – タッチして、ActiveEdge サービスを開始または停止し、ActiveEdge ゾーンを有効または無効にします。
- **[Start ActiveEdge Service on Boot Up] (起動時に ActiveEdge サービスを開始)** – デバイスの起動時に ActiveEdge サービスを自動的に開始します。サービスは常に実行されているため、いつでも使用できます。
- **[Left ActiveEdge Zone] (左 ActiveEdge ゾーン)** – 左の ActiveEdge ゾーンを **[Scanner]** (スキャナ)、**[Drawer]** (ドロフ)、または **[None]** (なし) に設定します。
- **[Right ActiveEdge Zone] (右 ActiveEdge ゾーン)** – 右の ActiveEdge ゾーンを **[Scanner]** (スキャナ)、**[Drawer]** (ドロフ)、または **[None]** (なし) に設定します。

図 62 左右の ActiveEdge ゾーン



- **[Select Apps for Drawer] (ドロフのアプリを選択)** – ドロフに表示するアプリを 3 個まで選択できます。「80 ページの「ドロフのアプリの選択」」を参照してください。
- **[Restore] (復元)** – 設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。
- **[About ActiveEdge] (ActiveEdge のバージョン情報)** – **[About ActiveEdge] (ActiveEdge のバージョン情報)** ウィンドウを開いてバージョン番号を表示します。☰ > **[About] (バージョン情報)** の順に選択します。

## ドロフのアプリの選択

**[Left ActiveEdge Zone] (左 ActiveEdge ゾーン)** または **[Right ActiveEdge Zone] (右 ActiveEdge ゾーン)** が **[Drawer] (ドロフ)** に設定されている場合、ドロフに表示するアプリケーションを最大 3 個選択します。

ドロフに表示するアプリを選択するには、次の手順に従います。

1. **[Select Apps for Drawer] (ドロフのアプリを選択)** をタッチします。

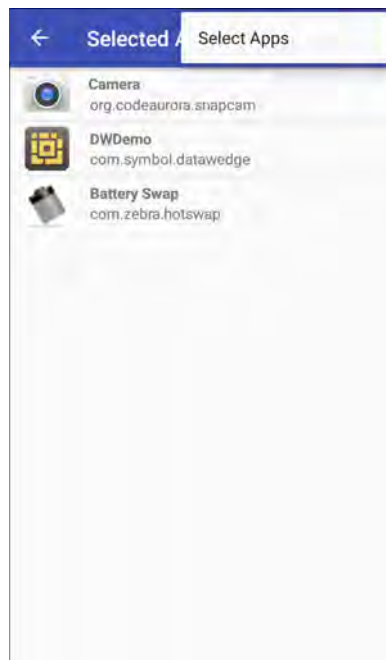


図 63 [Select Apps for Drawer] (ドロワのアプリを選択)



2. **☰** > **[Select Apps]** (アプリを選択) の順にタッチします。

図 64 [Select Apps for Drawer] (ドロワのアプリを選択)

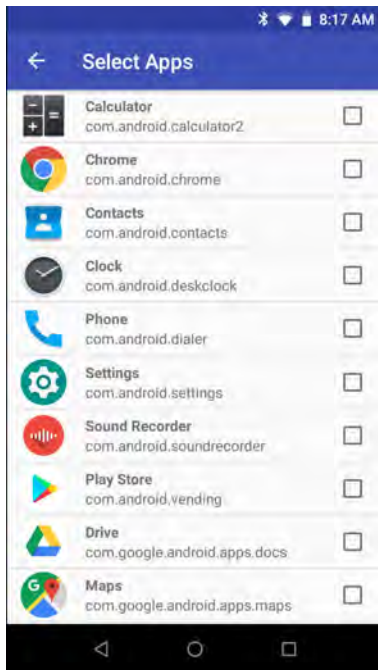


3. ドロワに表示するアプリを最大 3 個選択します。



**注：** **[Left ActiveEdge Zone]** (左 ActiveEdge ゾーン) と **[Right ActiveEdge Zone]** (右 ActiveEdge ゾーン) を、**[Scanner]** (スキャナ)、**[Drawer]** (ドロワ)、**[None]** (なし) のいずれかの組み合わせで設定します。ただし、両方のゾーンを **[Drawer]** (ドロワ) には設定できません。

図 65 [Select Apps for Drawer] (ドロワのアプリを選択)



4. ◀ をタッチします。

## バッテリー マネージャ

[Battery Manager] (バッテリー マネージャ) は、バッテリーに関する詳細情報を提供します。


バッテリー マネージャを開くには、ホーム画面の一番下から上にスワイプして、 をタッチします。

図 66 バッテリー マネージャ画面

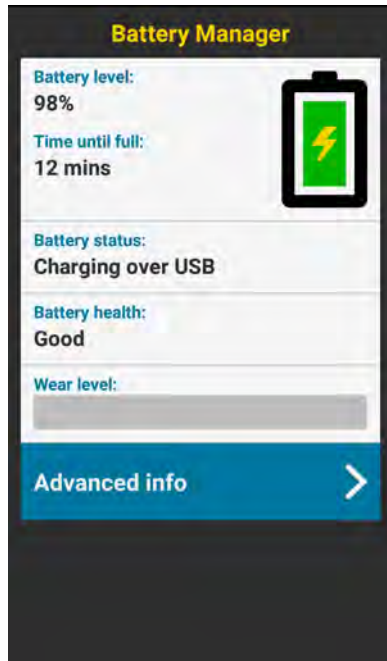






表 8 バッテリー アイコンの説明

バッテリー アイコン	説明
	バッテリーの充電レベル。
	バッテリーの充電中。
	バッテリー充電レベルが 20% 未満。

- [Battery level] (バッテリー レベル) – パーcentage表示での現在のバッテリー充電レベル。レベルが不明の場合、-% が表示されます。
- [Time until full] (完全充電までの時間) – バッテリーが完全に充電されるまでの時間。
- [Time since charging] (充電時間) – デバイスが充電を開始してからの時間。
- [Time until empty] (空になるまでの時間) – バッテリーが空になるまでの時間。

- **[Battery status] (バッテリー状態)**
  - **[Not charging] (未充電)** – デバイスが AC 電源に接続されていない。
  - **[Charging over AC] (AC から充電中)** – デバイスが AC 電源に接続され、充電中。
  - **[Charging over USB] (USB から充電中)** – デバイスが USB ケーブルでホスト コンピュータに接続され、充電中。
  - **[Discharging] (放電)** – バッテリーが放電中。
  - **[Full] (フル)** – バッテリーが完全に充電されている。
  - **[Unknown] (不明)** – バッテリーの状態が不明。
- **[Battery Health] (バッテリー健全性)** – バッテリーの健全性。重大なエラーが発生した場合、 が表示されます。タッチするとエラーの説明が表示されます。
  - **[Decommission] (廃棄)** – 寿命を過ぎているため、バッテリーを交換する必要があります。システム管理者にお問い合わせください。
  - **[Good] (良好)** – バッテリーは良好な状態です。
  - **[Charge error] (充電エラー)** – 充電中にエラーが発生しました。システム管理者にお問い合わせください。
  - **[Over Current] (過電流)** – 過電流状態が発生しました。システム管理者にお問い合わせください。
  - **[Dead] (使用不可)** – バッテリーは充電できません。バッテリーを交換します。
  - **[Over Voltage] (過電圧)** – 過電圧状態が発生しました。システム管理者にお問い合わせください。
  - **[Below Temperature] (温度低下)** – バッテリーの温度が動作温度未満です。システム管理者にお問い合わせください。
  - **[Failure Detected] (障害検出)** – バッテリーに障害が検出されました。システム管理者にお問い合わせください。
  - **[Unknown] (不明)** – システム管理者にお問い合わせください。
- **[Wear level] (消耗レベル)** – グラフ形式でのバッテリーの健全性。消耗レベルが 80% を超えると、バーの色が赤に変わります。

- **[Advanced info] (詳細情報)** – タッチして追加のバッテリー情報を表示します。
  - **[Battery present status] (バッテリーの現在の状態)** – バッテリーが装着されていることを示します。
  - **[Battery level] (バッテリー レベル)** – パーセンテージ表示のバッテリー充電レベル。
  - **[Battery scale] (バッテリー スケール)** – バッテリー レベルを判断するために使用されるバッテリーのスケールレベル (100) です。
  - **[Battery voltage] (バッテリー電圧)** – ミリボルト単位で示された現在のバッテリー電圧。
  - **[Battery temperature] (バッテリー温度)** – バッテリーの現在の温度 (摂氏)。
  - **[Battery technology] (バッテリー テクノロジー)** – バッテリーの種類。
  - **[Battery Current] (バッテリー電流)** – 直近の 1 秒間にバッテリーに出入りした平均電流 (mAh)。
  - **[Battery manufacture date] (バッテリー製造日)** – 製造日。
  - **[Battery serial number] (バッテリー シリアル番号)** – バッテリーのシリアル番号。番号は、バッテリー ラベルに印刷されているシリアル番号と一致します。
  - **[Battery part number] (バッテリー部品番号)** – バッテリーの部品番号。
  - **[Battery rated capacity] (バッテリー定格容量)** – バックアップ バッテリーの定格容量のリストの表示です (mAh)。
  - **[Battery decommission status] (バッテリー耐用ステータス)** – バッテリーの耐用期間が過ぎているかどうかを示します。
    - **[Battery Good] (バッテリー良好)** – バッテリーは良好な状態です。
    - **[Decommissioned Battery] (使用不可バッテリー)** – 寿命を過ぎているため、バッテリーを交換する必要があります。
  - **[Base cumulative charge] (基本累積充電量)** – Zebra 充電器のみを使用した累積充電量です。
  - **[Battery present capacity] (バッテリーの現在の容量)** – バッテリーが完全に充電されている場合、現在の放電状態でバッテリーから得られる最大充電量です。
  - **[Battery health percentage] (バッテリー健全性の割合)** – 0 ~ 100 の範囲の割合です。「design\_capacity」の放電率で「design\_capacity」に対する「present\_capacity」の割合になります。
  - **[% decommission threshold] (耐用しきい値 %)** – Gifted バッテリーを 80% とした場合のデフォルトの耐用しきい値。
  - **[Battery present charge] (バッテリーの現在の充電量)** – 現在の放電状態で使用できるバッテリー残量を示します。
  - **[Battery total cumulative charge] (バッテリー合計累積充電量)** – すべての充電器の合計累積充電量。
  - **[Battery time since first use] (初回使用時からのバッテリー使用時間)** – 初めてバッテリーを Zebra ターミナルに取り付けてから経過した時間。
  - **[Battery error status] (バッテリー エラー ステータス)** – バッテリーのエラー ステータス。
  - **[App version] (アプリ バージョン)** – アプリケーションのバージョン番号。

## カメラ

このセクションでは、内蔵デジタル カメラを使用した写真の撮影とビデオの録画について説明します。



注：デバイスに microSD カードを取り付けてストレージパスを手動で変更している場合、写真やビデオが microSD カードに保存されます。デフォルトでは、写真やビデオはデバイスの内部ストレージに保存されます。また、microSD カードを取り付けていない場合も内部ストレージに保存されます。

### 写真の撮影






注：カメラ設定の説明については、「88 ページの「写真設定」」を参照してください。

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、[Camera] (カメラ) をタッチします。

図 67 カメラ モード



2. 必要に応じて、[Camera Mode] (カメラ モード) アイコン、 の順にタッチします。
3. 背面カメラと前面カメラを切り替えるには、 をタッチします。
4. 被写体を画面のフレームに合わせます。

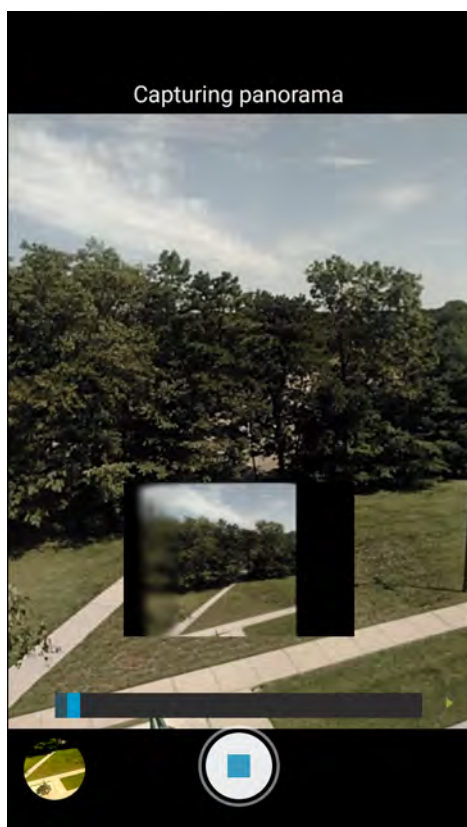
5. ズームインまたはズームアウトするには、2本の指を画面に置いて指の間隔を狭めたり広げたりします。ズームを操作するオプションが画面に表示されます。
6. フォーカスする画面の領域をタッチします。フォーカス用の円が表示されます。ピントが合うと、2本のバーが緑色に変わります。
7.  をタッチします。  
カメラで写真が撮影され、シャッター音が鳴ります。  
撮影した写真は短時間、サムネイルとして左下隅に表示されます。




## パノラマ写真の撮影

パノラマモードでは、場所(シーン)をゆっくりパンすることにより、1つの幅広い画像を撮影できます。

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、[Camera] (カメラ) をタッチします。

図 68 パノラマモード



2. [Camera Mode] (カメラモード) アイコン、 の順にタッチします。
3. 撮影するシーンの片側をフレームに合わせます。
4.  をタッチして、撮影するエリア全体をゆっくりパンします。撮影中は、小さな白い正方形がボタン内に表示されます。  
パンが速すぎると、「Too fast」(速すぎます) というメッセージが表示されます。
5.  をタッチして撮影を終了します。パノラマがすぐに表示され、画像を保存している間、進捗インジケータが表示されます。

## ビデオの録画


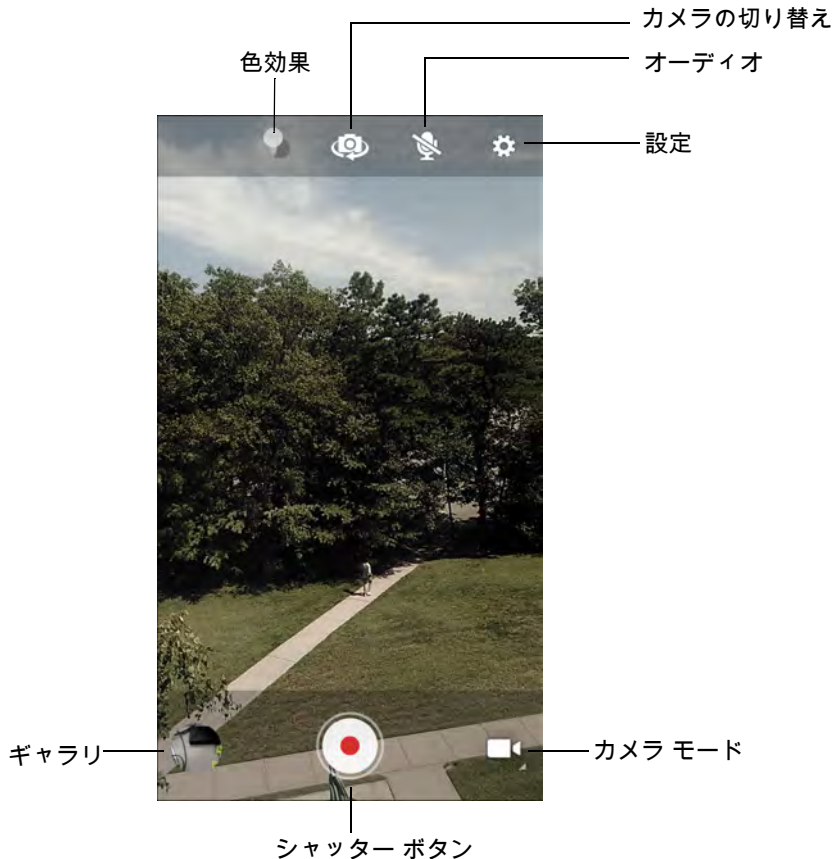



1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、[Camera] (カメラ) をタッチします。
2. [Camera Mode] (カメラ モード) メニュー、の順にタッチします。

図 69 ビデオ モード








3. 背面カメラと前面カメラ (使用可能な場合) を切り替えるには、 をタッチします。
4. カメラを向けて、シーンをフレームに合わせます。
5. ズームインまたはズームアウトするには、2本の指を画面に置いて指の間隔を狭めたり広げたりします。ズームを操作するオプションが画面に表示されます。
6.  をタッチして、録画を開始します。  
録画残り時間が画面の左上に表示されます。
7.  をタッチして、録画を終了します。  
撮影したビデオは短時間、サムネイルとして左下隅に表示されます。

## 写真設定



写真モードの場合、写真設定が画面に表示されます。 をタッチして、写真設定のオプションを表示します。










## 前面カメラ


- **[Selfie Flash]** (セルフイ フラッシュ) – 画面を白にして、調光設定で少し明るくなるようにします。オプション: **[Off]** (オフ) (デフォルト)、または **[On]** (オン)。
- **[GPS location]** (GPS 位置情報) – GPS 位置情報を写真メタデータに追加します。オプション: **[On]** (オン) または **[Off]** (オフ) (デフォルト)。
- **[Picture size]** (写真サイズ) – 写真のサイズ (ピクセル単位) を次のいずれかに設定します: **[5M pixels]** (5M ピクセル) (デフォルト)、**[3M pixels]** (3M ピクセル)、**[HD1080]**、**[2M pixels]** (2M ピクセル)、**[HD720]**、**[1M pixels]** (1M ピクセル)、**[WVGA]**、**[VGA]**、または **[QVGA]**。
- **[Picture quality]** (画質) – 画質設定を次のいずれかに設定します: **[Low]** (低)、**[Standard]** (標準) (デフォルト) または **[High]** (高)。
- **[Countdown timer]** (カウント ダウン タイマ) – 次のいずれかに設定します: **[Off]** (オフ) (デフォルト)、**[2 seconds]** (2 秒)、**[5 seconds]** (5 秒) または **[10 seconds]** (10 秒)。
- **[Storage]** (ストレージ) – 写真を保存する場所を次のように設定します: **[Phone]** (電話機) または **[SD Card]** (SD カード)。
- **[Face Detection]** (顔検出) – 選択して顔検出を **[Off]** (オフ) (デフォルト) または **[On]** (オン) にします。
- **[ISO]** – カメラの感光性を設定します。オプション: **[Auto]** (自動) (デフォルト)、**[ISO Auto (HJR)]** (ISO 自動 (HJR))、**[ISO100]**、**[ISO200]**、**[ISO400]**、**[ISO800]**、または **[ISO1600]**。
- **[Exposure]** (露出) – タッチして、露出設定を調整します。オプション: **[+2]**、**[+1]**、**[0]** (デフォルト)、**[-1]**、または **[-2]**。
- **[White balance]** (ホワイト バランス) – 最も自然な色調になるように、光源の種類に合わせてどのように色を調整するかを選択します。
  -  **[Incandescent]** (白熱灯) – 白熱灯に適するようにホワイト バランスを調整します。
  -  **[Fluorescent]** (蛍光灯) – 蛍光灯に適するようにホワイト バランスを調整します。
  -  **[Auto]** (自動) – ホワイト バランスを自動的に調整します (デフォルト)。
  -  **[Daylight]** (昼光) – 昼光に適するようにホワイト バランスを調整します。
  -  **[Cloudy]** (曇り) – 曇天の環境に適するようにホワイト バランスを調整します。
- **[Redeye reduction]** (赤目軽減) – 赤目現象を排除します。オプション: **[Disable]** (無効化) (デフォルト) または **[Enable]** (有効化)。
- **[ZSL]** – ボタンが押されたときに、カメラが写真をただちに撮影するように設定します (デフォルトでは有効)。
- **[Selfie Mirror]** (セルフイ ミラー) – オプション: **[Disable]** (無効化) (デフォルト) または **[Enable]** (有効化)。
- **[Anti Banding]** (アンチ バンディング) – カメラは、照明が不安定な人工光源による問題を回避できます。人工光源による照明周期 (ちらつき) は、人間の目では視認できない速さで連続して発生しています。カメラの目 (センサ) では、このちらつきを検知できます。オプション: **[Auto]** (自動) (デフォルト)、**[60Hz]**、**[50Hz]**、または **[Off]** (オフ)。

## 背面カメラ






- **[Flash]** (フラッシュ) – 選択して、露出計にフラッシュの有無を判別させるか、すべての撮影でフラッシュをオンまたはオフにするかを設定します。
  -  **[Off]** (オフ) – フラッシュを無効にします。
  -  **[Auto]** (自動) – 露出計に従って、フラッシュを自動的に調整します (デフォルト)。

-  [On] (オン) – 写真を撮影するときにフラッシュが有効になります。
-  [Torch] (トーチ) – フラッシュを継続的にオンにします。
- [GPS location] (GPS 位置情報) – [On] (オン) または [Off] (オフ) (デフォルト) にします。
- [Picture size] (写真サイズ) – 写真のサイズ (ピクセル単位) を次のいずれかにします: [13M pixels] (13M ピクセル) (デフォルト)、[8M pixels] (8M ピクセル)、[5M pixels] (5M ピクセル)、[3M pixels] (3M ピクセル)、[HD 1080]、[2M pixels] (2M ピクセル)、[HD720]、[1M pixels] (1M ピクセル)、[WVGA]、[VGA]、または [QVGA]。
- [Picture quality] (画質) – 画質設定を次のいずれかに設定します: [Low] (低)、[Standard] (標準) (デフォルト) または [High] (高)。
- [Countdown timer] (カウントダウン タイマ) – [Off] (オフ) (デフォルト)、[2 seconds] (2 秒)、[5 seconds] (5 秒)、または [10 seconds] (10 秒) を選択します。
- [Storage] (ストレージ) – 写真の保存先を次のいずれかに設定します: [Phone] (電話機) または [SD Card] (SD カード)。
- [Face Detection] (顔検出) – 選択して顔検出を [Off] (オフ) (デフォルト) または [On] (オン) にします。
- [ISO] – 光に対するカメラ感度を次のいずれかに設定します: [Auto] (自動) (デフォルト)、[ISO Auto (HJR)] (ISO 自動 (HJR))、[ISO100]、[ISO200]、[ISO400]、[ISO800]、または [ISO1600]。
- [Exposure] (露光量) – 露光量設定を次のいずれかに設定します: [+2]、[+1]、[0] (デフォルト)、[-1] または [-2]。
- [White balance] (ホワイト バランス) – 最も自然な色調になるように、光源の種類に合わせてどのように色を調整するかを選択します。
  -  [Incandescent] (白熱灯) – 白熱灯に適するようにホワイト バランスを調整します。
  -  [Fluorescent] (蛍光灯) – 蛍光灯に適するようにホワイト バランスを調整します。
  -  [Auto] (自動) – ホワイト バランスを自動的に調整します (デフォルト)。
  -  [Daylight] (昼光) – 昼光に適するようにホワイト バランスを調整します。
  -  [Cloudy] (曇り) – 曇天の環境に適するようにホワイト バランスを調整します。
- [Chroma Flash] (クロマ フラッシュ) – 1 枚はフラッシュあり、もう 1 枚はフラッシュなしの 2 枚の写真を撮影するようにカメラを設定します。フラッシュを使用した写真からシャープネス、明瞭度、明るい色調を、フラッシュ未使用の画像から自然な色合いを掛け合わせ、最終的な画像が生成されます。オプション: [Off] (オフ) (デフォルト) または [On] (オン)。
- [Redeye reduction] (赤目軽減) – 赤目現象を排除します。オプション: [Disable] (無効化) (デフォルト) または [Enable] (有効化)。
- [ZSL] – ボタンが押されたときに、カメラが写真をただちに撮影するように設定します (デフォルトでは有効)。
- [Anti Banding] (アンチ バンディング) – カメラは、照明が不安定な人工光源による問題を回避できます。人工光源による照明周期 (ちらつき) は、人間の目では視認できない速さで連続して発生しています。カメラの目 (センサ) では、このちらつきを検知できます。オプション: [Auto] (自動) (デフォルト)、[60Hz]、[50Hz]、または [Off] (オフ)。








## ビデオの設定

ビデオ モードの場合、ビデオ設定が画面に表示されます。 をタッチして、ビデオ設定のオプションを表示します。

## 前面カメラ

- **[Video quality]** (ビデオ画質) – ビデオ画質を次のように設定します: **[HD1080]** (デフォルト)、**[HD720]**、または **[SD 480p]**。
- **[Video duration]** (ビデオ持続時間) – 次のいずれかに設定します: **[30 seconds (MMS)]** (30 秒 (MMS)) または **[30 minutes]** (30 分) (デフォルト)。
- **[GPS location]** (GPS 位置情報) – **[On]** (オン) または **[Off]** (オフ) (デフォルト) にします。
- **[Storage]** (ストレージ) – 写真の保存先を次のいずれかに設定します: **[Phone]** (電話機) (デフォルト) または **[SD Card]** (SD カード)。
- **[White balance]** (ホワイトバランス) – タッチして、最も自然な色調になるように、光源の種類に合わせてどのように色を調整するかを選択します。
  -  **[Incandescent]** (白熱灯) – 白熱灯に適するようにホワイトバランスを調整します。
  -  **[Fluorescent]** (蛍光灯) – 蛍光灯に適するようにホワイトバランスを調整します。
  -  **[Auto]** (自動) – ホワイトバランスを自動的に調整します (デフォルト)。
  -  **[Daylight]** (昼光) – 昼光に適するようにホワイトバランスを調整します。
  -  **[Cloudy]** (曇り) – 曇天の環境に適するようにホワイトバランスを調整します。
- **[Image Stabilization]** (画像の安定化) – デバイスの振動によって発生するビデオのぼやけを軽減するように設定します。オプション: **[On]** (オン) または **[Off]** (オフ) (デフォルト)。

## 背面カメラ


- **[Flash]** (フラッシュ) – 背面カメラでフラッシュの有無を露出計に判別させるか、すべての撮影でフラッシュをオンまたはオフにするかを設定します。
  -  **[Off]** (オフ) – フラッシュを無効にします (デフォルト)。
  -  **[Torch]** (トーチ) – フラッシュを継続的にオンにします。
- **[Video quality]** (ビデオ画質) – ビデオ画質を次のように設定します: **[HD 1080p]** (デフォルト)、**[HD 720p]**、または **[SD 480p]**。
- **[Video duration]** (ビデオ持続時間) – 次のいずれかに設定します: **[30 seconds (MMS)]** (30 秒 (MMS))、または **[30 minutes]** (30 分) (デフォルト)。
- **[GPS location]** (GPS 位置情報) – **[On]** (オン) または **[Off]** (オフ) (デフォルト) にします。
- **[Storage]** (ストレージ) – 写真の保存先を次のいずれかに設定します: **[Phone]** (電話) (デフォルト) または **[SD Card]** (SD カード)。
- **[White balance]** (ホワイトバランス) – 最も自然な色調になるように、光源の種類に合わせてどのように色を調整するかを選択します。
  -  **[Incandescent]** (白熱灯) – 白熱灯に適するようにホワイトバランスを調整します。
  -  **[Fluorescent]** (蛍光灯) – 蛍光灯に適するようにホワイトバランスを調整します。
  -  **[Auto]** (自動) – ホワイトバランスを自動的に調整します (デフォルト)。
  -  **[Daylight]** (昼光) – 昼光に適するようにホワイトバランスを調整します。
  -  **[Cloudy]** (曇り) – 曇天の環境に適するようにホワイトバランスを調整します。
- **[Image Stabilization]** (画像の安定化) – デバイスの振動によって発生するビデオのぼやけを軽減するように設定します。オプション: **[On]** (オン) または **[Off]** (オフ) (デフォルト)。

## 連絡先


[Contacts] (連絡先) アプリを使用して、連絡先を管理します。

ホーム画面またはアプリ画面で、[Contacts] (連絡先) にタッチして連絡先のメイン リストを開きます。連絡先はアルファベット順に表示されます。上下にスワイプして、リストをスクロールします。


### 連絡先の追加

1. [Contacts] (連絡先) アプリで、 をタッチします。
2. 複数の連絡先をもつ複数のアカウントがある場合、使用するアカウントをタッチします。
3. 連絡先の名前とその他の情報を入力します。フィールドをタッチして入力を開始し、下にスワイプしてすべてのカテゴリを表示します。
4. [Home] (ホーム) または [Work] (仕事) など、電子メール アドレスにプリセットのラベルを付けてメニューを開くには、連絡先情報の項目の右にあるラベルをタッチします。独自のラベルを作成する場合、メニューで [Custom] (カスタム) をタッチします。
5. [Add New Contact] (新しい連絡先の追加) の横にあるチェック マークをタッチします。

### 連絡先の編集

1. [Contacts] (連絡先) アプリで、編集する連絡先の名前をタッチします。
2.  をタッチします。
3. 連絡先情報を編集します。
4. [SAVE] (保存) をタッチします。

### 連絡先の削除

1. [Contacts] (連絡先) アプリで、削除する連絡先の名前をタッチします。
2.  をタッチします。
3. [Delete] (削除) をタッチします。
4. [DELETE] (削除) をタッチして確定します。

## Device Central

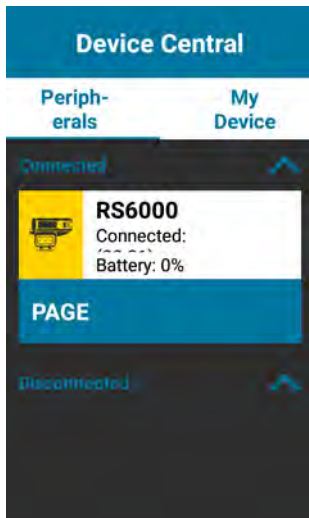
[Device Central] には、デバイスと接続済み周辺機器の詳細情報が表示されます。次の Zebra デバイスに対応しています。

- RS507/RS507X ハンズフリー イメージャ
- RS5000 コード付きリング スキャナ
- HS3100 Bluetooth ヘッドセット
- DS3678 デジタル スキャナ

Device Central の機能は次のとおりです。

- 対応周辺機器を Bluetooth または有線接続で検出し、ペアリングします。
- 接続済み RS6000 リング スキャナを呼び出します。
- 対応リング スキャナのファームウェアをアップデートします。詳細については『RS5000 クイック スタートガイド』または『RS6000 User Guide』を参照してください。
- 周辺機器の接続状態を表示します。
- 接続済みの周辺機器の情報を通知バーに表示します。

図 70 [Device Central] 画面



### [Device Central] タブ

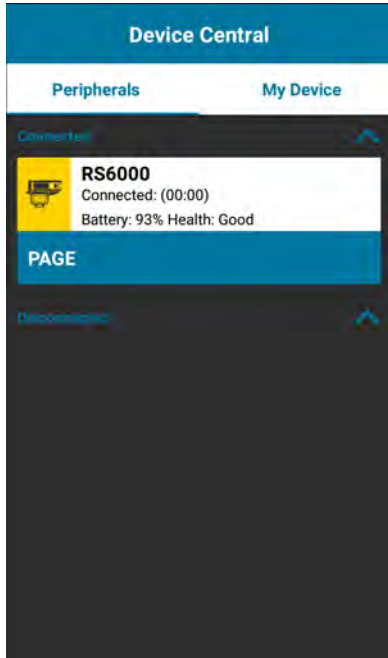
- **[Peripherals] (周辺機器) タブ** – 現在接続されている周辺機器と、以前に接続された周辺機器をすべて表示します。接続済みの周辺機器には、接続時間 (分単位) が表示されます。RS6000 が接続されると、**[Page] (呼び出し) ボタン**が表示されます。「94 ページの「RS6000 リング スキャナの呼び出し」」を参照してください。

周辺機器の情報をタッチすると、**[Device Details] (デバイスの詳細) 画面**が表示されます。

- **[Device Details] (デバイスの詳細)** – 選択した周辺機器の詳細なデバイス情報を表示します。


- **[My Device] (マイ デバイス)** タブ – デバイスに関する情報、および Device Central の現在のバージョンを表示します。
  - **[Device Details] (デバイスの詳細) – [Phone status] (電話の状態)** 画面を表示します。
  - **[Device Battery Details] (デバイス バッテリの詳細) – [Battery] (バッテリー)** 画面を表示します。

図 71 [Peripherals] (周辺機器) タブ



## RS6000 リング スキャナの呼び出し

[Page] (呼び出し) を使用すると、接続されている RS6000 リング スキャナを簡単に見つかります。

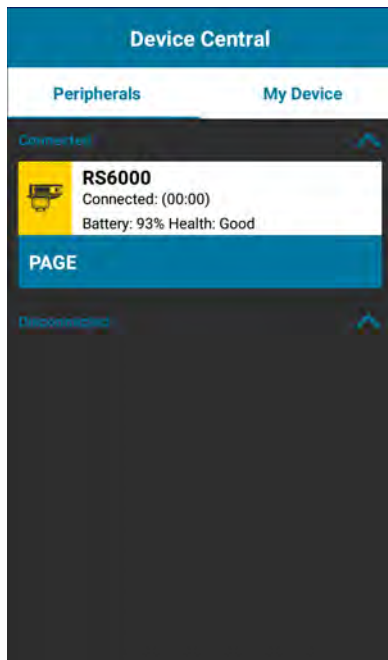
1. RS6000 リング スキャナを接続している状態で、画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。



注：RS6000 リング スキャナとデバイスの距離は 10m (32 フィート) 以内にしてください。

2. RS6000 の周辺機器情報で **[Page] (呼び出し)** をタッチして **RS6000** を呼び出します。呼び出された RS6000 は、ビーブ音を鳴らし振動します。

図 72 RS6000 の呼び出し



呼び出しを停止するには、RS6000 のスキャントリガを押します。トリガがない RS6000 では、RS6000 をリセットして呼び出しを停止します。『RS6000 ユーザー ガイド』を参照してください。

## DataWedge のデモンストレーション



注：DataWedge はホーム画面では無効になっています。この機能を有効にするには、DataWedge 設定に移動し、[Barcode input] (バーコード入力) オプションを有効にします。

データ収集機能のデモンストレーションを実行するには、[DataWedge Demonstration] (DataWedge デモンストレーション) を使用します。

図 73 [DataWedge Demonstration] (DataWedge デモンストレーション) ウィンドウ






表 9 [DataWedge Demonstration] (DataWedge デモンストレーション) のアイコン

	アイコン	説明
照明		イメージャの照明がオンです。タッチして照明をオフにします。
		イメージャの照明がオフです。タッチして照明をオンにします。
データ収集		データ収集機能は内蔵イメージャを使用して行われます。
		Bluetooth スキャナが接続されています。
		Bluetooth スキャナが接続されていません。
		データ収集機能は、背面カメラを使用して行われます。



表 9 [DataWedge Demonstration] (DataWedge デモンストレーション) のアイコン ( 続き )

	アイコン	説明
スキャン モード		イメージがピックリスト モードになっています。タッチすると、通常のスキャン モードに切り替わります。
		イメージが通常のスキャン モードになっています。タッチすると、ピックリスト モードに切り替わります。
		メニューを開き、アプリケーション情報の表示、またはアプリケーションの DataWedge プロファイルを設定します。



注：DataWedge の設定の詳細については、デバイスの『Integrator Guide for Android Version 8.1』を参照してください。

## スキャナの選択

スキャナを選択するには、 > **[Settings] (設定)** > **[Scanner selection] (スキャナの選択)** の順にタッチします。

詳細については、「[データ収集](#)」を参照してください。

プログラム可能ボタンを押すか、黄色のスキャン ボタンをタッチしてデータを収集します。収集したデータは、黄色のボタンの下にあるテキスト フィールドに表示されます。

## 診断ツール

診断ツールは、デバイスの健全性を判断するユーティリティです。デバイスのトラブルシューティングには、診断ツールを使用します。


1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。

図 74 診断ツール[しんだんつる]



2. **[RUN TEST]** (テストの実行) をタッチします。このアプリは、有効になっているすべてのサブシステムをテストします (デフォルトではバッテリー テストとシステム テストのみ)。サブシステム テストを有効にする方法については、「[101 ページの「設定」](#)」を参照してください。

図 75 テスト合格 (不具合がなかった場合) の画面

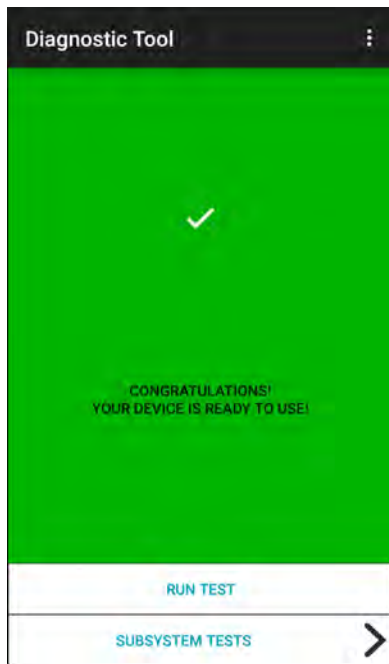


図 76 テスト不合格 (不具合があった場合) の画面



3. サブシステム テストごとに表示するには、[SUBSYSTEM TESTS] (サブシステム テスト) をタッチします。

図 77 [Subsystem] (サブシステム) 画面

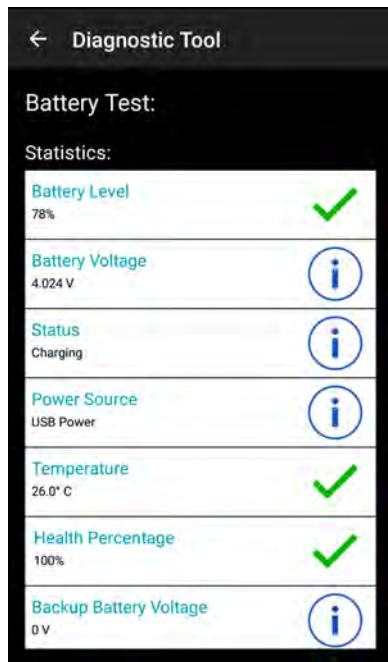


4. サブシステムのいずれかをタッチすると、詳細が表示されます。

表 10 サブシステム テストの結果を表すアイコン

ステータス アイコン	説明
✓	テストに合格 (不具合がなかった)。
✗	テストに不合格 (不具合があった)。
✗	テストがサポートされていないか、有効になっていない。

図 78 バッテリ サブシステムの詳細情報



## 設定

デフォルトでは、バッテリーテストとシステムテストのみが有効になっています。その他のテストを有効にするには、次の手順に従います。

1. > **[Settings]** (設定) の順にタッチします。
2. テスト名の左側をタッチします。チェックマークが付いた緑色のボックスが表示されます。
3. **[SAVE]** (保存) をタッチします。
4. **[Yes]** (はい) をタッチして確定します。
5. をタッチします。

## バッテリーテストの情報

[Battery Test] (バッテリーテスト) では、次の情報が表示されます。

- **[Battery Level]** (バッテリーレベル) – 現在のバッテリー充電レベル
- **[Battery Voltage]** (バッテリー電圧) – 現在のバッテリー電圧
- **[Status]** (ステータス) – バッテリーが充電中 (AC 電源の使用時) であるか、放電中 (バッテリー電源の使用時) であるか
- **[Power Source]** (電源) – デバイスに電力が供給されているのがバッテリーと外部電源のどちらからか
- **[Temperature]** (温度) – 現在のバッテリー温度
- **[Health Percentage]** (健全性の割合) – 設計容量の放電率で、設計容量に対する現在の容量の割合を示します。
- **[Backup Battery Voltage]** (バックアップバッテリー電圧) – バックアップバッテリー電圧
- **[Manufacture Date]** (製造日) – バッテリーの製造日

## GPS テストの情報

GPS テストでは、次の情報が取得されます (WWAN のみ)。

- **[GPS Provider Enabled] (GPS プロバイダが有効)** – GPS が有効 (true) か無効 (false) か
- **[Latitude] (緯度)** – 現在位置の緯度
- **[Longitude] (経度)** – 現在位置の経度
- **[Altitude] (標高)** – 現在の標高 (メートル単位)
- **[Bearing] (方位)** – 現在の方位
- **[Speed] (速度)** – 秒速での速度 (m/秒)
- **[Accuracy] (精度)** – GPS の精度 (メートル単位)

## システム テストの情報

システム テストでは、CPU またはメモリの負荷が高すぎないか、デバイスで実行中のプロセスが多すぎないか、またはデバイスのストレージが満杯に近くなっていないかを判断します。

システム テストでは、次の情報が取得されます。

- **[CPU Load] (CPU 負荷)** – 使用している CPU 量
- **[Free Physical Memory] (物理メモリの空き容量)** – 使用可能な RAM の量
- **[Free Storage] (空きストレージ)** – 使用可能な内部フラッシュメモリの量
- **[Process Count] (プロセス カウント)** – 現在実行中のプロセス数

## WLAN テストの情報

Wi-Fi 無線がないか無効になっている場合、このテストをスキップしてください。このテストでは、デバイスの WLAN 設定が正しいかどうか、また、アクセス ポイントやネットワークとの接続があるかどうかを判断します。

WLAN テストでは、次の情報が取得されます。

- **[WLAN Enabled] (WLAN 有効)** – WLAN 無線が有効か無効か
- **[WLAN Status] (WLAN ステータス)** – アクセス ポイントとの現在の接続状態
- **[ESSID]** – 無線ネットワークの名前
- **[BSSID]** – 接続されているアクセス ポイントの MAC アドレス
- **[MAC Address] (MAC アドレス)** – デバイスの MAC アドレス
- **[Signal] (信号)** – Wi-Fi 信号の強度 (単位は dBm)
- **[IP Address] (IP アドレス)** – デバイスの IP アドレス。

## WWAN テストの情報

WWAN テストでは、次の情報が取得されます (WWAN のみ)。

- **[SIM State]** (SIM の状態) – SIM カードの現在の状態
- **[WAN Type]** (WAN タイプ) – データ接続タイプ
- **[Signal Strength]** (信号強度) – 現在のセルラ信号の強度
- **[Phone Number]** (電話番号) – デバイ스에割り当てられた電話番号
- **[Device ID]** (デバイス ID) – デバイス ID 番号

## Bluetooth テストの情報

Bluetooth テストでは、次の情報が取得されます。

- **[Enabled]** (有効) – Bluetooth 無線が有効か無効か
- **[Status]** (ステータス) – 別の Bluetooth デバイスとのペアリング状態
- **[Connectable/Discoverable]** (接続可能/検出可能) – デバイスが検出可能であるか、接続可能であるかどうか
- **[Address]** (アドレス) – Bluetooth 無線の MAC アドレス
- **[Name]** (名前) – デバイスの Bluetooth 名

## ファイル

ファイル アプリを使用して、デバイス上のファイルを表示および管理します。


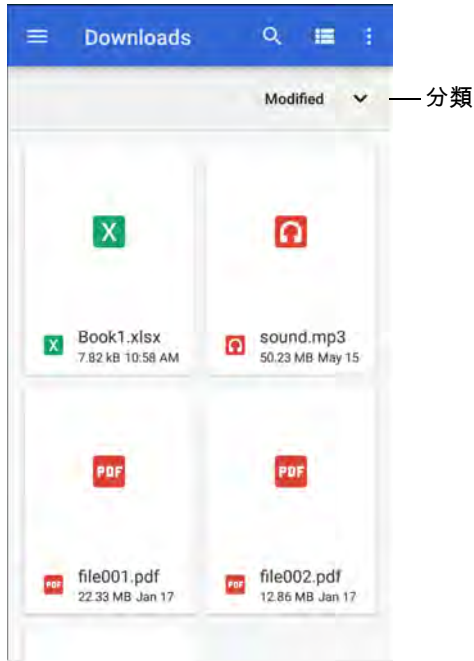







ファイルを開くには、画面の一番下から上にスワイプして、 をタッチします。

図 79 ファイルの画面



- アイテムを長押しして、[File Operations] (ファイル操作) メニューを開きます。以下のオプションを選択できます。
  -  - ファイルを他のデバイスと共有します。
  -  - ファイルを削除します。
  -  - 追加オプションを表示します。
    - [Open with] (使用アプリ) - ファイルを開くために使用するアプリを選択します。
    - [Select all] (すべて選択) - すべてのフォルダとファイルを選択します。
    - [Copy to...] (コピー先...) - ファイルをコピーします。
    - [Move to...] (移動先...) - 選択したファイルまたはフォルダを新しい場所に移動します。
    - [Compress] (圧縮) - 選択したファイルを zip ファイルに圧縮します。
    - [Rename] (名前変更) - ファイルの名前を変更します。
- ファイルを名前、タイプ、サイズ、または日付順に並べ替えるには、[Sort] (分類) ドロップダウンにタッチします。
-  - すべてのファイルの場所を表示します。
-  - デバイス上の特定のファイルを検索します。
-  - フォルダのアイテムの表示形式をリスト/グリッドに変更します。



-  - オプション メニューを開きます。
  - **[New Window] (新規ウィンドウ)** - 新規ファイル ウィンドウを作成します。
  - **[New Folder] (新しいフォルダ)** - 新しいフォルダを作成します。
  - **[Select all] (すべて選択)** - すべてのフォルダとファイルを選択します。
  - **[Show/Hide internal storage] (内部ストレージの表示/非表示)** - 内部ストレージの表示/非表示を切り替えます。

## ギャラリー



注：次の画像形式をサポートしています: jpeg、gif、png、および bmp。

次のビデオ形式をサポートしています: H.263、H.264 および MPEG4 シンプル プロファイル。

AOSP が搭載されたデバイスのみで使用できます。

[Gallery] (ギャラリー) を使用して、次の操作を行えます。

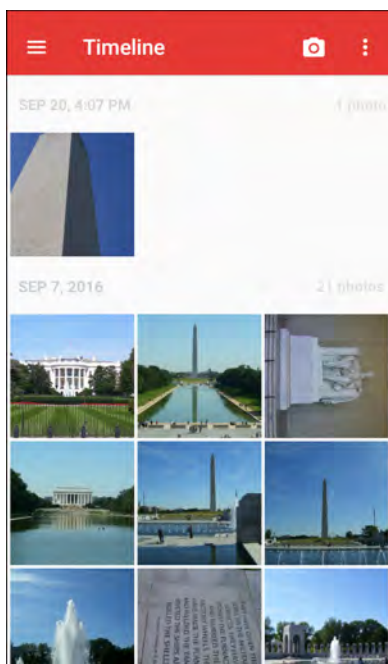
- 写真を表示する
- ビデオを再生する
- 写真の基本編集を行う
- 壁紙として写真を設定する
- 連絡先用の写真として写真を設定する
- 写真やビデオを共有する

ギャラリーには、microSD カードおよび内部メモリに保存されたすべての写真とビデオが表示されます。

ギャラリーを開くには、ホーム画面の一番下から上にスワイプして **[Gallery] (ギャラリー)** をタッチするか、カメラアプリで左下のサムネイル画像をタッチします。

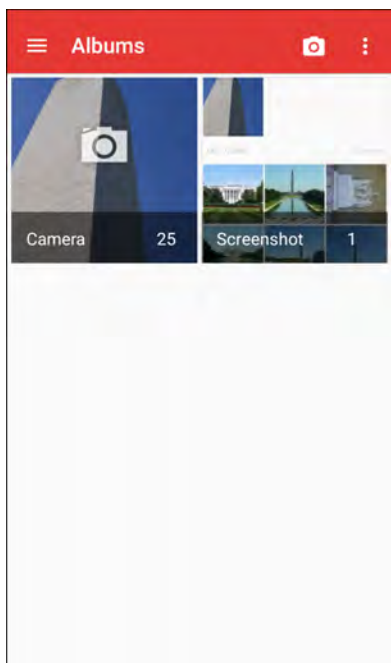
デフォルトでは、ギャラリーは **[Timeline] (タイムライン)** ビューで開きます。

図 80 ギャラリー - タイムライン ビュー



☰ > [Albums] (アルバム) の順にタッチするとアルバム順で、☰ > [Videos] (ビデオ) の順にタッチするとビデオのみを表示します。

図 81 ギャラリー – [Albums] (アルバム) ビュー



- アルバムをタッチして開き、その内容を表示します。アルバム内の写真やビデオは時系列で表示されます。
- アルバム内の写真またはビデオをタッチすると表示されます。
- ☰ > [Timeline] (タイムライン) の順にタッチすると、デフォルトの [Gallery] (ギャラリー) 画面に戻ります。

## アルバムの処理


アルバムには、画像やビデオがフォルダに分類されています。アルバムをタッチして開きます。写真やビデオは時系列のグリッド表示でリストされます。アルバムの名前は画面の上部に表示されます。

図 82 アルバム内の写真




上下にスワイプして、画像をスクロールします。

### アルバムの共有

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、**[Gallery]** (ギャラリー) をタッチします。
2. アルバムが強調表示されるまで、アルバムを長押しします。
3. 必要に応じて、他のアルバムをタッチします。
4.  をタッチします。[Share] (共有) メニューが開きます。
5. 選択したアルバムの共有に使用するアプリをタッチします。
6. 選択したアプリの指示に従います。


### アルバム情報の取得

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、**[Gallery]** (ギャラリー) をタッチします。
2. アルバムが強調表示されるまで、アルバムを長押しします。
3.  をタッチします。
4. **[Details]** (詳細情報) をタッチします。

### アルバムの削除

アルバムとその内容を削除するには、次の手順を実行します。

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、**[Gallery]** (ギャラリー) をタッチします。
2. アルバムが強調表示されるまで、アルバムを長押しします。
3. 削除するその他のアルバムにチェックマークを付けます。

4.  をタッチします。
5. **[Delete selected item?]** (選択した項目を削除しますか?) メニューで、**[OK]** をタッチしてアルバムを削除します。

## 写真の処理

ギャラリーを使用して、デバイス内の写真を表示し、写真を編集および共有します。

### 写真の表示およびブラウズ

写真を表示するには、次の手順に従います。

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、**[Gallery]** (ギャラリー) をタッチします。
2. アルバムをタッチして開きます。
3. 写真をタッチします。

図 83 サンプル写真



4. 左右にスワイプして、アルバム内の次または前の写真を表示します。
5. デバイスを回転させて、写真を縦向き (ポートレート) または横向き (ランドスケープ) に表示します。新しい向きで写真が表示されます (ただし、保存はされません)。
6. 写真をタッチすると、コントロールが表示されます。
7. 画面をダブルタップしてズーム インするか、2本の指を画面に置いて指の間隔を狭めたり広げたりして、ズーム インやズーム アウトします。
8. 表示されていない部分を表示するには、写真をドラッグします。

## 写真のトリミング






1. **[Gallery]** (ギャラリー) で、写真をタッチしてコントロールを表示します。
2.  >  >  の順にタッチします。トリミングツールが表示されます。
3. トリミングツールを使用して、写真をトリミングする部分を選択します。
  - トリミングツールの内側からドラッグすると、トリミング部分が移動します。
  - トリミングツールの縁をドラッグすると、トリミング部分が任意の比率でサイズ変更されます。

図 84 トリミングツール




4.  > **[SAVE]** (保存) の順にタッチして、トリミングした写真のコピーを保存します。元のバージョンは保持されます。


## 連絡先アイコンとして写真を設定する

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、**[Gallery]** (ギャラリー) をタッチします。
2. アルバムをタッチして開きます。
3. 写真をタッチして開きます。
4.  をタッチします。
5. **[Set picture as]** (写真の設定) をタッチします。
6. **[Contact photo]** (連絡先用の写真) をタッチします。
7. **[Contacts]** (連絡先) で、連絡先にタッチします。
8. 白色のボックスをタッチし、写真を適切にトリミングします。
9. **[SAVE]** (保存) をタッチします。

## 写真の共有

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、[Gallery] (ギャラリー) をタッチします。
2. アルバムをタッチして開きます。
3. 写真をタッチして開きます。
4.  をタッチします。
5. 選択した写真の共有に使用するアプリにタッチします。
6. 選択したアプリの指示に従います。


## 写真の削除

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、[Gallery] (ギャラリー) をタッチします。
2. アルバムをタッチして開きます。
3. 写真をタッチして開きます。
4.  をタッチします。
5. [OK] をタッチして、写真を削除します。


## ビデオの処理

ギャラリーを使用して、ビデオを表示および共有します。

### ビデオの再生


1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、[Gallery] (ギャラリー) をタッチします。
2. アルバムをタッチして開きます。
3. ビデオにタッチします。
4.  にタッチして再生します。
5. 画面をタッチすると、再生コントロールが表示されます。

### ビデオの共有

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、[Gallery] (ギャラリー) をタッチします。
2. アルバムをタッチして開きます。
3. ビデオをタッチして開きます。
4.  をタッチします。[Share] (共有) メニューが表示されます。
5. 選択したビデオの共有に使用するアプリをタッチします。
6. 選択したアプリの指示に従います。

### ビデオの削除

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、[Gallery] (ギャラリー) をタッチします。

2. アルバムをタッチして開きます。
3. ビデオをタッチして開きます。
4.  をタッチします。
5. [OK] をタッチします。

## 写真



注：次の画像形式をサポートしています: jpeg、gif、png、および bmp。

次のビデオ形式をサポートしています: H.263、H.264、および MPEG4 シンプル プロファイル。

GMS が搭載されたデバイスのみで使用できます。

[Photos] (写真) では、次の操作を実行できます。

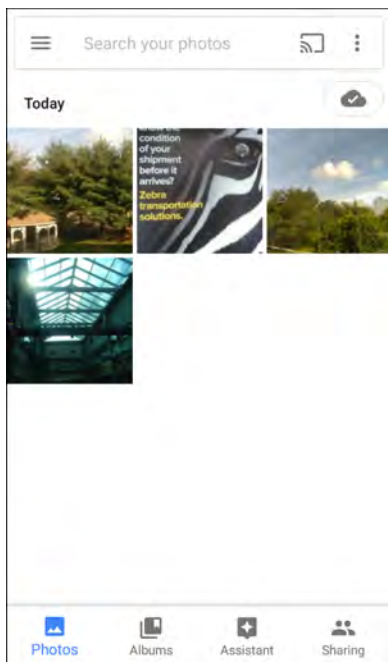
- 写真を表示する
- ビデオを再生する
- 写真の基本編集を行う
- 壁紙として写真を設定する
- 連絡先用の写真として写真を設定する
- 写真やビデオを共有する

写真には、microSD カードおよび内部メモリに保存されたすべての写真とビデオが表示されます。

写真アプリを開くには、ホーム画面の一番下から上にスワイプして、[Photos] (写真) をタッチします。

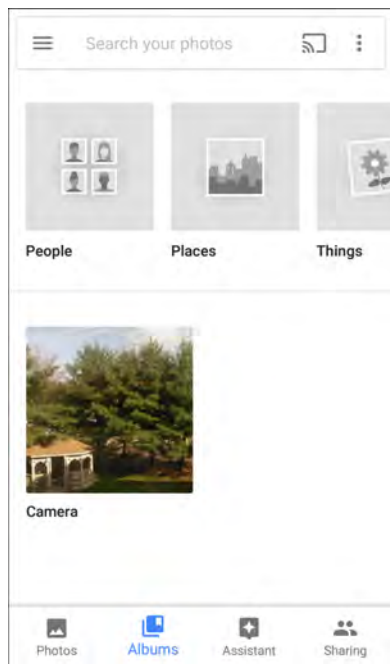
デフォルトでは、写真は [Photos] (写真) ビューで開きます。

図 85 [Photos] (写真) ビュー



[Albums] (アルバム) をタッチすると、アルバム順に写真が表示されます。

図 86 [Albums] (アルバム) ビュー



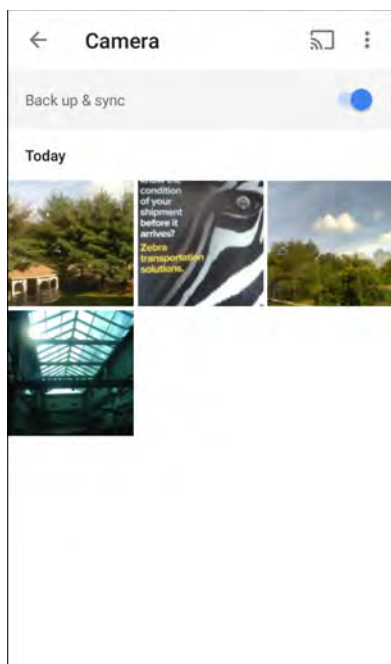
- アルバムをタッチして、その内容を表示します。アルバム内の写真とビデオは時系列で表示されます。
- アルバム内の写真またはビデオをタッチすると表示されます。
- ← をタッチすると、メイン画面に戻ります。

## アルバムの処理

アルバムには、画像やビデオがフォルダに分類されています。アルバムをタッチして開きます。写真やビデオは時系列のグリッド表示でリストされます。アルバムの名前は画面の上部に表示されます。



図 87 アルバム内の写真



上にスワイプして、画像をスクロールします。

## アルバムの共有

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、**[Photos]** (写真) をタッチします。
2. **[Albums]** (アルバム) をタッチします。
3. 目的のアルバムをタッチします。
4. **⋮** > **[Select]** (選択) の順にタッチします。
5. アルバム内のすべての写真を選択します。
6. **🔗** をタッチします。[Share] (共有) メニューが開きます。
7. 選択したアルバムの共有に使用するアプリにタッチします。
8. 選択したアプリの指示に従います。

## アルバムの削除

アルバムとその内容を削除するには、次の手順を実行します。

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、**[Photos]** (写真) をタッチします。
2. **[Albums]** (アルバム) をタッチします。
3. 目的のアルバムをタッチします。
4. **⋮** > **[Select]** (選択) の順にタッチします。
5. アルバム内のすべての写真を選択します。
6. **🗑️** をタッチします。
7. **[Move to trash]** (ゴミ箱に移動) をタッチして、アルバムを削除します。

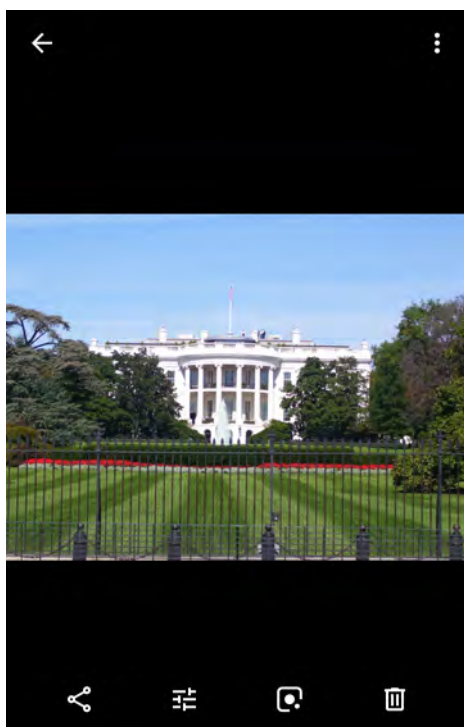
## 写真の処理

[Photos] (写真) を使用して、内部メモリと microSD カードの写真を表示します。

### 写真の表示およびブラウズ

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、[Photos] (写真) をタッチします。
2. 写真をタッチします。

図 88 サンプル写真



3. 左右にスワイプして、アルバム内の次または前の写真を表示します。
4. デバイスを回転させて、写真を縦向き (ポートレート) または横向き (ランドスケープ) に表示します。新しい向きで写真が表示されます (ただし、保存はされません)。
5. 写真をタッチすると、コントロールが表示されます。
6. 画面をダブルタップしてズーム インするか、2本の指を画面に置いて指の間隔を狭めたり広げたりして、ズーム インやズーム アウトします。
7. 表示されていない部分を表示するには、写真をドラッグします。

### 写真のトリミング

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、[Photos] (写真) をタッチします。
2. 写真をタッチして、コントロールを表示します。
3. 𠂆 > 𠂇 の順にタッチします。トリミング ツールが表示されます。

図 89 トリミング ツール




4. トリミング ツールを使用して、写真をトリミングする部分を選択します。
  - ・ トリミング領域の内側からドラッグすると、トリミング部分が移動します。
  - ・ トリミング領域の縁をドラッグすると、トリミング部分が任意の比率でサイズ変更されます。
5. **[DONE]** (完了) をタッチします。
6. **[SAVE]** (保存) をタッチして、トリミングした写真のコピーを保存します。元のバージョンは保持されます。

### 連絡先アイコンとして写真を設定する


1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、**[Photos]** (写真) をタッチします。
2. 写真をタッチして開きます。
3. **⋮** > **[Use as]** (用途) の順にタッチします。
4. **[Contact photo]** (連絡先用の写真) をタッチします。
5. **[Contacts]** (連絡先) アプリで、連絡先をタッチします。
6. 白色のボックスをタッチし、写真を適切にトリミングします。
7. **[Done]** (完了) をタッチします。

### 写真の共有

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、**[Photos]** (写真) をタッチします。
2. アルバムをタッチして開きます。

3. 写真をタッチして開きます。
4.  をタッチします。
5. 選択した写真の共有に使用するアプリにタッチします。
6. 選択したアプリの指示に従います。

### 写真の削除

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、**[Photos]** (写真) をタッチします。
2. 写真をタッチして開きます。
3.  をタッチします。
4. **[MOVE TO TRASH]** (ゴミ箱に移動) をタッチします。


### ビデオの処理

写真を使用して、ビデオを表示および共有します。


#### ビデオの再生

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、**[Photos]** (写真) をタッチします。
2. 再生するビデオにタッチします。
3. 画面をタッチすると、再生コントロールが表示されます。

#### ビデオの共有

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、**[Photos]** (写真) をタッチします。
2. ビデオをタッチして開きます。
3.  をタッチします。[Share] (共有) メニューが表示されます。
4. 選択したビデオの共有に使用するアプリをタッチします。
5. 選択したアプリの指示に従います。

#### ビデオの削除

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、**[Photos]** (写真) をタッチします。
2. ビデオをタッチして開きます。
3.  をタッチします。
4. **[MOVE TO TRASH]** (ゴミ箱に移動) をタッチして、ビデオを削除します。

## PTT Express Voice クライアント



注：PTT Express Voice クライアントを使用すると、異なる企業のデバイス間でプッシュトゥトーク (PTT) 通信ができるようになります。PTT Express は、既存の無線 LAN (WLAN) インフラストラクチャを利用して、音声通信サーバーなしで簡単な PTT 通信機能を提供します。

- **グループ通話**: 他の音声クライアント ユーザーとの通信を開始するには、PTT (トーク) ボタンを長押しします。
- **プライベート応答**: 直前のブロードキャストの発信元に応答したり、プライベート応答したりするには、PTT ボタンを 2 回押しします。

### PTT 音声通知

音声クライアントを使用するときに、以下の通知音が役立ちます。

- **トーク トーン**: チャープ音が 2 回鳴ります。[Talk] (トーク) ボタンを押すと鳴ります。ユーザーに会話の開始を促しています。
- **アクセス トーン**: ビープ音が 1 回鳴ります。相手のユーザーがブロードキャストまたは応答を終了すると鳴ります。こちら側からグループブロードキャストまたはプライベート応答を開始できる合図になります。
- **ビジー トーン**: 連続トーンが鳴ります。[Talk] (トーク) ボタンを押したときに別のユーザーが同じトークグループで通信をすでに開始しているときに鳴ります。許容される最大送信時間 (60 秒) を経過すると鳴ります。
- **ネットワーク トーン**:
  - 徐々に高くなるビープ音が 3 回鳴ります。PTT Express で WLAN 接続を確立してサービスが有効になると鳴ります。
  - 徐々に低くなるビープ音が 3 回鳴ります。PTT Express の WLAN 接続が失われるか、サービスが無効になると鳴ります。



### PTT 通知アイコン

通知アイコンは、PTT Express Voice クライアントの現在の状態を示します。


表 11 PTT Express アイコンの説明

ステータス アイコン	説明
	PTT Express Voice クライアントが無効になっています。
	PTT Express Voice クライアントは有効になっていますが、WLAN に接続されていません。
	PTT Express Voice クライアントは有効で、WLAN に接続されています。アイコンの隣にある番号のトークグループをリッスンしています。
	PTT Express Voice クライアントは有効で、WLAN に接続されています。アイコンの隣にある番号のトークグループで通信しています。
	PTT Express Voice クライアントは有効で、WLAN に接続されています。プライベート応答中です。

表 11 PTT Express アイコンの説明 ( 続き )

ステータス アイコン	説明
	PTT Express Voice クライアントは有効でミュートになっています。
	PTT Express Voice クライアントは有効になっていますが、VoIP テレフォニーコール中のため通信できません。

## PTT 通信を有効にする

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。
2. [Enable/Disable Switch] (スイッチのオン/オフ) を [ON] (オン) の位置にスライドします。ボタンが [ON] (オン) に変わります。

## トーク グループの選択

PTT Express ユーザーは、32 のトーク グループの 1 つを選択できます。ただし、デバイスで一度に有効にできるのは、1 つのトーク グループのみです。32 のトーク グループのいずれか 1 つをタッチします。選択したトーク グループが強調表示されます。

## PTT 通信

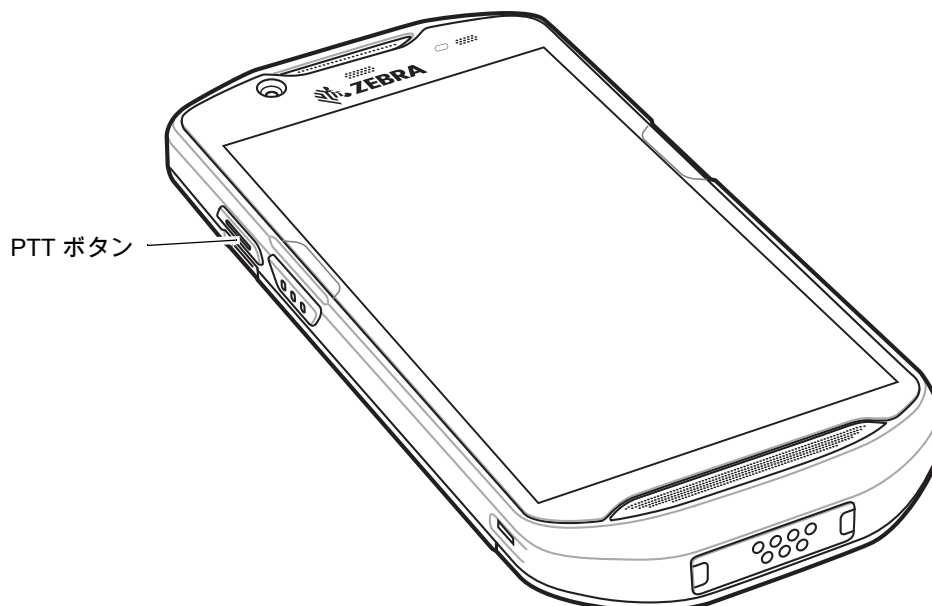


注：このセクションでは、デフォルトの PTT Express クライアント設定について説明します。クライアントの使用に関する詳細については、『PTT Express V1.2 User Guide』を参照してください。



注：PTT 通信は、グループ通話として確立されます。PTT Express が有効になると、デバイスの左側の PTT ボタンが PTT 通信に割り当てられます。有線ヘッドセットを使用する場合、ヘッドセットのトーク ボタンを使用してグループ通話も開始できます。有線ヘッドセットを使用している場合、PTT ボタンの付いた Zebra 有線ヘッドセットのみを使用してください。

図 90 PTT ボタン



## グループ通話の作成



注：有線ヘッドセットを使用している場合、PTT ボタンの付いた Zebra 有線ヘッドセットのみを使用してください。

1. PTT ボタン (またはヘッドセットのトーク ボタン) を長押しして、トーク トーンが鳴るのを待ちます。ビジー トーンが鳴る場合、ボタンを放してしばらく待ってから、やり直してみます。PTT Express と WLAN が有効であることを確認してください。
2. トーク トーンが聞こえたら、通話を開始します。





注： ボタンを 60 秒 (デフォルト) 以上押し続けると、通話が終了して、他のユーザーがグループ通話を開始できるようになります。話し終わったら、ボタンを放して他のユーザーが会話できるようにします。

## プライベート応答での応答

プライベート応答を開始できるのは、グループ通話が確立されてからです。最初のプライベート応答は、グループ通話の発信元に対して実行されます。

1. アクセストーンを待ちます。
2. 10 秒以内に PTT ボタンを 2 回押しして、トーク トーンが鳴るのを待ちます。
3. ビジー トーンが鳴る場合、ボタンを放してしばらく待ってから、やり直してみます。PTT Express と WLAN が有効であることを確認してください。
4. トーク トーンが鳴ったら、通話を開始します。
5. 話し終わったら、ボタンを放します。

## PTT 通信を無効にする

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。
2. [Enable/Disable Switch] (スイッチのオン/オフ) を [OFF] (オフ) の位置にスライドします。ボタンが [OFF] (オフ) に変わります。
3.  をタッチします。

## RxLogger

RxLogger は、アプリとシステムの測定値を提供する包括的な診断ツールです。このツールとシームレスに連携するカスタム プラグインを作成します。RxLogger は、デバイスおよびアプリケーションの問題を診断し、次の情報を追跡します: CPU 負荷、メモリ負荷、メモリのスナップショット、バッテリー消費、電源の状態、ワイヤレス ログイング、セルラ ログイング、TCP ダンプ、Bluetooth ログイング、GPS ログイング、LogCat、ANR ダンプなど。生成されたログやファイルはすべてデバイスのフラッシュ ストレージ (内部または外付け) に保存されます。

図 91 RxLogger[RxLogger]





## RxLogger ユーティリティ

RxLogger ユーティリティは、RxLogger の実行時にデバイスでログを表示するデータ監視アプリケーションです。アプリビューまたはオーバーレイビューで、ログや RxLogger ユーティリティの機能にアクセスします。

アプリビューで、RxLogger ユーティリティ内のログを表示します。

図 92 RxLogger ユーティリティのアプリビュー



RxLogger ユーティリティの詳細については、デバイスの『Integrator Guide』を参照してください。

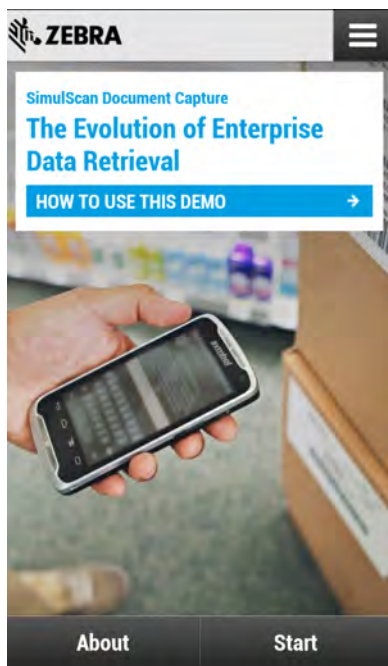
## SimulScan デモ

SimulScan デモ アプリは、SimulScan 対応のデバイスに搭載されるデモンストレーション アプリです。特に設定を行わずに、そのまま使用できます。

SimulScan デモ アプリには、次のものが含まれます。

- [Postal, Transportation and Logistics Example] (郵送、運輸、物流サンプル) – 光学文字認識 (OCR) と光学マーク認識 (OMR) の機能をデモンストレーションします。
- [Manufacturing Example] (製造サンプル) – MultiCode 20 機能をデモンストレーションします。
- [Demo Customization] (デモのカスタマイズ) – テンプレート ビルダを使用してテンプレートを作成するか、デフォルトのテンプレートを使用します。デバイス上のテンプレートをテストします。

図 93 SimulScan デモのホーム画面



## サンプル フォームの印刷

[Postal, Transportation & Logistics] (郵送、運輸、物流) または [Manufacturing] (製造) のデモンストレーションを実行するため、デバイスに保存されたサンプル フォームを印刷します。

1. **[SimulScan Demo] (SimulScan デモ)** アプリケーションを起動します。
2. **[SimulScan Demo] (SimulScan デモ)** のホーム画面で、**[HOW TO USE THIS DEMO]** (このデモの使用法) をタッチします。
3. 下にスクロールして、**[Export sample forms]** (サンプル フォームのエクスポート) ボタンをタッチします。フォームが内部ストレージの `\simulscan\samples` フォルダにコピーされます。
4. USB 充電ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続します。
5. 内部ストレージの `\simulscan\samples` フォルダからコンピュータにファイルをコピーします。
6. フォームを印刷します。

## 郵送、運輸、物流サンプルの使用法

1. 郵送、運輸、物流フォームを印刷します。「122 ページの「サンプル フォームの印刷」」を参照してください。

図 94 郵送、運輸、物流フォーム

**POSTAL/T&L** Shipment Air Waybill (Non-negotiable) 123456-789A

**1 Payer account number and insurance details**  
 Charge to  Shipper  Receiver  3rd party  
Not all payment options are available in all countries.  
 Payer Account No. 001-12349876

**2 Non-Document Shipments Only (Customs Requirements)**  
 Attach the original and four copies of a Proforma or Commercial Invoice  
 Shipper's VAT/GST number 564451112 Receiver's VAT/GST or Shipper's EIN/SSN 1111577738 Harmonised Commodity Code if applicable  
 Shipment Insurance see reverse  
 Yes insurance value (in local currency) 1400 Destination duties/taxes if left blank receiver pays duties/taxes  
 Receiver  Shipper  Other Declared Value for Customs (in US commercial/proforma invoice)  
specify approved account number

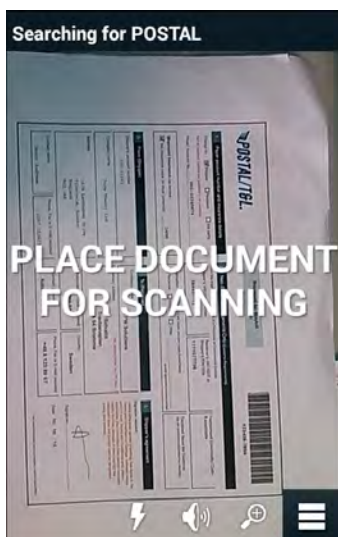
**3 From (Shipper)**  
 Shipper's account number 155-22263  
 Company name Pure Theory Ltd  
 Address 163B Landadown Drive, Fitzrovia, London, England, WC2 1AB  
 Contact name Scott Andrews Phone, Fax or E-mail (required) 0207 553633

**4 To (Receiver)**  
 Company name TFW Solutions  
 Delivery address (We cannot deliver to a P.O. Box) Solvalla, Travbaneplan 12A 64 Bromma  
 Postcode/Zip Code (required) 286 32 Country Sweden  
 Contact person Aidan Peterson Phone, Fax or E-mail (required) +46 8 123 89 67

**5 Shipper's agreement**  
(Signature required)  
Unless otherwise agreed in writing, I/we agree to the terms and conditions of Carriage between me/us and TFW Solutions and Conditions and, where applicable, the Conditions, both under exclusive liability for loss, damage or delay until the shipment is/are not received cash or otherwise (specify past/revised).  
 Signature [Handwritten Signature]  
 Date 10 / 10 / 13  
For more information visit our website or call our local office.

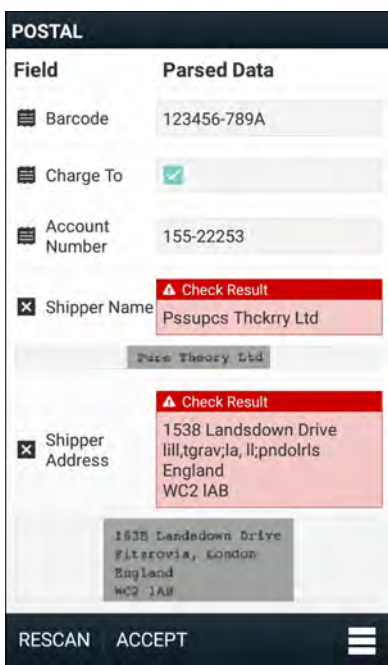
2. フォームを平らな表面に置きます。
3. デバイス上で、[SimulScan Demo] (SimulScan デモ) アプリを起動します。
4. 画面の右上にある [Menu] (メニュー) アイコンをタッチします。
5. [Postal, Transportation & Logistics] (郵送、運輸、物流) をタッチします。
6. [Start SimulScan] (SimulScan の開始) をタッチします。
7. 画面下の画像コントロールを使用して、フラッシュ、音声、ズーム レベルを制御します。

図 95 画像コントロール



8. カメラをフォームの上に配置します。フォームの境界線全体が画面に表示されることを確認します。
9. デバイスを固定します。
10. デバイスでフォームが検出されると、[Tap Screen to Scan] (画面をタップしてスキャン) というメッセージが画面に表示されます。
11. 画面をタップして、データ収集を開始します。完了すると、ビープ音が鳴り、フォームのデータが表示されます。

図 96 郵送のデータ画面



12. エラーを修正する場合、テキスト ボックスをタッチします。注: 多数のエラーがある場合、[Rescan] (再スキャン) をタッチして収集を再度実行します。

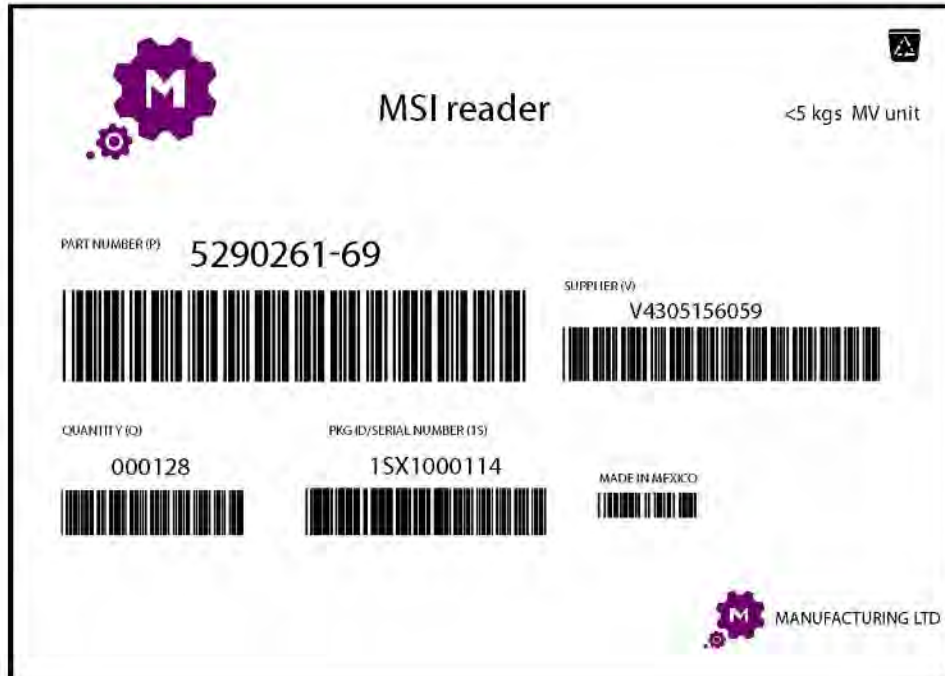
13. **[Accept]** (承諾) をタッチし、データが正しいことを確認します。**[Results summary]** (結果の要約) 画面が表示されます。

14. **[OK]** をタッチします。

## 製造サンプルの使用法

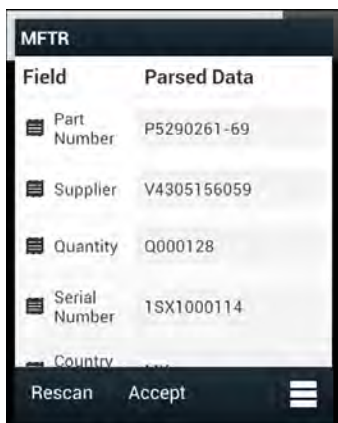
1. 製造フォームを印刷します。「[122 ページの「サンプル フォームの印刷」](#)」を参照してください。

図 97 製造フォーム



2. フォームを平らな表面に置きます。
3. デバイス上で、**[SimulScan Demo]** (SimulScan デモ) アプリを起動します。
4. 画面の右上にある **[Menu]** (メニュー) アイコンをタッチします。
5. **[Manufacturing]** (製造) をタッチします。
6. **[Start SimulScan]** (SimulScan の開始) をタッチします。
7. デバイスの先端を文書の方に向け、文書上の収集対象を中央に合わせます。
8. デバイスを固定します。
9. デバイスがデータ収集を開始します。完了すると、デバイスからピープ音が鳴り、ドキュメントのデータが表示されます。

図 98 製造データ

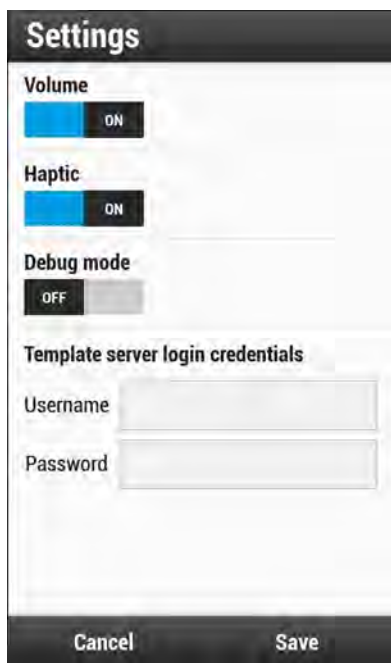


10. エラーを修正する場合、テキストボックスをタッチします。多数のエラーがある場合、[Rescan] (再スキャン) をタッチして収集を再度実行します。
11. [Accept] (承諾) をタッチし、データが正しいことを確認します。[Results summary] (結果の要約) 画面が表示されます。
12. [OK] をタッチします。

## 設定

[SimulScan Demo] (SimulScan デモ) アプリケーションを設定するには、[Menu] (メニュー) アイコン > [Settings] (設定) の順にタッチします。

図 99 [Settings] (設定) 画面



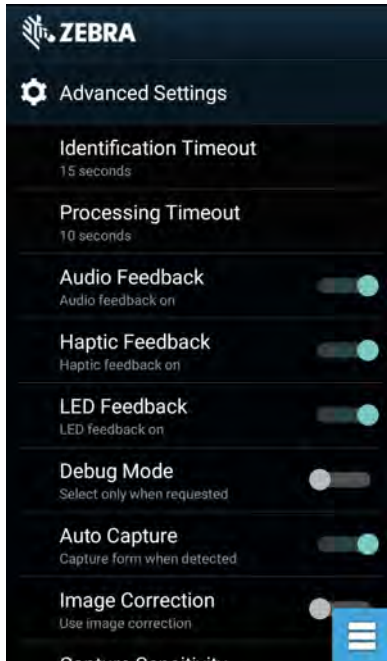
- [Volume] (音量) – 音声通知をオン/オフに切り替えます。
- [Haptic] (ハプティック) – 振動通知をオン/オフに切り替えます。
- [Debug mode] (デバッグモード) – デバッグモードをオン/オフに切り替えます。

- **[Template server login credentials]** (テンプレート サーバーのログイン認証情報) – テンプレート サーバーにアクセスするための認証情報を入力します。

## 詳細設定

データ収集オプションを設定するには、**[Advanced Settings]** (詳細設定) を使用します。データ収集画面で、画面の右下にある  をタッチします。

図 100 [Advanced Settings] (詳細設定) 画面



- **[Identification Timeout]** (特定タイムアウト) – 対象となる文書の特定がタイムアウトする時間を設定します。オプション: **[2 seconds]** (2 秒)、**[5 seconds]** (5 秒)、**[10 seconds]** (10 秒)、**[15 seconds]** (15 秒)、**[20 seconds]** (20 秒)、または **[25 seconds]** (25 秒)。
- **[Processing Timeout]** (処理タイムアウト) – 対象となる文書が特定された後、処理がタイムアウトする時間です。
- **[Audio feedback]** (オーディオ フィードバック) – 正常に完了した解析に関するオーディオ フィードバックのオンとオフを切り替えます。
- **[Haptic feedback]** (ハプティック フィードバック) – 正常に完了した解析に関するハプティック (振動) フィードバックのオンとオフを切り替えます。
- **[LED Feedback]** (LED フィードバック) – 正常に完了した解析に関する LED フィードバックのオンとオフを切り替えます。
- **[Debug mode]** (デバッグ モード) – 有効になっている場合、収集されたフォーム、領域の画像、領域の値、および他のデータがセッションによってストレージに書き込まれます。管理者から指示された場合にのみ使用します。
- **[Auto Capture]** (自動収集) – 検出されたフォームを自動的に収集する場合、**[On]** (オン) に設定します。ユーザーが画面をタップするかトリガ ボタンを押したときにフォームを手動で収集する場合、**[Off]** (オフ) に設定します。
- **[Image Correction]** (画像修正) – 文書にしわが寄っているか曲がっていて、高度な画像修正が必要な場合にオンにします。

- **[Capture Sensitivity]** (収集感度) – 文書の識別精度を高めるには、処理を行う前にこの機能の感度を上げます。
- **[About]** (バージョン情報) – SimulScan エンジンのバージョン番号を表示します。
- **[Quit Scanner]** (スキャナの終了) – **[Advanced Settings]** (詳細設定) 画面を終了します。

## デモ カスタマイズの作成

カスタマイズしたデモを作成する前に、次を実行します。

- テンプレートビルダ ツールを使用してテンプレートを作成します。
  - 会社のロゴと画像をデバイスの保存場所にコピーします。
1. **[Menu]** (メニュー) アイコンをタッチします。
  2. **[Setup Custom Demo]** (カスタム デモの設定) をタッチします。

図 101 カスタム デモ設定画面

3. **[Name]** (名前) テキスト ボックスに、ドロップダウン メニューに表示されるカスタム デモの名前を入力します。
4. **[Custom Demo Setup]** (カスタム デモの設定) テキスト ボックスに、デモ画面のタイトル ボックスに表示されるデモのタイトルを入力します。
5. **[Image]** (画像) フィールドをタッチして、SD カードから画像を選択します。
6. **[Logo]** (ロゴ) フィールドをタッチして、SD カードからロゴ画像を選択します。
7. **[Introduction]** (イントロダクション) テキスト ボックスに、デモ画面に表示するテキストを入力します。
8. **[Header color]** (ヘッダー色) テキスト ボックスに、ヘッダーの色の値を 16 進数で入力します。
9. **[Icon color]** (アイコン色) テキスト ボックスに、メニュー アイコンとボタン テキストの色の値を 16 進数で入力します。



10. **[Key Features] (主要機能)** テキスト ボックスに、**[Key Feature] (主要機能)** の見出しの下に箇条書きで表示するテキストを入力します。
11. **[SimulScan Document Capture Template] (SimulScan 文書収集テンプレート)** フィールドでいずれかのテンプレートをタッチして選択します。
  - a. **[Browse external storage] (外部ストレージの参照)** – デバイスに読み込まれたテンプレートを選択します。
  - b. **[Default templates] (デフォルトのテンプレート)** – いずれかのデフォルトのテンプレートを選択します。
  - c. **[Select from server] (サーバーから選択)** – SimulScan サーバーからテンプレートを選択します。
12. **[Done] (完了)** をタッチします。カスタマイズされたサンプルが画面に表示されます。
13. **[Start SimulScan] (SimulScan の開始)** をタッチして、デモンストレーションを開始します。

## デフォルトのテンプレート

次のテンプレートが使用できます。

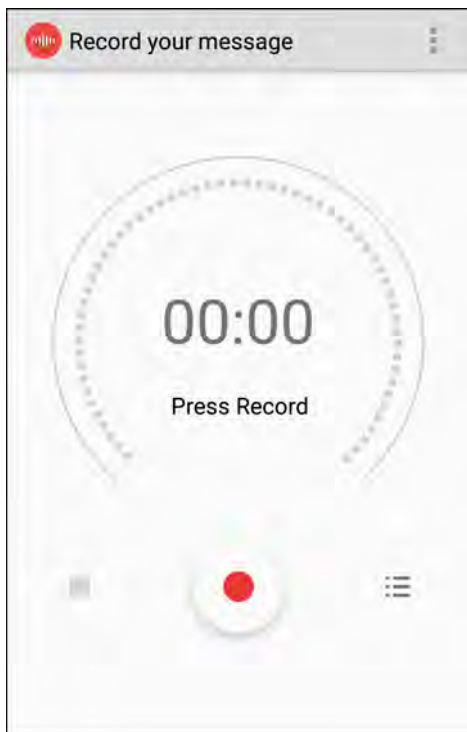
- デフォルト – **BankCheck.xml** – 銀行小切手の MICR E-13B フォント (19 ~ 40 文字) を読み取ります。
- デフォルト – **Barcode 1.xml** – サポートされているバーコードを 1 個読み取ります。
- デフォルト – **Barcode 10.xml** – サポートされているバーコードを最大 10 個まで読み取ります。
- デフォルト – **Barcode 2.xml** – サポートされているバーコードを 2 個読み取ります。
- デフォルト – **Barcode 4.xml** – サポートされているバーコードを最大 4 個読み取ります。
- デフォルト – **Barcode 5.xml** – サポートされているバーコードを最大 5 個読み取ります。
- デフォルト – **BookNumber.xml** – OCR-B ISBN の 10 桁または 13 桁の図書番号を読み取ります。
- デフォルト – **DocCap + Optional Barcode** – ページ全体の画像を読み取り、そのフォーム内でサポートされているバーコードを読み取ります。読み取った領域は、実線の枠線またはバックグラウンドのコントラストで定義された、読み取り幅内で最大の長方形の領域です。このモードでは OCR または OMR コンテンツは読み取りません。読み取られた領域は、修正、傾き補正、鮮明化などの処理がさらに施されたとうえで、画像として戻されます。
- デフォルト – **DocCap + Required Barcode** – ページ全体の画像を読み取り、フォーム内でサポートされているバーコードを読み取ります。読み取った領域は、実線の枠線またはバックグラウンドのコントラストで定義された、読み取り幅内で最大の長方形の領域です。このモードでは OCR または OMR コンテンツは読み取りません。読み取られた領域は、修正、傾き補正、鮮明化などの処理がさらに施されたとうえで、画像として戻されます。
- デフォルト – **TravelDoc.xml** – OCR-B Type A および Type B フォントのパスポートとビザを読み取ります。
- デフォルト – **Unstructured Multi-Line** – 最大 7 行のテキストを読み取ります。
- デフォルト – **Unstructured Single Line** – 1 行のテキストを読み取ります。

## サウンドレコーダ

[Sound Recorder] (サウンドレコーダ) を使用して、音声メッセージを録音します。

録音は microSD カード (取り付けられている場合) または内部ストレージに保存され、[Music] (音楽) アプリケーション (GMS が未搭載のデバイス) または [Play Music] (Play ミュージック) アプリケーション (GMS 搭載のデバイス) で使用できます。

図 102 サウンドレコーダ アプリケーション



☰ にタッチしてオプションメニューを開きます。

- [File type] (ファイルタイプ) – 録音ファイルのファイルタイプを選択します。
  - AMR
  - 3GPP
  - AAC
  - WAV
  - AMR-WR
  - AMR-WB-3GPP
- [Storage location] (保管場所) – 録音ファイルの場所を選択します。
  - 電話機のストレージ
  - SD カード

# データ収集

## はじめに

デバイスは以下を使用するデータ収集をサポートしています。

- 内蔵イメージャ
- 内蔵カメラ
- RS507 ハンズフリー イメージャ
- RS6000 Bluetooth リング スキャナ
- DS3678 デジタル スキャナ
- LI3678 Bluetooth リニア イメージャ スキャナ
- DS2278 デジタル スキャナ

## イメージング

内蔵 2D イメージャ搭載のデバイスは、次の機能を備えています。

- 最も一般的なリニアコード、postalコード、PDF417コード、2Dマトリックスコードを含む、各種バーコードシンボルの無指向読み取り。
- 画像を収集して、各種画像処理アプリケーションで処理するためにホストにダウンロードする機能。
- (十字およびドット照準) 容易な読み取り操作を可能にする直感的な高性能半導体レーザー照準機能。

イメージャは、イメージングの技術を使用してバーコードの画像を撮影し、画像をメモリに保存して、先進のソフトウェア読み取りアルゴリズムを実行して画像からバーコードデータを抽出します。

## デジタル カメラ

内蔵カメラベースのバーコードスキャンソリューションを備えたデバイスには、次の機能があります。

- 最も一般的なリニアコード、postalコード、QRコード、PDF417コード、2Dマトリックスコードを含む、各種バーコードシンボルの無指向読み取り。
- 容易な読み取り操作を可能にする十字レチクル。
- 読み取り幅内の多数のバーコードから特定のバーコードを読み取るピクリストモード。

このソリューションでは、高度なカメラ技術を使用してバーコードのデジタル画像を撮影し、先進のソフトウェア読み取りアルゴリズムを実行して画像からデータを抽出します。

## リニア イメージャ

内蔵リニア イメージャ搭載のデバイスは、次の機能を備えています。

- 最も一般的な 1-D コード タイプを含む、各種バーコード シンボル体系の読み取り。
- 容易な読み取り操作を可能にする直感的な照準機能。

イメージャは、イメージングの技術を使用してバーコードの画像を撮影し、画像をメモリに保存して、先進のソフトウェア読み取りアルゴリズムを実行して画像からバーコード データを抽出します。

## 動作モード

内蔵イメージャ搭載のデバイスは、次の 2 種類の動作モードをサポートしています。各モードは、スキャン ボタンを押して有効にします。

- **読み取りモード:** このモードでは、デバイスは読み取り幅内にあるバーコードを見つけて読み取ります。スキャン ボタンを押している間、またはバーコードを読み取るまで、イメージャはこのモードのままになります。



**注:** ピックリスト モードを有効にするには、DataWedge または API コマンドを使用してアプリケーション内で設定します。

- **ピックリスト モード:** このモードでは、デバイスの読み取り幅内に複数のバーコードが存在する場合、選択的にバーコードを読み取れます。選択的に読み取るには、目的のバーコードに照準の十字またはドットを合わせて、そのバーコードのみを読み取ります。この機能は、複数のバーコードが含まれているピックリストや、複数のタイプ (1D または 2D) のバーコードが含まれている製造ラベルや輸送ラベルを読み取るのに適しています。

**注:** 基本マルチバーコード モードを有効にするには、DataWedge または API コマンドを使用してアプリケーション内で設定します。

- **基本マルチバーコード モード:** このモードでは、デバイスは読み取り幅内にある固有のバーコードの特定の数を見つけて読み取ります。スキャン ボタンを押している間、またはすべてのバーコードを読み取るまで、デバイスはこのモードのままになります。統合 SE2100 または SE4710 イメージャでのみ使用可能です。
  - デバイスは、プログラムされた数の固有のバーコードをスキャンしようとします (2 から 10 まで)。
  - 重複バーコード (同じシンボル体系のタイプとデータ) がある場合、重複バーコードの 1 つだけが読み取られ、残りは無視されます。ラベルに 2 つの重複バーコードと別の 2 つの異なるバーコードがある場合、そのラベルから最大 3 つのバーコードが読み取られます。1 つは重複として無視されます。
  - バーコードは複数のシンボル体系のタイプで、一緒に取得できます。たとえば、基本マルチバーコード スキャンの指定数量が 4 の場合、2 つのバーコードはシンボル体系のタイプ Code 128 になり、他の 2 つはシンボル体系のタイプ Code 39 になります。
  - 固有のバーコードの指定数がデバイスの最初に表示されていない場合、デバイスは、デバイスを近づけて追加のバーコードを収集するかタイムアウトが発生するまで、データを読み取りません。デバイスの読み取り幅内に、指定された数量よりも多くのバーコードが含まれている場合、デバイスは固有のバーコードに指定された数に達するまでバーコードをランダムに読み取ります。たとえば、数が 2 に設定されていて、8 つのバーコードが表示されている場合、デバイスは最初に見た 2 つの固有のバーコードを読み取り、データをランダムな順番で返します。
  - 基本マルチバーコード モードでは、連結バーコードはサポートされていません。

## RS507 ハンズフリー イメージャ

RS507 ハンズフリー イメージャは、1D および 2D のバーコード シンボル体系のウェアラブル バーコード スキャン ソリューションです。このスキャナは、デバイスへの Bluetooth ヒューマン インタフェース デバイス (HID) 接続をサポートします。

図 103 RS507 ハンズフリー イメージャ

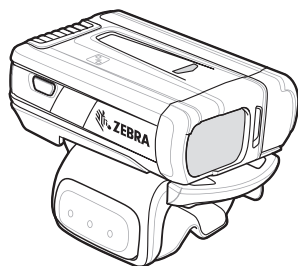


詳細については、『RS507 Hands-free Imager Product Reference Guide』を参照してください。

## RS6000 Bluetooth リング スキャナ

RS6000 Bluetooth リング スキャナは、1D および 2D のバーコード シンボル体系のウェアラブル バーコード スキャン ソリューションです。

図 104 RS6000 Bluetooth リング スキャナ

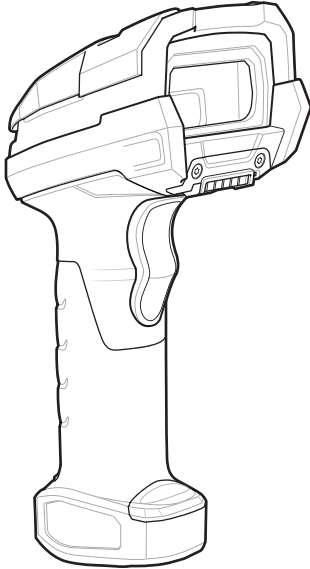


詳細については、『RS6000 Bluetooth Ring Scanner Product Reference Guide』を参照してください。

## DS3678 デジタル スキャナ

コードレス DS3678 は、1D および 2D のバーコードの高度な無指向バーコード スキャン性能を備え、軽量設計のうえ高度な人間工学に基づいています。詳細は、『DS36X8 Product Reference Guide』を参照してください。

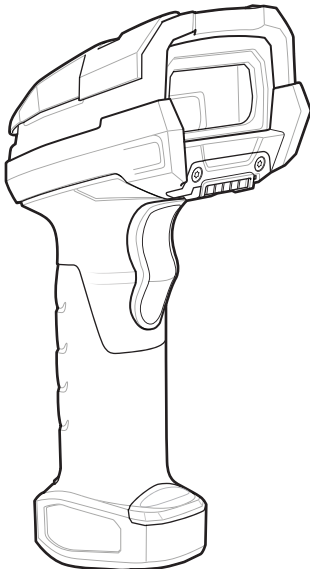
図 105 DS3678 デジタル スキャナ



## LI3678 リニア イメージャ スキャナ

LI3678 コードレス リニア イメージャ は、長時間にわたって簡単かつ快適に利用できる、優れたスキャン性能と高度な人間工学を統合した、優れた軽量スキャナです。

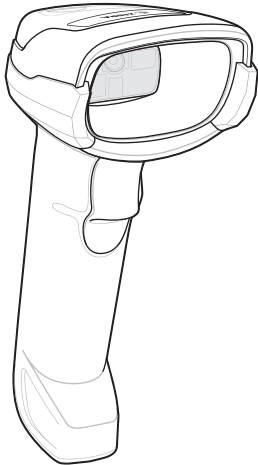
図 106 LI3678 リニア スキャナ



## DS2278 デジタル スキャナ

DS2278 デジタル イメージ スキャナは、1D と 2D の両方のバーコードをスキャンできる、充実した性能と機能を備えているスキャナです。

図 107 DS2278 デジタル スキャナ



詳細については、『DS2278 デジタル スキャナ プロダクト リファレンス ガイド』を参照してください。

## スキャン操作に関する考慮事項

通常、スキャン操作は、照準合わせ、スキャン、読み取りなど、すぐに習得可能ないくつかの読み取り試行操作から構成されますが、最適なスキャン効率を実現するためにも次のことを考慮してください。

- **範囲:** スキャナは、特定の読み取り幅 (バーコードからの最小距離と最大距離の範囲内) にある場合に最適な読み取りを行います。この範囲は、バーコードの密度とスキャン デバイスの光学系によって異なります。すばやく連続して読み取るには範囲内でスキャンします。近すぎたり遠すぎたりすると、正しく読み取れません。スキャナを近づけたり遠ざけたりして、スキャンするバーコードの適切な読み取り幅を見つけてください。
- **角度:** スキャン角度は、すばやく読み取るために重要です。バーコードに当たったレーザー光線が反射してスキャナに直接戻ってくるような角度でスキャンした場合、この正反射によりスキャナは読み取れなくなります。これを回避するには、光線が正反射しないような角度でバーコードをスキャンしてください。正しく読み取るためにスキャナは散乱した反射光線を収集する必要があるため、あまりに鋭角な角度ではスキャンしないでください。練習することで、適切な作業範囲をすばやく確認できます。
- 大きなシンボルの場合、デバイスを離してください。
- バーの間隔が狭いシンボルの場合、デバイスを近づけてください。



注： スキャン手順は、アプリとデバイスの構成によって異なります。アプリによっては、スキャン手順が上記とは異なる場合があります。

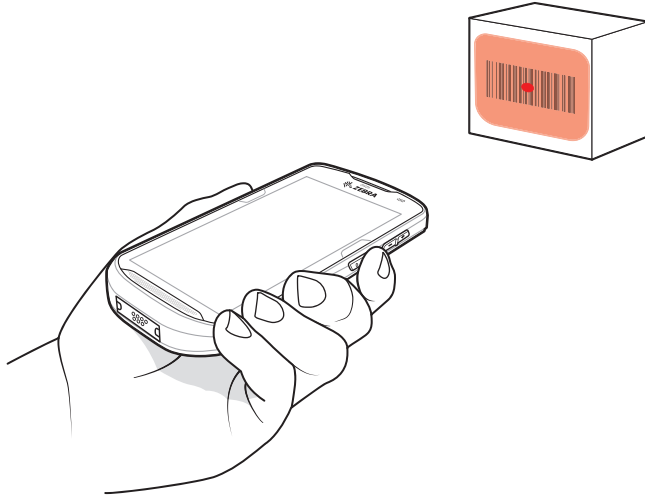
## 内部イメージャでのスキャン

バーコードを読み取るには、スキャン対応アプリが必要です。このデバイスには、ユーザーがイメージャでバーコード データを読み取ったりバーコード コンテンツを表示したりできる、DataWedge アプリが含まれています。

内部イメージャでスキャンするには、次の手順に従います。

1. アプリがデバイスで開かれていることと、テキスト フィールドがフォーカスされている (テキスト カーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。
2. デバイスの上部にある出カウインドウをバーコードに向けます。

図 108 イメージャでのスキャン



3. スキャン ボタンを押したままにします。  
照準を合わせるための赤色のレーザー照準パターンがオンになります。



注： デバイスがピックリスト モードの場合、十字またはドットの照準がバーコードに当たるまでイメージャはバーコードを読み取りません。

4. 照準パターンの十字の領域にバーコードが納まっていることを確認します。ドットの照準により、明るい照明下での可視性が向上します。

図 109 照準パターン

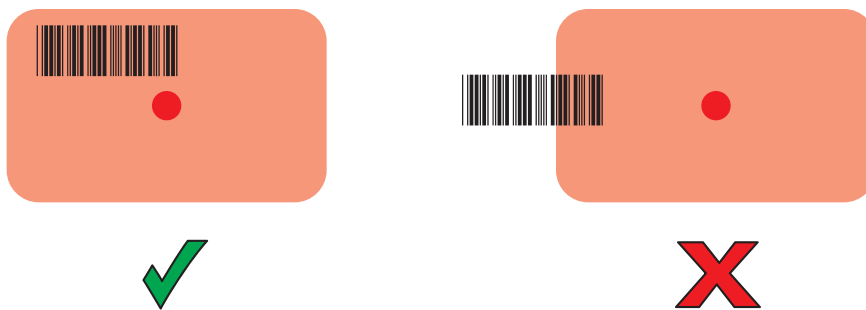
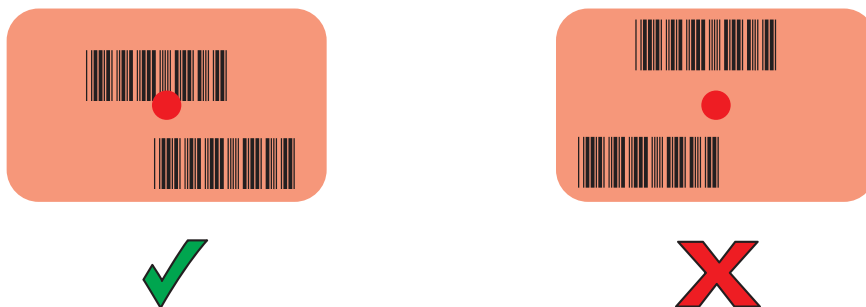


図 110 ピックリスト モード: 複数のバーコードがある場合





5. デフォルト設定の場合、データ収集 LED が緑色で点灯してピープ音が鳴り、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。
6. スキャン ボタンを放します。



注：イメージの読み取りは、通常、瞬時に行われます。精度の悪いバーコードや読み取りづらいバーコードの場合、スキャン ボタンを押し続けると、デバイスがデジタル写真 (画像) を撮影する手順を繰り返します。

7. バーコード コンテンツ データが、テキスト フィールドに表示されます。

## 内蔵カメラによるスキャン

バーコードを読み取るには、スキャン対応アプリが必要です。このデバイスには、ユーザーがイメージでバーコード データを読み取ったりバーコード コンテンツを表示したりできる、DataWedge アプリが含まれています。

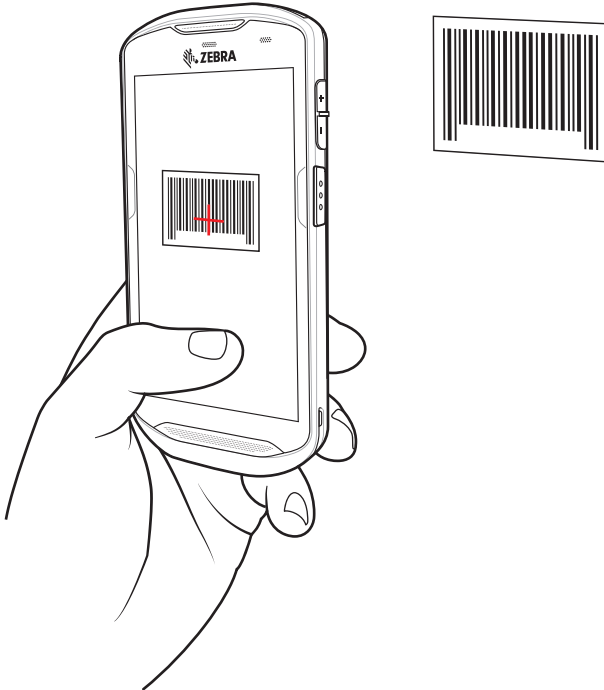
内蔵カメラでスキャンするには、次の手順に従います。



注： 暗い照明下でバーコード データを読み取る場合、DataWedge アプリケーションで、[Illumination mode] (照明モード) をオンにします。

1. アプリがデバイスで開かれていることと、テキスト フィールドがフォーカスされている (テキスト カーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。
2. デバイスの背面にあるカメラの出カウインドウをバーコードに向けます。

図 111 カメラのスキャン



3. スキャン ボタンを押したままにします。デフォルトで、プレビュー ウィンドウが画面に表示されます。



注： ピックリスト モードが有効になっているときに、バーコードが画面の赤い照準の中央に来るようにデバイスを移動します。

4. バーコードが画面に表示されるまでデバイスを移動します。

5. 読み取り LED が緑色で点灯してピープ音が鳴り、デバイスが振動して、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します (デフォルト設定の場合)。
6. 読み取られたデータがテキスト フィールドに表示されます。

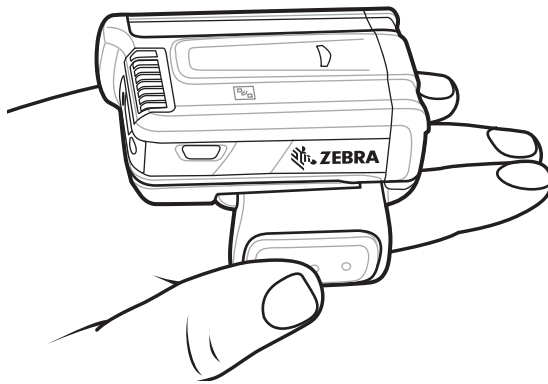
## RS6000 Bluetooth リング スキャナでのスキャン

バーコードを読み取るには、スキャン対応アプリが必要です。デバイスには、ユーザーがスキャナでバーコードデータを読み取ったりバーコード コンテンツを表示したりできる、DataWedge アプリがあります。

RS6000 でスキャンするには、次の手順に従います。

1. RS6000 をデバイスとペアリングします。詳細については、「145 ページの「Simple Serial Interface を使用してペアリングする」」または「146 ページの「Bluetooth ヒューマン インタフェース デバイスを使用してペアリングする」」を参照してください。
2. アプリがデバイスで開かれていることと、テキスト フィールドがフォーカスされている (テキスト カーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。
3. RS6000 をバーコードに向けます。

図 112 RS6000 を使用したバーコードのスキャン



4. トリガを押したままにします。

照準を合わせるための赤色のレーザー照準パターンがオンになります。照準パターンの十字の領域にバーコードが納まっていることを確認します。ドットの照準により、明るい照明下での可視性が向上します。

RS6000 LED が緑色に点灯してピープ音が鳴り、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。RS6000 がピックリスト モードの場合、十字の照準の中心がバーコードに当たるまで RS6000 はバーコードを読み取りません。

図 113 RS6000 の照準パターン

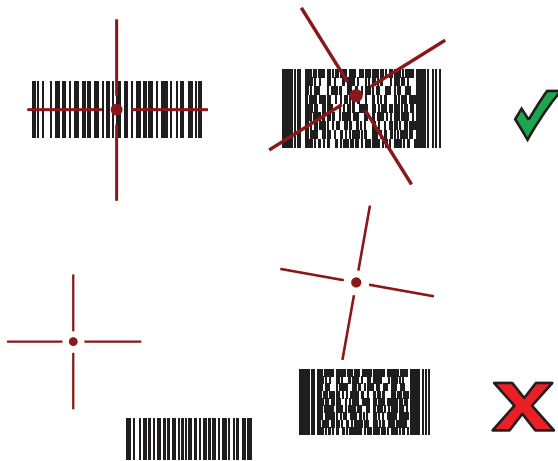


図 114 RS6000 ピックリスト モード: 複数のバーコードが照準パターン内にある場合



5. 読み取られたデータがテキスト フィールドに表示されます。

## RS507/RS507X ハンズフリー イメージャでのスキャン

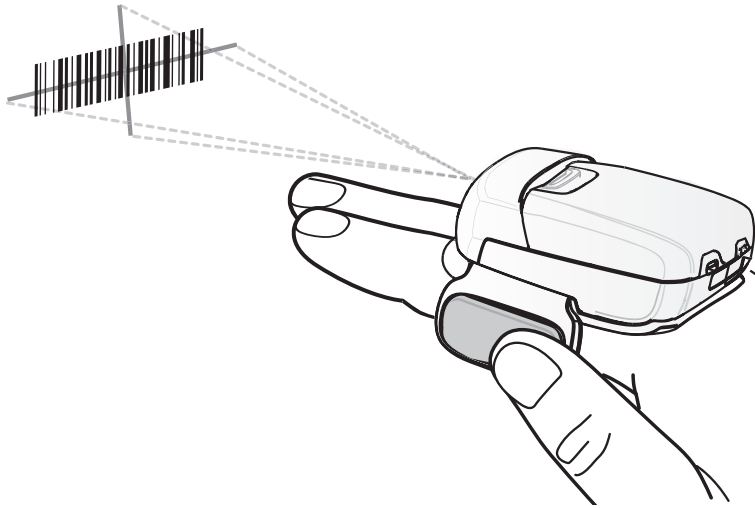
バーコードを読み取るには、スキャン対応アプリが必要です。デバイスには、ユーザーがスキャナでバーコードデータを読み取ったりバーコード コンテンツを表示したりできる、DataWedge アプリがあります。

RS507/RS507X でスキャンするには、次の手順に従います。

1. RS507/RS507X をデバイスとペアリングします。詳細については、「[145 ページの「Simple Serial Interface を使用してペアリングする」](#)」または「[146 ページの「Bluetooth ヒューマン インタフェース デバイスを使用してペアリングする」](#)」を参照してください。
2. アプリがデバイスで開かれていることと、テキスト フィールドがフォーカスされている (テキスト カーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。

3. RS507/RS507X をバーコードに向けます。

図 115 RS507/RS507X を使用したバーコードのスキャン



4. トリガを押したままにします。

照準を合わせるための赤色のレーザー照準パターンがオンになります。照準パターンの十字の領域にバーコードが納まっていることを確認します。ドットの照準により、明るい照明下での可視性が向上します。

RS507/RS507X の LED が緑色に点灯してピープ音が鳴り、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。RS507/RS507X がピックリストモードの場合、十字の照準の中心がバーコードに当たるまで RS507/RS507X はバーコードを読み取りません。

図 116 RS507/RS507X の照準パターン

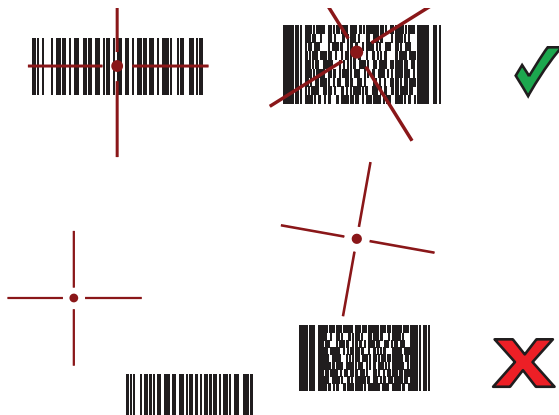


図 117 RS507/RS507X ピックリストモード：複数のバーコードが照準パターン内にある場合



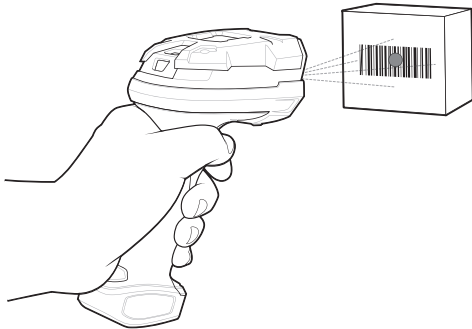
5. 読み取られたデータがテキスト フィールドに表示されます。

## DS3678 Bluetooth スキャナでのスキャン

DS3678 でスキャンするには、次の手順に従います。

1. DS3678 をデバイスとペアリングします。詳細については、「[147 ページの「Bluetooth スキャナのペアリング」](#)」を参照してください。
2. アプリがデバイスで開かれていることと、テキスト フィールドがフォーカスされている (テキスト カーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。
3. DS3678 をバーコードに向けます。

図 118 DS3678 (図は -SR) でのバーコード スキャン



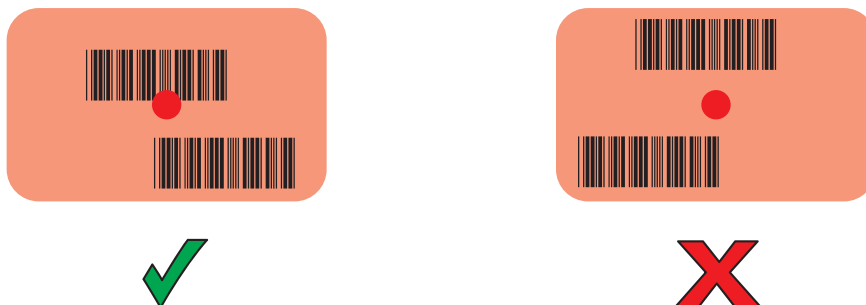
4. トリガを押したままにします。

照準パターンの領域にバーコードが納まっていることを確認します。ドットの照準により、明るい照明下での可視性が向上します。

図 119 DS3678-SR の照準パターン



図 120 DS3678-SR ピックリスト モード: 複数のバーコードが照準パターン内にある場合



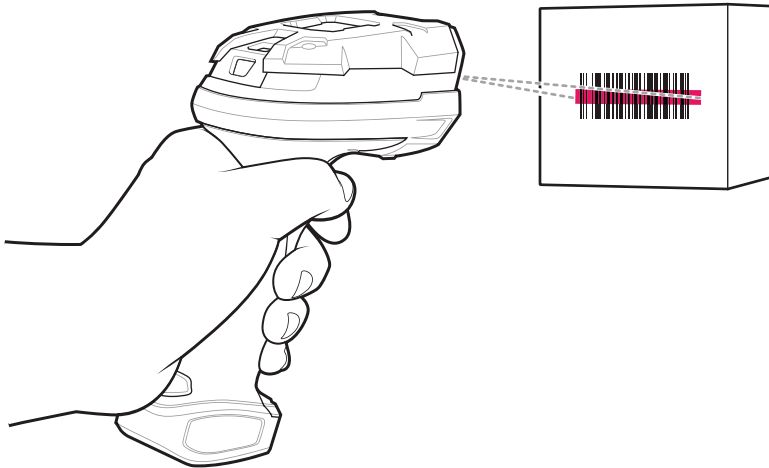
5. 読み取られたデータがテキスト フィールドに表示されます。

## LI3678 リニア イメージャでのスキャン

LI3678 でスキャンするには、次の手順に従います。

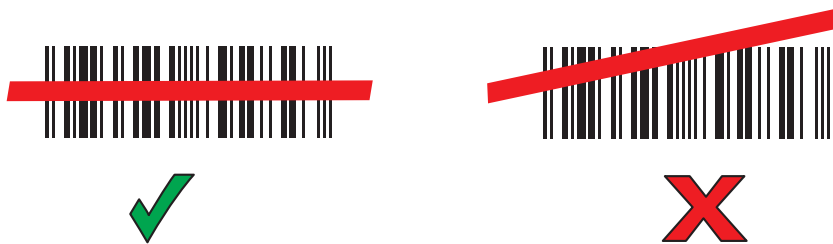
1. LI3678 をデバイスとペアリングします。詳細については、「[147 ページの「Bluetooth スキャナのペアリング」](#)」を参照してください。
2. アプリがデバイスで開かれていることと、テキスト フィールドがフォーカスされている (テキスト カーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。
3. LI3678 をバーコードに向けます。

図 121 LI3678 を使用したバーコードのスキャン



4. トリガを押したままにします。
5. 照準パターンがバーコードを覆っていることを確認してください。

図 122 LI3678-SR の照準パターン



6. 読み取りが成功すると、スキャナはビープ音を鳴らし、LED が 1 回緑色に点滅します。
7. 読み取られたデータがテキスト フィールドに表示されます。

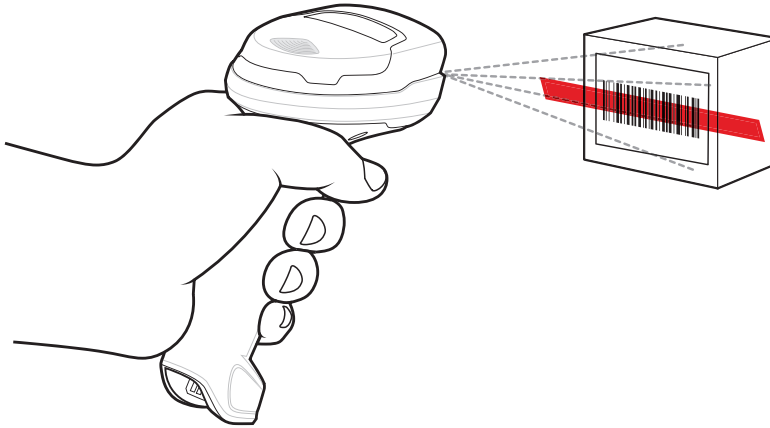
## DS2278 デジタル スキャナでのスキャン

DS2278 でスキャンするには、次の手順に従います。

1. DS2278 をデバイスとペアリングします。詳細については、「[147 ページの「Bluetooth スキャナのペアリング」](#)」を参照してください。
2. アプリがデバイスで開かれていることと、テキスト フィールドがフォーカスされている (テキスト カーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。

3. スキャナをバーコードに向けます。

図 123 DS2278 を使用したバーコードのスキャン



4. トリガを押したままにします。
5. 照準パターンがバーコードを覆っていることを確認してください。

図 124 DS2278 の照準パターン



6. 読み取りに成功すると、スキャナはビーブ音を鳴らし、LED が点滅し、スキャン ラインがオフになります。
7. 読み取られたデータがテキスト フィールドに表示されます。

## RS507/RS6000 ハンズフリー イメージャのペアリング

以下のいずれかの方法により、RS507/RS6000 イメージャをデバイスに接続します。

- 近距離無線通信 (NFC) (RS6000 のみ)
  - Simple Serial Interface (SSI)
  - Bluetooth ヒューマン インタフェース デバイス (HID) モード

### SSI モードで近距離無線通信を使用してペアリングする

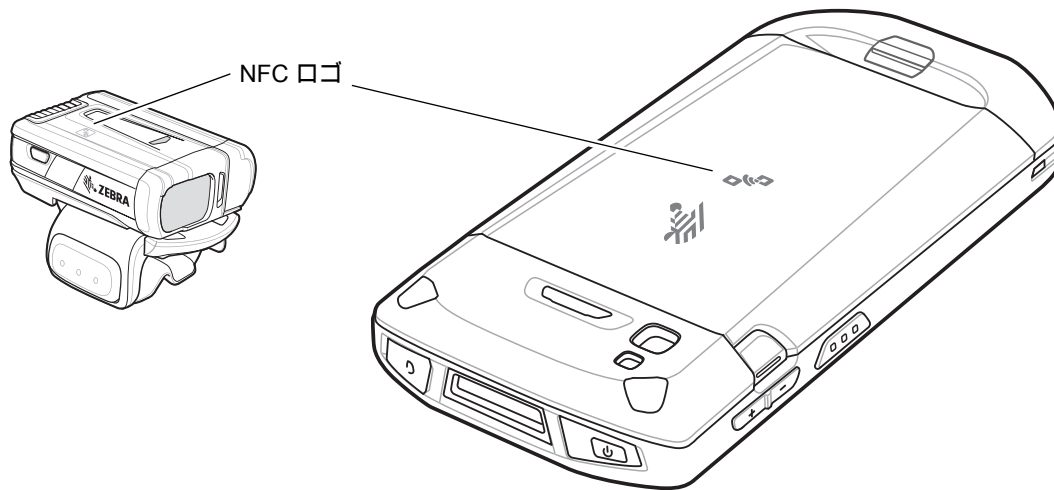
デバイスでは、NFC を使用して RS6000 とペアリングできます。



注：RS6000 のみ。

1. RS6000 が SSI モードになっていることを確認します。詳細については、『RS6000 User Guide』を参照してください。
2. NFC がデバイスで有効になっていることを確認します。
3. RS6000 の NFC アイコンとデバイスのバッテリーの NFC アイコンを合わせます。  
RS6000 がデバイスとの接続を確立しようとしていることを示す、青色の状態 LED が点滅します。接続が確立されると、状態 LED が消灯し、RS6000 で低いビープ音と高いビープ音が続けて鳴ります。デバイスの画面に通知が表示されます。  
📶 アイコンがステータスバーに表示されます。

図 125 NFC アンテナを合わせる



デバイスが RS6000 とペアリングされ、ステータスバーに 📶 が表示されます。



注：すべての Zebra デバイスが NFC リーダーとタップツーペア機能をサポートしているわけではありません。

## HID モードで近距離無線通信を使用してペアリングする

デバイスは、HID モードで NFC を使用して RS6000 とペアリングできます。



注：RS6000 のみ。

1. NFC がデバイスで有効になっていることを確認します。
2. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていることを確認します。
3. 検出する Bluetooth デバイスが検出可能なモードになっていることを確認します。
4. 2 つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以上離れていないことを確認します。
5. RS6000 をヒューマン インタフェース デバイス (HID) モードに設定します。RS6000 がすでに HID モードである場合、手順 6 に進みます。
  - a. バッテリーを RS6000 から取り出します。
  - b. 復元キーを長押しします。
  - c. バッテリーを RS6000 に取り付けます。



- d. チャープ音が鳴り、スキャン LED が緑色に点滅するまで、復元キーを約 5 秒間押し続けます。
- e. 以下のバーコードをスキャンして、RS6000 を HID モードに設定します。

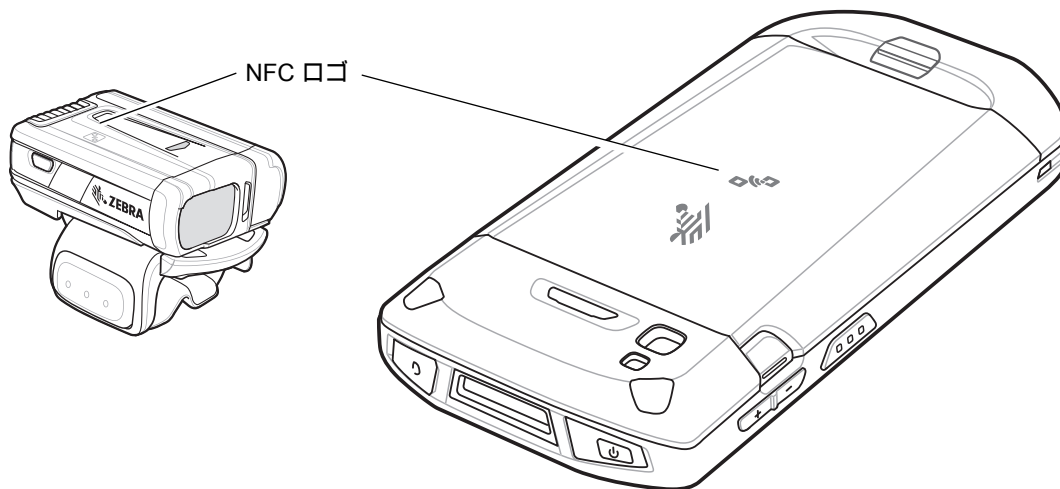
図 126 Bluetooth HID バーコード



- 6. バッテリーを RS6000 から取り出します。
- 7. バッテリーを RS6000 に再度取り付けます。
- 8. RS6000 の NFC アイコンとデバイスの NFC アイコンを合わせます。  
RS6000 がデバイスとの接続を確立しようとしていることを示す、青色の状態 LED が点滅します。接続が確立されると、状態 LED が消灯し、RS6000 で低いビープ音と高いビープ音が続けて鳴ります。デバイスの画面に通知が表示されます。

**A** アイコンがステータス バーに表示されます。

図 127 NFC アンテナを合わせる



デバイスが RS6000 とペアリングされ、ステータス バーに **A** が表示されます。



注：RS6000 のみ。

## Simple Serial Interface を使用してペアリングする

SSI を使用して RS507/RS6000 をデバイスとペアリングするには、以下の手順を実行します。


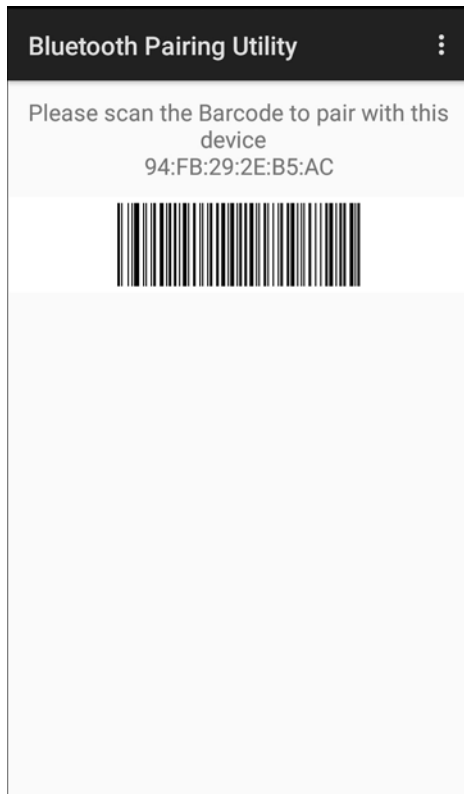

1. 2 つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以上離れていないことを確認します。
2. RS507/RS6000 にバッテリーを取り付けます。
3. デバイスのホーム画面で、画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。

図 128 [Bluetooth Pairing Utility] (Bluetooth ペアリング ユーティリティ)



4. RS507/RS6000 を使用して、画面でバーコードをスキャンします。

RS507/RS6000 で、高いビーブ音と低いビーブ音が交互に鳴ります。スキャン LED が緑色に点滅し、RS507/RS6000 がデバイスとの接続を確立しようとしていることを示します。接続が確立されると、スキャン LED が消灯し、RS507/RS6000 で低いビーブ音と高いビーブ音が続けて鳴ります。

通知がデバイスの画面に表示され、 アイコンがステータス バーに表示されます。

5. デバイスで  をタッチします。

## Bluetooth ヒューマン インタフェース デバイスを使用してペアリングする


HID を使用して RS507/RS6000 をデバイスとペアリングするには、以下の手順を実行します。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていることを確認します。
2. 検出する Bluetooth デバイスが検出可能なモードになっていることを確認します。
3. 2 つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以上離れていないことを確認します。
4. RS507/RS6000 をヒューマン インタフェース デバイス (HID) モードに設定します。RS507/RS6000 がすでに HID モードになっている場合、手順 5 に進みます。
  - a. バッテリーを RS507/RS6000 から取り出します。
  - b. 復元キーを長押しします。
  - c. バッテリーを RS507/RS6000 に取り付けます。


- d. チャープ音が鳴り、スキャン LED が緑色に点滅するまで、復元キーを約 5 秒間押し続けます。
- e. 以下のバーコードをスキャンして、RS507/RS6000 を HID モードに設定します。

図 129 Bluetooth HID バーコード



5. バッテリーを RS507/RS6000 から取り出します。
6. バッテリーを RS507/RS6000 に再度取り付けます。
7. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
8. **[Bluetooth]** をタッチします。
9. **[SCAN FOR DEVICES]** (デバイスのスキャン) をタッチします。エリア内で検出可能な Bluetooth デバイスの検索が開始され、**[AVAILABLE DEVICES]** (使用可能なデバイス) にデバイスのリストが表示されます。
10. リストをスクロールし、RS507/RS6000 を選択します。

RS507/RS6000 に接続されると、デバイス名の下に **[Connected]** (接続済み) と表示されます。Bluetooth デバイスが **[Bluetooth devices]** (Bluetooth デバイス) リストに追加され、信頼された (ペアリングされた) 接続が確立されます。

画面に通知が表示され、 アイコンがステータス バーに表示されます。

## Bluetooth スキャナのペアリング

次のいずれかの方法を使用して、スキャナをデバイスに接続します。

- Simple Serial Interface (SSI) モード
- Bluetooth ヒューマン インタフェース デバイス (HID) モード

### Simple Serial Interface を使用してペアリングする

SSI を使用してスキャナをデバイスとペアリングするには、以下の手順を実行します。

1. 2 つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以上離れていないことを確認します。
2. スキャナにバッテリーを取り付けます。


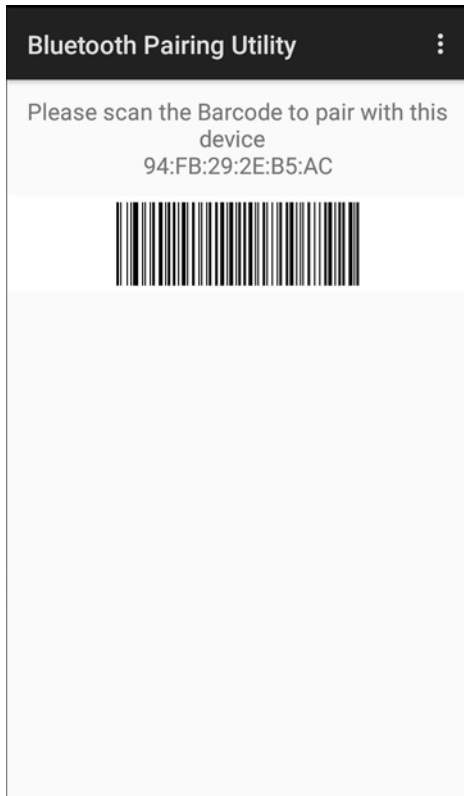

3. デバイスのホーム画面で、画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。

図 130 [Bluetooth Pairing Utility] (Bluetooth ペアリング ユーティリティ)



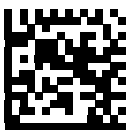
4. スキャナを使用して、画面でバーコードをスキャンします。  
スキャナで高いビーブ音と低いビーブ音が交互に鳴ります。スキャン LED が緑色に点滅し、スキャナがデバイスとの接続を確立しようとしていることを示します。接続が確立されると、スキャン LED が消灯し、スキャナで、低いビーブ音と高いビーブ音が続けて鳴ります。
5. デバイスで  をタッチします。


## Bluetooth ヒューマン インタフェース デバイスを使用してペアリングする

HID を使用してスキャナをデバイスとペアリングするには、以下の手順を実行します。

1. バッテリーをスキャナから取り外します。
2. バッテリーを交換します。
3. スキャナを再起動したら、以下のバーコードをスキャンして、スキャナを HID モードに設定します。

図 131 Bluetooth HID クラシック バーコード



4. デバイスで、ステータス バーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。

5. **[Bluetooth]** をタッチします。
6. **[Pair new device]** (新しいデバイスをペアリング) をタッチします。エリア内で検出可能な Bluetooth デバイスの検索が開始され、**[Available devices]** (使用可能なデバイス) にデバイスのリストが表示されます。
7. リストをスクロールして XXXXX xxxxxx (XXXXX はスキャナ、xxxxxx はシリアル番号) を選択します。



デバイスがスキャナに接続されると、デバイス名の下に **[Connected]** (接続済み) が表示され、スキャナでピープ音が 1 回鳴ります。Bluetooth デバイスが **[Paired devices]** (ペアリング済みデバイス) リストに追加され、信頼された (ペアリングされた) 接続が確立されます。

## DataWedge



DataWedge は、コードを作成せずに、アプリケーションに高度なバーコード スキャン機能を追加するユーティリティです。これはバックグラウンドで実行され、組み込み型のバーコード スキャナへのインタフェースを処理します。収集されたバーコード データはキーストロークに変換され、キーパッドで入力したかのように、目的のアプリケーションに送信されます。

DataWedge を設定するには、デバイスの『Integrator Guide』または『Product Reference Guide』を参照してください。

## DataWedge を有効にする

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。
2.  > **[Settings]** (設定) の順にタッチします。
3. **[DataWedge enabled]** (DataWedge の有効化) チェックボックスをタッチします。青色のチェックマークがチェックボックスに表示され、DataWedge が有効になったことを示します。
4.  をタッチします。

## DataWedge を無効にする

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。
2.  > **[Settings]** (設定) の順にタッチします。
3. **[DataWedge enabled]** (DataWedge の有効化) チェックボックスをタッチします。チェックボックスから青色のチェックマークが消え、DataWedge が無効になったことを示します。
4.  をタッチします。

# 無線

## はじめに

このセクションでは、次の無線機能について説明します。

- 無線 WAN (WWAN)
- 無線 LAN (WLAN)
- Bluetooth
- 近距離無線通信 (NFC)

## 無線 WAN

携帯電話ネットワーク経由でデータにアクセスするには、無線 WAN (WWAN) を使用します。このセクションでは、次の操作について説明します。

- データ接続の共有
- データ使用量の監視
- 携帯電話ネットワーク設定の変更
- SIM カードのロック

## モバイル データ接続の共有

[Tethering & portable hotspot] (テザリングとポータブル ホットスポット) を使用して、モバイル データ接続を USB のテザリングまたは Bluetooth のテザリング経由で 1 台のコンピュータと共有できます。ポータブル Wi-Fi ホットスポットを有効にして、8 台までのデバイスと同時にデータ接続を共有します。デバイスでデータ接続を共有している間、画面の上部にはアイコンが表示され、通知リストに関連メッセージが表示されます。

### USB テザリングを有効にする



注：USB テザリングは、Mac OS を実行するコンピュータではサポートされていません。Windows または最近の Linux バージョン (Ubuntu など) を実行しているコンピュータの場合、特別な準備は不要なので次の手順に従ってください。Windows 7 以前のバージョンの Windows、または他のオペレーティング システムを使用している場合、USB 経由によるネットワーク接続の確立ができるようコンピュータの事前設定が必要な場合があります。

1. USB ケーブルを使用し、デバイスをホスト コンピュータに接続します。
2. **[USB charging this device] (USB でこのデバイスを充電中)** という通知が通知パネルに表示されます。
3. ステータス バーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、**⚙** をタッチします。

4. **[Network & Internet]** (ネットワークとインターネット) をタッチします。
5. **[Hotspot & tethering]** (ホットスポットとテザリング) をタッチします。
6. **[USB tethering]** (USB テザリング) スイッチをタッチして有効にします。  
これで、ホスト コンピュータはデバイスのデータ接続を共有するようになりました。

データ接続の共有を停止するには、**[USB tethering]** (USB テザリング) スイッチをもう一度タッチするか、USB ケーブルを取り外します。

## Bluetooth テザリングを有効にする

Bluetooth テザリングを使用して、ホスト コンピュータとデータ接続を共有します。

Bluetooth を使用して、ネットワーク接続を取得するようにホスト コンピュータを設定します。詳細については、ホスト コンピュータのマニュアルを参照してください。

1. デバイスをホスト コンピュータとペアリングします。
2. ステータス バーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、**⚙** をタッチします。
3. **[Networking & Internet]** (ネットワークとインターネット) をタッチします。
4. **[Hotspot & tethering]** (ホットスポットとテザリング) をタッチします。
5. **[Bluetooth tethering]** (Bluetooth テザリング) スイッチをタッチして有効にします。  
これで、ホスト コンピュータはデバイスのデータ接続を共有するようになりました。

データ接続の共有を停止するには、**[Bluetooth tethering]** (Bluetooth テザリング) スイッチをもう一度タッチします。

## Wi-Fi ホットスポットの設定

1. ステータス バーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、**⚙** をタッチします。
2. **[Network & Internet]** (ネットワークとインターネット) をタッチします。
3. **[Hotspot & tethering]** (ホットスポットとテザリング) をタッチします。
4. **[Set up Wi-Fi hotspot]** (Wi-Fi ホットスポットの設定) をタッチします。

図 132 [Setup Wi-Fi Hotspot] (Wi-Fi ホットスポットの設定) ダイアログ ボックス

**Set up Wi-Fi hotspot**

Network name  
AndroidAP\_8525

Security  
WPA2 PSK

Password  
.....

The password must have at least 8 characters.

Show password

Select AP Band  
2.4 GHz Band

CANCEL SAVE

5. **[Network name]** (ネットワーク名) テキスト フィールドで、ホットスポットの名前を編集します。
6. **[Security]** (セキュリティ) オプションをタッチして、ドロップダウン リストからセキュリティの方法を選択します。
  - **[None]** (なし)
  - **[WPA2 PSK]**



注: **[Security]** (セキュリティ) オプションで **[None]** (なし) を選択した場合、パスワードは要求されません。

7. 必要に応じて、**[Password]** (パスワード) テキスト フィールドにパスワードを入力します。
8. **[Select AP Band]** (AP 帯域幅を選択) ドロップダウン リストから、**[2.4GHz Band]** (2.4Ghz 帯) または **[5 GHz Band]** (5Ghz 帯) を選択します。
9. **[Save]** (保存) をタッチします。

## Wi-Fi ホットスポットを有効にする

Wi-Fi ホットスポットを有効にするには、次の手順に従います。

1. ステータス バーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、**⚙️** をタッチします。
2. **[Network & Internet]** (ネットワークとインターネット) をタッチします。
3. **[Hotspot & tethering]** (ホットスポットとテザリング) をタッチします。
4. **[Wi-Fi hotspot]** (Wi-Fi ホットスポット) スイッチをタッチして有効にします。  
しばらくすると、デバイスは Wi-Fi ネットワーク名 (SSID) のブロードキャストを開始します。8 台までのコンピュータまたはその他のデバイスを接続します。**[Hotspot]** (ホットスポット📶) ( ) アイコンがステータス バーに表示されます。

データ接続の共有を停止するには、**[Portable Wi-Fi hotspot]** (ポータブル Wi-Fi ホットスポット) スイッチをもう一度タッチします。

### Wi-Fi ホットスポットの設定

1. ステータス バーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、**⚙️** をタッチします。
2. **[Network & Internet]** (ネットワークとインターネット) をタッチします。
3. **[Hotspot & tethering]** (ホットスポットとテザリング) をタッチします。



4. **[Set up Wi-Fi hotspot] (Wi-Fi ホットスポットの設定)** をタッチします。

図 133 [Setup Wi-Fi Hotspot] (Wi-Fi ホットスポットの設定) ダイアログ ボックス

5. **[Network name] (ネットワーク名)** テキスト フィールドで、ホットスポットの名前を編集します。
6. **[Security] (セキュリティ)** オプションをタッチして、ドロップダウン リストからセキュリティの方法を選択します。
  - **[None] (なし)**
  - **[WPA2 PSK]**



注： **[Security] (セキュリティ)** オプションで **[None] (なし)** を選択した場合、パスワードは要求されません。

7. 必要に応じて、**[Password] (パスワード)** テキスト フィールドにパスワードを入力します。
8. **[Select AP Band] (AP 帯域幅を選択)** ドロップダウン リストから、**[2.4GHz Band] (2.4Ghz 帯)** または **[5 GHz Band] (5Ghz 帯)** を選択します。
9. **[Save] (保存)** をタッチします。

## 携帯電話ネットワークの設定

次のセクションでは、**[Cellular networks] (携帯電話ネットワーク)** の設定について説明します。

### データ ローミングを無効にする

利用しているキャリアのネットワークでカバーしているエリアを離れた際、デバイスが別のキャリアのモバイル ネットワークを使用してデータを転送しないようにします。サービス プランにデータ ローミングが含まれていない場合、経費を制御するのに役立ちます。

#### GSM デバイス

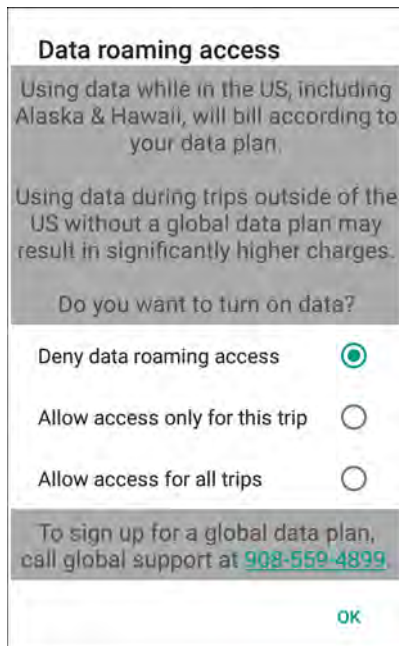
1. ステータス バーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、**🔴** をタッチします。

2. **[Network & Internet]** (ネットワークとインターネット) > **[Mobile network]** (モバイル ネットワーク) の順にタッチします。
3. **[Roaming]** (ローミング) スイッチをオフの位置にスライドさせます。

## CDMA デバイス

1. ステータス バーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、**⚙** をタッチします。
2. **[Network & Internet]** (ネットワークとインターネット) > **[Mobile network]** (モバイル ネットワーク) > **[Data roaming access]** (データ ローミング アクセス) の順にタッチします。

図 134 [Data Roaming Access] (データ ローミング アクセス) ダイアログ ボックス



3. ローミング オプションを選択して、**[OK]** をタッチします。

## Preferred Network Type (優先ネットワーク タイプ)

ネットワークの動作モードを変更する際に使用します。


1. ステータス バーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、**⚙** をタッチします。
2. **[Network & Internet]** (ネットワークとインターネット) > **[Mobile network]** (モバイル ネットワーク) > **[Preferred network type]** (優先ネットワーク タイプ) の順にタッチします。
3. **[Preferred network type]** (優先ネットワーク タイプ) ダイアログ ボックスで、デフォルトとして設定するモードを選択します。
  - **[LTE only]** (LTE のみ)
  - **[Automatic]** (自動)
  - **[CDMA only]** (CDMA のみ)

## 強化された 4G LTE モード

LTE サービスを使用して、音声通信やその他の通信性能を向上させます。このオプションはデフォルトで有効になっています。



## [Search for MicroCell] (マイクロセルの検索) の使用方法

マイクロセルは、建物や住宅内で小さな携帯電話基地局のように動作し、既存のブロードバンド インターネット サービスに接続します。音声通話、テキスト、携帯電話のデータ アプリケーション (画像メッセージ、Web サーフィンなど) 使用時の携帯電話信号のパフォーマンスが向上します。

1. ステータス バーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2. **[Network & Internet]** (ネットワークとインターネット) > **[Mobile network]** (モバイル ネットワーク) の順にタッチします。
3. **[Search for AT&T MicroCell]** (AT&T マイクロセルの検索) にタッチします。

## [System Select] (システム選択) の使用方法

[System select] (システム選択) を使用して、CDMA ローミング モードを変更します。





1. ステータス バーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2. **[Network & Internet]** (ネットワークとインターネット) > **[Mobile network]** (モバイル ネットワーク) > **[System Select]** (システム選択) の順にタッチします。
3. **[System select]** (システム選択) ダイアログ ボックスで、次を選択します。
  - **[Home only]** (ホームのみ) – ホーム ネットワークからローミングしません。
  - **[Automatic]** (自動) – 自動ローミングを許可します。
4.  をタッチします。

## アクセス ポイント名の編集




注：多くのサービスプロバイダのアクセス ポイント名 (APN) データはデバイスに事前設定されています。その他すべてのサービスプロバイダの APN 情報は、ワイヤレス サービス プロバイダから取得する必要があります。

ネットワークでデータを使用するには、APN 情報を設定します。

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2. **[Network & Internet]** (ネットワークとインターネット) > **[Mobile network]** (モバイル ネットワーク) > **[Advanced]** (詳細) の順にタッチします。
3. **[Access Point Names]** (アクセス ポイント名) をタッチします。
4. リストの APN 名をタッチして既存の APN を編集するか、 をタッチして新しい APN を作成します。
5. 各 APN 設定をタッチして、ワイヤレス サービス プロバイダから取得した適切な情報を入力します。
6. 完了したら、 > **[Save]** (保存) の順にタッチします。
7. APN 名の横にあるラジオ ボタンをタッチして、その APN の使用を開始します。
8.  をタッチします。

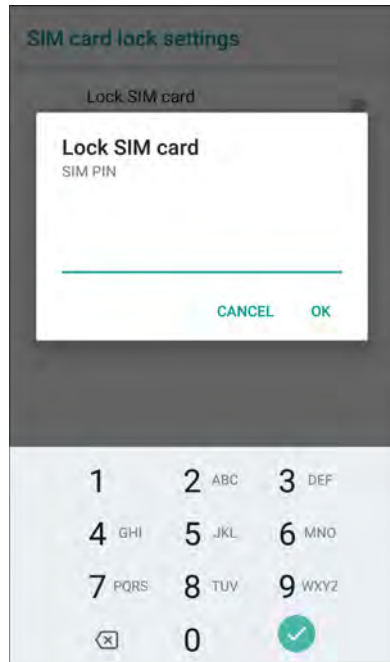
## SIM カードのロック

SIM カードをロックすると、デバイスの電源をオンにするたびに PIN の入力が必要になります。正しい PIN が入力されない場合、かけられるのは緊急電話のみになります。

1. ステータス バーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。

2. **[Security & location]** (セキュリティと場所) をタッチします。
3. **[SIM card lock]** (SIM カードのロック) をタッチします。
4. **[Lock SIM card]** (SIM カードのロック) をタッチします。

図 135 SIM カードをロックする PIN の入力



5. カードと関連づけられている PIN を入力します。[OK] をタッチします。
6. デバイスをリセットします。

## データ使用量

データ使用量とは、所定の期間内にデバイスによってアップロードまたはダウンロードされたデータの量を指します。無線通信のプランに応じて、データ使用量がプランの制限を超えると、追加料金が請求される場合があります。

データの使用状況を監視するには、次の手順に従います。

1. ステータス バーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、**⚙** をタッチします。
2. **[Mobile network]** (モバイル ネットワーク) > **[Data usage]** (データ使用量) > **[Data saver]** (データ セーバー) の順にタッチします。



**注意:** データ使用量設定画面に表示される使用量は、ご使用のデバイスにより測定されたものです。ご利用のキャリアで計算されるデータ使用量とは異なる場合があります。使用量がキャリアのプランのデータ制限を超えた場合、大幅に料金が超過する可能性があります。ここで説明する機能は、使用量の追跡に役立つものであり、追加料金が発生しないことを保証するものではありません。

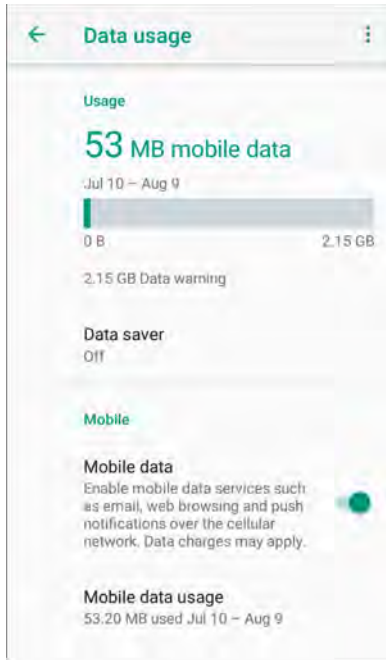
データ使用量設定では、次の設定ができます。

- データ使用量の警告レベルを設定する。
- データ使用量の制限を設定します。
- アプリごとにデータ使用量を表示または制限します。

- モバイル ホットスポットを識別し、追加料金発生の原因となる恐れのあるバックグラウンド ダウンロードを制限します。

デフォルトでは、データ使用量の設定画面にはモバイル データ設定が表示されます。つまり、通信事業者が提供するデータ ネットワークまたはネットワークです。

図 136 データ使用量画面



## データ使用量の警告の設定

一定のモバイル データが使用されると警告を発するよう設定するには、次の手順を実行します。

- ステータス バーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、**⚙** をタッチします。
- [Data usage]** (データ使用量) をタッチします。
- [Mobile data usage]** (モバイル データ使用量) > **⚙** > **[Set data warning]** (データ警告の設定) の順にタッチします。
- [Data warning]** (データ警告) をタッチします。
- 数値を入力します。メガバイト (MB) とギガバイト (GB) を切り替えるには、下矢印をタッチします。
- [Set]** (設定) をタッチします。

使用量が設定レベルに達すると通知が表示されます。

## データ制限の設定

- ステータス バーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、**⚙** をタッチします。
- [Data usage]** (データ使用量) をタッチします。
- [Mobile data usage]** (モバイル データ使用量) > **⚙** > **[Set data limit]** (データ制限の設定) の順にタッチします。
- [OK]** をタッチします。
- [Data limit]** (データ制限) をタッチします。

6. 数値を入力します。メガバイト (MB) とギガバイト (GB) を切り替えるには、下矢印をタッチします。
7. **[Set] (設定)** をタッチします。

制限に達すると、データは自動的にオフになり通知が表示されます。

### 無線 LAN

無線 LAN (WLAN) を使用すると、デバイスで屋内でも無線で通信できるようになります。WLAN でデバイスを使用するには、WLAN を実行するために必要なハードウェア (インフラストラクチャとも呼ばれる) を施設に設定する必要があります。この通信を有効にするには、インフラストラクチャとデバイスを正しく設定する必要があります。

インフラストラクチャの設定方法については、インフラストラクチャ (アクセス ポイント (AP)、アクセスポート、スイッチ、Radius サーバーなど) に付属しているマニュアルを参照してください。

選択した WLAN セキュリティ方式を適用するようにインフラストラクチャを設定したら、**[Wireless & networks] (無線とネットワーク)** 設定を使用して、そのセキュリティ方式に適合するようにデバイスを設定します。

デバイスは、次の WLAN セキュリティ オプションをサポートします。

- Open
- Wireless Equivalent Privacy (WEP)
- Wi-Fi Protected Access (WPA)/WPA2 Personal (PSK)
- Extensible Authentication Protocol (EAP)
  - EAP-FAST – MSCHAPv2 および GTC 認証を使用します。

ステータス バーには、Wi-Fi ネットワークが利用できるかどうかを示すアイコンと、Wi-Fi の状態を示すアイコンが表示されます。詳細については、「43 ページの「[ステータス バー](#)」を参照してください。



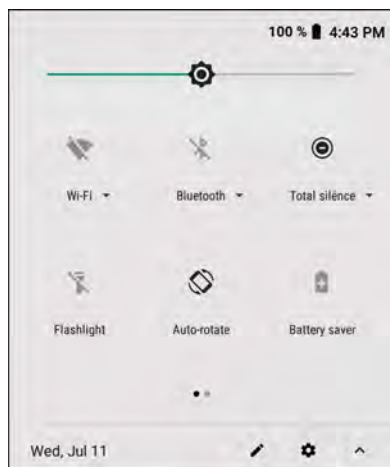
注：バッテリーの寿命を延ばすには、Wi-Fi を使用しないときはオフにします。

## Wi-Fi ネットワークのスキャンと接続

Wi-Fi ネットワークをスキャンして接続するには、次の手順に従います。

1. ステータス バーから下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開きます。

図 137 クイック アクセス パネル



2. **[Wi-Fi]** にタッチすると、**[Wi-Fi]** 画面が開きます。デバイスはエリア内の WLAN を検索してリスト表示します。

図 138 [Wi-Fi] 画面



3. リストをスクロールし、使用する WLAN ネットワークを選択します。
4. 公開ネットワークの場合、プロフィールを一度タッチするか長押しして **[Connect to network]** (ネットワークに接続) を選択します。セキュア ネットワークの場合、要求されるパスワードまたはその他の認証情報を入力してから、**[Connect]** (接続) をタッチします。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

デバイスは、Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) プロトコルを使用してネットワークからネットワーク アドレスなどの必要な情報を取得します。固定インターネット プロトコル (IP) アドレスを使用するようにデバイスを設定する方法の詳細については、デバイスの『Integrator Guide』を参照してください。

5. Wi-Fi の設定フィールドに、**[Connected]** (接続済み) が表示され、デバイスが WLAN に接続されていることが示されます。

## Wi-Fi ネットワークの削除

認識または接続されているネットワークを削除するには、次の手順に従います。

1. ステータス バーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、**⚙** をタッチします。
2. **[Network & Internet]** (ネットワークとインターネット) > **[Wi-Fi]** の順にタッチします。
3. 画面の下部までスクロールして、**[Saved networks]** (保存済みネットワーク) をタッチします。
4. ネットワーク名をタッチします。
5. ダイアログ ボックスで、**[FORGET]** (消去) をタッチします。
6. **○** をタッチします。

## Bluetooth

Bluetooth デバイスは、周波数ホッピング方式スペクトル拡散 (FHSS) 無線周波数 (RF) を使用して 2.4GHz の産業科学医療用 (ISM) バンド (802.15.1) でデータを送受信することで、無線通信できます。Bluetooth 無線テクノロジーは、短距離 (10m/32.8 フィート) 通信用に特別に開発された低消費電力の通信技術です。

Bluetooth 機能を搭載したデバイスは、プリンタ、アクセス ポイント、その他のモバイル デバイスなどの Bluetooth 対応デバイスと、情報 (ファイル、予定、タスクなど) を交換できます。

デバイスでは、Bluetooth Low Energy がサポートされています。Bluetooth Low Energy は、医療、フィットネス、セキュリティおよびホーム エンタテインメント業界のアプリケーションを対象としています。Bluetooth の標準の範囲を確保しつつ、電力消費とコストの削減を可能にします。

### 適応型周波数ホッピング

適応型周波数ホッピング (AFH) は、固定周波数干渉を回避する方式で、Bluetooth 音声通信に使用できます。AFH を機能させるためには、piconet (Bluetooth ネットワーク) 内のすべてのデバイスが AFH に対応している必要があります。デバイスの接続時および検出時に AFH は行われません。802.11b で重要な通信を行っている際は、Bluetooth 接続の確立や検出を行わないでください。Bluetooth の AFH は、次の 4 つの主なセクションから構成されています。

- チャンネル分類 – チャンネルごとに干渉を検出する方式、または定義済みのチャンネル マスクで干渉を検出する方式です。
- リンク管理 – AFH 情報を調整して、Bluetooth ネットワーク全体に AFH 情報を配信します。
- ホップシーケンス修正 – ホッピング チャンネル数を選択的に削減することで干渉を回避します。
- チャンネル メンテナンス – 定期的にチャンネルを再評価する方法です。

AFH が有効な場合、Bluetooth 無線は 802.11b 高速チャンネルを通るのではなく、「ホッピング」します。AFH の共存性により、エンタープライズ デバイスはあらゆるインフラストラクチャで動作できます。

デバイスの Bluetooth 無線は、Class 2 デバイス パワー クラスとして動作します。最大出力は 2.5mW で、予想伝送距離は 10m (32.8 フィート) です。伝送距離は、出力およびデバイスの違いや、開放空間なのかまたは閉鎖されたオフィス空間なのかによって左右されるため、パワー クラスに基づいて伝送距離を判断することは困難です。



注：802.11b での高速な動作が求められる場合、Bluetooth 無線テクノロジーの照会を実行することはお勧めしません。

### セキュリティ

現在の Bluetooth 仕様は、リンク レベルでセキュリティを定義しています。アプリケーション レベルのセキュリティは指定されていません。このため、アプリケーション開発者は、各自のニーズに応じてカスタマイズしたセキュリティ メカニズムを定義できます。リンク レベルのセキュリティはユーザー間ではなくデバイス間に適用されるのに対して、アプリケーション レベルのセキュリティはユーザーごとに実装できます。Bluetooth の仕様では、デバイスの認証に必要なセキュリティ アルゴリズムとプロシージャ、および必要に応じてデバイス間で伝送されるデータを暗号化するためのセキュリティ アルゴリズムとプロシージャを定めています。デバイスの認証は Bluetooth の必須の機能ですが、リンクの暗号化は任意の機能です。

Bluetooth デバイスのペアリングは、デバイスを認証してデバイスのリンク キーを作成するための初期化キーを作成することで行われます。ペアリングしようとするデバイスの共通個人識別番号 (PIN) を入力することで、初期化キーが生成されます。PIN は無線で送信されません。デフォルトでは、Bluetooth スタックは、キーが要求されたときにキーなしで応答します (キー要求イベントに応答するかどうかは任意です)。Bluetooth デバイスの認証は、チャレンジレスポンス トランザクションをベースにしています。Bluetooth では、他の 128 ビットキーの作成に使用した PIN またはパスキーをセキュリティおよび暗号化のために使用できます。暗号化キーは、ペアリング デバイスの認証に使用したリンク キーから導出されます。また、Bluetooth 無線の制限された伝送距離と高周波ホッピングにより、離れた場所からの盗聴が困難であることも特長の 1 つです。



## 推奨事項

- セキュリティ保護された環境でペアリングする
- PIN コードを公開しない、また PIN コードをデバイスに保存しない
- アプリケーション レベルのセキュリティを実装する

## Bluetooth プロファイル

デバイスは、次の表に示す Bluetooth サービスをサポートしています。

表 12 Bluetooth プロファイル

プロファイル	説明
サービス検索プロトコル (SDP)	既知のサービスおよび特殊なサービスの他、一般サービスの検索も処理します。
シリアル ポート プロファイル (SPP)	RFCOMM プロトコルを使った 2 台の Bluetooth ピア デバイス間でのシリアル ケーブル接続のエミュレートが可能になります。たとえば、デバイスをプリンタに接続します。
オブジェクト プッシュ プロファイル (OPP)	デバイスとプッシュ サーバーの間で、オブジェクトのプッシュとプルを可能にします。
高品質オーディオ配信プロファイル (A2DP)	ステレオ並みの高品質な音声を無線ヘッドセットや無線ステレオ スピーカにストリーミング配信します。
Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)	ユーザーがアクセスできるオーディオやビデオ機器をデバイスからリモートで制御できます。A2DP と併せて使用できます。
パーソナル エリア ネットワーク (PAN)	Bluetooth ネットワーク カプセル化プロトコルを使用して、Bluetooth リンクで L3 のネットワーク機能を提供します。PANU ロールのみの対応になります。
ヒューマン インタフェース デバイス プロファイル (HID)	Bluetooth キーボード、ポインティング デバイス、ゲーム デバイス、およびリモート監視デバイスがデバイスに接続できるようになります。
ヘッドセット プロファイル (HSP)	Bluetooth ヘッドセットなどのハンズフリー デバイスを使用した発着信の操作を行えるようになります。
ハンズフリー プロファイル (HFP)	カー ハンズフリー キットと車内のデバイスの間の通信を可能にします。
Phone Book Access Profile (PBAP)	車載キットと携帯電話の間で Phone Book オブジェクトを交換できるようにして、車載キットで、着信通話の発信者の名前を表示し、Phone Book をダウンロードして、ユーザーが車載ディスプレイから通話を開始できるようにします。
アウト オブ バンド (OOB)	ペアリング プロセスで使用する情報の交換を可能にします。ペアリングは Bluetooth 無線で行いますが、OOB メカニズムからの情報を必要とします。OOB を NFC で使用すると、時間のかかる検出プロセスを行う必要がなくなり、デバイスを近付けるだけでペアリングできるようになります。
Symbol Serial Interface (SSI)	Bluetooth イメージャと通信できるようにします。
一般属性プロファイル (GATT)	Bluetooth Low Energy プロトコル用にプロファイルの検出と説明のサービスを提供します。サービスを形成するセットに属性をグループ化する方法を定義します。

表 12 Bluetooth プロファイル ( 続き )

プロファイル	説明
ダイヤルアップ ネットワーク (DUN)	Bluetooth を介してインターネットやその他のダイヤルアップ サービスにアクセスするための標準を提供します。
一般アクセス プロファイル (GAP)	デバイスの検出と認証に使用します。
OBject EXchange (OBEX)	デバイス間のバイナリ オブジェクトの交換を容易にします。

## Bluetooth の電源の状態

Bluetooth 無線はデフォルトではオフになっています。

- [Suspend] (サスペンド) – デバイスがサスペンド モードになっても、Bluetooth 無線はオンのままです。
- [Airplane Mode] (機内モード) – デバイスを [Airplane Mode] (機内モード) に設定すると、Bluetooth 無線がオフになります。機内モードをオフにすると、Bluetooth 無線が前の状態に戻ります。機内モードがオンでも、必要であれば Bluetooth 無線はオンにできます。

## Bluetooth 無線の電源

バッテリーを節約する、または無線機器の使用が制限されている区域 (航空機内など) に入る場合、Bluetooth 無線をオフにします。無線をオフにすると、他の Bluetooth デバイスはデバイスを検出したり接続したりできなくなります。通信圏内の他の Bluetooth デバイスと情報を交換するには、Bluetooth 無線をオンにします。デバイスが近接した場所にある場合のみ Bluetooth 無線で通信してください。



注：バッテリーを長持ちさせるには、未使用時に無線をオフにします。

### Bluetooth を有効にする

Bluetooth を有効にするには、次の手順に従います。

1. ステータス バーから下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開きます。
2. ✨ をタッチして、Bluetooth をオンにします。
3. ○ をタッチします。

### Bluetooth を無効にする

Bluetooth を無効にするには、次の手順に従います。

1. ステータス バーから下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開きます。
2. ✨ をタッチして、Bluetooth をオフにします。
3. ○ をタッチします。

## Bluetooth デバイスを検出する



デバイスは、検出されたデバイスとペアリングされていなくても、そのデバイスから情報を受信できます。ただし、ペアリングしておく、Bluetooth 無線をオンにした時点で、デバイスとペアリングされたデバイスは情報を自動的に交換します。通信圏内の Bluetooth デバイスを検出するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていることを確認します。
2. 検出する Bluetooth デバイスが検出可能なモードになっていることを確認します。

3. 2つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以上離れていないことを確認します。
4. ステータスバーから下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開きます。
5. **[Bluetooth]** をタッチします。
6. **[MORE SETTINGS]** (その他の設定) をタッチします。**[Bluetooth]** 画面が表示されます。
7. **[Pair new device]** (新しいデバイスをペアリング) をタッチします。エリア内で検出可能な Bluetooth デバイスの検索が開始され、**[Available devices]** (使用可能なデバイス) にデバイスのリストが表示されます。
8. リストをスクロールし、デバイスを選択します。**[Bluetooth pairing request]** (Bluetooth ペアリングのリクエスト) ダイアログ ボックスが表示されます。
9. 両方のデバイスで **[Pair]** (ペアリング) をタッチします。
10. Bluetooth デバイスが **[Paired devices]** (ペアリング済みデバイス) リストに追加され、信頼された (ペアリングされた) 接続が確立されます。

## Bluetooth の名前の変更

デバイスには汎用の Bluetooth 名があり、他のデバイスに接続されると、デフォルトではこの名前が表示されます。

1. ステータスバーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2. **[Connected devices]** (機器接続) > **[Bluetooth]** の順にタッチします。
3. Bluetooth がオンになっていない場合、スイッチを移動して Bluetooth をオンにします。
4. **[Device name]** (デバイス名) をタッチします。
5. 名前を入力して、**[RENAME]** (名前変更) をタッチします。
6.  をタッチします。




## Bluetooth デバイスへの接続

ペアリングが完了したら、Bluetooth デバイスに接続します。

1. ステータスバーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2. **[Connected device]** (機器接続) > **[Bluetooth]** の順にタッチします。
3. リストで、未接続の Bluetooth デバイスにタッチします。  
接続されると、デバイス名の下に **[Connected]** (接続済み) と表示されます。

## Bluetooth デバイスのペアリング解除

Bluetooth デバイスのペアリングを解除してすべてのペアリング情報を消去するには、次の手順に従います。

1. ステータスバーから下にスワイプしてクイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2. **[Connected devices]** (機器接続) > **[Bluetooth]** の順にタッチします。
3. **[Paired Devices]** (ペアリング済みデバイス) リストで、デバイス名の隣にある  をタッチします。
4. **[FORGET]** (消去) をタッチします。
5.  をタッチします。

## 近距離無線通信

NFC/HF RFID は、リーダーと非接触型スマートカード間の安全なトランザクションを可能にする短距離無線接続技術です。この技術は、HF 13.56MHz の免許不要の帯域を利用し、ISO/IEC 14443 type A/B (近接) および ISO/IEC 15693 (周辺) 標準に基づいています。デバイスは、次の 3 つの動作モードをサポートしています。

- リーダーモード
- ピアツーピア通信
- カードエミュレーションモード

NFC を使用して、デバイスで次のことを実行できます。

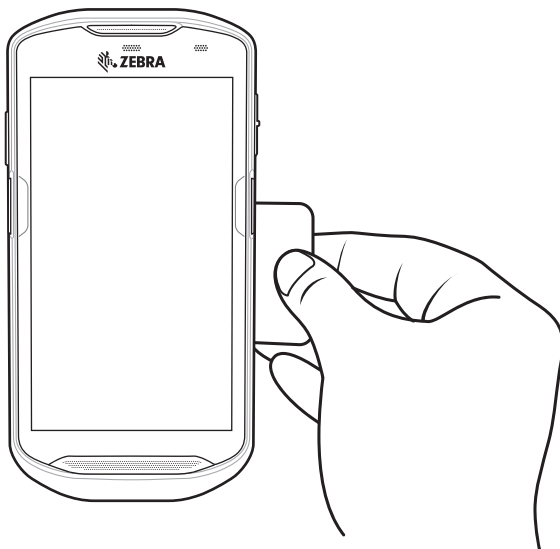
- 非接触型チケット、ID カードおよび ePassport などの非接触型カードの読み取り。
- SmartPoster やチケットなどの非接触型カードのほか、自動販売機などの NFC インタフェース搭載デバイスに対する情報の読み取りと書き込み。
- サポート対象の医用センサからの情報の読み取り。
- プリンタやヘッドセットなどのサポート対象の Bluetooth デバイスとのペアリング。
- 別の NFC デバイスとのデータの交換。
- 支払い、チケット、SmartPoster などの非接触型カードのエミュレート。

デバイスの NFC のアンテナは、ユーザーが手に持った状態で、デバイスの上部から NFC カードを読み取れるように独特な方法で配置されています。

## NFC カードの読み取り

1. NFC 対応アプリケーションを起動します。
2. 次に示すように、デバイスを持ちます。

図 139 カードの読み取り



3. デバイスがカードを検出するまで、デバイスを NFC カードに近づけます。
4. トランザクションが完了するまで (通常はアプリケーションによって示される)、カードを固定したままかざします。

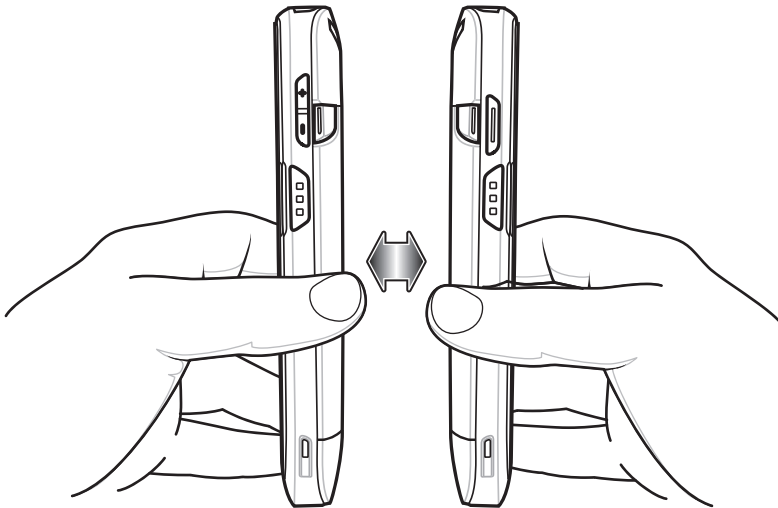
## NFC を使用した情報の共有

複数のデバイスを背中合わせにして、画面に表示されている Web ページ、連絡先カード、画像、YouTube のリンクまたは位置情報などのコンテンツを送信できます。

両方のデバイスがロックされていないこと、NFC をサポートしていること、および NFC と Android Beam の両方がオンになっていることを確認してください。

1. Web ページ、ビデオ、写真、または連絡先を表示する画面を開きます。
2. デバイスの背面を、他のデバイスの背面に向けます。

図 140 NFC を使用したデータの共有



デバイス同士が接続すると、音が鳴ります。画面に表示されている画像のサイズが縮小され、[Touch to beam] (タッチして送信) というメッセージが表示されます。

3. 画面にタッチします。  
送信が開始されます。

# アクセサリ

## はじめに

この章では、デバイスのアクセサリの使用方法について説明します。

## アクセサリ

次の表に、デバイスで使用できるアクセサリを示します。

表 13 アクセサリ

アクセサリ	部品番号	説明
<b>クレードル</b>		
1 スロット USB/ 充電専用 クレードル キット	CRD-TC51-1SCU-01	デバイスの充電および通信用です。クレードル、電源 (PWR-BGA12V50W0WW)、および DC 電源コードを含みます。
4 スロット充電専用クレードル (バッテリー充電器 キット付き)	CRD-TC51-5SC4B-01	最大 4 台のデバイスと 4 個の予備バッテリーを充電します。クレードル、電源 (PWR-BGA12V108W0WW)、および DC 電源コードを含みます。
5 スロット充電専用 クレードル キット	CRD-TC51-5SCHG-01	最大 5 台のデバイスを充電します。クレードル、電源 (PWR-BGA12V108W0WW)、および DC 電源コードを含みます。
5 スロット イーサネット クレードル キット	CRD-TC51-5SETH-01	最大 5 台のデバイスの充電およびイーサネット通信用です。クレードル、電源 (PWR-BGA12V108W0WW)、および DC 電源コードを含みます。
クレードル マウント	BRKT-SCRD-SMRK-01	壁面またはラックに 5 スロット充電専用クレードル、5 スロット イーサネットクレードル、および 4 スロット バッテリー充電器を取り付けます。
USB イーサネット アダプタ	KT-TC51-ETH1-01	1 スロット USB/ 充電専用クレードル キットとの USB およびイーサネット通信を提供します。
<b>バッテリーと充電器</b>		
4,300mAh (通常) / 4,050mAh (最小) PowerPrecisionPlus バッテリー	BTRY-TC51-43MA1-01 BTRY-TC51-43MA1-10	交換用バッテリー (シングル パック) 交換用バッテリー (10 パック)

表 13 アクセサリ ( 続き )

アクセサリ	部品番号	説明
4 スロット バッテリ充電器キット	SAC-TC51-4SCHG-01	最大 4 個のバッテリーパックを同時に充電します。クレードル、電源 (PWR-BGA12V50W0WW)、および DC 電源コードを含みます。
<b>車載用ソリューション</b>		
シガレット ライト アダプタ車用充電ケーブル	CHG-AUTO-USB1-01	シガレット ライト ソケットからデバイスに電力を供給します。
車載用通信充電クレードル	CRD-TC56-UVCD1-01	デバイスへの電力供給 ( オプションの USB I/O ハブに接続し、デバイスをしっかりと固定した場合 )。
USB I/O ハブ	SHARE-USBH-01	車載用通信充電クレードルへの電力供給と USB 接続に使用します。電源ケーブル CHG-AUTO-CLA1-01 または CHG-AUTO-HWIRE1-01 ( 別売り ) が必要です。
ProClip 充電専用車載用クレードル	3PTY-PCLIP-241389	高耐久性ブーツでデバイスを充電するとともに、しっかりと固定します。ハードワイヤ車用充電ケーブル (3PTY-PCLIP-945081) またはシガレット ライト アダプタ (3PTY-PCLIP-945082) が必要です。
ProClip ハードワイヤ車用充電ケーブル	3PTY-PCLIP-945081	シガレット ライト ソケットからの充電専用車載用クレードル (CRD-TC56-CVCD1-01) にハードワイヤ接続で電源を供給します。
ProClip シガレット ライト アダプタ車用充電ケーブル	3PTY-PCLIP-945082	シガレット ライト ソケットから ProClip 充電専用車載用クレードル (3PTY-PCLIP-241389) に電力を供給します。
RAM マウント	RAM-B-166U	車載用クレードルの取り付けに使用します。
<b>充電ケーブルおよび通信ケーブル</b>		
高耐久性充電 /USB ケーブル	CBL-TC51-USB1-01	デバイスへの電力供給と通信に使用します。電源 PWR-WUA5V12W0xx が必要です。
高耐久性 USB-C アダプタ	ADPTR-TC56-USBC-01	USB-C ケーブル (CBL-TC5X-USBC2A-01) を使用して、デバイスとの通信と電源供給を行います。
USB-C 通信充電ケーブル	CBL-TC5X-USBC2A-01	USB-A から USB-C への通信とデバイスへの電力供給を行います。
USB 通信ケーブル	25-124330-01R	1 スロット USB/ 充電専用クレードル キットで Micro USB から USB への通信に使用します。
<b>オーディオ アクセサリ</b>		
2.5mm オーディオ アダプタ	CBL-TC51-HDST25-01	デバイスに差し込み、2.5mm プラグの有線ヘッドセットに音声を送ります。
2.5mm ヘッドセット	HDST-25MM-PTVP-01	PTT 通話および VoIP 通話に使用します。
3.5mm オーディオ アダプタ	CBL-TC51-HDST35-01	デバイスに差し込み、3.5mm カラープラグの有線ヘッドセットに音声を送ります。
3.5mm ヘッドセット	HDST-35MM-PTVP-01	PTT 通話および VoIP 通話に使用します。

表 13 アクセサリ ( 続き )

アクセサリ	部品番号	説明
<b>その他</b>		
高耐久性ブーツ	SG-TC5X-EXO1-01	デバイスの保護を強化します。
トリガ ハンドル	TRG-TC51-SNP1-01	使いやすく生産性の高いスキャン操作を可能にするスキャナトリガを備えたガン タイプのハンドルを取り付けます。高耐久性ブーツが必要です。
トリガ ハンドル キット ( 高耐久性ブーツ付き )	TRG-TC51-TRG1-01	使いやすく生産性の高いスキャン操作を可能にするスキャナトリガを備えたガン タイプのハンドルを取り付けます。
スクリーン保護シート	KT-TC51-SCRNP1-01	画面保護を強化します。
SmartDEX ソリユーション	DEX30	デバイスに無線 DEX 通信機能を提供します。
手首のストラップ	SG-PD40-WLD1-01	デバイスを手首でしっかりと持つために使用します。トリガ ハンドルまたは高耐久性ブーツで使用します。
高耐久性 I/O コネクタ	ADP-TC51-RGIO1-03	交換用の高耐久性 I/O コネクタ ( 3 個パック )。
<b>携帯用ソリユーション</b>		
ソフト ホルスタ	SG-TC51-HLSTR1-01	デバイスをしっかりと持つために使用します。高耐久性ブーツとトリガ ハンドル付きのデバイスに対応します。
ハンドストラップ	SG-TC51-EHDSTP1-03	ハンドストラップ マウント クリップ 用交換ハンドストラップ ( 3 パック )
ベーシック ハンドストラップ	SG-TC51-BHDSTP1-03	高耐久性ブーツのないデバイスを持ちやすくするためのハンドストラップです。
スタイラスおよびコイル ストラップ	SG-TC7X-STYLUS-03	スタイラスとコイル ストラップ ( 3 個パック )。
<b>電源</b>		
電源	PWR-BGA12V50W0WW	1 スロット USB 充電クレードルおよび 4 スロット予備バッテリー充電器に電力を供給します。AC 電源コードが必要です。
電源	PWR-BGA12V108W0WW	4 スロット充電専用クレードル ( バッテリー充電器付き )、5 スロット充電専用クレードルおよび 5 スロット イーサネット クレードルに電力を供給します。p/n 50-16002-029R の DC 電源コードと、国別のアース付き AC 電源コード ( 3 ワイヤ ) が必要です ( 別売り )。
電源	PWR-WUA5V12W0US	高耐久性充電 /USB ケーブルに DC 12V、2.5A の電力を供給します。米国で使用するためのプラグ アダプタが含まれます。
電源	PWR-WUA5V12W0GB	高耐久性充電 /USB ケーブルに DC 12V、2.5A の電力を供給します。欧州連合で使用するためのプラグ アダプタが含まれます。
電源	PWR-WUA5V12W0EU	高耐久性充電 /USB ケーブルに DC 12V、2.5A の電力を供給します。英国で使用するためのプラグ アダプタが含まれます。



表 13 アクセサリ ( 続き )

アクセサリ	部品番号	説明
電源	PWR-WUA5V12W0AU	高耐久性充電 /USB ケーブルに DC 12V、2.5A の電力を供給します。オーストラリアで使用するためのプラグアダプタが含まれます。
電源	PWR-WUA5V12W0CN	高耐久性充電 /USB ケーブルに DC 12V、2.5A の電力を供給します。中国で使用するためのプラグアダプタが含まれます。
電源	PWR-WUA5V12W0IN	高耐久性充電 /USB ケーブルに DC 12V、2.5A の電力を供給します。インドで使用するためのプラグアダプタが含まれます。
電源	PWR-WUA5V12W0KR	高耐久性充電 /USB ケーブルに DC 12V、2.5A の電力を供給します。韓国で使用するためのプラグアダプタが含まれます。
電源	PWR-WUA5V12W0BR	高耐久性充電 /USB ケーブルに DC 12V、2.5A の電力を供給します。ブラジルで使用するためのプラグアダプタが含まれます。
DC 電源コード	CBL-DC-381A1-01	電源 (PWR-BGA12V108W0WW) から 4 スロット充電専用クレードル ( バッテリ充電器付き )、5 スロット充電専用クレードル、および 5 スロットイーサネットクレードルに電力を供給します。
DC 電源コード	CBL-DC-388A1-01	電源 (PWR-BGA12V50W0WW) から 1 スロット USB/ 充電専用クレードルおよび 4 スロット バッテリ充電器に電力を供給します。
2 股 DC ケーブル	CBL-DC-523A1-01	1 つの電源 (PWR-BGA12V108W0WW) を 2 台の 4 スロット バッテリ充電器に接続します。
US AC 電源コード	23844-00-00R	電源に電力を供給します。

## 1 スロット USB 充電クレードル

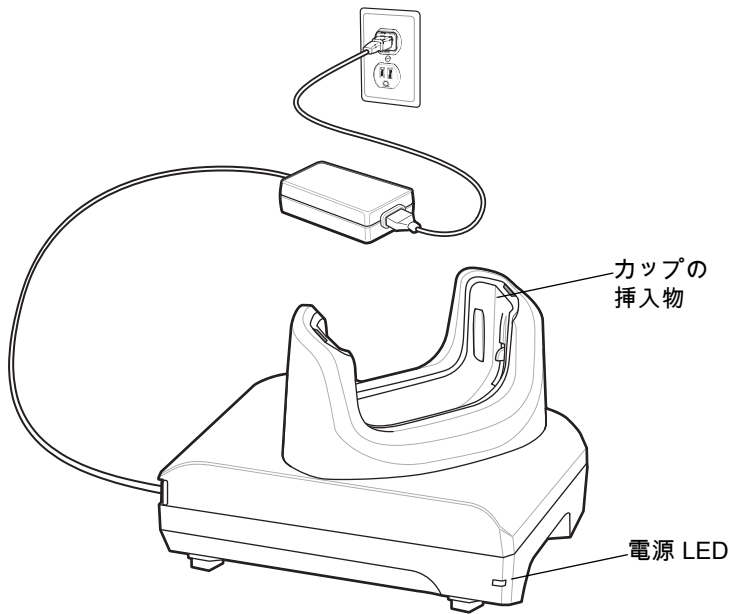


**注意:** 「206 ページの「[バッテリーの安全に関するガイドライン](#)」」で説明している、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

1 スロット USB 充電クレードルには、次のような機能があります。

- デバイスの操作に必要な DC 5V の電力を供給する。
- デバイスのバッテリーを充電する。
- ホスト コンピュータとの USB 通信を行う。

図 141 1 スロット USB 充電クレードル



## デバイスの充電

デバイスを充電するには、次の手順に従います。

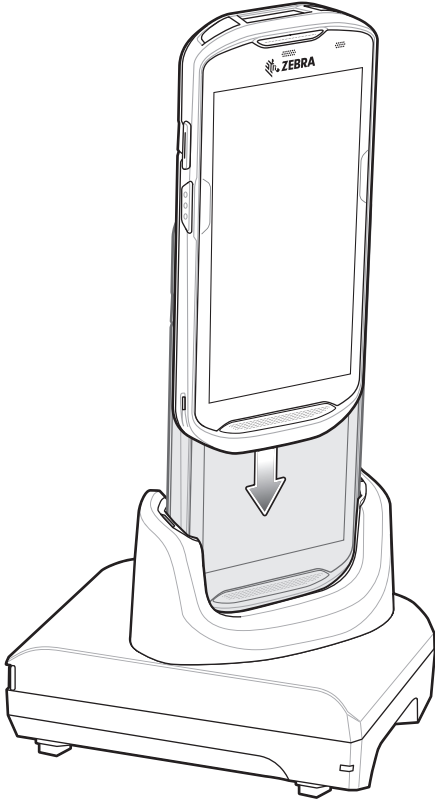


**注:** デバイスに高耐久性ブーツがある場合、デバイスを挿入する前にカップの挿入物を取り外します。詳細については、『Integrator Guide』を参照してください。

デフォルトでは、デバイスはインタフェース コネクタを搭載しています。USB タイプ C ケーブルを接続するためインタフェース コネクタを取り外している場合、コネクタをつなぎ直してから充電するかイーサネット IP アドレスを受信してください (クレードルに装着している場合)。

1. スロットにデバイスを挿入すると充電が開始します。

図 142 バッテリーの充電

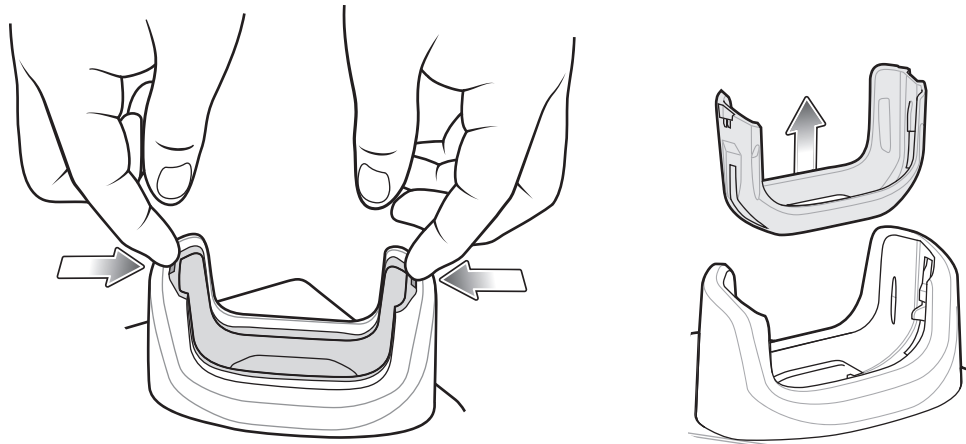


2. デバイスが正しくセットされていることを確認してください。

## 高耐久性ブーツを装着したデバイスをクレードルに挿入する

クレードルの各カップには挿入物があります。高耐久性ブーツを装着したデバイスを挿入する場合、この挿入物を先に取り外す必要があります。挿入物を取り外した後、デバイスをカップに挿入します。

図 143 カップから挿入物を取り外す



## バッテリーの充電

デバイスの充電/通知 LED は、デバイスのバッテリー充電状態を示します。デバイスの充電状態については、「[25 ページの表 3](#)」を参照してください。4,300mAh (一般)/4,050mAh (最小) バッテリーが完全に空になっている場合、約 2.5 時間で 90% まで、約 3 時間で 100% まで充電されます。



注：多くの場合、日常的な使用に対しては 90% までの充電で充分です。100% にフル充電すると、約 14 時間連続で使用できます。

最も速く充電するには、Zebra の充電アクセサリおよびバッテリーのみを使用してください。デバイスをスリープモードにして、室温でバッテリーを充電します。

### 充電温度

バッテリーの充電は、5 ~ 40°C (41 ~ 104°F) の温度で行います。デバイスまたはクレードルは、常に安全で適切な方法で充電が行われます。高温時 (約 37°C 以上 (98°F 以上) など) には、デバイスまたはクレードルは、バッテリーの充電を有効と無効に交互に短時間で切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保つ場合があります。異常な温度のために充電が無効になった場合、デバイスおよびクレードルの LED に表示されます。

## 4 スロット充電専用クレードル (バッテリー充電器付き)

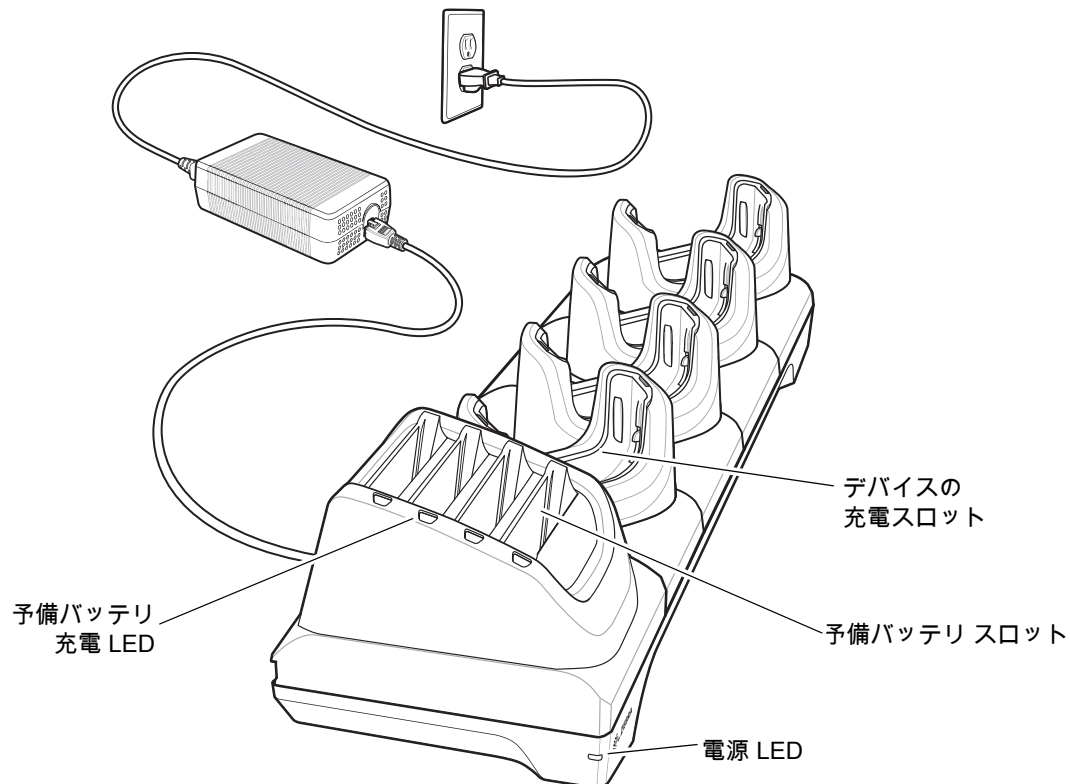


注意: 「206 ページの「バッテリーの安全に関するガイドライン」」で説明している、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

4 スロット充電専用クレードル (バッテリー充電器付き) には、次のような機能があります。

- デバイスの操作に必要な DC 5V の電力を供給する。
- バッテリー充電器アダプタを使用して、同時に最大 4 台のデバイスと最大 4 台の予備バッテリーを充電する。

図 144 4 スロット充電専用クレードル (バッテリー充電器付き)



## デバイスの充電

デバイスを充電するには、次の手順に従います。



注: デバイスに高耐久性ブーツがある場合、デバイスを挿入する前にカップの挿入物を取り外します。詳細については、『Integrator Guide』を参照してください。

1. スロットにデバイスを挿入すると充電を開始します。

図 145 デバイスのバッテリーの充電

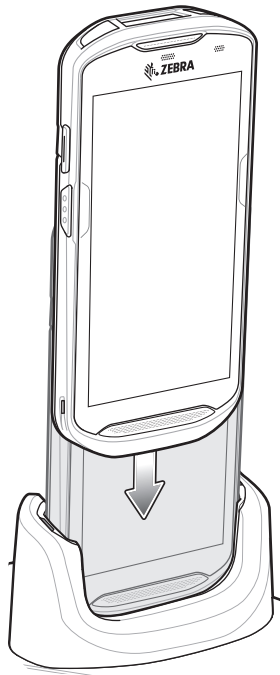
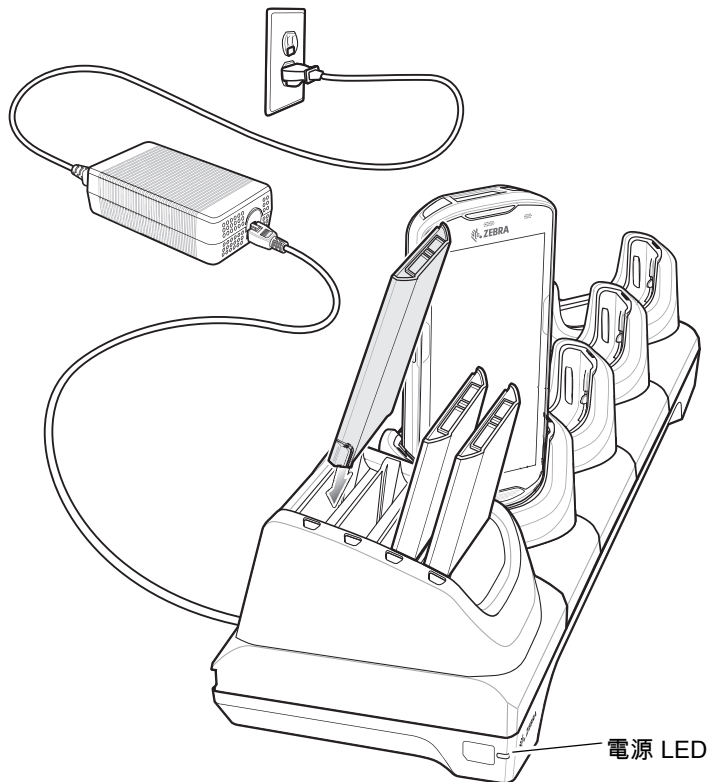


図 146 予備バッテリーの充電



2. デバイスが正しくセットされていることを確認してください。

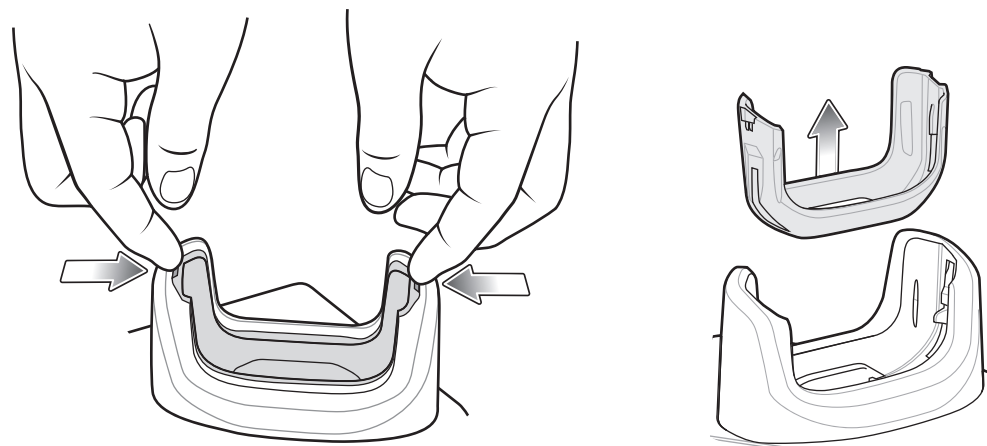


注：4スロットバッテリー充電器のクレードルへの取り付け方法の詳細については、『Integrator Guide』を参照してください。

## 高耐久性ブーツを装着したデバイスをクレードルに挿入する

クレードルの各カップには挿入物があります。高耐久性ブーツを装着したデバイスを挿入する場合、この挿入物を先に取り外す必要があります。挿入物を取り外した後、デバイスをカップに挿入します。

図 147 カップから挿入物を取り外す



## バッテリーの充電

### メインバッテリーの充電

デバイスの充電/通知 LED は、デバイスのバッテリー充電状態を示します。デバイスの充電状態については、「25 ページの表 3」を参照してください。バッテリーが完全に空になっている場合、約 2.5 時間で 90%、約 3 時間で 100% 充電されます。



注：多くの場合、日常的な使用に対しては 90% までの充電で充分です。100% にフル充電すると、約 14 時間連続で使用できます。

最も速く充電するには、Zebra の充電アクセサリおよびバッテリーのみを使用してください。デバイスをスリープモードにして、室温でバッテリーを充電します。

### 予備バッテリーの充電




カップの予備バッテリー充電 LED は、予備バッテリーの充電の状態を示します。バッテリーが完全に空になっている場合、約 2.3 時間で 90%、約 3 時間で 100% 充電されます。



注：多くの場合、日常的な使用に対しては 90% までの充電で充分です。100% にフル充電すると、約 14 時間連続で使用できます。

最も速く充電するには、Zebra の充電アクセサリおよびバッテリーのみを使用してください。

表 14 予備バッテリー LED の充電インジケータ

LED	LED	意味
黄色で点灯		予備バッテリーを充電中です。
黄色と明るい黄色が交互に点灯		適切な予備バッテリーを充電中です。
緑色で点灯		予備バッテリーの充電が完了しました。
緑色と明るい緑色が交互に点灯		適切な予備バッテリーの充電が完了しました。
赤色で点灯		予備バッテリーが充電中です。バッテリーの寿命が近づいています。 充電が完了しました。バッテリーの寿命が近づいています。
赤色で速く点滅 (1 秒に 2 回点滅)		充電中にエラーが発生しました。予備バッテリーが正しく挿入されているか確認してください。バッテリーの寿命が近づいています。
消灯		スロットに予備バッテリーがありません。予備バッテリーがスロットに正しく装着されていません。クレードルに電源が供給されていません。

## 充電温度

バッテリーの充電は、5 ~ 40°C (41 ~ 104°F) の温度で行います。デバイスまたはクレードルは、常に安全で適切な方法で充電が行われます。高温時 (約 37°C 以上 (98°F 以上) など) には、デバイスまたはクレードルは、バッテリーの充電を有効と無効に交互に短時間で切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保つ場合があります。異常な温度のために充電が無効になった場合、デバイスおよびクレードルの LED に表示されます。

## 5 スロット充電専用クレードル



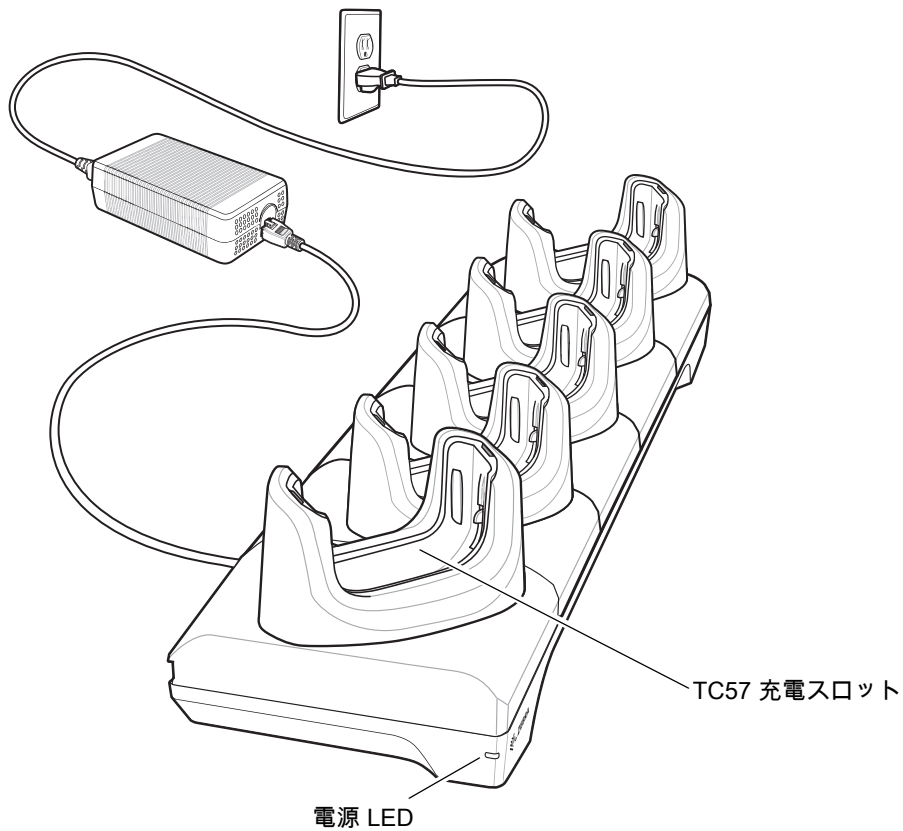
**注意:** 「206 ページの「バッテリーの安全に関するガイドライン」」で説明している、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

5 スロット充電専用クレードルには、次のような機能があります。

- デバイスの操作に必要な DC 5V の電力を供給する。
- 最大 5 台のデバイスを同時に充電します。



図 148 5 スロット充電専用クレードル



## デバイスの充電

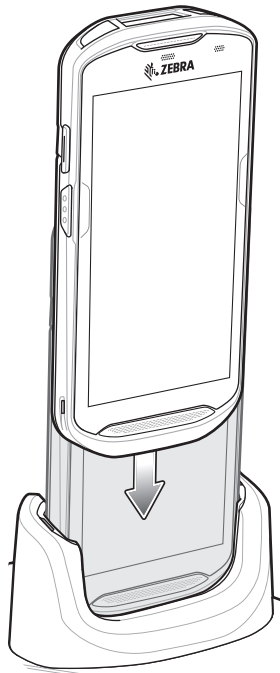
デバイスを充電するには、次の手順に従います。



注：デバイスに高耐久性ブーツがある場合、デバイスを挿入する前にカップの挿入物を取り外します。詳細については、『TC57 Touch Computer Integrator Guide for Android 8.1.0 Oreo』を参照してください。

1. スロットにデバイスを挿入すると充電を開始します。

図 149 TC57 のバッテリーの充電



2. デバイスが正しくセットされていることを確認してください。

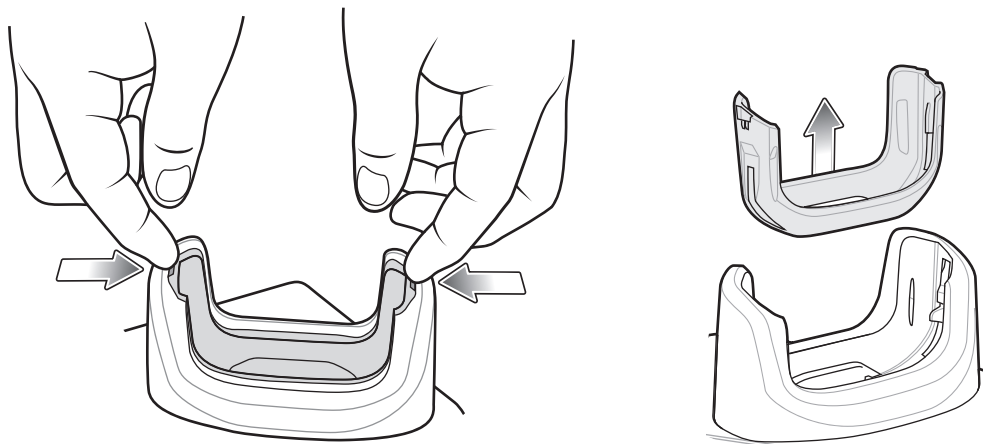


注： 4 スロット バッテリー充電器のクレードルへの取り付け方法の詳細については、『TC57 Touch Computer Integrator Guide for Android 8.1.0 Oreo』を参照してください。

## 高耐久性ブーツを装着したデバイスをクレードルに挿入する

クレードルの各カップには挿入物があります。高耐久性ブーツを装着したデバイスを挿入する場合、この挿入物を先に取り外す必要があります。挿入物を取り外した後、デバイスをカップに挿入します。

図 150 カップから挿入物を取り外す



## バッテリーの充電

### メイン バッテリーの充電

デバイスの充電/通知 LED は、デバイスのバッテリー充電状態を示します。デバイスの充電状態については、「[25 ページの表 3](#)」を参照してください。バッテリーが完全に空になっている場合、約 2.5 時間で 90%、約 3 時間で 100% 充電されます。



注：多くの場合、日常的な使用に対しては 90% までの充電で充分です。100% にフル充電すると、約 14 時間連続で使用できます。

最も速く充電するには、Zebra の充電アクセサリおよびバッテリーのみを使用してください。デバイスをスリープモードにして、室温でバッテリーを充電します。

### 充電温度

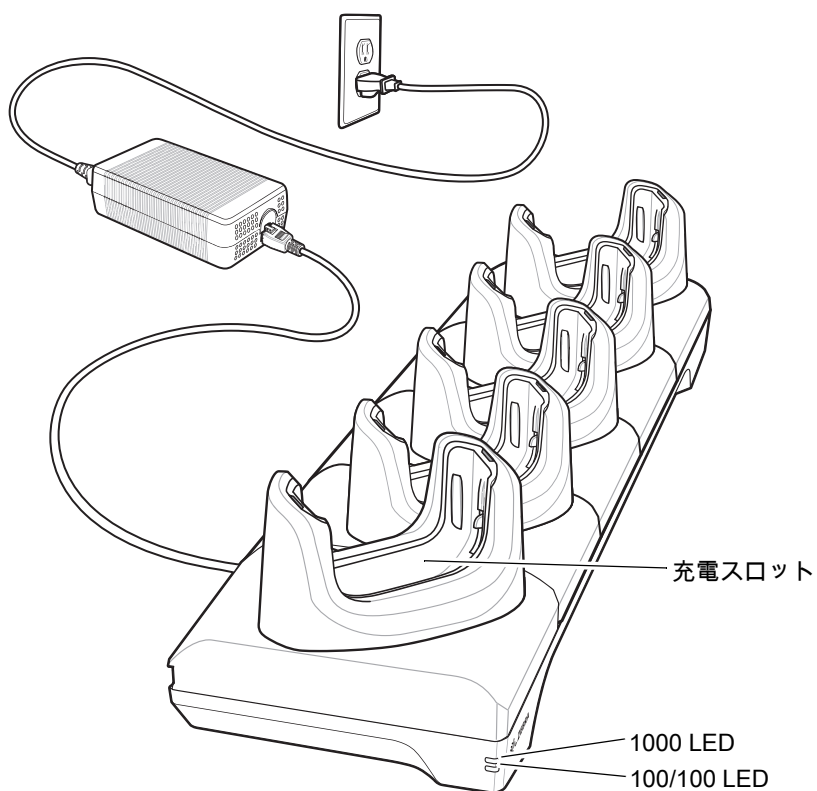
バッテリーの充電は、5 ~ 40°C (41 ~ 104°F) の温度で行います。デバイスまたはクレードルは、常に安全で適切な方法で充電が行われます。高温時 (約 37°C 以上 (98°F 以上) など) には、デバイスまたはクレードルは、バッテリーの充電を有効と無効に交互に短時間で切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保つ場合があります。異常な温度のために充電が無効になった場合、デバイスおよびクレードルの LED に表示されます。

## 5 スロット イーサネット クレードル

5 スロット イーサネット クレードルには、次のような機能があります。

- デバイスの操作に必要な DC 5V の電力を供給する。
- 最大 5 台のデバイスをイーサネット ネットワークに接続する。
- 最大 5 台のデバイスを同時に充電します。

図 151 5 スロット イーサネット クレードル



## デバイスの充電

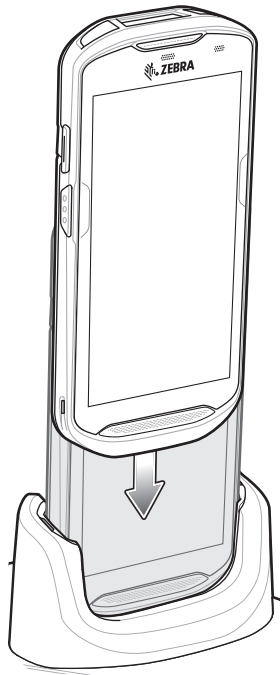
デバイスを充電するには、次の手順に従います。



注：デバイスに高耐久性ブーツがある場合、デバイスを挿入する前にカップの挿入物を取り外します。詳細については、『TC57 Touch Computer Integrator Guide for Android 8.1.0 Oreo』を参照してください。

1. スロットにデバイスを挿入すると充電を開始します。

図 152 TC57 のバッテリーの充電

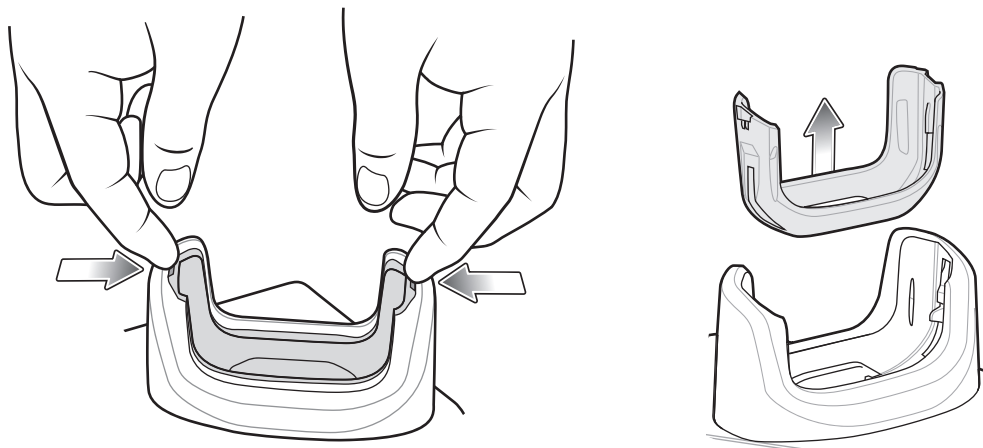


2. デバイスが正しくセットされていることを確認してください。

## 高耐久性ブーツを装着した TC57 をクレードルに挿入する

クレードルの各カップには挿入物があります。高耐久性ブーツを装着したデバイスを挿入する場合、この挿入物を先に取り外す必要があります。挿入物を取り外した後、デバイスをカップに挿入します。

図 153 カップから挿入物を取り外す



## バッテリーの充電

### メインバッテリーの充電

デバイスの充電/通知 LED は、デバイスのバッテリー充電状態を示します。デバイスの充電状態については、「[25 ページの表 3](#)」を参照してください。バッテリーが完全に空になっている場合、約 2.5 時間で 90%、約 3 時間で 100% 充電されます。



注：多くの場合、日常的な使用に対しては 90% までの充電で充分です。100% にフル充電すると、約 14 時間連続で使用できます。

最も速く充電するには、Zebra の充電アクセサリおよびバッテリーのみを使用してください。デバイスをスリープモードにして、室温でバッテリーを充電します。


### 充電温度

バッテリーの充電は、5 ~ 40°C (41 ~ 104°F) の温度で行います。デバイスまたはクレードルは、常に安全で適切な方法で充電が行われます。高温時 (約 37°C 以上 (98°F 以上) など) には、デバイスまたはクレードルは、バッテリーの充電を有効と無効に交互に短時間で切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保つ場合があります。異常な温度のために充電が無効になった場合、デバイスおよびクレードルの LED に表示されます。

### イーサネット接続の確立



注：イーサネット設定の詳細については、『TC57 Touch Computer Integrator Guide for Android 8 Oreo』を参照してください。

- ステータスバーから 2 本の指で下にスワイプして、クイックアクセスパネルを開き、 をタッチします。
- [Ethernet] (イーサネット) をタッチします。
- イーサネットスイッチを [ON] (オン) の位置にスライドします。
- デバイスをスロットに挿入します。  
↔ アイコンがステータスバーに表示されます。
- [Eth0] をタッチし、イーサネット接続の詳細を表示します。

## LED インジケータ

クレードルの側面には、2 つの緑色の LED が搭載されています。これらの緑色の LED は、点灯および点滅してデータ転送速度を示します。

表 15 LED データ速度インジケータ

データ速度	1000 LED	100/10 LED
1Gbps	オン / 点滅	消灯
100Mbps	消灯	オン / 点滅
10Mbps	消灯	オン / 点滅

## 4 スロット バッテリ充電器



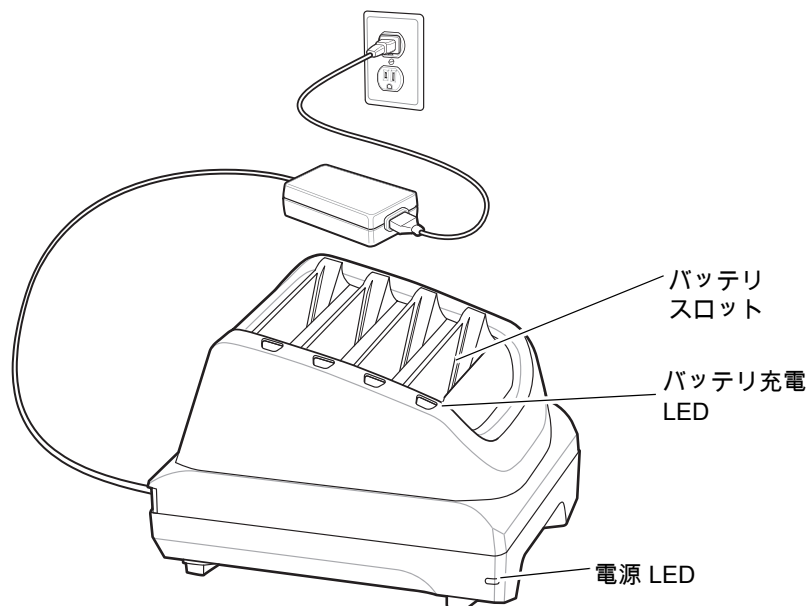
注意: 「206 ページの「[バッテリーの安全に関するガイドライン](#)」」で説明している、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

ここでは、4 スロット バッテリ充電器を使用して最大 4 台のデバイスのバッテリーを充電する方法について説明します。

### 予備バッテリーの充電

1. 電源に充電器を接続します。
2. バッテリーをバッテリー受けに差し込み、バッテリーをゆっくり押し下げて正しく接触するようにします。

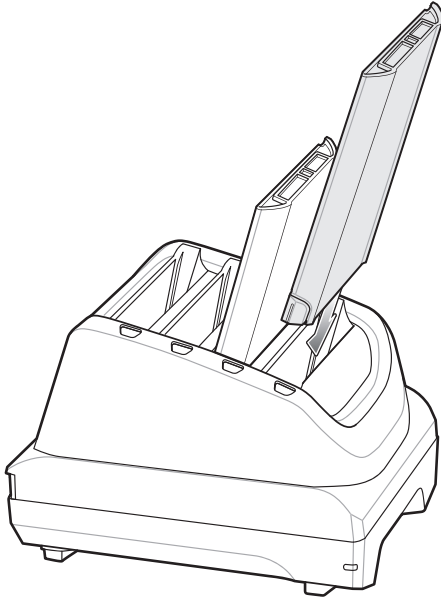
図 154 4 スロット バッテリ充電器



## バッテリーの充電

### 予備バッテリーの充電

図 155 充電器にバッテリーを挿入



バッテリー充電 LED はそれぞれ、各スロットのバッテリー充電状態を示します。予備バッテリーの充電インジケータの説明については、「[176 ページの表 14](#)」を参照してください。

4,300mAh (一般)/4,050mAh (最小) バッテリーが完全に空になっている場合、約 2.3 時間で 90% まで、約 3 時間で 100% まで充電されます。



注：多くの場合、日常的な使用に対しては 90% までの充電で充分です。100% にフル充電すると、約 14 時間連続で使用できます。

最も速く充電するには、Zebra の充電アクセサリおよびバッテリーのみを使用してください。

### 充電温度

バッテリーの充電は、5 ~ 40°C (41 ~ 104°F) の温度で行います。デバイスまたはクレードルは、常に安全で適切な方法で充電が行われます。高温時 (約 37°C 以上 (98°F 以上) など) には、デバイスまたはクレードルは、バッテリーの充電を有効と無効に交互に短時間で切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保つ場合があります。異常な温度のために充電が無効になった場合、デバイスおよびクレードルの LED に表示されます。



## 高耐久性ブーツ

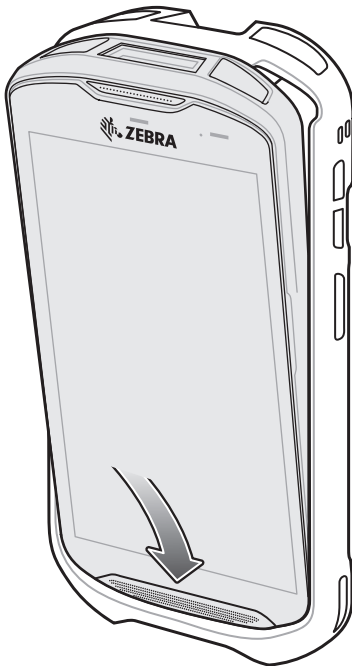
高耐久性ブーツは、デバイスの保護を強化します。

### 取り付け

高耐久性ブーツを取り付けるには、次の手順に従います。

1. デバイスの下部をブーツの下部に挿入します。

図 156 デバイスをブーツに挿入



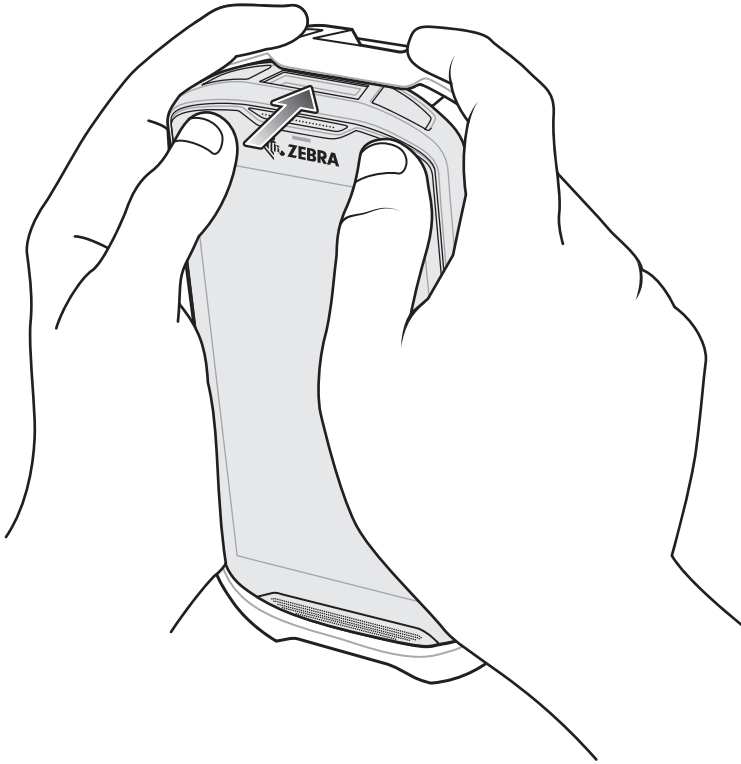
2. 高耐久性ブーツの上部をデバイスの上部に持ち上げてかぶせます。

図 157 ブーツをデバイスの上まで持ち上げる



3. デバイスを高耐久性ブーツに押し込みます。

図 158 デバイスをブーツに押し込む



## スタイラスの取り付け

オプションのスタイラスを取り付けるには、次の手順に従います。

1. ストラップの端のループの 1 つをスタイラスの穴に通します。
2. ストラップをループに通します。
3. ループが締まるまでストラップを引きます。
4. ハンドストラップホルダーにループを挿入します。

5. スタイラスをループに通します。

図 159 スタイラスにストラップを取り付ける

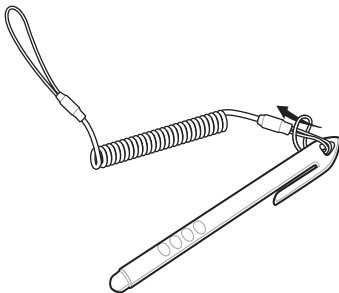
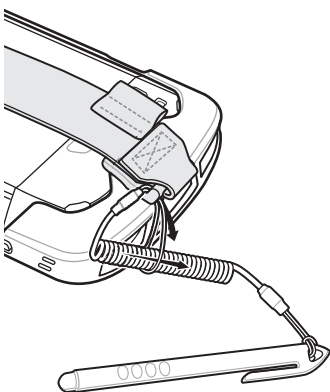


図 160 ハンドストラップにスタイラスを取り付ける

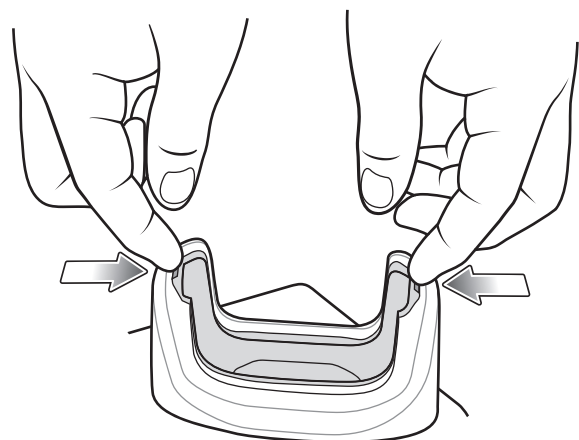


## クレードルで充電する

高耐久性ブーツを装着しているデバイスをクレードル カップに挿入する場合、まずカップから挿入物を取り外します。

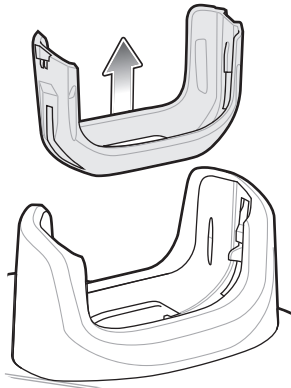
1. 両手の人差し指で挿入物をカップの中心に向かって押します。

図 161 中心に向かって挿入物を押す



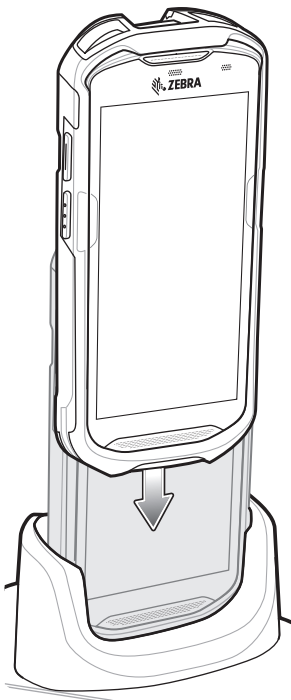
2. 挿入物をカップから持ち上げます。

図 162 挿入物をカップから持ち上げる



3. クレードルにデバイスを装着します。

図 163 ブーツを装着しているデバイスをクレードル カップに装着する



## 2.5mm オーディオアダプタ



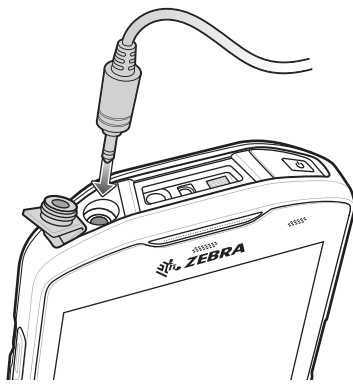
注：オーディオアダプタは、デバイス標準構成で使用できます。

デバイスに 2.5mm オーディオアダプタを接続し、その端を 2.5mm プラグの有線ヘッドセットに接続します。

2.5mm ヘッドセットを接続するには、次の手順に従います。

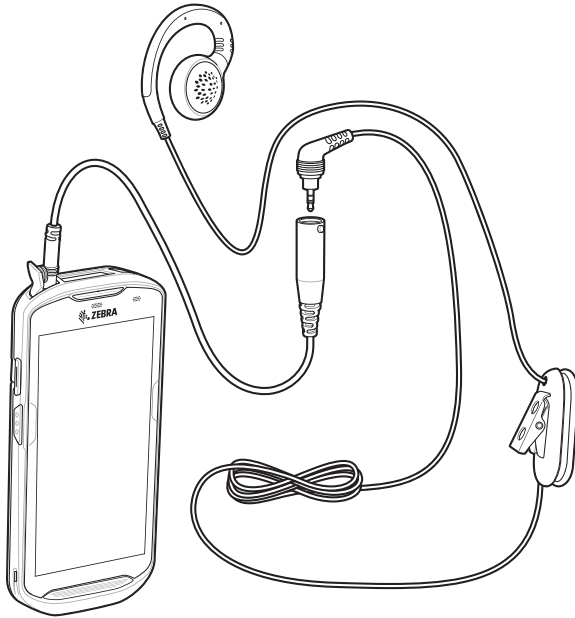
1. ヘッドセットのジャック カバーを開きます。
2. 2.5mm オーディオアダプタ プラグをヘッドセット ジャックに差し込みます。

図 164 オーディオアダプタの取り付け



3. 2.5mm ヘッドセットのプラグをオーディオアダプタのジャックに差し込みます。

図 165 ヘッドセットをオーディオアダプタに接続する



注意：ヘッドセットを取り外した後は、ヘッドセットのジャック カバーをしっかりと元に戻し、適切な密閉状態を確保してください。

## 3.5mm オーディオ アダプタ



注：オーディオアダプタは、デバイス標準構成で使用できます。

デバイスに 3.5mm オーディオ アダプタを接続し、その端を 3.5mm プラグの有線ヘッドセットに接続します。

3.5mm ヘッドセットを接続するには、次の手順に従います。

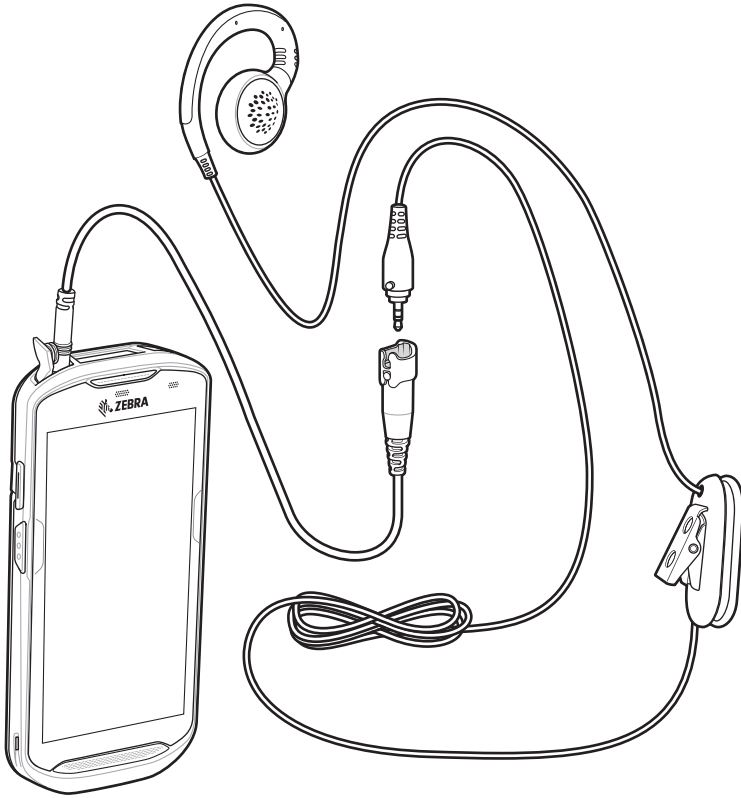
1. ヘッドセットのジャック カバーを開きます。
2. 3.5mm オーディオ アダプタ プラグをヘッドセット ジャックに差し込みます。

図 166 オーディオ アダプタの取り付け



3. ヘッドセットの 3.5mm コネクタ プラグを 3.5mm オーディオ アダプタに接続します。

図 167 3.5mm アダプタ ケーブルへのヘッドセットの接続

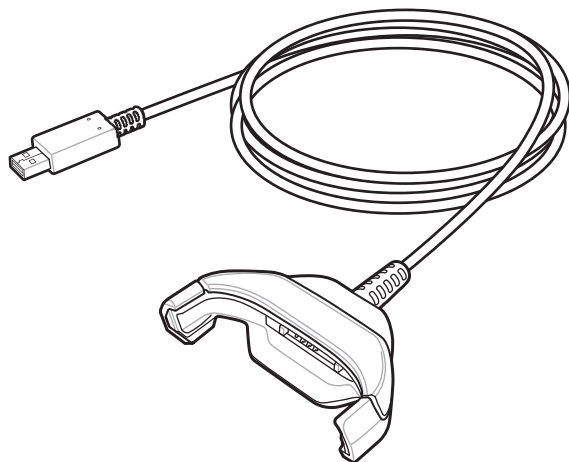


**注意:** ヘッドセットを取り外した後は、ヘッドセットのジャック カバーをしっかりと元に戻し、適切な密閉状態を確保してください。

## 高耐久性充電/USB ケーブル

高耐久性充電/USB ケーブルはデバイスの下部に取り付けます。使用しないときは簡単に取り外せます。デバイスに接続すると、デバイスで充電、およびホスト コンピュータへのデータ転送が可能になります。

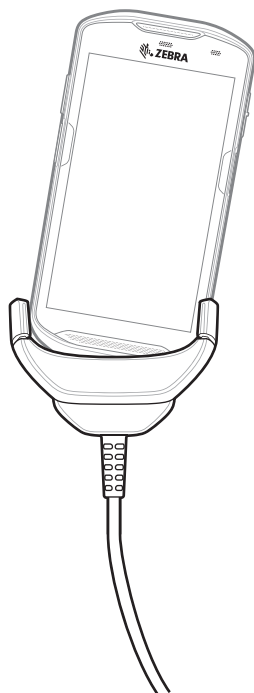
図 168 高耐久性充電/USB ケーブル



## TC57 への接続

1. デバイスを斜めにして、ケーブル カップの下部に触れるまで挿入します。

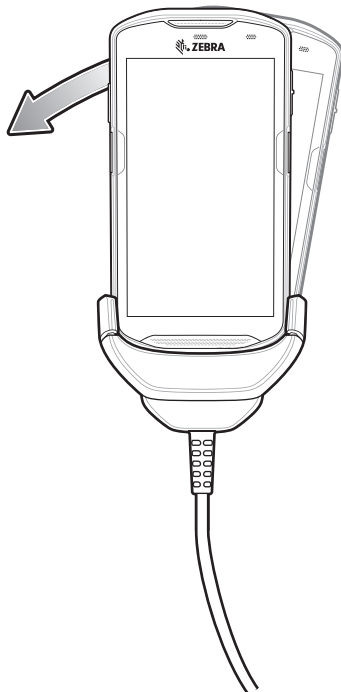
図 169 デバイスをケーブル カップに挿入





2. デバイスを回転させるようにしてカップに挿入します。

図 170 デバイスを回転させるようにしてケーブル カップに挿入する

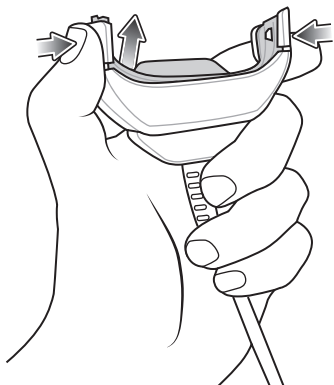


## 高耐久性ブーツを装着した TC57 への接続

高耐久性ブーツを装着しているデバイスに高耐久性充電/USB ケーブルを接続するには、次の手順に従います。

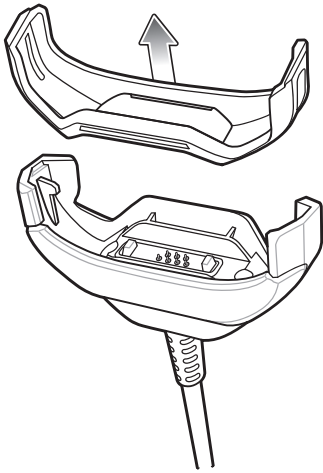
1. 親指と人差し指でカップの両端を内側に押し込みます。

図 171 ケーブル カップの挿入物を取り外す



2. 挿入物をカップから持ち上げます。

図 172 ケーブルの接続



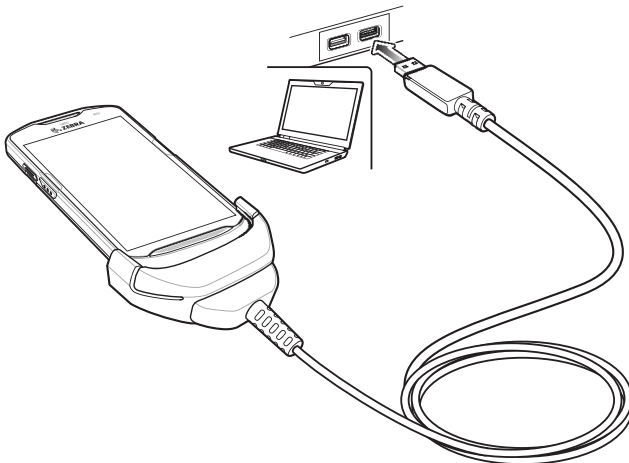
3. ケーブル カップをデバイスの下部の位置に合わせます。
4. デバイスをケーブル カップに押し込み、しっかりと固定します。

## USB 通信

デバイスをホスト コンピュータに接続するには、次の手順に従います。

1. 高耐久性充電/USB ケーブルをデバイスに接続します。
2. ケーブルの USB コネクタをホスト コンピュータに接続します。

図 173 高耐久性充電/USB ケーブルをホスト コンピュータに接続



## デバイスの充電

高耐久性充電/USB ケーブルを使用してデバイスを充電するには、次の手順に従います。

1. 高耐久性充電/USB ケーブルをデバイスに接続します。

2. 電源の USB コネクタを接続します。

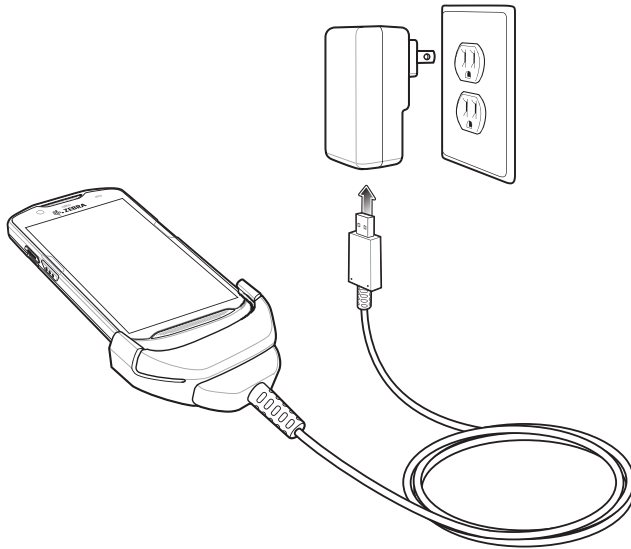


注：電源の設定の詳細については、「[198 ページの 電源](#)」を参照してください。

デフォルトでは、デバイスはインターフェース コネクタを搭載しています。USB タイプ C ケーブルを接続するためインターフェース コネクタを取り外している場合、コネクタをつなぎ直してから充電するかイーサネット IP アドレスを受信してください (クレードルに装着している場合)。

3. 電源を電源コンセントに差し込みます。

図 174 高耐久性充電 /USB ケーブルを使用した充電

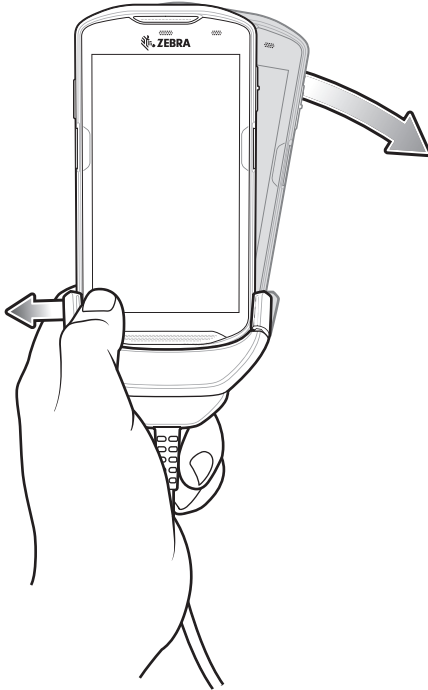


## 高耐久性充電 /USB ケーブルの取り外し

高耐久性充電 /USB ケーブルをデバイスから取り外すには、次の手順に従います。

1. デバイスを片側に回転させます。

図 175 高耐久性充電/USB ケーブルからデバイスを取り外す



2. 高耐久性充電/USB ケーブルを反対側に押し込みます。
3. 高耐久性充電/USB ケーブルからデバイスを取り外します。

## バッテリーの充電

### メインバッテリーの充電

デバイスの充電/通知 LED は、デバイスのバッテリー充電状態を示します。デバイスの充電状態については、「[25 ページの表 3](#)」を参照してください。バッテリーが完全に空になっている場合、約 2.5 時間で 90%、約 3 時間で 100% 充電されます。



注：多くの場合、日常的な使用に対しては 90% までの充電で十分です。100% にフル充電すると、約 14 時間連続で使用できます。

最も速く充電するには、Zebra の充電アクセサリおよびバッテリーのみを使用してください。デバイスをスリープモードにして、室温でバッテリーを充電します。

### メインバッテリーの充電

デバイスの充電/通知 LED は、デバイスのバッテリー充電状態を示します。



注：ホスト コンピュータの USB ポートまたは Zebra PWR-WUA5V12W0xx 以外の電源を使用して充電すると、時間がかかる場合があります。「[166 ページの表 13](#)」を参照してください。

Zebra 以外の電源を使用する場合、DC 5V、2.5A の電力を供給する電源を使用してください。

4,300mAh (一般)/4,050mAh (最小) バッテリーが完全に空になっている場合、約 2.5 時間で 90% まで、約 3 時間で 100% まで充電されます。



**注：**多くの場合、日常的な使用に対しては 90% までの充電で充分です。100% にフル充電すると、約 14 時間連続で使用できます。

最も速く充電するには、Zebra の充電アクセサリおよびバッテリーのみを使用してください。デバイスをスリープモードにして、室温でバッテリーを充電します。

### 充電温度

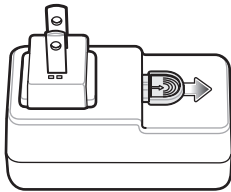
バッテリーの充電は、5 ~ 40°C (41 ~ 104°F) の温度で行います。デバイスまたはクレードルは、常に安全で適切な方法で充電が行われます。高温時 (約 37°C 以上 (98°F 以上) など) には、デバイスまたはクレードルは、バッテリーの充電を有効と無効に交互に短時間で切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保つ場合があります。異常な温度のために充電が無効になった場合、デバイスおよびクレードルの LED に表示されます。

## 電源

高耐久性充電/USB ケーブル付きの電源を使用して、デバイスを充電します。海外でも使用できるように、さまざまな構成の電源があり、プラグアダプタも複数用意されています。プラグアダプタを変更するには、次の手順に従います。

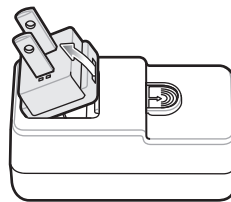
1. リリース ボタンを引き下げます。

図 176 リリース ボタンを引く



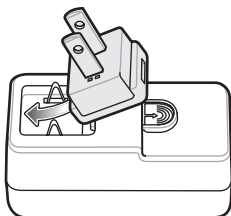
2. プラグアダプタを回転させるようにして電源から持ち上げます。

図 177 プラグアダプタを持ち上げる



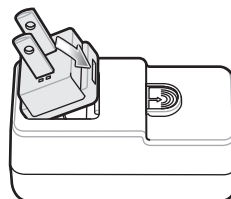
3. 交換するプラグアダプタを電源に挿入します。

図 178 プラグアダプタを挿入



4. プラグアダプタを下に回転させるようにして所定の位置にはめ込みます。

図 179 プラグアダプタを回転させるようにして電源に挿入する



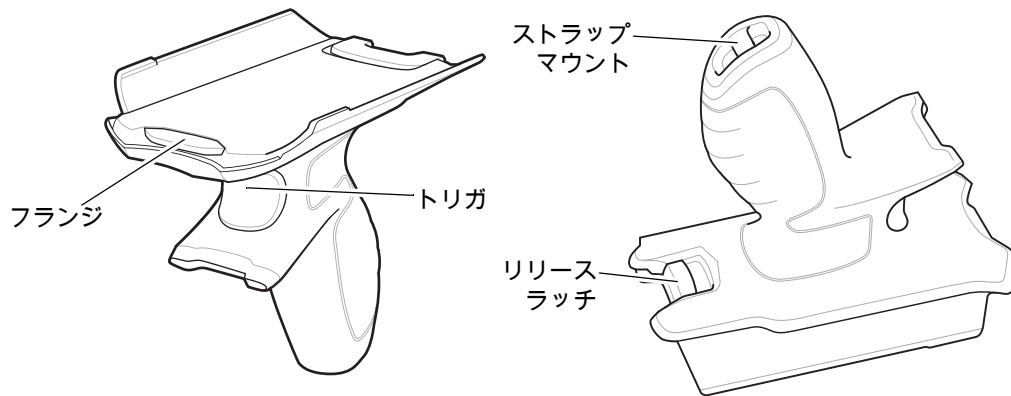
## トリガ ハンドル



注：トリガハンドルをデバイスに取り付けるには、高耐久性ブーツが必要です。トリガハンドル (p/n TRG-TC51-SNP1-01) には、高耐久性ブーツが含まれていないため、別途購入する必要があります。トリガハンドル キット (p/n TRG-TC51-TRG1-01) には、高耐久性ブーツが含まれています。

トリガハンドルを使用すると、スキャントリガを備えたガンタイプのハンドルをデバイスに取り付けられます。長時間にわたる大量のスキャンが必要な作業でデバイスを使用する場合に、ユーザーへの負担が軽減されます。

図 180 トリガハンドル



## 高耐久性ブーツの取り付け

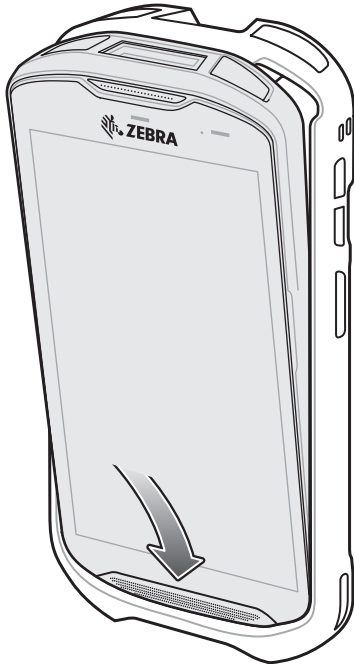


注：高耐久性ブーツにハンドストラップを取り付けている場合、ブーツ取り付けの前に外します。

高耐久性ブーツを取り付けるには、次の手順に従います。

1. デバイスの下部をブーツの下部に挿入します。

図 181 デバイスをブーツに挿入



2. 高耐久性ブーツの上部をデバイスの上部に持ち上げてかぶせます。

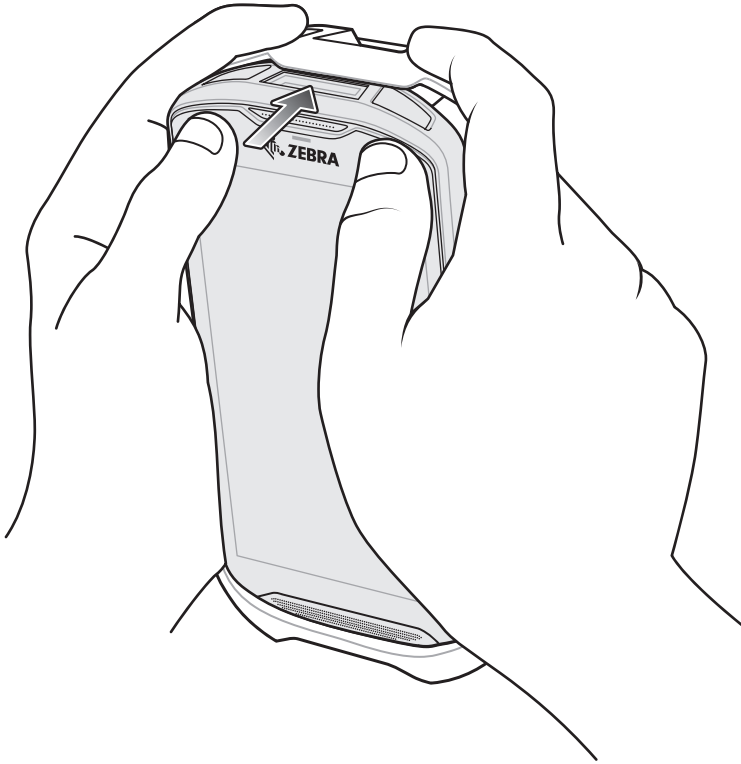
図 182 ブーツをデバイスの上まで持ち上げる





3. デバイスを高耐久性ブーツに押し込みます。

図 183 デバイスをブーツに押し込む



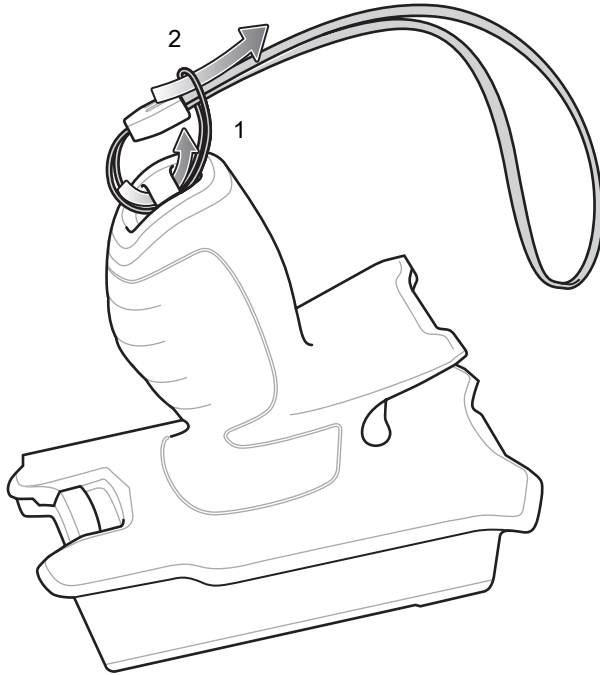
## オプションのストラップの取り付け

トリガ ハンドルにストラップを取り付けるには、次の手順に従います。

1. ストラップの端のループをハンドルの下部にあるスロットに挿入します。

2. ストラップをループに通します。

図 184 アタッチメント プレートを手柄に取り付ける



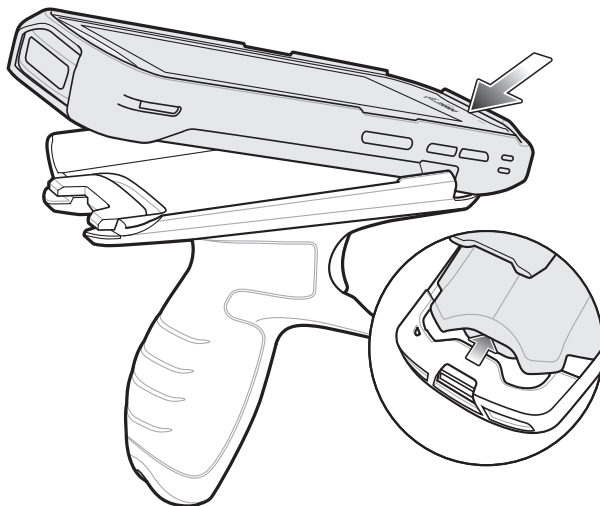
3. ループが締まるまでストラップを引きます。

## トリガ ハンドルへのデバイスのセット

トリガ ハンドルにデバイスを取り付けるには、次の手順に従います。

1. トリガ ハンドルのフランジを、高耐久性ブーツの上部の位置に合わせて挿入します。

図 185 トリガ ハンドルへのデバイスの取り付け



2. デバイスを回転させるようにして、所定の位置にカチッとハマるまで押し下げます。

図 186 デバイスをトリガ ハンドルの方へ倒す

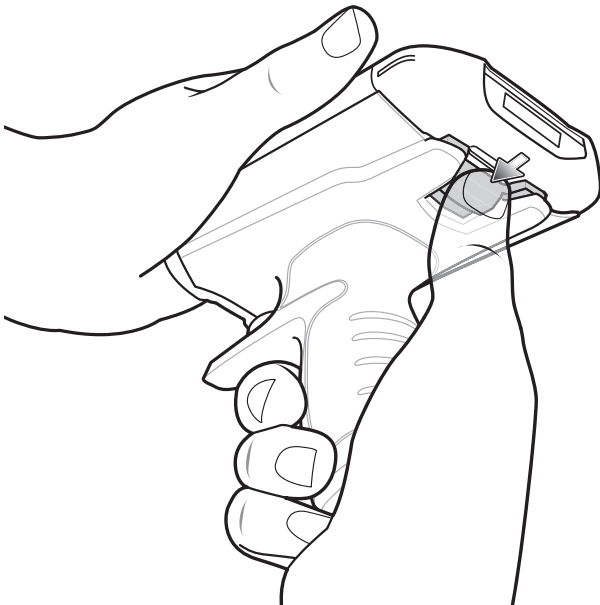


## トリガ ハンドルからのデバイスの取り外し

トリガ ハンドルからデバイスを取り外すには、次の手順に従います。

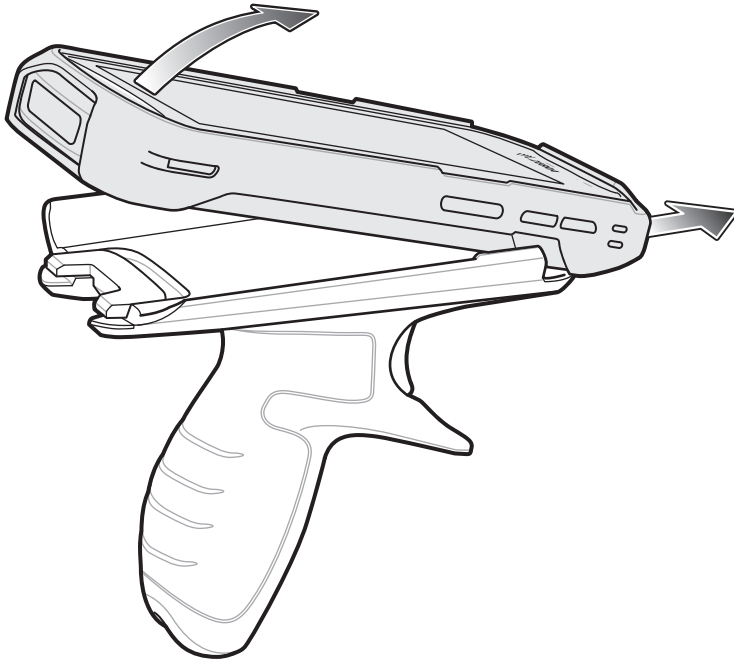
1. トリガ ハンドルのリリース ラッチを押します。

図 187 リリース ラッチを押す



2. デバイスを前方にスライドさせ、デバイスの下部を上に取り上げます。

図 188 トリガ ハンドルからデバイスを取り外す



# メンテナンスとトラブルシューティング

## はじめに

この章では、デバイスのクリーニングと保管方法、および操作中に発生する可能性のある問題のトラブルシューティングについて説明します。

## デバイスのメンテナンス

トラブルを避けるため、デバイスの使用中は次の注意事項を守ってください。

- デバイスの画面を引っかかないでください。デバイスの操作中は、付属のスタイラス、またはタッチスクリーンでの使用を目的とした先端がプラスチックのペンをご使用ください。デバイスの画面の表面で、実際のペンや鉛筆、その他の鋭いものを使用しないでください。
- デバイスのタッチスクリーンはガラス製です。デバイスを落としたり強い衝撃を与えたりしないでください。
- デバイスを極度の高温または低温にさらさないでください。暑い日に車のダッシュボードに置いたままにしたり、熱源のそばに置いたりしないでください。
- ほこりや湿気が極端に多い場所では、デバイスの保管や利用を避けてください。
- デバイスをクリーニングする場合、レンズ用の柔らかい布を使用してください。デバイスの画面の表面が汚れた場合、柔らかい布を薄めた窓ガラス用の洗剤で湿らせてクリーニングします。
- バッテリーの寿命と製品の性能を最大限に活用するために、充電式バッテリーは定期的に交換してください。バッテリーの寿命は、ユーザーの利用状況によって異なります。

## ディスプレイのベストプラクティス

### 画像の残留

画像の残留は、静的な画像を長時間画面に表示した場合に発生する場合があります。新しい画像を表示した後も、前の画像がかすかに表示される場合があります。画像の残留を避けるには、次の手順に従います。

- アイドル状態が数分間続いたときにディスプレイがオフになるように設定します。
- 背景画像を定期的に回転させます。
- デバイスを使用していないときには、ディスプレイをオフにします。

- 次の特性を持つスクリーンセーバーを使用します。
  - 背景色を黒に設定しているスクリーンセーバー
  - 小さな画像(ディスプレイサイズの約2%)が移動しているスクリーンセーバー
  - 画面上で画像をランダムに移動させるスクリーンセーバー
  - 静的な画像を使用する場合、スクリーンセーバーを有効にする

### バッテリーの安全に関するガイドライン

機器を充電する場所には埃が溜まらないようにしてください。また、近くに可燃性の物質や薬品を置かないでください。業務環境以外で機器を充電する場合、特に細心の注意を払ってください。

- バッテリーの使用、保管、および充電については、ユーザーガイドに記載されているガイドラインに従ってください。
- バッテリーを正しく使用しないと、火災、爆発、またはその他の事故の原因となる場合があります。
- モバイルデバイスのバッテリーを充電する場合、バッテリーと充電器の温度を 5°C ~ +40°C (41°F ~ +104°F) に保つ必要があります。
- 互換性のないバッテリーや充電器は使用しないでください。互換性のないバッテリーまたは充電器を使用すると、火災、爆発、液漏れなどの事故の原因となる場合があります。バッテリーまたは充電器の互換性についてご質問のある場合、Zebra サポートにお問い合わせください。
- USBポートを充電用の電源として利用する機器は、USB-IF のロゴのある製品か、USB-IF コンプライアンスプログラムで認証された製品のみ接続できます。
- バッテリーの分解、外殻を開くこと、破碎、屈曲、変形、穴開け、寸断などを行わないでください。
- バッテリー駆動式の機器を硬い地面に落とすと、バッテリーがオーバーヒートする原因になる可能性があります。
- バッテリーをショートさせたり、金属や導電性の物体をバッテリー端子に接触させたりしないでください。
- 改造や再加工、バッテリー内部への異物の挿入、水やその他の液体に濡らすまたは漬ける、火、爆発物または他の危険物に投入するなどは行わないでください。
- 駐車中の車両内、またはラジエーターなどの熱源の近くなど、高温になる可能性のある場所あるいはその近くに、機器を放置または保管しないでください。バッテリーを電子レンジや乾燥機に入れしないでください。
- 児童がバッテリーを使用する場合、保護者の監督が必要です。
- 使用済みの充電式バッテリーは、現地の規制に従ってすみやかに廃棄してください。
- バッテリーを廃棄するときは焼却しないでください。
- バッテリーを飲み込んだ場合、ただちに医師の診断を受けてください。
- バッテリーが液漏れした場合、漏れた液体が皮膚や目に触れないようにしてください。触れてしまった場合、接触部位を大量の水で洗い流し、医師の診断を受けてください。
- 機器またはバッテリーの破損が疑われる場合、Zebra サポートに検査を依頼してください。

### クリーニング方法



**注意:** 必ず保護用めがねを着用してください。

ご使用前に、アルコール製品に関する警告ラベルをお読みください。

医学的な理由などで他の溶液を使用する必要がある場合、グローバル カスタマー サポート センターに詳細をお問い合わせください。



**警告:** 製品が高温の油やその他の可燃性の液体に触れないようにしてください。万一そのような液体に触れた場合、製品を電源から抜き、このガイドラインに従って製品をただちにクリーニングしてください。

## 使用可能な洗剤の活性成分

クリーナーの種類は問いませんが、活性成分がイソプロピルアルコール、漂白剤または次亜塩素酸ナトリウム<sup>1</sup>(下記の重要な注記を参照)、過酸化水素、塩化アンモニウム、または中性食器洗剤を成分とするものに限ってください。



- ウェット ティッシュを使用し、液体のクリーナーが溜まらないようにしてください。

<sup>1</sup>次亜塩素酸ナトリウム (漂白剤) ベースの製品を使用するときは、必ず製造業者の推奨手順に従い、使用中は手袋を着用し、使用後は残留分をアルコールで湿らせた布または綿棒で除去して、デバイスを取り扱うときは長時間皮膚と接触しないようにしてください。

液状 (ウェット ティッシュを含む) の次亜塩素酸ナトリウムに暴露されると、この化学物質の強力な酸化性によりデバイスの金属面が酸化 (腐食) しやすくなります。このような消毒剤がデバイスの金属に触れた場合、クリーニングの手順の後、アルコールで湿らせた布または綿棒でただちに除去することが重要です。

## 有害成分

化学薬品の中には、デバイスの樹脂部分を冒すことが判明しているために、デバイスに接触しないような配慮が必要なものがあります。このような化学薬品として、アセトン、ケトン、エーテル、芳香族炭化水素および塩素化炭化水素、アルカリのアルコール溶液または水溶液、エタノールアミン、トルエン、トリクロロエチレン、ベンゼン、石炭酸、および TB- リゾフォルムがあります。

多くのビニール製手袋には、医療用途にはお勧めできないフタレート系の添加剤が含有されており、デバイスの筐体には有害であることがわかっています。

## デバイスのクリーニング方法

デバイスに液体を直接塗布しないでください。柔らかい布にしみ込ませて使用するか、ウェット ティッシュを使用してください。布やウェット ティッシュにデバイスをくるまず、力を入れずに表面をゆっくりと拭きます。ディスプレイの周辺などに液体が溜まらないように注意してください。デバイスは、自然乾燥させてから使用してください。



**注：** 完全なクリーニングには、モバイル デバイスからハンド ストラップやクレードル カップなどのアクセサリ アタッチメントをすべて取り外してから、個別にクリーニングすることをお勧めします。

## クリーニングの際の注意事項

フタレートを含有する手袋を着用してデバイスを扱わないようにしてください。また、手袋を外した後は、手を洗って汚染残留物を除去してからデバイスを扱ってください。

デバイスを扱う前に、エタノールアミンを含有する除菌クォーションなど、上記の有害成分を含有する製品を使用していた場合、デバイスの損傷を防止するために、手を完全に乾燥させてからデバイスを扱うようにしてください。



**重要：** バッテリー コネクタに洗浄剤が付着した場合、薬剤をできる限り完全に拭き取ってから、アルコール ウェット ティッシュでクリーニングします。コネクタに薬剤が蓄積するのを最小限に抑えるため、デバイスのクリーニングと消毒の前にターミナルにバッテリーを取り付けることもお勧めします。

デバイスで洗浄/殺菌剤を使用するとき、洗浄/殺菌剤の製造業者により規定された指示に従うことが重要です。

## 必要なクリーニング材料

- アルコール脱脂綿
- レンズ用ティッシュペーパー
- 綿棒
- イソプロピルアルコール
- 管つき圧縮空気の缶

## クリーニングの頻度

モバイル デバイスが使用される環境はそれぞれ異なるため、クリーニングの頻度はユーザーが判断し、必要に応じた頻度でクリーニングを行ってください。汚れに気付いたら、モバイル デバイスをまめにきれいにし、汚れが蓄積して後のクリーニングが面倒にならないようにします。

常に最適な画像をキャプチャできるように、特に汚れや埃の多い環境で使用した後など、カメラ ウィンドウの定期的なクリーニングを推奨しています。

## デバイスのクリーニング

### 筐体

アルコール脱脂綿で、ボタンを含め筐体を拭きます。

### ディスプレイ

ディスプレイはアルコール脱脂綿で拭いてもかまいません。ただし、ディスプレイの端の周囲に液体がたまらないように注意してください。すぐに柔らかい布でディスプレイを乾かします。このとき、傷が付かないよう、目の粗い布は使わないでください。

### カメラと出カウインドウ

レンズ用ティッシュペーパーまたはメガネなど光学材料のクリーニングに適した用具で定期的カメラと出カウインドウを拭いてください。

## コネクタのクリーニング

コネクタをクリーニングするには、次の手順に従います。

1. モバイル コンピュータからメイン バッテリを取り外します。
2. 綿棒のコットン部をイソプロピルアルコールに浸します。
3. 綿棒のコットン部で、コネクタ部分を前後に軽くこすります。コネクタにコットンの屑が残らないようにしてください。
4. これを 3 回以上繰り返します。
5. アルコールに浸した綿棒で、コネクタ部付近の油分や埃を拭き取ります。



6. 乾いた綿棒で、手順 4 ~ 6 を繰り返します。



**注意:** ノズルを自分や他の人に向けしないでください。ノズルや管を自分の顔に向けないように注意してください。

7. 圧縮空気をコネクタ部にスプレーします。このとき、圧縮空気の管やノズルを表面から 1.2cm (0.5 インチ) ほど離してください。
8. コネクタ部に油分や埃が残っていないか確認して、必要であればクリーニングを繰り返します。

## クレードルのコネクタのクリーニング

クレードルのコネクタをクリーニングするには、次の手順に従います。

1. クレードルから DC 電源ケーブルを取り外します。
2. 綿棒のコットン部をイソプロピル アルコールに浸します。
3. 綿棒のコットン部で、コネクタのピンに沿って拭きます。コネクタの片側から反対側に向けて、ゆっくり綿棒を往復させます。コネクタにコットンの屑が残らないようにしてください。
4. コネクタの全面も、綿棒で拭く必要があります。



**注意:** ノズルを自分や他の人に向けしないでください。ノズルや管を自分の顔に向けないように注意してください。

5. 圧縮空気をコネクタ部にスプレーします。このとき、圧縮空気の管やノズルを表面から 1.2cm (0.5 インチ) ほど離してください。
6. 綿棒のコットンの屑をすべて取り除きます。
7. クレードルの他の部分に油分や埃が見つかった場合、糸くずの出ない布とアルコールを使用して取り除きます。
8. アルコールが蒸発するまで 10 ~ 30 分 (周辺の温度と湿度による) 置いてから、クレードルに電源をつないでください。

気温が低く湿度が高い場合、長い乾燥時間が必要となります。気温が高く湿度が低い場合、乾燥時間が短く済みます。

## トラブルシューティング

次の表は、発生する可能性がある典型的な問題と、問題を解決するための対処方法を示します。

### デバイス

表 16 デバイスのトラブルシューティング

問題	原因	対処方法
電源ボタンを押してもデバイスの電源がオンにならない。	バッテリーが充電されていない。	デバイスのバッテリーを充電または交換します。
	バッテリーが正しく取り付けられていない。	バッテリーを正しく取り付けます。
	システムがクラッシュした。	リセットします。
電源ボタンを押しても、デバイスの電源がオンにならないが、LED が 2 つ点滅する。	データを維持できるレベルのバッテリー残量があるが、充電が必要。	デバイスのバッテリーを充電または交換します。
バッテリーが充電されない。	バッテリーに問題がある。	バッテリーを交換してください。それでもデバイスが動作しない場合、リセットします。
	バッテリーの充電中にデバイスをクレードルから取り外した。	デバイスをクレードルに差し込みます。 <a href="#">24 ページの「バッテリーの充電」</a> を参照してください。
	バッテリーが極端な高温か低温になっている。	周辺温度が 0°C (32°F) 未満になるか 40°C (104°F) を超えると、バッテリーは充電されません。
ディスプレイの文字が見えない。	デバイスの電源が入っていない。	電源ボタンを押します。
ホストコンピュータとのデータ通信中に、データが転送されなかったか、転送されたデータが不完全である。	通信中に、デバイスをクレードルから取り外したか、ホストコンピュータから切断した。	デバイスをクレードルに置き直すか、通信ケーブルをつなぎ直して再度転送します。
	ケーブル接続が間違っている。	システム管理者にお問い合わせください。
	通信ソフトウェアのインストールまたは設定が誤っている。	セットアップを実行します。
Wi-Fi でのデータ通信中に、データが転送されなかったか、転送されたデータが不完全である。	Wi-Fi 無線がオンになっていない。	Wi-Fi 無線をオンにします。
	アクセスポイントの範囲から外れている。	アクセスポイントの近くに移動します。

表 16 デバイスのトラブルシューティング ( 続き )

問題	原因	対処方法
Bluetooth でのデータ通信中に、データが転送されなかったか、転送されたデータが不完全である。	Bluetooth 無線がオンになっていない。	Bluetooth 無線をオンにします。
	別の Bluetooth デバイスの範囲から外れている。	もう一つのデバイスの 10m (32.8 フィート) 以内に移動します。
音が鳴らない。	音量設定が低いかオフになっている。	音量を調整します。
デバイスの電源が切れる。	デバイスが非アクティブになっている。	ディスプレイは使用しないまま一定時間が経過するとオフになります。この時間を、15 秒、30 秒、1 分、2 分、5 分、10 分、または 30 分に設定します。
	バッテリーが放電している。	バッテリーを交換します。
ウィンドウのボタンやアイコンをタップしても、対応する機能が動作しない。	デバイスが反応しない。	デバイスをリセットします。
デバイスのメモリが満杯というメッセージが表示される。	デバイスに保存されているファイルが多すぎる。	使用しないメモや記録を削除します。必要に応じて、その記録をホスト コンピュータに保存します ( または SD カードを使用してメモリを追加します )。
	デバイスにインストールされているアプリケーションが多すぎる。	ユーザーがデバイスにインストールしたアプリケーションを削除し、メモリを回復します。⚙️ > [Apps] ( アプリ ) の順に選択します。使用していないアプリケーションを選択し、[UNINSTALL] ( アンインストール ) をタップします。
デバイスが読み取ったバーコードがデコードされない。	スキャン アプリケーションがロードされていない。	デバイスにスキャン アプリケーションをロードするか、DataWedge を有効にします。システム管理者にお問い合わせください。
	バーコードを読み取れない。	コードに汚れがないことを確認します。
	出カウインドウとバーコードとの距離が適切ではない。	デバイスを正しいスキャン範囲に置きます。
	バーコード用にデバイスが設定されていない。	スキャンするバーコードに対応するように、デバイスをプログラムします。EMDK または DataWedge アプリケーションを参照します。
	デバイスがピープ音を鳴らすようにプログラムされていない。	正しく読み取ったときにデバイスがピープ音を鳴らさない場合、正しく読み取ったときにピープ音を鳴らすようにアプリケーションを設定します。
	バッテリー残量が少なくなっている。	スキャナのトリガを押したときにレーザー光線の放射が停止する場合、バッテリーレベルを確認します。バッテリー残量が少なくなっていると、バッテリー残量が少ないことをデバイスが通知する前に、スキャナがシャットオフします。注: この対処法を実行してもスキャナがコードを読み取らない場合、代理店またはグローバルカスタマー サポート センターにお問い合わせください。

表 16 デバイスのトラブルシューティング ( 続き )

問題	原因	対処方法
デバイスが近く の Bluetooth デバイ スを検出できない。	他の Bluetooth デバイス から遠すぎる。	他の Bluetooth デバイスから 10m (32.8 フィート) 以内にデバイスを近づけます。
	近くの Bluetooth デバイ スの電源がオンになって いない。	検出するには、近くの Bluetooth デバイスの電源を オンにします。
	Bluetooth デバイスが検出 可能なモードになってい ない。	Bluetooth デバイスを検出可能なモードに設定します。 必要に応じて、デバイスのユーザー マニュアルを 参照してください。
デバイスのロックを 解除できない。	ユーザーが正しくない パスワードを入力して いる。	ユーザーがパスワードの入力を 8 回間違えると、 再試行する前にコードの入力が求められます。 パスワードを忘れた場合、システム管理者に連絡し てください。

# 技術仕様

## はじめに

以降のセクションでは、デバイスの技術仕様について説明します。

## TC57

表 17 TC57 技術仕様

項目	説明
物理特性	
寸法	高さ : 155mm (6.1 インチ) 幅 : 75.5mm (2.9 インチ) 奥行き : 18.6mm (0.73 インチ)
重量 :	249g (8.8 オンス) (バッテリー搭載時)
ディスプレイ	5.0 インチ 高解像度 (1280 x 720)、非常に明るい画像で、屋外でも見ることができ、タッチパネルに光学的に結合されている
タッチパネル	スタイラス、指または手袋をはめた指先入力 (別売の導電性スタイラス) によるデュアルモード容量方式タッチ、Corning Gorilla Glass、防滴、指紋の付きにくい汚れ防止コーティング
バックライト	発光ダイオード (LED) バックライト
バッテリー	充電式リチウムイオン (4,150mAh、4.4 ボルト Power Precision+)、バッテリーサイクル回数を長くするためバッテリーテクノロジーを向上、バッテリーの測定値にバッテリー残量をリアルタイムに表示できるためバッテリー管理が容易。2.4 A までの急速 USB 充電。
拡張スロット	ユーザーがアクセス可能な最大 32 GB SDHC および最大 256 GB SDXC 対応の microSD (FAT32 フォーマット使用)
接続インターフェース	Universal Serial Bus (USB) 2.0 ハイスピード (ホストとクライアント)
ネットワーク接続	WLAN、WPAN (Bluetooth)
通知	可聴音、多色 LED、振動
キーパッド	画面キーボード

表 17 TC57 技術仕様 ( 続き )

項目	説明
音声およびオーディオ	3 個のマイク ( 雑音消去機能付き )、振動通知、スピーカ、Bluetooth 無線ヘッドセットに対応。高性能スピーカフォン、PTT ヘッドセットに対応、セルラ回路切り替えボイス、HD Voice、および SWB & FB オーディオ
ボタン	プログラム可能な戻るボタン、デュアル専用スキャン ボタン、専用プッシュトゥートーク ボタン、音量上 / 下ボタン
<b>性能特性</b>	
CPU	Qualcomm Snapdragon 660 オクタコア、2.2 GHz。
オペレーティング システム	GMS およびその他のサービスを制御するための Zebra の制限モードを搭載した Android 8.1.0 Oreo。
メモリ	4GB RAM/32GB フラッシュ
出力	USB: DC 5V @ 500mA ( 最大 )
<b>ユーザー環境</b>	
動作温度	-20°C ~ 50°C (-4°F ~ 122°F)
相対湿度	オペレーティング: 5 ~ 95% ( 結露なきこと )
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
充電温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
湿度	5 ~ 85% ( 結露なきこと )
耐落下衝撃性能	-10°C ~ 50°C (14°F ~ 122°F) を超える温度で、1.2m (4 フィート) の高さからコンクリートを覆うタイルに複数回落下しても動作可能 MIL-STD 810 G 適合の高耐久性ブーツを装着した状態で、1.8m (6 フィート) の高さからコンクリートに複数回落下しても動作可能。
転倒	0.5m (1.6 フィート) の転倒を 500 回繰り返しても動作可能、IEC の耐転倒衝撃仕様に準拠および高水準達成
シーリング	IP67 および IP65 ( 該当する IEC シーリング加工仕様に適合 )
静電気放電 (ESD)	DC ±15kV 大気放電、DC ±8kV 直接放電、DC ±8kV 間接放電
振動	4G ピーク サイン波 (5Hz ~ 2kHz)、0.04g2/Hz ランダム (20Hz ~ 2kHz)、試験時間は 1 軸あたり 60 分間で 3 軸実施
耐熱衝撃性	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F) の急激な温度変化
<b>インタラクティブ センサ テクノロジ (IST)</b>	
モーション センサ	3 軸加速度計 (MEMS Gyro 搭載)
光センサ	ディスプレイ バックライトの明るさを自動調整
近接センサ	音声通話中にユーザーがハンドセットを頭に当てていることを自動的に検出し、ディスプレイ出力とタッチ入力を無効化
圧力センサ	場所の高度情報を自動的に検出します。
磁力計	eCompass は、方向と方位を自動的に検出します。

表 17 TC57 技術仕様 ( 続き )

項目	説明
<b>無線 WAN データおよび音声通信</b>	
無線周波数帯	VoLTE、3DL CA までのキャリア アグリゲーションをサポート LTE FDD: 700/800/850/900/1800/1900/AWS/2100/2600 (28、13、14、12、17/19、20/5、26/8/3/2、25/4、66/1/7)、 LTE TDD: 1900/2300/2500 (39/40/41、38)、 UMTS/HSPA/HSPA+: 850/900/AWS/1900/2100 (5/8/4/2/1)、 GSM/GPRS/EDGE: 850/900/1800/1900
GPS	自律型、アシスト GPS (A-GPS)、Navstar、GLONASS、 Galileo、BeiDou
<b>無線 LAN データ / 音声通信</b>	
無線	IEEE 802.11a/b/g/n/ac/d/h/i/k/r/v/w、Wi-Fi™ 準拠、IPv4、 IPv6、2X2 MU-MIMO
サポートされるデータ速度	5GHz: 802.11a/n/ac – 最大 866.7Mbps 2.4GHz: 802.11b/g/n – 最大 300Mbps
動作チャンネル	チャンネル 1 ~ 13 (2412 ~ 2472MHz) チャンネル 36 ~ 165 (5180 ~ 5825 MHz) チャンネル帯域幅: 20、40、80MHz 実際の動作チャンネル / 周波数は、各地域の規制および承認機関 によって異なります。
セキュリティと暗号化	WEP (40 または 104 ビット)、WPA/WPA2 Personal (TKIP および AES)、WPA/WPA2 Enterprise (TKIP および AES) – EAP-TTLS (PAP、MSCHAP、MSCHAPv2)、EAP-TLS、 PEAPv0-MSCHAPv2、PEAPv1-EAP-GTC および LEAP.EAP-PWD 移動中のデータ: FIPS 140-2 レベル 1 保存データ: FIPS 140-2 レベル 1
認証	WFA (802.11n、WMM-PS、802.11r、PMF)
高速ローミング	PMKID キャッシュ、Cisco CCKM、802.11r、OKC
<b>無線 PAN データおよび音声通信</b>	
Bluetooth	クラス 2、Bluetooth v5.0、Bluetooth Low Energy (BLE)
<b>データ収集仕様</b>	
スキャン	LED 照準器付き SE4710 イメージャ (1D および 2D)
カメラ	前面 – 5MP、f/2.0 絞り正面カメラ。 背面 – 13MP オートフォーカス、f/2.2 絞り、背面カメラフラッ シュ LED は、バランスの取れた白色光を生成し、トーチ モー ドに対応、画像安定化を搭載した 4K ビデオ。
近距離無線通信 (NFC)	ISO 14443 タイプ A および B、F、FeliCa および ISO 15693 カード、P2P モード、およびホストを介したカード エミュレー ション
<b>2D イメージャ エンジン (SE4710) の仕様</b>	
読み取り幅	水平 – 48.0° 垂直 – 36.7°

表 17 TC57 技術仕様 ( 続き )

項目	説明
画像解像度	1280 ( 縦 ) x 960 ( 横 ) ピクセル
回転	360°
ピッチ角	通常より ±60°
スキュー許容差	通常より ±60°
周辺光	直射日光 : 10,000 フィート キャンドル (107,639 ルクス)
焦点範囲	読み取り部前面からの距離 : 17.7cm (7.0 インチ)
レーザー照準波長	可視半導体レーザー (VLD): 655nm ± 10nm 中央点光電力 : 0.6mW ( 通常 ) パターン角度 : 48.0° 水平、38.0° 垂直
照明システム	LED: 温白色 LED パターン角度 : 505 輝度で 80°

表 18 データ収集読み取り可能コード

項目	説明
1D バーコード	Code 128、EAN-8、EAN-13、GS1 DataBar Expanded、GS1 128、GS1 DataBar Coupon、UPCA、Interleaved 2 of 5、UPC Coupon Code
2D バーコード	PDF-417、QR コード



# 索引

## 数字

1 スロット USB/ 充電専用クレードル キット	166
4 スロット充電専用クレードル ( バッテリ充電器キット付き )	166
4 スロット バッテリ充電器キット	167
5 スロット イーサネット クレードル キット	166
5 スロット充電専用クレードル キット	166

## A

ActiveEdge タッチ ゾーン	79
設定	79
ドロワのアプリの選択	80
APN	155
APN の編集	155

## B

Bluetooth	150, 160
PIN	160
セキュリティ	160
デバイスの検出	162
電源の状態	162
名前の変更	163
プロファイル	161
無効にする	162
有効にする	162
Bluetooth 通話	75
Bluetooth デバイスの検出	162
Bluetooth の名前の変更	163
Bluetooth の無効化	162
Bluetooth の有効化	162

## D

DataWedge	149
無効	149
有効	149
DataWedge デモンストレーション	96
DC 電源コード	169
Device Central	93

RS6000 リング スキャナの呼び出し	94
タブ	93
DS3678	
Bluetooth HID を使用したペアリング	148
Simple Serial Interface を使用して ペアリングする	147
スキャン	141
ペアリング	147
DS3678 デジタル スキャナ	
データ収集	134
バーコード スキャン	134

## E

EAP	158
-----	-----

## G

Google	
アカウント設定	25
モバイル サービス	41

## M

microSD カード	22, 27
microSD カードの取り付け	22

## N

NFC	164
NFC アンテナ	18

## P

PTT Express	
PTT 通信	118
Voice クライアント	117
音声通知	117
グループ通話	119
通信を無効にする	119
通信を有効にする	118

通知アイコン	117
トークグループ	118
プライベート応答	119
PTT ボタン	18

## R

RS507	
スキャン	139
RS507 スキャンニング	139, 141, 142
RS6000	
Bluetooth リング スキャナ	133
スキャン	138
RS6000 スキャンニング	138
RxLogger	120
RxLogger ユーティリティ	121

## S

SimulScan デモ	122
サンプル フォームの印刷	122
詳細設定	127
製造サンプルの使用法	125
設定	126
デフォルトのテンプレート	129
デモ カスタマイズの作成	128
郵送、運輸、物流サンプルの使用法	123
SIM カード	28

## T

TTY	78
-----	----

## U

USB	64
USB を使用したファイルの転送	64

## W

WEP	158
Wi-Fi ネットワーク	158
Wi-Fi の削除	159
WLAN	150
WLAN に接続	158
WPA	158
WWAN	150

## あ

アプリ	55
ActiveEdge タッチ ゾーン	79
DataWedge デモンストレーション	96
Device Central	93
PTT Express	117

RxLogger	120
RxLogger ユーティリティ	121
SimulScan デモ	122
アクセス	59
カメラ	86
ギャラリー	105
サウンド レコーダ	130
写真	111
ショートカット	49
ショートカットの追加	49
診断ツール	98
バッテリー マネージャ	83
ファイル	104
アラームのみ	54
アルバム	106, 112
共有	107, 113
削除	107, 113
情報の取得	107
処理	106, 112

## い

イーサネット接続	182
一般的なサウンド設定	37
イメージャ スキャン	131

## う

ウィジェット	49
追加	50
ウェイクアップ ソース	39

## お

オーディオ アダプタ	167
音と振動の自動的なブロック	54
音声モード	67
音量の調節	68

## か

会議通話	73
カメラ	18, 56, 86
写真設定	88
写真の撮影	86
前面カメラの写真設定	89
前面カメラのビデオ設定	91
背面カメラの写真設定	89
背面カメラのビデオ設定	91
パノラマ写真の撮影	87
ビデオ設定	90
ビデオの録画	88
カメラの設定	88, 90
画面の回転	34
画面のフォント サイズ	35

- き
- 機内モード ..... 32
  - 機能 ..... 17
  - キーボード
    - 数字、記号、および特殊文字の入力 ..... 52
    - 設定 ..... 52
  - キャスト ..... 37
  - ギャラリー ..... 105
    - アルバム情報の取得 ..... 107
    - アルバムの共有 ..... 107
    - アルバムの削除 ..... 107
    - アルバムの処理 ..... 106
    - 写真の共有 ..... 110
    - 写真の削除 ..... 110
    - 写真の処理 ..... 108
    - 写真のトリミング ..... 109
    - 写真の表示 ..... 108
    - ビデオの共有 ..... 110
    - ビデオの再生 ..... 110
    - ビデオの削除 ..... 110
    - ビデオの処理 ..... 110
    - 連絡先アイコンとして写真を設定する ..... 109
  - 緊急通話 ..... 67
  - 近距離無線通信 ..... 150, 164
  - 近接センサ ..... 17
- く
- クイック アクセス パネル ..... 47
  - クイック設定
    - アイコンの編集 ..... 49
  - クリーニング ..... 206, 207
    - 頻度 ..... 208
    - 方法 ..... 206
  - クリーニング方法 ..... 207
  - クレードル
    - コネクタのクリーニング ..... 209
  - クレードル マウント ..... 166
- こ
- 高耐久性充電 /USB ケーブル ..... 167
  - 高耐久性ブーツ ..... 168
- さ
- サウンド レコーダ ..... 130
- し
- 自動転送 ..... 77
  - 写真 ..... 111
    - アルバムの共有 ..... 113
    - アルバムの処理 ..... 112
  - アルバムの削除 ..... 113
  - カメラ設定 ..... 88
  - 共有 ..... 110, 115
  - 削除 ..... 110, 116
  - 撮影 ..... 86
  - 処理 ..... 108, 114
  - トリミング ..... 109, 114
  - パノラマ ..... 87
  - ビデオの共有 ..... 116
  - ビデオの再生 ..... 116
  - ビデオの削除 ..... 116
  - ビデオの処理 ..... 116
  - 表示 ..... 108
  - 表示およびブラウザ ..... 114
  - 連絡先アイコンとして設定する ..... 109, 115
  - 写真転送 ..... 65
  - 周辺光で調整されるディスプレイの設定 ..... 36
  - 使用可能な洗剤 ..... 207
  - 使用可能な洗剤の活性成分 ..... 207
  - 診断ツール ..... 98
    - Bluetooth テストの情報 ..... 103
    - GPS テストの情報 ..... 102
    - WLAN テストの情報 ..... 102
    - WWAN テストの情報 ..... 103
    - システム テストの情報 ..... 102
    - 設定 ..... 101
    - バッテリー テストの情報 ..... 101
  - シンボル体系 ..... 216
- す
- スキャン ..... 131, 135, 137
    - RS507 ..... 139
    - RS6000 ..... 138
  - スキャン操作
    - 考慮事項 ..... 135
  - スキャン ボタン ..... 18
  - スタイラス ..... 168
  - ステータス バー ..... 43
  - スピーカ ..... 18
  - スピーカ モード ..... 67
- せ
- セキュリティ ..... 158
  - 設定
    - アクセス ..... 30
    - 一般的なサウンド ..... 37
    - ウェイクアップ ソース ..... 39
    - 音と振動の自動的なブロック ..... 54
    - 音と振動の制限 ..... 53
    - カメラ ..... 88, 90
    - カメラの写真 ..... 88
    - カメラ ビデオ ..... 90
    - 周辺光で調整されるディスプレイ ..... 36

- 通知 LED ..... 37  
 ディスプレイ ..... 33  
 特定アプリの非通知の上書き ..... 55  
 非通知 ..... 53  
 ホーム画面の壁紙 ..... 51
- そ**
- ソフトウェアのバージョン ..... 13  
 ソフトウェアバージョン ..... 13  
 ソフト ホルスタ ..... 168  
 ソフト リセット ..... 63
- た**
- ダイヤラの使用 ..... 68  
 タッチ モード ..... 36
- ち**
- 着信音 ..... 77
- つ**
- 通知  
   管理 ..... 46  
   ロック画面 ..... 47  
 通知アイコン ..... 45  
 通知の管理 ..... 46
- て**
- ディスプレイ  
   クリーニング ..... 208  
 ディスプレイの設定 ..... 33  
 低バッテリー通知 ..... 32  
 適応型周波数ホッピング ..... 160  
 デジタル カメラ ..... 131  
   データ収集 ..... 131  
   バーコード スキャン ..... 131  
 データ収集 ..... 131  
   DS3678 デジタル スキャナ ..... 134  
   デジタル カメラ ..... 131  
 デバイス設定  
   アクセス ..... 30  
 デバイスのリセット ..... 63  
   ハード リセット ..... 64  
 電源 ..... 168
- と**
- トラブルシューティング ..... 210  
 トリガ ハンドル ..... 168  
 トリガ ハンドル キット ..... 168
- は**
- バーコード スキャン  
   DS3678 デジタル スキャナ ..... 134  
   デジタル カメラ ..... 131  
 発信者 ID ..... 77  
 バッテリー ..... 18, 166  
   使用量の監視 ..... 31  
   低バッテリー通知 ..... 32  
 バッテリー管理 ..... 31  
   バッテリーの現在の状態 ..... 31  
   バッテリー レベル ..... 31  
 バッテリー交換 ..... 26  
 バッテリー最適化 ..... 32  
 バッテリー使用量の監視 ..... 31  
 バッテリーの充電 ..... 24  
 バッテリー マネージャ ..... 83  
 ハード リセット ..... 64  
 パノラマ ..... 87  
 パノラマ写真の撮影 ..... 87  
 ハンズフリー イメージャ ..... 133  
 ハンドストラップ ..... 168  
 ハンドセット モード ..... 67
- ひ**
- 光センサ ..... 17  
 非通知機能 ..... 53  
 ピックリスト ..... 132  
 ビデオ  
   カメラ設定 ..... 90  
   共有 ..... 110, 116  
   再生 ..... 110, 116  
   削除 ..... 110, 116  
   処理 ..... 110, 116  
   録画 ..... 88  
 表記規則 ..... 13
- ふ**
- ファイル ..... 104  
 ファイル転送 ..... 64  
 フィードバック ..... 15  
 フォルダ ..... 50  
   削除 ..... 51  
   作成 ..... 50  
   名前付け ..... 51  
 フォント サイズ ..... 35
- へ**
- ペアリング  
   Bluetooth HID を使用 (DS3678) ..... 148  
   DS3678 ..... 147  
   Simple Serial Interface を使用 (DS3678) ..... 147

ベーシック ハンドストラップ	168
ヘッドセット ジャック	19
ヘッドセット モード	67

## ほ

ボイスメールの設定	78
ホスト コンピュータの切断	66
ホーム画面	42
回転	34
項目の移動	50
ホーム画面の壁紙	51

## む

無線 LAN	150
無線 WAN	150

## め

メンテナンス	
クリーニングの際の注意事項	207
クリーニングの頻度	208
クリーニング方法	206
使用可能な洗剤の活性成分	207
デバイスのクリーニング方法	207
有害成分	207

## ゆ

有害成分	207
有線ヘッドセット	67
有線ヘッドセットの使用	67
指の使用	36

## り

リセット	63
リニア イメージャ	132

## れ

連絡先	92
削除	92
追加	92
編集	92

## ろ

ロック画面の通知	47
----------	----

## わ

割込通話	77
------	----

